
第2次匝瑳市総合計画策定のための 市民意識調査

結果報告書

平成30年12月

匝瑳市

<目次>

第1章 調査の目的と実施概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の概要	3
3 報告書のみかた	3
4 調査の配付・回収状況からみた調査信頼度	4
第2章 結果の概要及び考察	5
保健・福祉・医療・介護について	7
産業・経済について	8
生活環境について	9
教育・文化・人権について	9
行財政運営について	10
人口減少対策について	11
第3章 調査結果	13
1 回答者の状況	15
問1 あなた自身について	15
問2 あなた自身、又はあなたが同居している家族	16
2 保健・福祉・医療・介護について	17
問3 現在、健康的な生活を送れていると感じていますか	17
問4 あなたが「健康」のために行っているものは何ですか	19
問5 市の健康増進への取組で、何が重要と考えますか	21
問6 高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか	23
問7 高齢者や障がいのある方に対する施策として、何が重要と考えますか	25
問8 子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか	27
問9 市の子育て支援への取組で、何が重要と考えますか	29
問10 お互いに支え合う雰囲気があると思いますか	32
問11 現在の医療体制をどう感じていますか	34
問12 地域の医療環境への取組で、何が重要と考えますか	36
3 産業・経済について	39
問13 匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか	39
問13-1 それはどのようなことですか	40
問14 地元で採れた農水産物を進んで食べたいと思いますか	42
問15 市の農林水産業振興への取組で、何が重要と考えますか	43
問16 主にどこで日常生活の買い物をしますか	45
問17 市の商工業振興への取組で、何が重要と考えますか	47
問18 市の観光資源となりうるものは何だと思いますか	49
問19 市の観光振興への取組で、何が重要と考えますか	50
問20 現在の就労状況について、どのように感じていますか	52
問21 市の雇用対策として、何が重要と考えますか	54
4 生活環境について	56
問22 匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか	56
問23 あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか	58
問24 あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか	60

問 25	市の安全なまちづくりへの取組で、何が重要と考えますか	62
問 26	市内及び周辺地域への移動が便利な地域だと思いますか	64
問 26-1	何が最も不便だと感じますか	66
問 27	普段、外出する際に主にどのような移動手段をお使いですか	68
問 28	普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか	69
問 29	市の自然環境保全への取組で、何が重要と考えますか	70
5	教育・文化・人権について	72
問 30	学校と家庭、地域との連携がとれていると思いますか	72
問 31	学校が安心して学ぶことができる場となっていると思いますか	74
問 32	小・中学校運営において、何が重要な取組と考えますか	75
問 33	次の余暇活動に参加していますか。また今後参加したい活動は何ですか	77
問 34	市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組で、何が重要と考えますか	81
問 35	地域の伝統や文化に愛着を感じていますか	83
問 36	虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思いますか	84
問 37	市の人権問題への取組で、何が重要と考えますか	85
問 38	男女共同参画に関する意識について、どのように思いますか	87
6	行財政運営について	88
問 39	市の行財政運営に関心がありますか	88
問 40	市の広報紙（広報そうさ）を見たことがありますか	89
問 41	市のホームページを見たことがありますか	90
問 42	まちづくりや地域づくりに参加したいと思いますか	91
問 43	協働によるまちづくりが推進されていると思いますか	95
問 44	市の手続きや問合せ等で不都合を感じたことは何ですか	96
問 45	市の行財政改革の取組で、何が重要と考えていますか	98
7	人口減少対策について	100
問 46	人口減少社会について、どのように考えていますか	100
問 47	これからも匝瑳市に住み続けたいと思いますか	102
問 47-1	住み続けたい理由は何ですか	104
問 47-2	住み続けたくない理由は何ですか	107
問 48	結婚していますか	109
問 49	子どもの数について	111
問 50	特に力を入れて取り組むべき人口減少対策は何だと思いますか	112
8	まちづくりの評価について	114
問 51	それぞれの施策について、満足度及び重要度をお聞かせください	114
第4章	その他・自由意見	125
第5章	意識調査票	157

第 1 章 調査の目的と実施概要

第1章 調査の目的と実施概要

1 調査の目的

「匠瑳市総合計画」が平成31年度(2019年度)で最終年度を迎えることから、2020年度から2031年度を計画年度とする「第2次匠瑳市総合計画」の策定に当たり、市民をはじめ幅広く意見をうかがい、計画策定の参考とすることを目的として実施しました。

2 調査の概要

調査対象	市内在住 16歳以上の市民 2,000名 (無作為抽出)
調査期間	平成30年7月25日～平成30年8月10日
調査方法	郵送配付・回収
回収状況	配付数：2,000票 回収数：598票 回収率：29.9%

3 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現していません。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問の中には、前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。
- 傾向において、差があるという場合は、主に全体に対し5ポイント以上の差がある場合を意味します。
- 前回調査との比較については、平成27年(2015年)に実施した「匠瑳市総合計画後期基本計画策定のための市民意識調査」を対象に行っています。凡例等に「前回調査」とあるものはこの調査を示します。

◆参考：平成 27 年（2015 年）実施の市民意識調査の概要

- 調査対象：市内在住 16 歳以上の市民 2,000 名（無作為抽出）
- 調査期間：平成 27 年 5 月 27 日 ～ 平成 27 年 6 月 8 日
- 調査方法：郵送配付・回収
- 配付・回収：

種 別	配付数	回収数	回収率
合 計	2,000 票	646 票	32.3%

4 調査の配付・回収状況からみた調査信頼度

市民意識調査の有効回答数（598 票）は、対象となる集団（16 歳以上の市民、32,590 人）に対し、統計学上で一般的に使用される条件（信頼度 95%、標準誤差 5%）を想定した標本数（380 票）を上回ることから、調査結果は十分に信頼できるとみなすことができます。

■社会調査信頼度 95%の計算式

$$n = \frac{N}{\left(\frac{E}{k}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

※n：サンプル数

N：全体の人数（母集団）

E：許容できる誤差の範囲

P：母比率 = 0.5 ……………（50%のときに最大のサンプル数となるため）

k：信頼度係数 = 1.96 ……………（通常、信頼度 95%を基準とするため）

なお、上記の計算式からは、クロス集計における各属性を基にした調査結果については十分なサンプル数ではないものが含まれるため、クロス集計結果については参考としての掲載とします。

第2章 結果の概要及び考察

第2章 結果の概要及び考察

◇ 保健・福祉・医療・介護について

○8割以上が健康的な生活を「送れている」と感じています

「健康的な生活」については、「送れている」と感じている人が前回調査に引き続き8割を超えています。

「健康のために行っていること」については、女性に比べ男性の回答が低い項目が高く、60歳以上に比べ50歳以下では取組が活発でない状況が見て取れます。

生活習慣病の予防においては、若い頃からの健全な生活習慣が重要なことから、若い世代に対する健康への意識の醸成が必要です。

○高齢者や障がいのある方、子育てをしていく「暮らしやすさ」は、前回調査よりもやや上昇しています

前回調査と同様に、高齢者や障がいのある方にとって「暮らしやすい」と回答した割合は4割台、子育てをしていく上で「暮らしやすい」と回答した割合は6割台となっていますが、前回調査よりも数値の上昇が見て取れます。

70歳以上の高齢者では「在宅福祉サービスの充実」が高くなっていますが、介護を必要とする方が同居家族にいる方では「生活の場の確保」が最も高くなっています。また、障がいのある方が同居家族にいる方は「経済的な支援」が高くなっています。

子育て支援においては、40歳代以下や、妊産婦・未就学児、小・中学生が同居家族にいる方では「経済的支援」や「保育所・子ども園の充実」が高くなっています。

当事者や支援者の意向を踏まえ、適切にサービスを組み合わせて案内するなどの対応が必要です。

○医療体制の充実は引き続き市の大きな課題です

医療体制について「不安を感じる」人は全体の8割に上り、施策の満足度と重要度においても「医療体制の充実」は最も満足度が低く、また、重要度は最も高い項目となっているなど、市の大きな課題です。

「外来機能」と「救急・休日・夜間医療の充実」が高いことから、従事者の量と質を充実させることによる体制の充実が求められていることがわかります。

◇ 産業・経済について

○「市で自慢したいこと」は出身により視点が異なる特徴が見られます

「市で自慢したいこと」について、ずっと市内に住んでいる人は全体と大きな違いは見られない一方、市外の居住経験のある人は「祭りや風習」などが、県内の他の市町村出身の人は「生活のしやすさ」などが、県外の出身の人は「自然の美しさ」や「生活のしやすさ」などが、それぞれ全体より高い意向となっているなど、特徴的となっています。

○農林水産では担い手の育成への意向が高く、商工では重視される点が多様です

農林水産業への取組について、全体でも、また、職業で農林漁業と回答した人でも「担い手の育成」が6割を超えて高くなっています。

買い物の状況としては、栄地区、椿海地区、平和地区、吉田地区、須賀地区では全体に比べ、市外の店舗を利用するとの回答が高い傾向が見られます。

商工業振興については、30歳代以下の若い世代を中心に、「利便性の高い商業拠点」や、「新規参入や起業の促進」、「優良企業の誘致」への意向が高くなっています。一方、職業の商工・サービス・飲食・自由業では、「既存企業への経営支援」や「地域との連携」が高くなっており、職業により重視する点が異なることが分かります。

○観光では、若い世代で受け入れ体制整備への意向が高いです

施策の満足度と重要度において「観光の活性化」は、満足度が前回調査よりも低くなり、かつ、重要度が前回調査よりも高くなった項目の中でその幅が最も大きな項目となっています。

市内の観光資源としては「自然」や「海」との回答が多いものの、観光拠点として「飯高檀林跡」や地域を代表する祭りとして「八重垣神社祇園祭」が挙げられています。

観光振興に向けては、全体では「施設を整備」との回答が最も高くなっていますが、40歳代以下や市内出身で市外の居住経験のある人では宿泊や交通等の「受け入れ体制の推進」の回答が高くなっています。交流人口の増加が今後の転入に影響を与えることを踏まえると、今後の課題と言えます。

○安心して働くことができる人の割合を高める支援が必要です

現在の就労状況で「将来が不安である」と回答した人は、前回調査よりも上昇し、6割を超えています。不景気が長く続いた中においてはやむを得ない側面もありますが、今後市に定住する人口を増加させるには安心して働ける環境づくりは重要なものとなります。

重要な雇用対策としては、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が前回調査に続き半数を超えて最も高くなっています。

◇ 生活環境について

○7割近くの人が「快適に生活できる」住環境であると評価しているが、都市機能の充実と安全な環境の整備も求められています

市が快適に生活できる住環境であるかについては、7割近くが「そう思う」と答えており、住みやすい住環境の条件については「都市機能」と「安全な環境」が4割と高くなっています。

都市機能の面では、商業施設について、商工業振興の設問で若い世代を中心に利便性の高い商業拠点への意向が高いことや、交通機関については移動の便利さの設問で「不便な地域だと思う」との回答が半数を超え、その高さが「電車やバスなどの公共交通網」の少なさを挙げており、観光の設問でも宿泊や交通等の受け入れ体制の充実への要望が高いことなどからこうした意向に繋がっているものと推察できます。

安全な環境の面では、災害などに対する安全性で、共興地区や吉田地区、野田地区で半数以上が「安全だと思わない」と回答しているところは大きな課題です。また、安全なまちづくりについての重要な取組としては、「的確な情報提供や緊急時の体制強化」、「防災基盤の整備」が半数以上の回答を集めており、今後重要な取組となります。

○全体では「不法投棄をなくす」が高いが、地区で傾向が異なります

環境に配慮した行動については、30歳代以下では「行っていない」との回答が目立つものの、いずれの世代でも6割以上が「行っている」と回答しています。環境保全に向けた取組では、不法投棄をなくすとの回答が最も高かったものの、吉田地区や飯高地区で「自然環境を壊さない土地利用」と「ごみ対策」が高い一方、豊和地区と平和地区では「不法投棄をなくす」と「排水処理施設の計画的整備」が高く、地区による傾向の違いが見られます。

◇ 教育・文化・人権について

○6割を超える人が学校と家庭、地域が連携しているとし、安全に対する評価も高くなっています

学校・家庭・地域の連携では、「連携していると思う」との回答が6割を超え、学校が安心して学べる場となっているかについても、「そう思う」との答えが8割と高い結果となっています。しかしながら、これらについて同居家族に障がいのある方がいる人では、いずれも全体を下回る結果となっており、不安を感じている様子がうかがえます。

教育面の重要な取組としては、「地域と協力した健全育成」と「安全を守る体制」が全体の半数を超えており、地域全体で教育や家庭を支えていく姿勢が求められています。

○余暇活動の取組はやや改善が見られ、組織の支援や拠点の充実への声が高いです

余暇活動への参加の状況については、いずれも前回調査を上回りましたが、「スポーツ文化活動」への参加の24.9%が最も高い結果となっています。参加意向では「生涯学習としての習い事や趣味」が半数を超えて高くなっています。

生涯学習やスポーツ、文化活動への重要な取組に向けては、全体的に「組織や活動への支援」が最も高く、30歳代ではこの項目と「活動拠点の整備・拡充」が半数を超えて高くなっているのが目立つなど、活動に参加するための土壌づくりが求められます。

地域の伝統や文化への愛着については、全体の6割が「感じている」と答えています。

○人権問題への取組では「早期発見・早期対応」と「気軽な相談体制」が求められています

人権を侵害する行為については2割程度の人が「ある」と答えています。また、同居家族に障がいのある方がいる人では3割を超えて「ある」と答えています。

このような人権問題への取組に対しては、「早期発見・早期対応の体制強化」と、「気軽に相談できる体制」がそれぞれ半数を超えて高くなっており、重視されていることが分かります。

◇ 行財政運営について

○行財政運営への関心は、前回調査を上回っています

行財政運営についての関心は全体で6割程度が「ある」と回答していますが、中でも60歳以上では7割以上と高くなっています。

行財政改革で重要な点に関しては、「事務手続きの簡略化・スピード化」、「事務事業の合理化」、「職員給与・定員の適正な管理」が高くなっていることから、効率的なサービス提供体制の整備が求められています。

○まちづくり・地域づくりへの参加の状況は、前回調査を上回る傾向が見られます

まちづくりや地域づくりの8項目について参加していますかという問いに、「はい」と回答した人の割合は、すべての項目で前回調査を上回る結果となっています。中でも「地域づくり活動」と「自然環境保全活動」が3割台と高くなっています。また、今後参加しますかという問いの中で、「自然環境保全活動」に半数近くが「はい」と回答しており、市民の自然を大切に意識の高さがうかがえます。

◇ 人口減少対策について

○人口減少を「望ましくない」と考える人は9割を超えています

人口減少への考え方について、人口減少が「望ましくない」と回答した人は全体の9割を超え非常に高くなっています。この中では「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が全体の37.8%と最も高くなっています。

人口減少に歯止めをかけるための取組としては、「若者の働く場の確保と雇用の創出」が前回調査に続き7割を超えており、依然重要な課題であることが分かります。

○住み続けたくない理由で最も多い「買い物や余暇活動に不便」は前回調査を上回っています

「住み続けたい」とする定住意向は74.6%であり、前回調査を6.2ポイント上回ります。住み続けたい理由で、最も高いのは「両親や親戚が住んでいる」、次いで「自然環境が良い」、「まちに愛着がある」と続きます。

これに対し、住み続けたくない理由は、「買い物や余暇活動に不便」が他の項目を大きく上回ります。次いで「医療・福祉サービスが充実していない」、「通勤や通学に不便」、「働きがいのある仕事がない」などが上位になっています。性別で見ると、女性は「買い物や余暇活動に不便」や「医療・福祉サービスが充実していない」が高くなっているのに対し、男性は「通勤・通学に不便」や「働きがいのある仕事がない」が高くなっています。年齢別では「買い物や余暇活動に不便」は、10・20歳代及び40歳代、「通勤・通学に不便」は10・20歳代及び30歳代で高くなっているなど、若い世代で利便性への高いニーズがあります。

第3章 調査結果

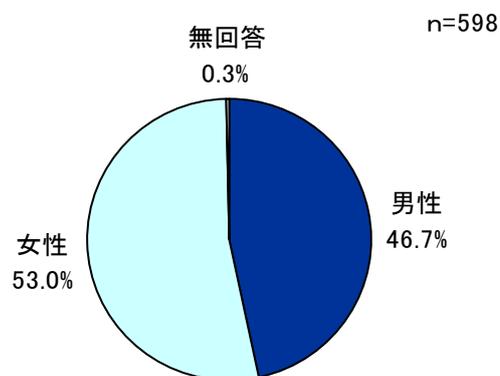
第3章 調査結果

1 回答者の状況

問1 あなた自身について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。
(それぞれ1つに○)

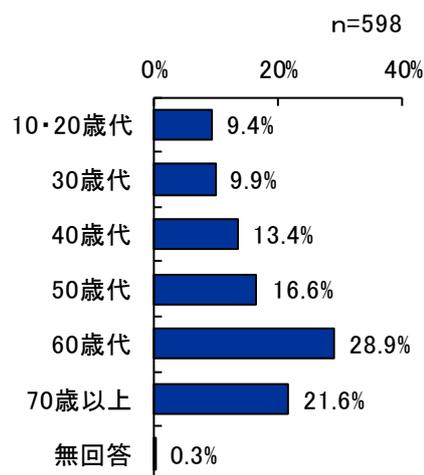
①性別

性別は、「男性」が46.7%、「女性」が53.0%となっています。



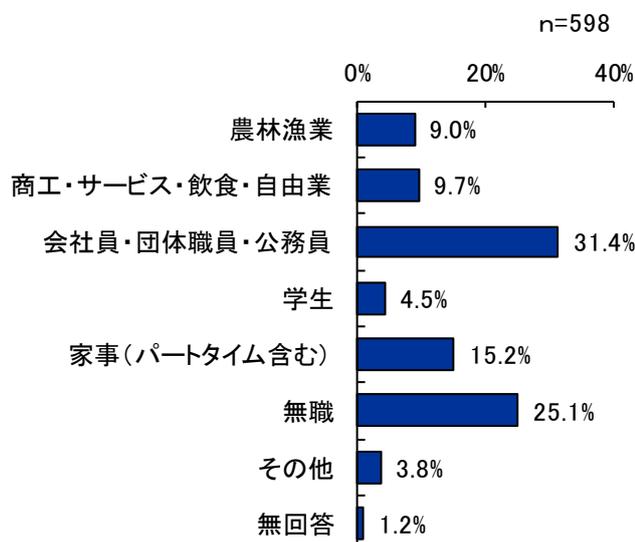
②年齢

年齢は、「60歳代」が28.9%で最も高く、次いで「70歳以上」が21.6%、「50歳代」が16.6%などとなっています。



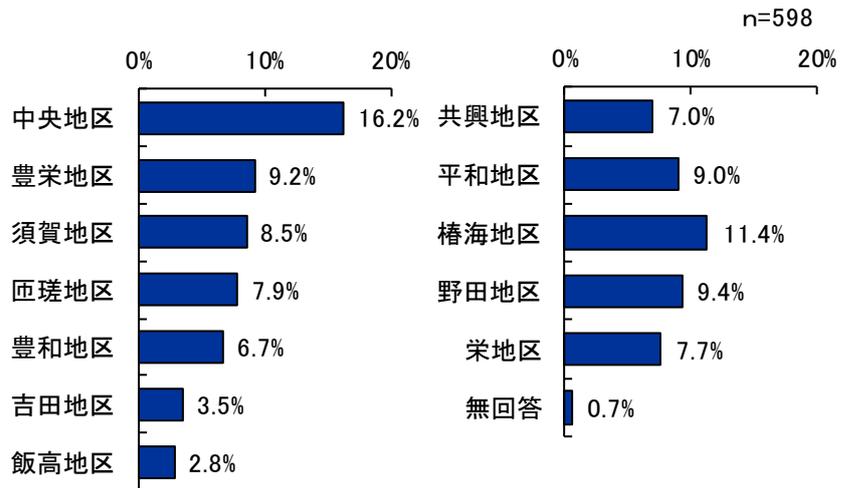
③職業

職業は、「会社員・団体職員・公務員」が31.4%で最も高く、次いで「無職」が25.1%、「家事(パートタイム含む)」が15.2%などとなっています。



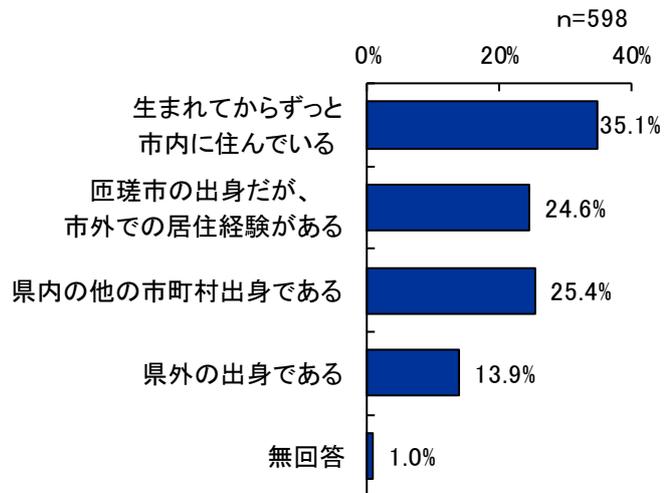
④居住地区

居住地区は、「中央地区」が16.2%で最も高く、次いで「椿海地区」が11.4%、「野田地区」が9.4%などとなっています。



⑤居住歴の状況

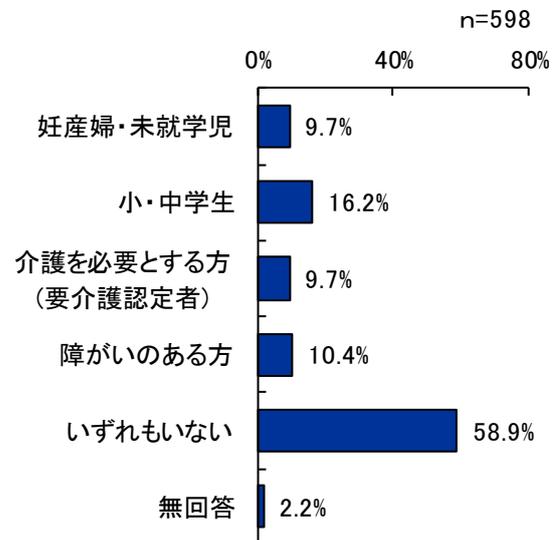
居住歴は、「生まれてからずっと市内に住んでいる」が35.1%で最も高く、次いで「県内の他の市町村出身である」が25.4%、「匠瑳市の出身だが、市外での居住経験がある」が24.6%などとなっています。



「生まれてからずっと市内に住んでいる」と、「匠瑳市の出身だが、市外での居住経験がある」人を合わせた「市内出身者」は59.7%で、6割弱となっています。

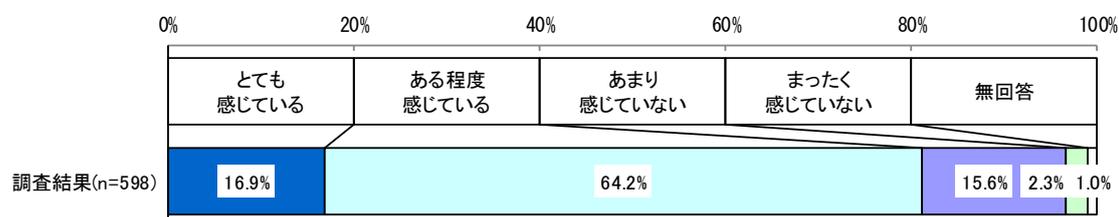
問2 あなた自身、又はあなたが同居している家族のなかに、次の方はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

同居している家族では、「妊産婦・未就学児」がいる方が9.7%、「小・中学生」がいる方が16.2%、「介護を必要とする方（要介護認定者）」がいる方が9.7%、「障がいのある方」がいる方が10.4%、「いずれもない」方が58.9%となっています。



2 保健・福祉・医療・介護について

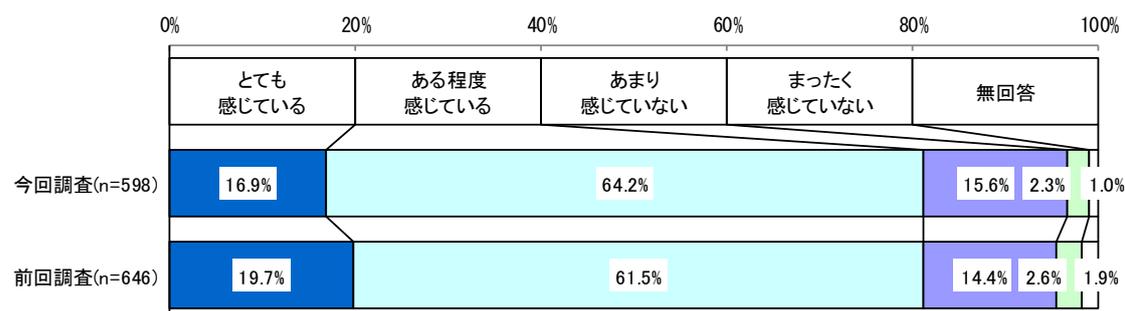
問3 あなたは、現在、健康的な生活を送れていると感じていますか。(1つに〇)



健康的な生活が送れているかについては、「ある程度感じている」が64.2%で最も高くなっています。

「とても感じている」(16.9%)と、「ある程度感じている」を合わせた「感じている」は、全体の81.1%となっており、「あまり感じていない」(15.6%)、「全く感じていない」(2.3%)を合わせた「感じていない」は、全体の17.9%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「感じている」は全体の81.2%であり、今回調査とほぼ差のない結果となっています。

○●○ 年齢別・職業別・居住地区別・同居家族別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数(n)	感じている	感じていない	無回答
全体		598	81.1	17.9	1.0
年 齢	10・20歳代	56	94.6	5.4	0.0
	30歳代	59	81.4	16.9	1.7
	40歳代	80	80.0	18.8	1.3
	50歳代	99	75.8	24.2	0.0
	60歳代	173	82.1	17.3	0.6
	70歳以上	129	79.8	18.6	1.6
職 業	農林漁業	54	88.9	9.3	1.9
	商工・サービス・飲食・自由業	58	77.6	22.4	0.0
	会社員・団体職員・公務員	188	85.1	14.4	0.5
	学生	27	96.3	3.7	0.0
	家事(パートタイム含む)	91	76.9	23.1	0.0
	無職	150	74.7	24.0	1.3
	その他	23	82.6	13.0	4.3
居 住 地 区	中央地区	97	82.5	16.5	1.0
	豊栄地区	55	81.8	16.4	1.8
	須賀地区	51	84.3	15.7	0.0
	匝瑳地区	47	78.7	19.1	2.1
	豊和地区	40	80.0	20.0	0.0
	吉田地区	21	85.7	14.3	0.0
	飯高地区	17	94.1	5.9	0.0
	共興地区	42	81.0	19.0	0.0
	平和地区	54	85.2	14.8	0.0
	椿海地区	68	82.4	17.6	0.0
	野田地区	56	78.6	19.6	1.8
	栄地区	46	69.6	28.3	2.2
同 居 家 族	妊産婦・未就学児	58	89.7	10.3	0.0
	小・中学生	97	82.5	16.5	1.0
	介護を必要とする方	58	77.6	22.4	0.0
	障がいのある方	62	61.3	38.7	0.0
	いずれもない	352	83.5	15.3	1.1

年齢別の10・20歳代では、「感じている」との回答が9割を超え、全体より非常に高くなっていますが、50歳代では7割台と年代の中で一番低くなっています。

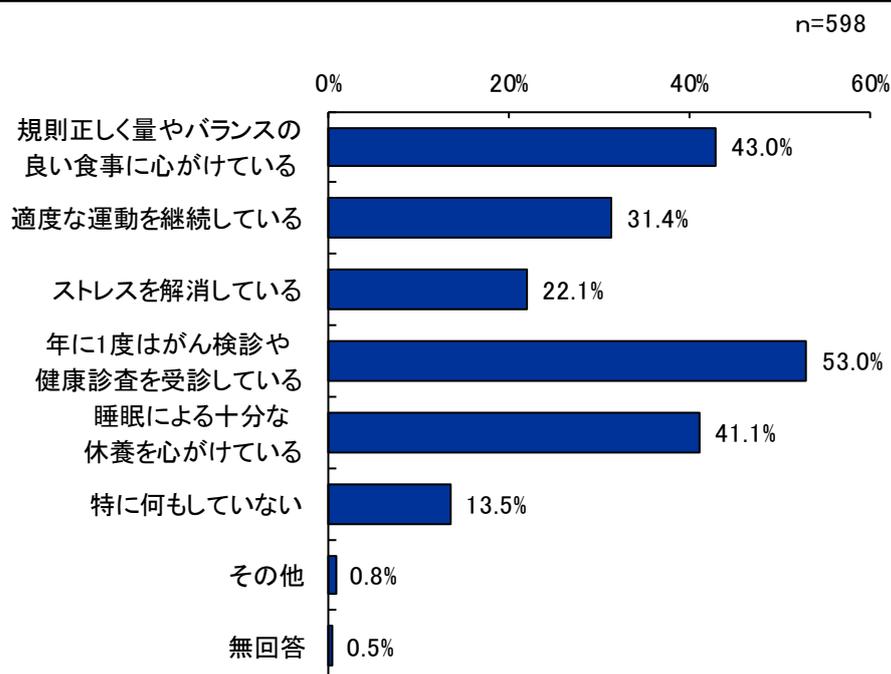
職業別の学生、農林漁業では、「感じている」との回答が全体より高くなっています。

居住地区別では、「感じている」との回答は、飯高地区で唯一9割を超えていますが、栄地区では、7割を下回っています。

同居家族別の妊産婦・未就学児では、「感じている」との回答が9割近くと非常に高くなっていますが、障がいのある方では、6割と低くなっています。

問4 あなたが「健康」のためにやっているものは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)



「健康」のためにやっているものとしては、「年に1度はがん検診や健康診査を受診している」との回答が53.0%で最も高く、次いで「規則正しく量やバランスの良い食事に心がけている」が43.0%、「睡眠による十分な休養を心がけている」が41.1%などとなっています。

「特に何もしていない」は全体の13.5%です。

前回調査との比較については、選択肢の数や表現が異なるため、参考として掲載します。

◆◆◆ 前回調査との比較 (参考)

(単位：%)

今回調査 (n=598)		前回調査 (n=646)	
規則正しく量やバランスの良い食事に心がけている	43.0	規則正しい食事に心がけている	48.6
適度な運動を継続している	31.4	適度な運動を継続している	31.6
ストレスを解消している	22.1	ストレスを溜めないようにしている	33.4
年に1度はがん検診や健康診査を受診している	53.0	健康診断を欠かさず受診している	37.3
睡眠による十分な休養を心がけている	41.1		
特に何もしていない	13.5	特に何もしていない	19.7
その他	0.8	その他	2.8
無回答	0.5	無回答	1.7

○●○ 性別・年齢別・職業別に見た傾向

(単位：%)

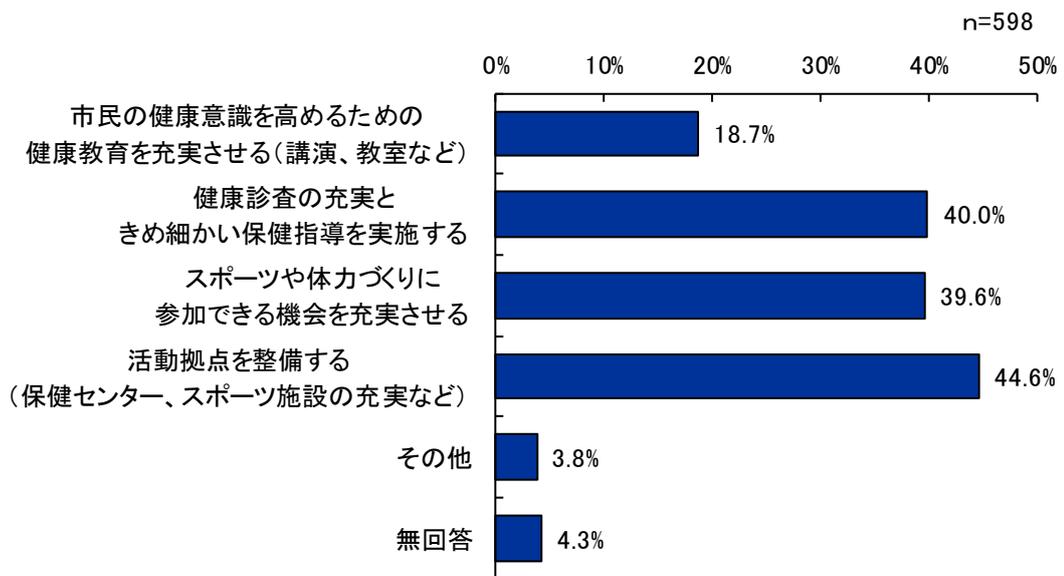
		回答者数 (n)	規則正しく量やバランスの良い食事に心がけている	適度な運動を継続している	ストレスを解消している	年に1度はがん検診や健康診査を受診している	睡眠による十分な休養を心がけている	特に何もしていない	その他	無回答
全体		598	43.0	31.4	22.1	53.0	41.1	13.5	0.8	0.5
性別	男性	279	34.8	35.1	22.6	45.5	40.1	17.9	0.4	0.7
	女性	317	50.5	28.1	21.8	59.6	42.3	9.8	1.3	0.0
年齢	10・20 歳代	56	16.1	28.6	23.2	14.3	37.5	25.0	0.0	0.0
	30 歳代	59	54.2	23.7	22.0	44.1	50.8	13.6	0.0	0.0
	40 歳代	80	28.8	25.0	27.5	53.8	45.0	18.8	1.3	0.0
	50 歳代	99	33.3	25.3	24.2	53.5	40.4	14.1	0.0	1.0
	60 歳代	173	52.0	34.7	20.2	61.8	36.4	12.1	0.6	0.6
	70 歳以上	129	54.3	40.3	19.4	61.2	43.4	7.0	2.3	0.0
職業	農林漁業	54	24.1	24.1	9.3	57.4	35.2	18.5	1.9	0.0
	商工・サービス・飲食・自由業	58	44.8	37.9	20.7	48.3	37.9	15.5	0.0	0.0
	会社員・団体職員・公務員	188	36.7	24.5	27.7	51.6	43.1	17.0	0.5	0.0
	学生	27	18.5	40.7	25.9	3.7	33.3	18.5	0.0	0.0
	家事 (パートタイム含む)	91	53.8	27.5	24.2	64.8	39.6	12.1	0.0	0.0
	無職	150	54.7	40.0	19.3	56.7	45.3	6.7	2.0	1.3
	その他	23	43.5	43.5	13.0	56.5	39.1	17.4	0.0	0.0

性別では、上位の3項目である、「年に1度はがん検診や健康診査を受診している」、「規則正しく量やバランスの良い食事に心がけている」、「睡眠による十分な休養を心がけている」のいずれでも女性が男性を上回っています。

年齢別の60歳代以上では、「年に1度はがん検診や健康診査を受診している」が全体より高くなっています。また、30歳代と60歳代以上では、「規則正しく量やバランスの良い食事に心がけている」が半数を超えており、30歳代では「睡眠による十分な休養を心がけている」が半数を超えています。

職業別の農林漁業、会社員・団体職員・公務員、学生では、「規則正しく量やバランスの良い食事に心がけている」が全体より低くなっています。

問5 市の健康増進への取組で、何が重要と考えますか。(2つまで○)



健康増進で重要な取組としては、「活動拠点を整備する」との回答が44.6%で最も高く、次いで「健康診査の充実ときめ細かい保健指導を実施する」が40.0%、「スポーツや体力づくりに参加できる機会を充実させる」が39.6%などとなっています。前回調査との比較については、選択肢の表現が異なるため、参考として掲載します。

◆◆◆ 前回調査との比較 (参考)

(単位：%)

今回調査 (n=598)		前回調査 (n=646)	
市民の健康意識を高めるための健康教育を充実させる(講演、教室など)	18.7	市民の健康意識を向上させる	45.7
健康診査の充実ときめ細かい保健指導を実施する	40.0	きめ細かい保健指導を実施する(健康診査、個別指導など)	30.3
スポーツや体力づくりに参加できる機会を充実させる	39.6	スポーツや体力づくりに参加できる機会を充実させる	34.4
活動拠点を整備する(保健センター、スポーツ施設の充実など)	44.6	活動拠点を整備する(保健センター、スポーツ施設の充実など)	38.7
その他	3.8	その他	3.9
無回答	4.3	無回答	4.0

〇〇〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

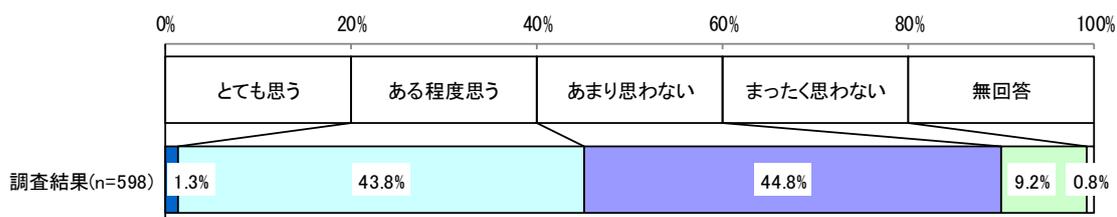
(単位：%)

		回答者数 (n)	市民の健康意識を高めるための健康教育を充実させる (講演、教室など)	健康診査の充実ときめ細かい保健指導を実施する	参加できる機会を充実させる	スポーツや体力づくりに	活動拠点を整備する (保健センター、スポーツ施設の充実など)	その他	無回答
全体		598	18.7	40.0	39.6	44.6	3.8	4.3	
性別	男性	279	17.2	39.4	38.7	47.7	3.9	2.5	
	女性	317	20.2	40.7	40.4	42.0	3.8	5.7	
年齢	10・20 歳代	56	8.9	33.9	55.4	55.4	5.4	0.0	
	30 歳代	59	13.6	40.7	39.0	69.5	1.7	0.0	
	40 歳代	80	13.8	35.0	25.0	63.8	7.5	1.3	
	50 歳代	99	15.2	38.4	48.5	48.5	0.0	3.0	
	60 歳代	173	25.4	37.6	39.3	35.8	5.2	5.8	
	70 歳以上	129	22.5	50.4	35.7	25.6	3.1	8.5	
居住地区	中央地区	97	23.7	38.1	42.3	36.1	4.1	3.1	
	豊栄地区	55	16.4	41.8	36.4	49.1	1.8	5.5	
	須賀地区	51	19.6	31.4	37.3	60.8	2.0	3.9	
	匝瑳地区	47	21.3	36.2	29.8	46.8	6.4	2.1	
	豊和地区	40	22.5	42.5	35.0	42.5	7.5	2.5	
	吉田地区	21	19.0	38.1	47.6	47.6	0.0	0.0	
	飯高地区	17	17.6	41.2	41.2	70.6	0.0	0.0	
	共興地区	42	21.4	35.7	40.5	35.7	2.4	14.3	
	平和地区	54	9.3	50.0	37.0	48.1	5.6	3.7	
	椿海地区	68	14.7	42.6	45.6	51.5	4.4	0.0	
	野田地区	56	17.9	46.4	46.4	28.6	3.6	3.6	
	栄地区	46	21.7	37.0	32.6	39.1	4.3	10.9	

年齢別の60歳代では、「市民の健康意識を高めるための健康教育を充実させる」が全体より高く、30歳代と40歳代では、「活動拠点を整備する」が全体より非常に高くなっています。

居住地区別の飯高地区、須賀地区、椿海地区では、「活動拠点を整備する」が半数を超え、全体より高くなっています。平和地区、野田地区では、「健康診査の充実ときめ細かい保健指導を実施する」が全体より高くなっています。

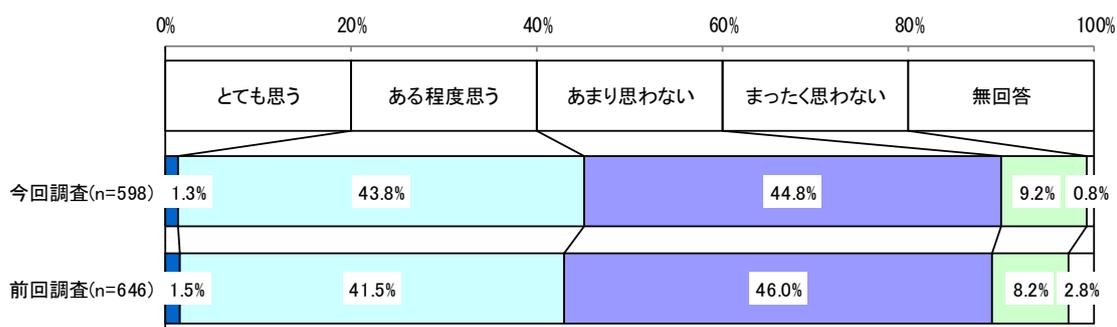
問6 匠瑛市は、高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか。
(1つに〇)



高齢者や障がいのある方にとっての暮らしやすさについては、「あまり思わない」との回答が44.8%で最も高くなっています。

「とても思う」(1.3%)と「ある程度思う」(43.8%)を合わせた「暮らしやすいと思う」は全体の45.1%、「あまり思わない」と「まったく思わない」(9.2%)を合わせた「暮らしやすいと思わない」は全体の54.0%で、「暮らしやすいと思わない」が上回っています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「暮らしやすいと思う」(43.0%)と比べ、やや上回る結果となっています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別・同居家族別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	暮らしやすいと思う	暮らしやすいと思わない	無回答
全体		598	45.1	54.0	0.8
性別	男性	279	44.8	54.8	0.4
	女性	317	45.4	53.6	0.9
年齢	10・20 歳代	56	48.2	51.8	0.0
	30 歳代	59	37.3	61.0	1.7
	40 歳代	80	31.3	68.8	0.0
	50 歳代	99	42.4	57.6	0.0
	60 歳代	173	44.5	54.3	1.2
	70 歳以上	129	58.9	40.3	0.8
居住地区	中央地区	97	57.7	41.2	1.0
	豊栄地区	55	27.3	69.1	3.6
	須賀地区	51	41.2	58.8	0.0
	匝瑳地区	47	44.7	55.3	0.0
	豊和地区	40	40.0	60.0	0.0
	吉田地区	21	57.1	42.9	0.0
	飯高地区	17	47.1	52.9	0.0
	共興地区	42	40.5	59.5	0.0
	平和地区	54	46.3	51.9	1.9
	椿海地区	68	47.1	52.9	0.0
	野田地区	56	42.9	57.1	0.0
	栄地区	46	45.7	54.3	0.0
同居家族	妊産婦・未就学児	58	27.6	70.7	1.7
	小・中学生	97	35.1	62.9	2.1
	介護を必要とする方	58	53.4	46.6	0.0
	障がいのある方	62	38.7	61.3	0.0
	いずれもない	352	49.4	50.0	0.6

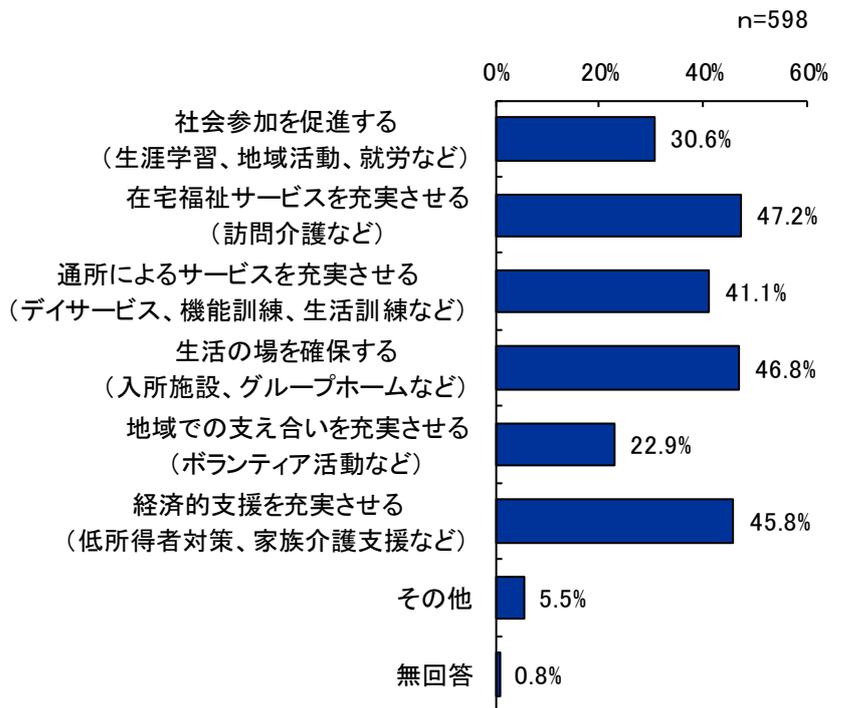
年齢別の70歳以上では、「暮らしやすいと思う」との回答が全体より高く、30歳代や40歳代は全体より低くなっています。

居住地区別の中央地区、吉田地区では、「暮らしやすいと思う」との回答が半数を超え、全体より高くなっていますが、豊栄地区は3割未満と全体より低くなっています。

同居家族別の介護を必要とする方では、「暮らしやすいと思う」との回答が半数を超え、全体より高くなっていますが、妊産婦・未就学児では、3割未満と全体より低くなっています。

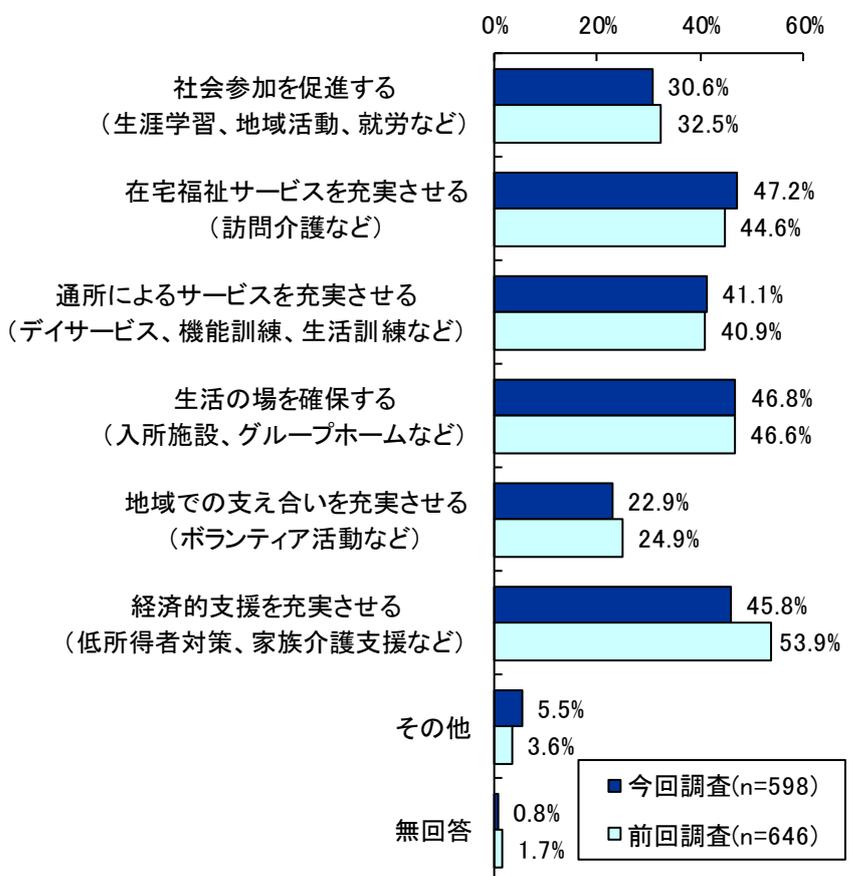
問7 市の高齢者や障がいのある方に対する施策として、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

高齢者や障がいのある方への重要な取組については、「在宅福祉サービス」が47.2%で最も高いものの、「生活の場を確保する」が46.8%、「経済的支援を充実させる」が45.8%などと僅差が続いています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「経済的支援を充実させる」が前回より8.1ポイント低くなっており、順位も3番目に後退しています。



〇〇〇 性別・年齢別・同居家族別に見た傾向

(単位：%)

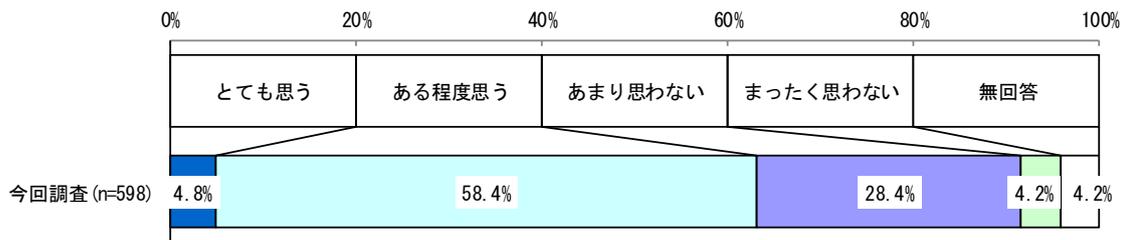
		回答者数 (n)	社会参加を促進する (生涯学習、地域活動、就労など)	在宅福祉サービスを充実させる (訪問介護など)	通所によるサービスを充実させる (デイサービス、機能訓練、生活訓練など)	生活の場を確保する (入所施設、グループホームなど)	地域での支え合いを充実させる (ボランティア活動など)	経済的支援を充実させる (低所得者対策、家族介護支援など)	その他	無回答
全体		598	30.6	47.2	41.1	46.8	22.9	45.8	5.5	0.8
性別	男性	279	30.1	50.2	39.8	46.6	22.9	48.4	3.9	0.4
	女性	317	30.9	44.8	42.6	47.3	23.0	43.5	6.9	0.9
年齢	10・20歳代	56	26.8	35.7	37.5	37.5	21.4	41.1	12.5	0.0
	30歳代	59	39.0	52.5	47.5	49.2	22.0	39.0	10.2	0.0
	40歳代	80	31.3	43.8	46.3	47.5	16.3	46.3	10.0	0.0
	50歳代	99	31.3	46.5	36.4	56.6	20.2	48.5	2.0	1.0
	60歳代	173	31.8	45.1	39.3	47.4	26.0	47.4	4.0	0.6
	70歳以上	129	25.6	55.8	43.4	41.9	26.4	46.5	2.3	1.6
同居家族	妊産婦・未就学児	58	29.3	51.7	44.8	53.4	24.1	39.7	10.3	1.7
	小・中学生	97	27.8	43.3	51.5	50.5	20.6	47.4	7.2	0.0
	介護を必要とする方	58	29.3	48.3	43.1	53.4	22.4	51.7	3.4	0.0
	障がいのある方	62	30.6	33.9	29.0	40.3	17.7	69.4	9.7	3.2
	いずれもない	352	31.8	50.6	38.9	47.4	23.6	42.9	4.5	0.6

年齢別の30歳代と70歳以上では、「在宅福祉サービスを充実させる」が半数を超え、全体より高くなっています。また、50歳代では、「生活の場を確保する」が半数を超え、全体より高くなっています。

同居家族別の障がいのある方では、「経済的支援を充実させる」が全体より非常に高くなっています。また、介護を必要とする方では、「生活の場を確保する」が全体より高くなっています。

問8 匝瑳市は、子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか。

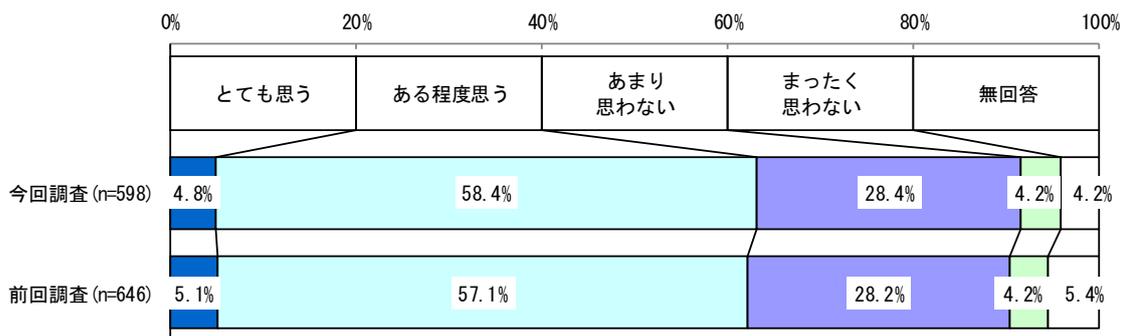
(1つに○)



子育て上の暮らしやすさについては、「ある程度思う」との回答が58.4%で最も高くなっています。

「とても思う」(4.8%)と「ある程度思う」を合わせた「暮らしやすいと思う」は全体の63.2%、「あまり思わない」(28.4%)と「まったく思わない」(4.2%)を合わせた「暮らしやすいと思わない」は全体の32.6%で、「暮らしやすいと思う」が上回っています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「暮らしやすい」(62.2%)と比べ、やや上回っています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別・同居家族別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	暮らしやすいと思う	暮らしやすいと思わない	無回答
全体		598	63.2	32.6	4.2
性別	男性	279	64.5	33.3	2.2
	女性	317	61.8	32.2	6.0
年齢	10・20歳代	56	66.1	30.4	3.6
	30歳代	59	64.4	35.6	0.0
	40歳代	80	57.5	42.5	0.0
	50歳代	99	59.6	37.4	3.0
	60歳代	173	60.1	35.3	4.6
	70歳以上	129	71.3	19.4	9.3
居住地区	中央地区	97	70.1	28.9	1.0
	豊栄地区	55	61.8	29.1	9.1
	須賀地区	51	62.7	31.4	5.9
	匝瑳地区	47	42.6	53.2	4.3
	豊和地区	40	60.0	35.0	5.0
	吉田地区	21	76.2	23.8	0.0
	飯高地区	17	58.8	41.2	0.0
	共興地区	42	42.9	52.4	4.8
	平和地区	54	61.1	33.3	5.6
	椿海地区	68	70.6	26.5	2.9
	野田地区	56	67.9	25.0	7.1
	栄地区	46	73.9	23.9	2.2
同居家族	妊産婦・未就学児	58	67.2	32.8	0.0
	小・中学生	97	61.9	36.1	2.1
	介護を必要とする方	58	56.9	36.2	6.9
	障がいのある方	62	58.1	35.5	6.5
	いずれもない	352	63.6	32.1	4.3

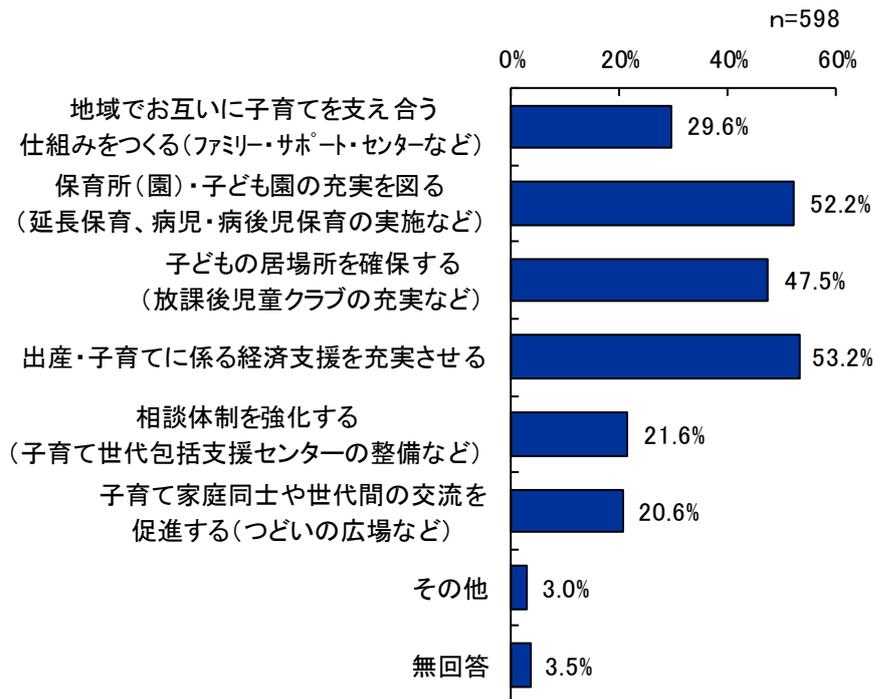
年齢別の40歳代では、「暮らしやすいと思わない」との回答が、4割を超え最も高く、ここを頂点として年代が離れるほど割合が低くなっています。

居住地区別の吉田地区、栄地区、椿海地区、中央地区では、「暮らしやすいと思う」との回答が7割を超え、全体より高くなっていますが、匝瑳地区、共興地区では、約4割と全体より低くなっています。

同居家族別の小・中学生では、全体と大きな傾向の差は見られませんが、妊産婦・未就学児では、「暮らしやすいと思う」との回答が7割近くとなっています。

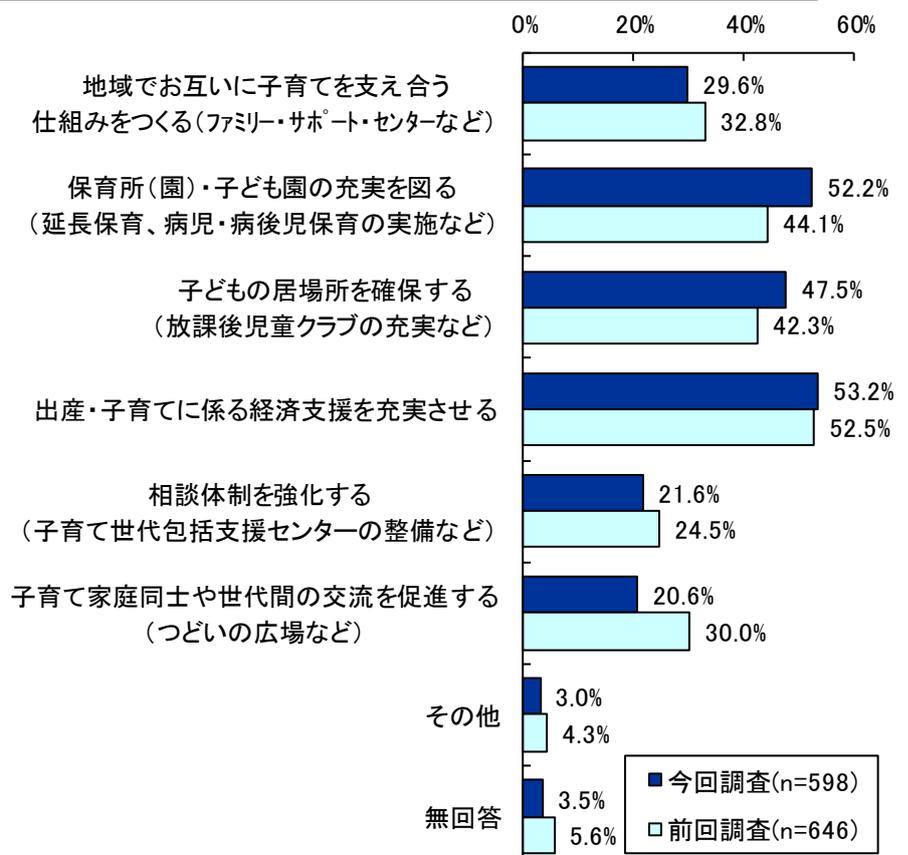
問9 市の子育て支援への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)

子育て支援への重要な取組については、「出産・子育てに係る経済支援を充実させる」が53.2%で最も高く、次いで「保育所(園)・子ども園の充実を図る」が52.2%、「子どもの居場所を確保する」が47.5%となっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「子育て家庭同士や世代間の交流を促進する」は9.4ポイント低くなっています。



※「保育所(園)・子ども園の充実を図る」の、前回調査時の選択肢は「保育所(園)の充実を図る」でした。

性別・年齢別・居住地区別・同居家族別に見た傾向

(単位：%)

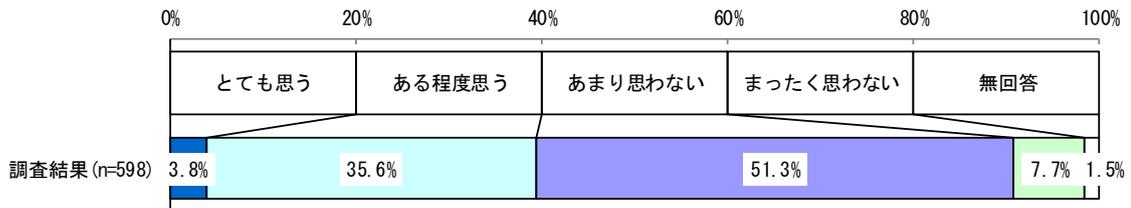
		回答者数 (n)	地域でお互いに子育てを支援合 う仕組みをつくる(ファミリー・ サポート・センターなど)	保育所(園)・子ども園の充実を 図る(延長保育、病児・病後児保 育の実施など)	子どもの居場所を確保する (放課後児童クラブの充実など)	出産・子育てに係る経済支援を充 実させる	相談体制を強化する(子育て世代 包括支援センターの整備など)	子育て家庭同士や世代間の交流 を促進する(つどいの広場など)	その他	無回答
全体		598	29.6	52.2	47.5	53.2	21.6	20.6	3.0	3.5
性別	男性	279	32.6	47.7	46.2	58.1	20.8	21.9	3.2	2.2
	女性	317	26.8	56.5	48.6	48.9	22.4	18.9	2.8	4.7
年齢	10・20歳代	56	25.0	39.3	50.0	58.9	23.2	17.9	5.4	3.6
	30歳代	59	30.5	59.3	47.5	69.5	16.9	30.5	6.8	0.0
	40歳代	80	27.5	57.5	52.5	68.8	12.5	11.3	2.5	1.3
	50歳代	99	26.3	46.5	48.5	46.5	25.3	21.2	1.0	3.0
	60歳代	173	28.3	59.0	50.9	50.9	23.1	18.5	3.5	2.9
	70歳以上	129	36.4	47.3	38.0	41.9	24.0	24.0	1.6	7.8
居住地区	中央地区	97	33.0	47.4	49.5	56.7	20.6	29.9	2.1	1.0
	豊栄地区	55	36.4	50.9	38.2	52.7	25.5	20.0	5.5	5.5
	須賀地区	51	19.6	60.8	47.1	45.1	23.5	17.6	3.9	2.0
	匝瑳地区	47	23.4	34.0	40.4	57.4	25.5	36.2	2.1	2.1
	豊和地区	40	22.5	62.5	52.5	57.5	12.5	15.0	0.0	2.5
	吉田地区	21	23.8	81.0	57.1	57.1	23.8	19.0	4.8	0.0
	飯高地区	17	17.6	64.7	47.1	52.9	17.6	23.5	0.0	5.9
	共興地区	42	28.6	42.9	42.9	54.8	19.0	7.1	4.8	4.8
	平和地区	54	22.2	64.8	51.9	55.6	20.4	3.7	7.4	5.6
	椿海地区	68	29.4	58.8	57.4	58.8	29.4	14.7	0.0	2.9
	野田地区	56	42.9	37.5	46.4	39.3	14.3	32.1	3.6	8.9
	栄地区	46	37.0	50.0	41.3	52.2	19.6	17.4	2.2	2.2
同居家族	妊産婦・未就学児	58	37.9	58.6	53.4	63.8	15.5	24.1	5.2	0.0
	小・中学生	97	25.8	58.8	58.8	62.9	15.5	14.4	2.1	1.0
	介護を必要とする方	58	32.8	56.9	43.1	62.1	22.4	19.0	1.7	1.7
	障がいのある方	62	30.6	43.5	45.2	48.4	21.0	21.0	4.8	9.7
	いずれもない	352	31.3	51.1	45.7	48.0	24.1	21.3	2.8	3.4

年齢別では、子育ての機会に恵まれやすい10・20歳代から40歳代の傾向を見ると、10・20歳代では、「出産・子育てに係る経済支援を充実させる」が全体より高くなっています。30歳代では、「出産・子育てに係る経済支援を充実させる」、「保育所(園)・子ども園の充実を図る」、「子育て家庭同士や世代間の交流を促進する」で、それぞれ全体より高くなっています。40歳代では、「出産・子育てに係る経済支援を充実させる」、「保育所(園)・子ども園の充実を図る」、「子どもの居場所を確保する」が、それぞれ全体より高くなっています。

居住地区別の吉田地区では、「保育所（園）・子ども園の充実を図る」が8割と非常に高く、平和地区、飯高地区、豊和地区、須賀地区などでも6割を超えて高くなっています。匝瑳地区、野田地区、中央地区では、「子育て家庭同士や世代間の交流を促進する」が全体より高くなっています。

同居家族別の妊産婦・未就学児と小・中学生では、「出産・子育てに係る経済支援を充実させる」、「保育所（園）・子ども園の充実を図る」、「子どもの居場所を確保する」で、それぞれ全体より高くなっています。

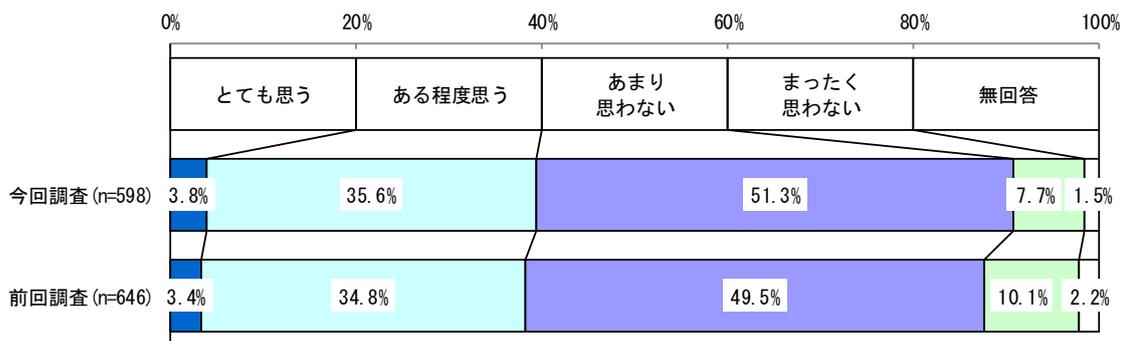
問 10 あなたの暮らす地区は、高齢者や障がいのある方、子育て家庭などを、お互いに支え合う雰囲気があると思いますか。(1つに○)



地区に支え合う雰囲気があると思うかについては、「あまり思わない」が51.3%で最も高くなっています。

「とても思う」(3.8%)と「ある程度思う」(35.6%)を合わせた「雰囲気があると思う」は全体の39.4%、「あまり思わない」(51.3%)と「まったく思わない」(7.7%)を合わせた「雰囲気があると思わない」は全体の59.0%で、「雰囲気があると思わない」が上回っています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「雰囲気があると思う」(38.2%)と比べ、やや上回っています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別・居住歴別・同居家族別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	雰囲気があると思う	雰囲気があると思わない	無回答
全体		598	39.5	59.0	1.5
性別	男性	279	39.8	59.1	1.1
	女性	317	39.4	58.7	1.9
年齢	10・20 歳代	56	55.4	41.1	3.6
	30 歳代	59	40.7	57.6	1.7
	40 歳代	80	33.8	66.3	0.0
	50 歳代	99	37.4	59.6	3.0
	60 歳代	173	34.7	64.7	0.6
	70 歳以上	129	44.2	54.3	1.6
居住地区	中央地区	97	50.5	47.4	2.1
	豊栄地区	55	38.2	60.0	1.8
	須賀地区	51	39.2	58.8	2.0
	匠瑳地区	47	34.0	66.0	0.0
	豊和地区	40	52.5	47.5	0.0
	吉田地区	21	66.7	33.3	0.0
	飯高地区	17	29.4	70.6	0.0
	共興地区	42	42.9	54.8	2.4
	平和地区	54	31.5	66.7	1.9
	椿海地区	68	35.3	61.8	2.9
	野田地区	56	30.4	69.6	0.0
	栄地区	46	30.4	67.4	2.2
	居住歴	ずっと市内に住んでいる	210	46.2	52.4
市外での居住経験がある		147	32.0	66.0	2.0
県内の他の市町村出身である		152	39.5	59.9	0.7
県外の出身である		83	37.3	60.2	2.4
同居家族	妊産婦・未就学児	58	34.5	63.8	1.7
	小・中学生	97	40.2	58.8	1.0
	介護を必要とする方	58	39.7	60.3	0.0
	障がいのある方	62	25.8	71.0	3.2
	いずれもない	352	41.8	56.5	1.7

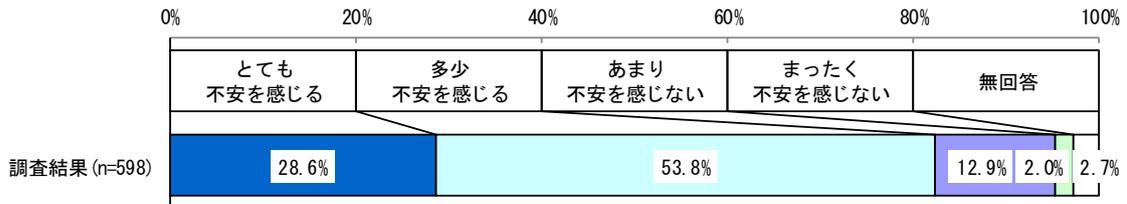
年齢別の10・20歳代では、「雰囲気があると思う」との回答が全体より高くなっています。

居住地区別の吉田地区、豊和地区、中央地区では、「雰囲気があると思う」との回答が「雰囲気があると思わない」との回答を上回っており、最も多い吉田地区は6割台となっています。一方、「雰囲気があると思わない」との回答については、飯高地区、野田地区で7割前後と高くなっています。

居住歴別のずっと市内に住んでいるでは、「雰囲気があると思う」との回答が全体より高くなっているのに対し、市外での居住経験ありでは「雰囲気があると思わない」との回答が全体より高くなっています。

同居家族別の障がいのある方では、「雰囲気があると思わない」との回答が全体より高くなっています。

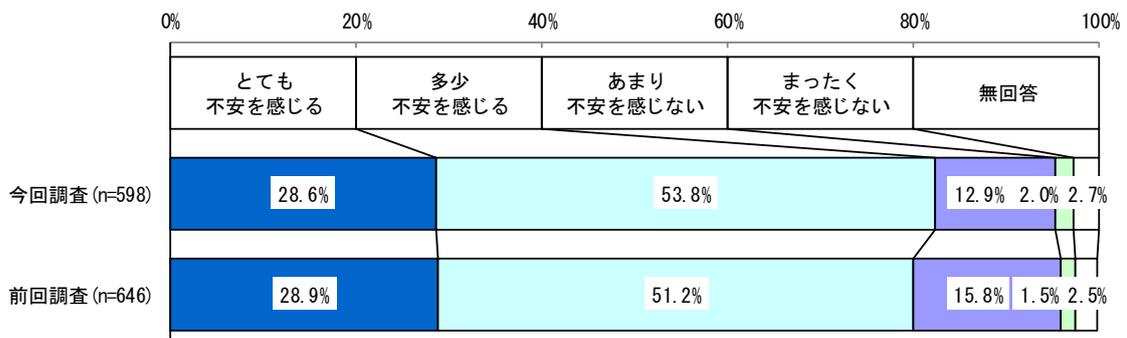
問 11 あなたは、現在の医療体制をどう感じていますか。(1つに○)



現在の医療体制については、「多少不安を感じる」が53.8%で最も高くなっています。

「とても不安を感じる」(28.6%)と「多少不安を感じる」を合わせた「不安を感じる」は全体の82.4%、「あまり不安を感じない」(12.9%)と「まったく不安を感じない」(2.0%)を合わせた「不安を感じない」は全体の14.9%で、「不安を感じる」が8割を超えて非常に高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「不安を感じる」(80.1%)と比べ、やや上回っています。

●●● 性別・年齢別・同居家族別に見た傾向

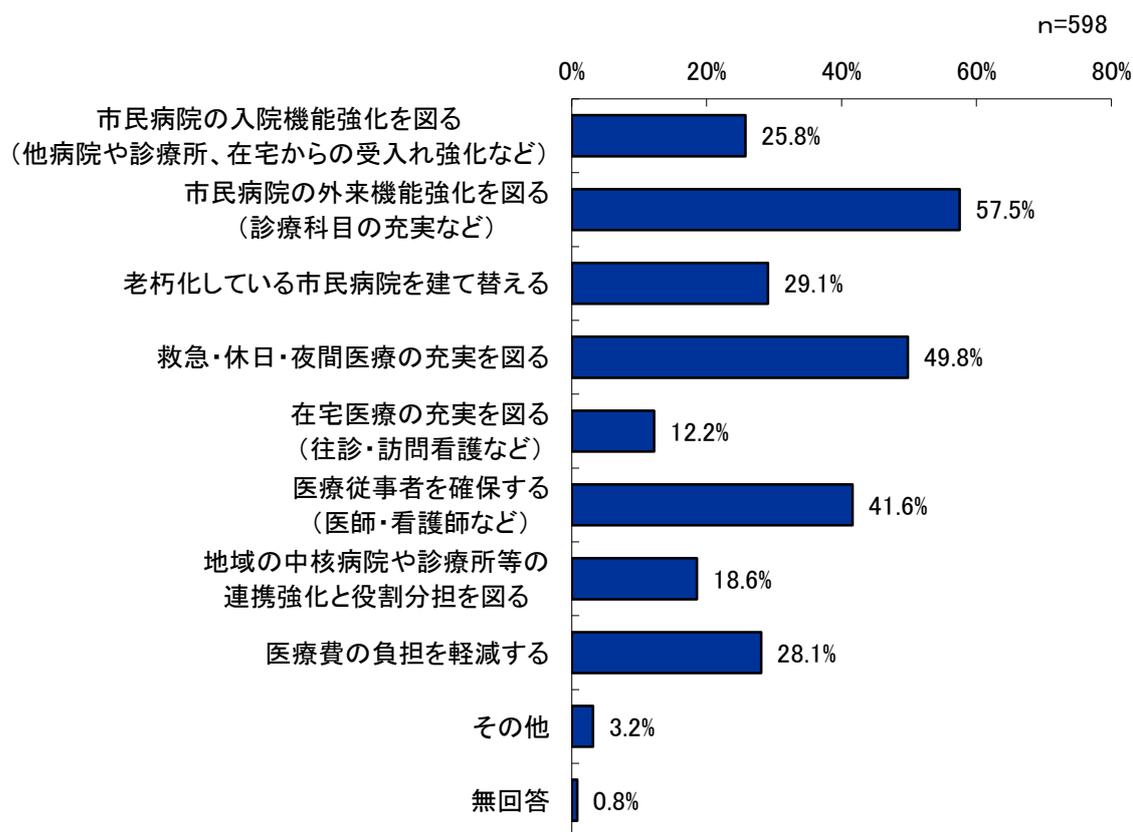
(単位：%)

		回答者数 (n)	「不安を感じる」	「不安を感じない」	無回答
全体		598	82.4	14.9	2.7
性別	男性	279	78.1	19.7	2.2
	女性	317	86.1	10.7	3.2
年齢	10・20 歳代	56	58.9	39.3	1.8
	30 歳代	59	76.3	22.0	1.7
	40 歳代	80	90.0	8.8	1.3
	50 歳代	99	86.9	10.1	3.0
	60 歳代	173	90.2	7.5	2.3
	70 歳以上	129	76.7	18.6	4.7
同居家族	妊産婦・未就学児	58	77.6	19.0	3.4
	小・中学生	97	85.6	10.3	4.1
	介護を必要とする方	58	91.4	6.9	1.7
	障がいのある方	62	85.5	12.9	1.6
	いずれもない	352	79.8	17.0	3.1

年齢別の 60 歳代や 40 歳代では、「不安を感じる」が 9 割を超え、非常に高くなっています。

同居家族別の介護を必要とする方では、「不安を感じる」が 9 割を超え、非常に高くなっています。

問 12 地域の医療環境への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)



地域の医療環境への重要な取組については、「市民病院の外来機能強化を図る」との回答が 57.5%で最も高く、次いで「救急・休日・夜間医療の充実を図る」が 49.8%、「医療従事者を確保する」が 41.6%などとなっています。

前回調査との比較については、選択肢の数や表現が異なるため、参考として掲載します。

◆◆◆ 前回調査との比較 (参考)

(単位：%)

今回調査 (n=598)		前回調査 (n=646)	
市民病院の入院機能強化を図る (他病院や診療所、在宅からの受入れ強化など)	25.8	市民病院の機能強化を図る	68.0
市民病院の外来機能強化を図る (診療科目の充実など)	57.5		
老朽化している市民病院を建て替える	29.1		
救急・休日・夜間医療の充実を図る	49.8	救急・休日・夜間医療の充実を図る	57.0
在宅医療の充実を図る (往診・訪問看護など)	12.2	在宅医療の充実を図る (往診・訪問看護など)	24.5
医療従事者を確保する (医師・看護師など)	41.6	医療従事者を確保する (医師・看護師など)	42.6
地域の中核病院や診療所等の 連携強化と役割分担を図る	18.6	地域の中核病院や診療所等の 連携強化と役割分担を図る	28.6
医療費の負担を軽減する	28.1	医療費の負担を軽減する	39.6
その他	3.2	その他	2.5
無回答	0.8	無回答	1.5

性別・年齢別・居住地区別・同居家族別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数(n)	市民病院の入院機能強化を図る(他病院や診療所、在宅からの受入れ強化など)	市民病院の外来機能強化を図る(診療科目の充実など)	老朽化している市民病院を建て替える	救急・休日・夜間医療の充実を図る	(在宅医療の充実を図る(往診・訪問看護など)	医療従事者を確保する(医師・看護師など)	地域の中核病院や診療所等の連携強化と役割分担を図る	医療費の負担を軽減する	その他	無回答
全体		598	25.8	57.5	29.1	49.8	12.2	41.6	18.6	28.1	3.2	0.8
性別	男性	279	22.6	56.6	29.0	49.8	9.3	43.4	19.4	28.3	3.6	1.1
	女性	317	28.4	58.4	29.0	49.8	14.5	40.4	18.0	27.8	2.8	0.6
年齢	10・20歳代	56	16.1	46.4	30.4	44.6	10.7	41.1	17.9	33.9	5.4	1.8
	30歳代	59	15.3	57.6	32.2	62.7	10.2	37.3	16.9	40.7	5.1	0.0
	40歳代	80	25.0	55.0	30.0	60.0	7.5	36.3	20.0	30.0	3.8	0.0
	50歳代	99	22.2	55.6	28.3	53.5	10.1	37.4	22.2	21.2	2.0	1.0
	60歳代	173	25.4	63.6	25.4	50.3	12.1	46.2	17.3	30.1	3.5	0.6
	70歳以上	129	38.0	57.4	31.8	36.4	17.8	45.0	17.8	20.9	1.6	1.6
居住地区	中央地区	97	26.8	63.9	38.1	37.1	16.5	47.4	21.6	15.5	3.1	2.1
	豊栄地区	55	25.5	52.7	29.1	56.4	5.5	40.0	18.2	25.5	3.6	0.0
	須賀地区	51	21.6	58.8	31.4	52.9	9.8	41.2	17.6	19.6	3.9	3.9
	匝瑳地区	47	27.7	59.6	25.5	48.9	10.6	44.7	19.1	36.2	2.1	0.0
	豊和地区	40	25.0	60.0	20.0	55.0	17.5	20.0	27.5	30.0	2.5	2.5
	吉田地区	21	33.3	61.9	28.6	42.9	14.3	57.1	9.5	14.3	4.8	0.0
	飯高地区	17	29.4	47.1	17.6	41.2	11.8	52.9	11.8	29.4	0.0	0.0
	共興地区	42	23.8	57.1	33.3	54.8	4.8	47.6	16.7	33.3	2.4	0.0
	平和地区	54	20.4	57.4	25.9	59.3	16.7	42.6	13.0	31.5	9.3	0.0
	椿海地区	68	30.9	57.4	25.0	52.9	11.8	45.6	20.6	29.4	2.9	0.0
	野田地区	56	28.6	48.2	26.8	58.9	16.1	33.9	17.9	30.4	1.8	0.0
	栄地区	46	17.4	58.7	30.4	39.1	6.5	34.8	19.6	47.8	0.0	0.0
同居家族	妊産婦・未就学児	58	12.1	60.3	19.0	69.0	5.2	36.2	24.1	36.2	5.2	0.0
	小・中学生	97	22.7	59.8	32.0	55.7	10.3	30.9	20.6	38.1	3.1	1.0
	介護を必要とする方	58	25.9	60.3	36.2	37.9	17.2	48.3	24.1	27.6	3.4	0.0
	障がいのある方	62	19.4	56.5	27.4	61.3	9.7	40.3	33.9	22.6	0.0	1.6
	いずれもない	352	28.1	57.4	28.1	47.4	13.6	44.9	14.5	25.9	3.4	0.9

年齢別の60歳代では、「市民病院の外来機能強化を図る」が6割を超え、全体より高くなっています。また、「救急・休日・夜間医療の充実を図る」が30歳代と40歳代で6割を超え、全体より高くなっています。

居住地区別では、「救急・休日・夜間医療の充実を図る」が平和地区、野田地区、豊栄地区、豊和地区、共興地区で半数を超え、全体より高くなっています。「医療

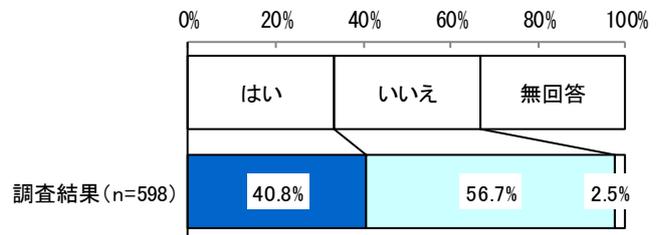
従事者を確保する」では、吉田地区、飯高地区、共興地区、中央地区が全体より高くなっています。

同居家族別の妊産婦・未就学児、障がいのある方、小・中学生では、「救急・休日・夜間医療の充実を図る」が半数を超え、全体より高くなっています。「地域の中核病院や診療所等の連携強化と役割分担を図る」では、障がいのある方や妊産婦・未就学児と介護を必要とする方が全体より高くなっています。

3 産業・経済について

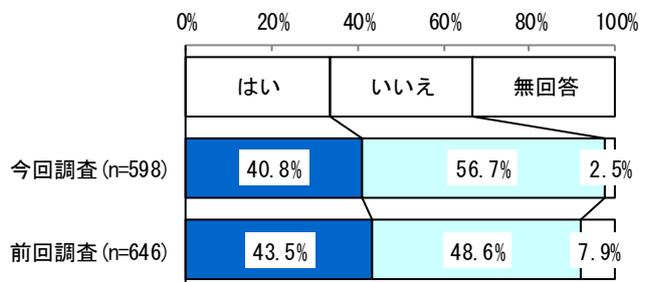
問 13 あなたは、匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。
(1つに○)

市で自慢したいことがあるかについては、「はい」と回答した人は40.8%となっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査と比較すると、「いいえ」と回答した人が8.1ポイント高くなっています。



○○○ 性別・年齢別に見た傾向

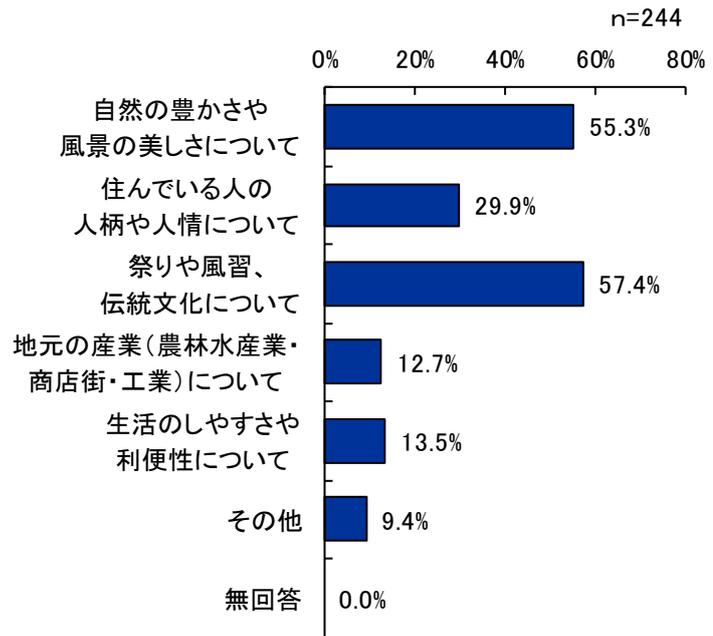
(単位：%)

		回答者数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		598	40.8	56.7	2.5
性別	男性	279	36.9	61.6	1.4
	女性	317	44.2	52.7	3.2
年齢	10・20 歳代	56	44.6	55.4	0.0
	30 歳代	59	54.2	44.1	1.7
	40 歳代	80	35.0	63.8	1.3
	50 歳代	99	47.5	51.5	1.0
	60 歳代	173	34.1	63.0	2.9
	70 歳以上	129	40.3	55.0	4.7

年齢別の30歳代では、「はい」との回答が半数を超えていますが、40歳代、60歳代では3割台と全体より低くなっています。

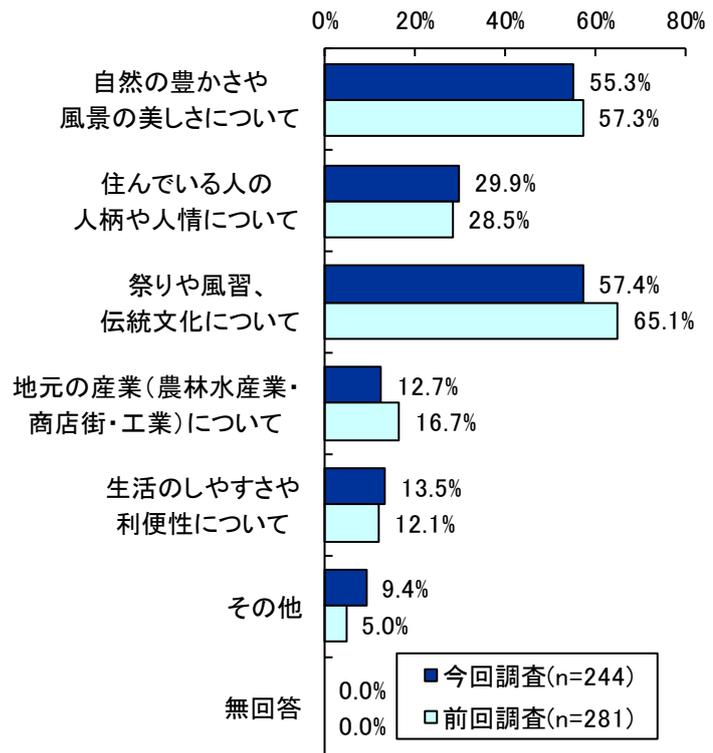
問 13-1 それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

市で自慢したいことがあるかについて「はい」と回答した人の、自慢したい内容については、「祭りや風習、伝統文化について」が57.4%で最も高く、次いで「自然の豊かさや風景の美しさについて」が55.3%、「住んでいる人の人柄や人情について」が29.9%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「祭りや風習、伝統文化について」との回答が7.7ポイント低くなっているものの、前回調査に続いて最も高い項目となっています。



〇●〇 性別・年齢別・居住歴別に見た傾向

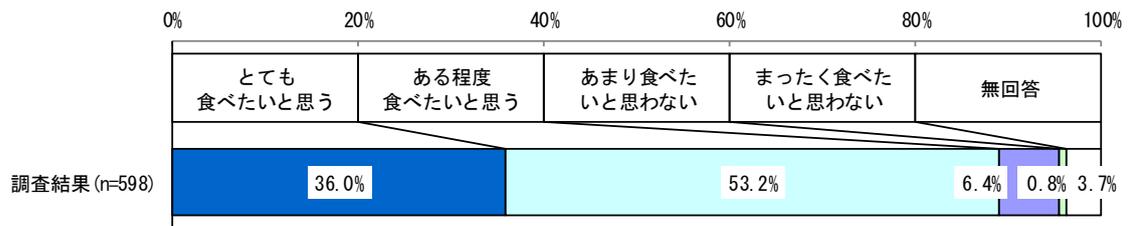
(単位：%)

		回答者数 (n)	自然の豊かさや 風景の美しさについて	住んでいる人の 人柄や人情について	祭りや風習、 伝統文化について	地元の産業(農林水産業・ 商店街・工業)について	生活のしやすさや 利便性について	その他	無回答
全体		244	55.3	29.9	57.4	12.7	13.5	9.4	0.0
性別	男性	103	60.2	35.0	51.5	15.5	14.6	11.7	0.0
	女性	140	52.1	26.4	61.4	10.7	12.9	7.9	0.0
年齢	10・20 歳代	25	48.0	16.0	76.0	16.0	12.0	4.0	0.0
	30 歳代	32	34.4	15.6	59.4	25.0	18.8	15.6	0.0
	40 歳代	28	50.0	14.3	64.3	10.7	7.1	17.9	0.0
	50 歳代	47	66.0	21.3	51.1	12.8	8.5	10.6	0.0
	60 歳代	59	64.4	42.4	44.1	8.5	10.2	8.5	0.0
	70 歳以上	52	55.8	48.1	63.5	9.6	23.1	3.8	0.0
居住歴	ずっと市内に住んでいる	84	59.5	34.5	58.3	11.9	10.7	3.6	0.0
	市外での居住経験あり	52	46.2	15.4	65.4	17.3	11.5	15.4	0.0
	県内の他の市町村出身	68	50.0	30.9	61.8	11.8	22.1	7.4	0.0
	県外出身	38	68.4	39.5	36.8	10.5	7.9	18.4	0.0

年齢別の40歳代以下では、「自然の豊かさや風景の美しさについて」が全体より低くなっているのに対し、50歳代と60歳代で6割を超え、全体より高くなっています。一方、「祭りや風習、伝統文化について」は10・20歳代が7割を、40歳代と70歳以上では6割を超え、全体より高くなっています。

居住歴別の市外での居住経験ありでは、「祭りや風習、伝統文化について」が全体より高くなっています。県内の他の市町村出身では、「生活のしやすさや利便性について」が全体より高くなっています。県外出身では、「自然の豊かさや風景の美しさについて」、「住んでいる人の人柄や人情について」が全体より高くなっています。

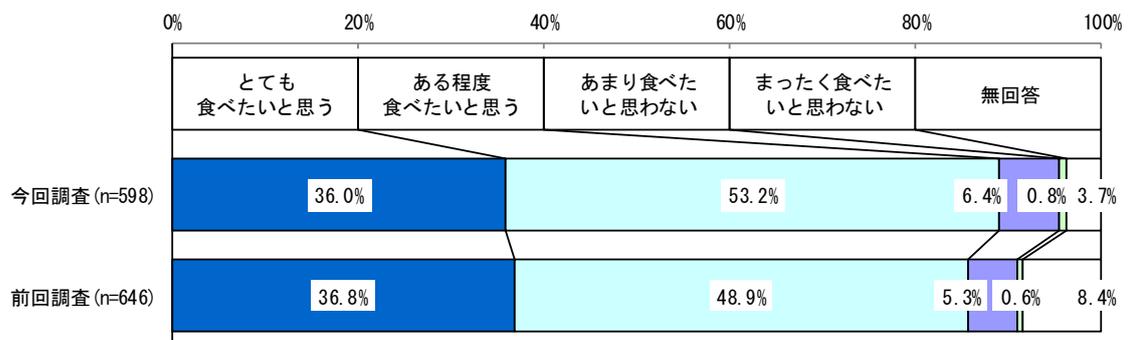
問 14 あなたは、地元で採れた農水産物を進んで食べたいと思いますか。(1つに○)



地元で採れた農水産物を進んで食べたいかについては、「ある程度食べたいと思う」との回答が 53.2% で最も高くなっています。

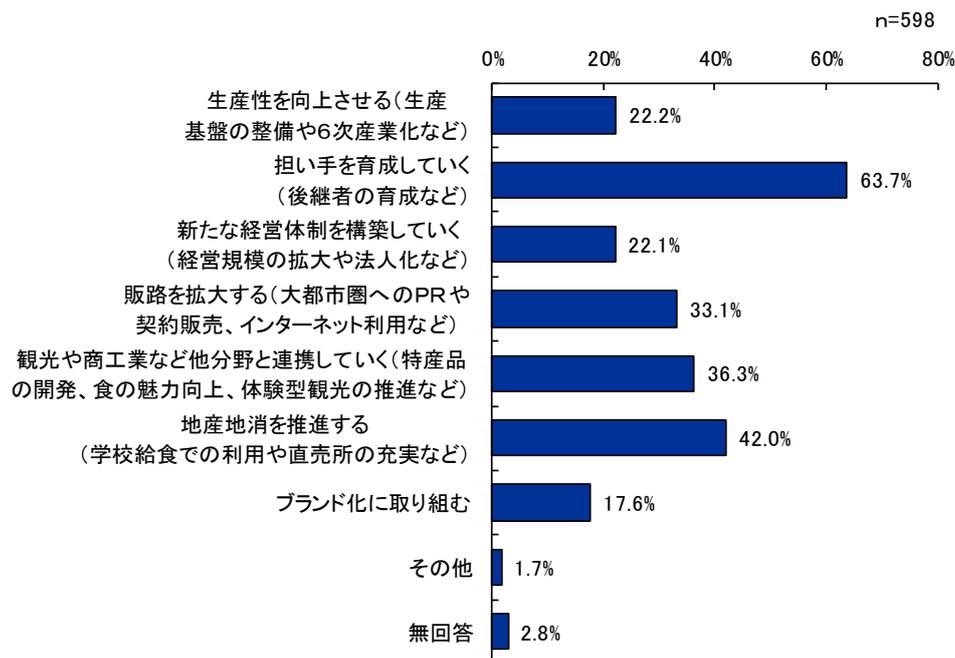
「とても食べたいと思う」(36.0%) と「ある程度食べたいと思う」を合わせた「食べたいと思う」は 89.2% と非常に高くなっています

◆◆◆ 前回調査との比較



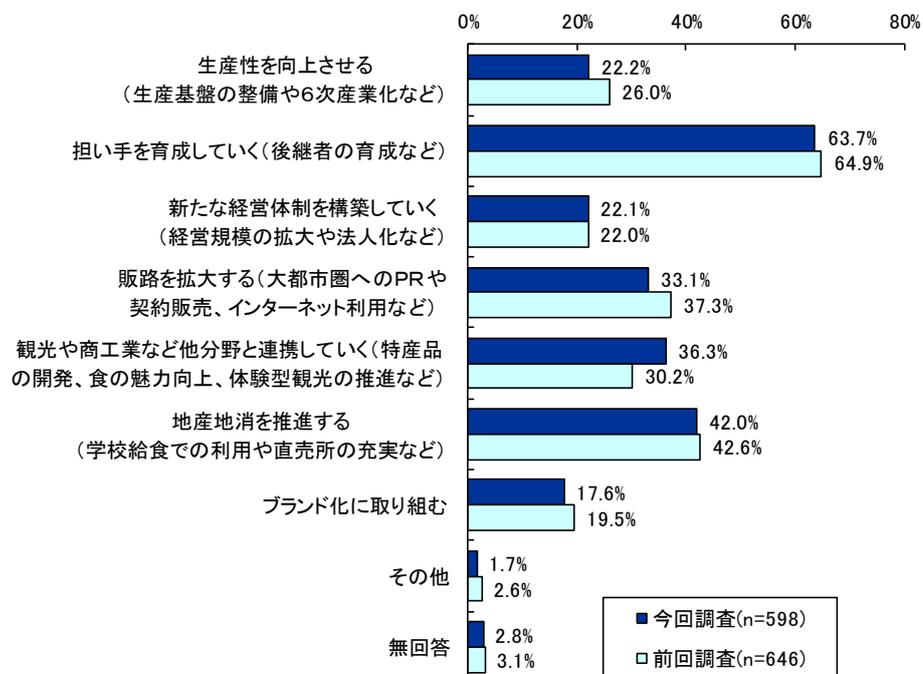
前回調査との比較では、前回調査の「食べたいと思う」(85.7%) と比べ、やや上回っています。

問 15 市の農林水産業振興への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)



農林水産業振興への重要な取組については、「担い手を育成していく」が63.7%で最も高く、次いで「地産地消を推進する」が42.0%、「観光や商工業など他分野と連携していく」が36.3%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「観光や商工業など他分野と連携していく」が前回調査より6.1ポイント高くなっています。

性別・年齢別・職業別に見た傾向

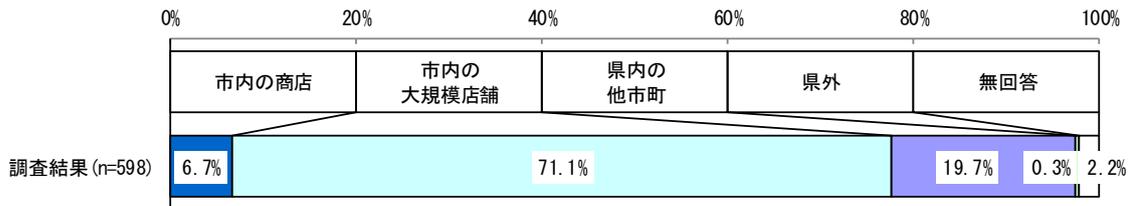
(単位：%)

		回答者数 (n)	生産性を向上させる(生産基盤の整備や6次産業化など)	担い手を育成していく(後継者の育成など)	新たな経営体制構築していく(経営規模の拡大や法人化など)	販路を拡大する(大都市圏へのPRや契約販売、インターネット利用など)	観光や商工業など他分野と連携していく(特産品の開発、食の魅力向上、体験型観光の推進)	地産地消を推進する(学校給食での利用や直売所の充実など)	ブランド化に取り組む	その他	無回答
全体		598	22.2	63.7	22.1	33.1	36.3	42.0	17.6	1.7	2.8
性別	男性	279	28.0	60.6	22.6	35.8	35.5	36.9	18.6	2.5	2.2
	女性	317	17.4	66.6	21.8	30.6	36.9	46.4	16.4	0.9	3.5
年齢	10・20歳代	56	21.4	57.1	23.2	35.7	30.4	39.3	23.2	0.0	0.0
	30歳代	59	18.6	72.9	15.3	42.4	52.5	44.1	13.6	1.7	1.7
	40歳代	80	22.5	67.5	20.0	36.3	50.0	32.5	21.3	0.0	0.0
	50歳代	99	21.2	53.5	23.2	29.3	42.4	41.4	15.2	4.0	1.0
	60歳代	173	23.7	65.9	23.1	32.4	32.9	43.4	20.2	2.9	2.3
	70歳以上	129	23.3	65.1	24.0	29.5	22.5	46.5	12.4	0.0	8.5
職業	農林漁業	54	33.3	68.5	18.5	31.5	20.4	48.1	7.4	0.0	1.9
	商工・サービス・飲食・自由業	58	27.6	56.9	17.2	24.1	32.8	44.8	24.1	3.4	3.4
	会社員・団体職員・公務員	188	23.4	63.3	18.6	37.8	45.2	37.8	17.6	1.6	1.6
	学生	27	14.8	51.9	22.2	33.3	29.6	40.7	25.9	0.0	0.0
	家事(パートタイム含む)	91	16.5	69.2	23.1	31.9	44.0	46.2	19.8	3.3	1.1
	無職	150	21.3	67.3	28.0	30.7	28.7	43.3	15.3	0.0	5.3
	その他	23	13.0	47.8	21.7	43.5	43.5	30.4	17.4	8.7	4.3

年齢別の30歳代では、「担い手を育成していく」、「観光や商工業など他分野と連携していく」、「販路を拡大する」が全体より高くなっています。

職業別の農林漁業では、「担い手を育成していく」が最も高く、「地産地消を推進する」、「生産性を向上させる」が全体より高くなっています。

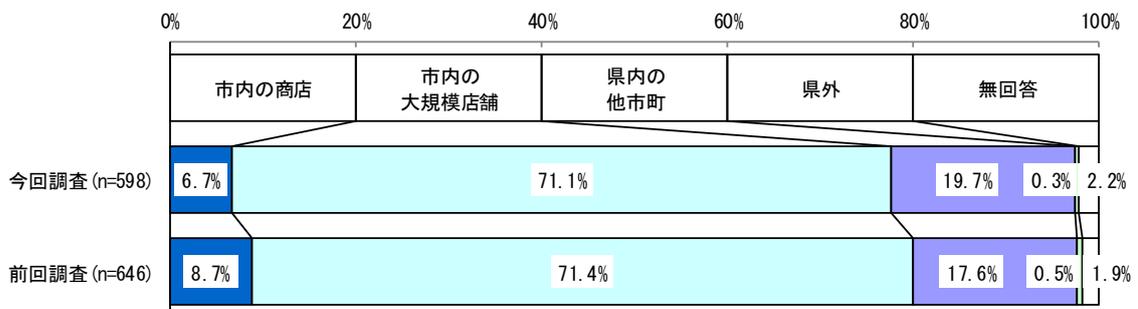
問 16 あなたは、主にどこで日常生活の買い物をしますか。(1つに○)



日常の買い物については、「市内の大規模店舗」との回答が 71.1% で最も高くなっており、次いで「県内の他市町」が 19.7%、「市内の商店」が 6.7% となっています。

「市内の商店」と「市内の大規模店舗」を合わせた「市内で買い物をする」人の割合は全体の 77.8% です。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「市内で買い物をする」人の割合 (80.1%) と比べ、やや下回っています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

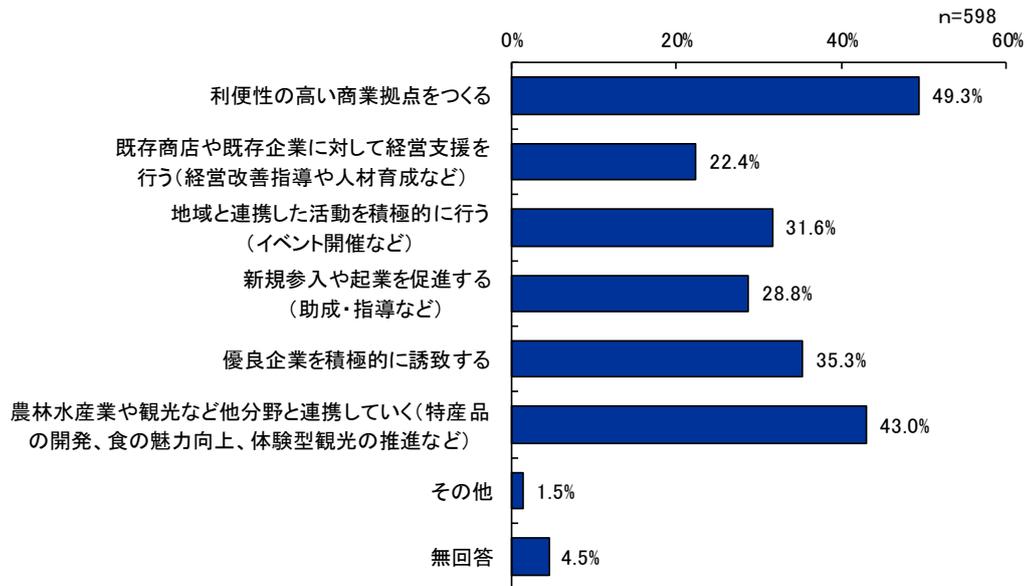
(単位：%)

		回答者数 (n)	市内の商店	市内の 大規模店舗	県内の 他市町	県外	無回答
全体		598	6.7	71.1	19.7	0.3	2.2
性別	男性	279	6.5	72.4	17.9	0.7	2.5
	女性	317	6.6	70.0	21.5	0.0	1.9
年齢	10・20歳代	56	7.1	66.1	23.2	3.6	0.0
	30歳代	59	1.7	67.8	28.8	0.0	1.7
	40歳代	80	6.3	68.8	23.8	0.0	1.3
	50歳代	99	5.1	66.7	25.3	0.0	3.0
	60歳代	173	6.4	74.6	16.2	0.0	2.9
	70歳以上	129	10.1	75.2	12.4	0.0	2.3
居住地区	中央地区	97	5.2	85.6	9.3	0.0	0.0
	豊栄地区	55	10.9	78.2	9.1	0.0	1.8
	須賀地区	51	3.9	64.7	27.5	0.0	3.9
	匝瑳地区	47	12.8	72.3	10.6	0.0	4.3
	豊和地区	40	0.0	77.5	20.0	0.0	2.5
	吉田地区	21	4.8	61.9	28.6	4.8	0.0
	飯高地区	17	0.0	82.4	11.8	0.0	5.9
	共興地区	42	9.5	66.7	19.0	2.4	2.4
	平和地区	54	5.6	59.3	29.6	0.0	5.6
	椿海地区	68	1.5	64.7	32.4	0.0	1.5
	野田地区	56	14.3	75.0	8.9	0.0	1.8
	栄地区	46	6.5	56.5	37.0	0.0	0.0

年齢別の50歳代以下では、「市内の大規模店舗」が6割台、「県内の他市町」が2割台となっている一方、60歳代以上では、「市内の大規模店舗」が7割台、「県内の他市町」が1割台となっています。

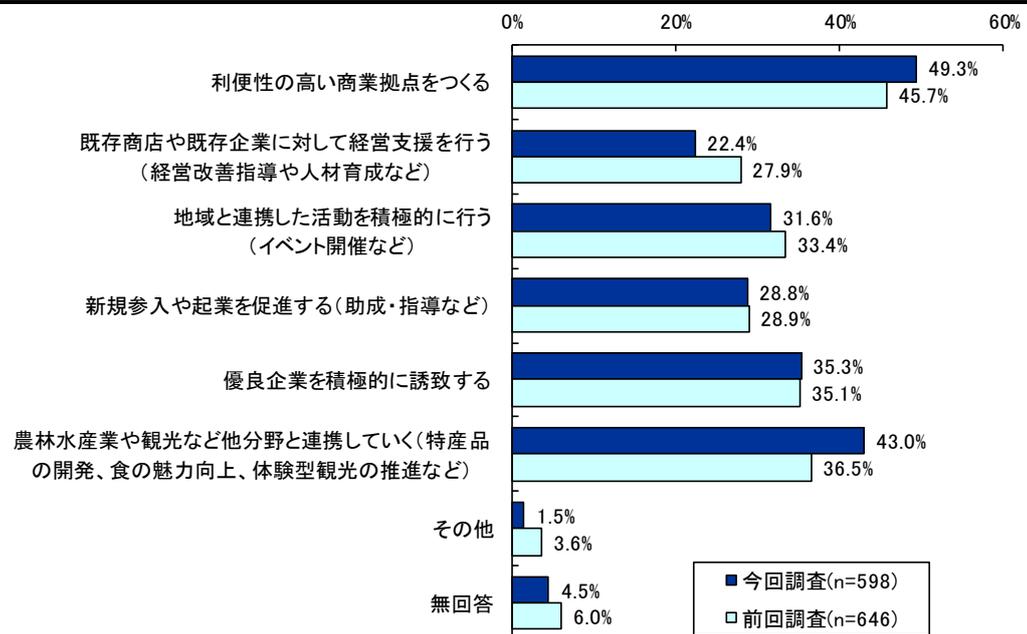
居住地区別の野田地区、匝瑳地区では、「市内の商店」が全体より高くなっています。中央地区、飯高地区、豊栄地区、豊和地区では、「市内の大規模店舗」が全体より高くなっています。栄地区、椿海地区、平和地区、吉田地区、須賀地区では、「県内の他市町」が全体より高くなっています。

問 17 市の商工業振興への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)



商工業振興への重要な取組については、「利便性の高い商業拠点をつくる」との回答が 49.3%で最も高く、次いで「農林水産業や観光など他分野と連携していく」が 43.0%、「優良企業を積極的に誘致する」が 35.3%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「農林水産業や観光など他分野と連携していく」が前回調査に比べ 6.5 ポイント高くなっており、一方で、「既存商店や既存企業に対して経営支援を行う」は 5.5 ポイント低くなっています。

性別・年齢別・職業別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	利便性の高い商業拠点をつくる	既存商店や既存企業に対して経営支援を行う(経営改善指導や人材育成など)	地域と連携した活動を積極的に行う(イベント開催など)	新規参入や起業を促進する(助成・指導など)	優良企業を積極的に誘致する	農林水産業や観光など他分野と連携していく(特産品の開発、食の魅力向上、体験型観光の推進など)	その他	無回答
全体		598	49.3	22.4	31.6	28.8	35.3	43.0	1.5	4.5
性別	男性	279	50.5	17.6	30.5	31.2	40.1	42.7	2.5	3.9
	女性	317	48.3	26.8	32.5	26.5	30.9	43.2	0.6	5.0
年齢	10・20歳代	56	55.4	26.8	28.6	35.7	42.9	25.0	0.0	1.8
	30歳代	59	64.4	22.0	27.1	42.4	37.3	37.3	1.7	0.0
	40歳代	80	60.0	20.0	40.0	25.0	33.8	40.0	2.5	1.3
	50歳代	99	45.5	26.3	23.2	25.3	33.3	48.5	2.0	3.0
	60歳代	173	45.7	19.7	30.1	31.8	38.2	46.2	1.7	5.2
	70歳以上	129	41.1	23.3	38.0	20.2	29.5	46.5	0.8	10.1
職業	農林漁業	54	42.6	16.7	24.1	25.9	29.6	46.3	1.9	3.7
	商工・サービス・飲食・自由業	58	51.7	29.3	37.9	32.8	36.2	36.2	3.4	1.7
	会社員・団体職員・公務員	188	59.0	19.7	30.3	29.8	37.8	42.0	2.1	2.7
	学生	27	55.6	14.8	25.9	37.0	48.1	22.2	0.0	0.0
	家事(パートタイム含む)	91	52.7	26.4	30.8	25.3	34.1	46.2	1.1	4.4
	無職	150	38.0	22.7	34.7	28.0	34.7	47.3	0.7	8.0
	その他	23	34.8	34.8	30.4	26.1	21.7	43.5	0.0	8.7

年齢別の40歳代以下では、「利便性の高い商業拠点を作る」が半数を超え、全体よりも高くなっています。また、30歳代以下では、「新規参入や起業を促進する」が全体よりも高く、10・20歳代では、「優良企業を積極的に誘致する」が全体よりも高いなど、新規の起業や拠点整備への回答が高くなっています。50歳代では、「農林水産業や観光など他分野と連携していく」が、70歳以上では、「地域と連携した活動を積極的に行う」が全体より高くなっています。

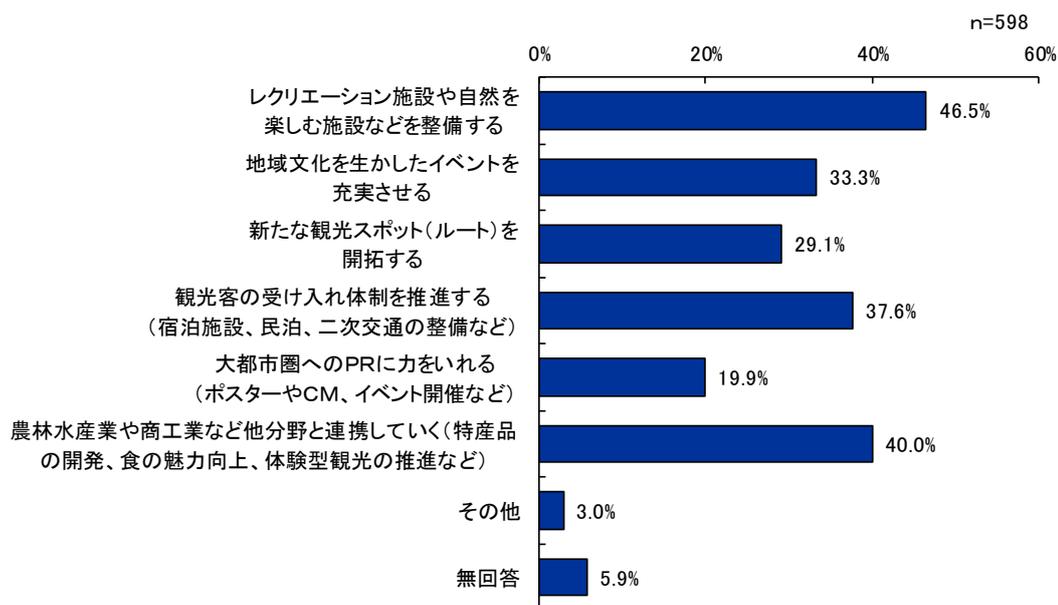
職業別の商工・サービス・飲食・自由業では、「既存商店や既存企業に対して経営支援を行う」、「地域と連携した活動を積極的に行う」が全体より高くなっています。

問 18 あなたは、市の観光資源となりうるものは何だと思いますか。(自由記入)

■ 回答の分類

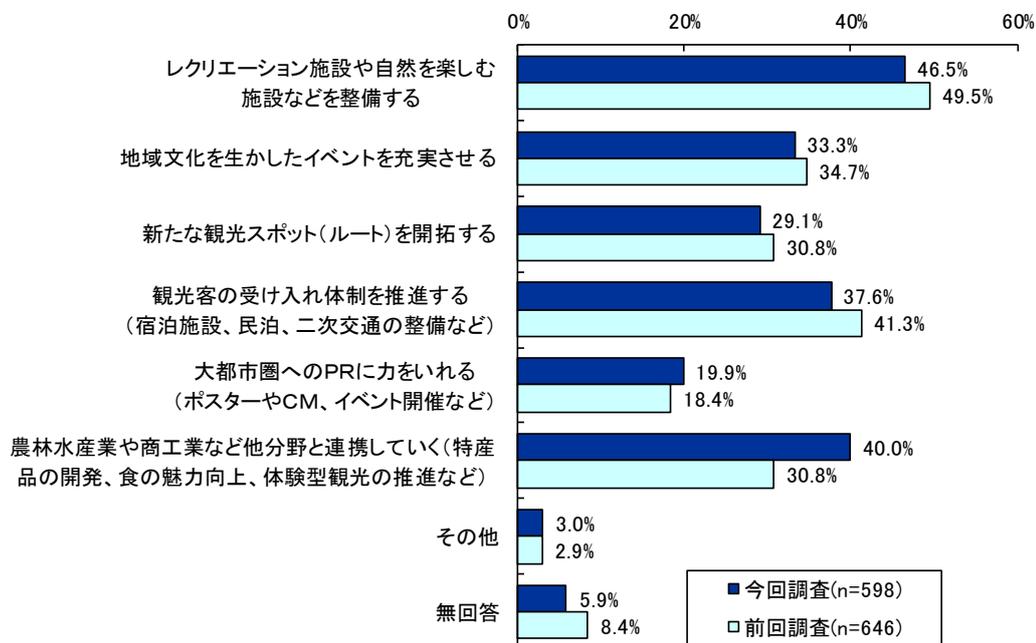
分 類	件数(件)
自然	61
海	44
農産物・特産物	42
飯高檀林跡(飯高寺)	40
植木	37
祭り・イベント(祇園祭以外)	20
祇園祭	9
改善点がある(既存施設が物足りない、交通手段の充実等)	7
神社仏閣(飯高寺以外)	6
映画・CM 撮影場所の提供・運営	5
伝統・文化	4
松山庭園美術館	3
旅館・ホテル	3
道の駅	3
ソーサマン	3
公園・遊歩道	3
史跡・文化財	3
空き家・空き地	2
ふれあいパーク八日市場	2
キャンプ場	2
暮らしやすさ	2
その他	8

問 19 市の観光振興への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)



観光振興への重要な取組については、「レクリエーション施設や自然を楽しむ施設などを整備する」が46.5%で最も高く、次いで「農林水産業や商工業など他分野と連携していく」が40.0%、「観光客の受け入れ体制を推進する」が37.6%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「農林水産業や商工業など他分野と連携していく」との回答が前回調査に比べ9.2ポイント高くなっています。

性別・年齢別・居住歴別に見た傾向

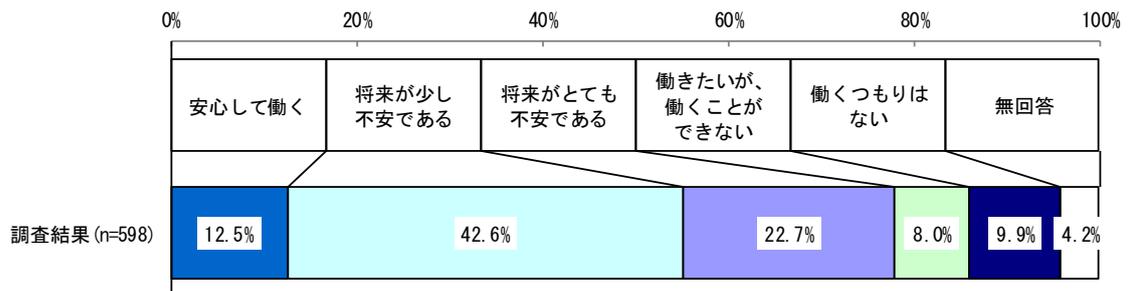
(単位：%)

		回答者数 (n)	レクリエーション施設や自然を楽しむ施設などを整備する	地域文化を生かしたイベントを充実させる	新たな観光スポット(ルート)を開拓する	観光客の受け入れ体制を推進する (宿泊施設、民泊、二次交通の整備など)	大都市圏へのPRに力をいれる (ポスターやCM、イベント開催など)	農林水産業や商工業など他分野と連携していく(特産品の開発、食の魅力向上、体験型観光の推進など)	その他	無回答
全体		598	46.5	33.3	29.1	37.6	19.9	40.0	3.0	5.9
性別	男性	279	44.8	32.6	31.2	40.9	22.9	40.1	3.9	5.0
	女性	317	48.3	33.8	27.4	34.7	17.4	39.7	2.2	6.3
年齢	10・20 歳代	56	46.4	25.0	26.8	46.4	32.1	30.4	3.6	0.0
	30 歳代	59	71.2	33.9	37.3	50.8	6.8	30.5	1.7	3.4
	40 歳代	80	51.3	38.8	31.3	51.3	13.8	42.5	8.8	1.3
	50 歳代	99	45.5	31.3	26.3	29.3	23.2	37.4	2.0	6.1
	60 歳代	173	39.9	31.2	30.1	33.5	22.5	45.1	2.3	5.2
	70 歳以上	129	42.6	37.2	26.4	31.0	18.6	41.9	1.6	12.4
居住歴	ずっと市内に住んでいる	210	41.9	35.7	24.8	35.2	17.6	42.4	2.4	5.2
	市外での居住経験あり	147	44.9	29.9	29.9	44.9	20.4	36.7	5.4	5.4
	県内の他の市町村出身	152	53.9	32.2	30.3	34.2	19.1	40.1	2.6	6.6
	県外出身	83	47.0	34.9	38.6	38.6	26.5	38.6	1.2	4.8

年齢別の40歳代以下では、「観光客の受け入れ体制を推進する」が全体より高くなっています。

居住歴別の県内の他の市町村出身では、「レクリエーション施設や自然を楽しむ施設などを整備する」が、市外での居住経験ありでは、「観光客の受け入れ体制を推進する」が、県外出身では、「新たな観光スポット(ルート)を開拓する」、「大都市圏へのPRに力をいれる」が、それぞれ全体より高くなっています。

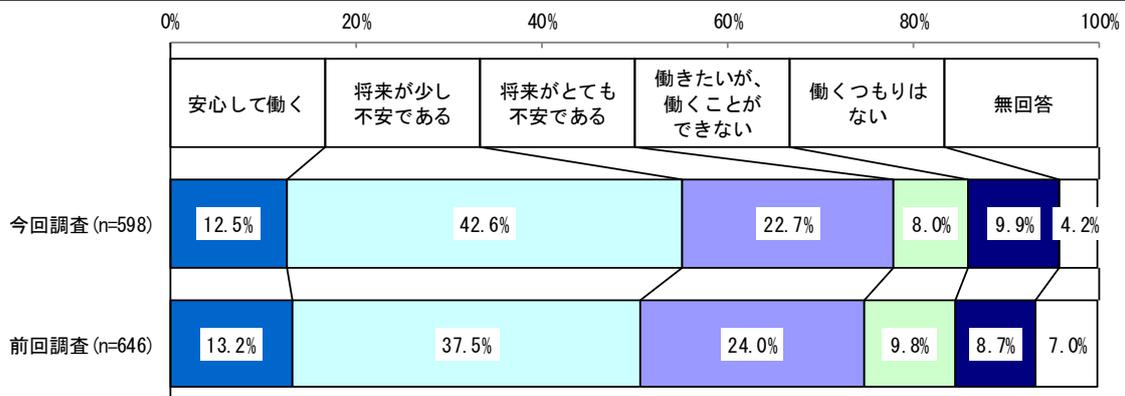
問 20 あなたは、現在の就労状況について、どのように感じていますか。(1つに○)



現在の就労状況については、「将来が少し不安である」との回答が 42.6%で最も高くなっています。「将来が少し不安である」と「将来がとても不安である」(22.7%)を合わせた「将来が不安である」は全体の 65.3%となっています。

「安心して働くことができる」と回答した人は全体の 12.5%です。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「将来が少し不安である」が前回調査に比べ、5.1ポイント高くなっています。

性別・年齢別・職業別に見た傾向

(単位：%)

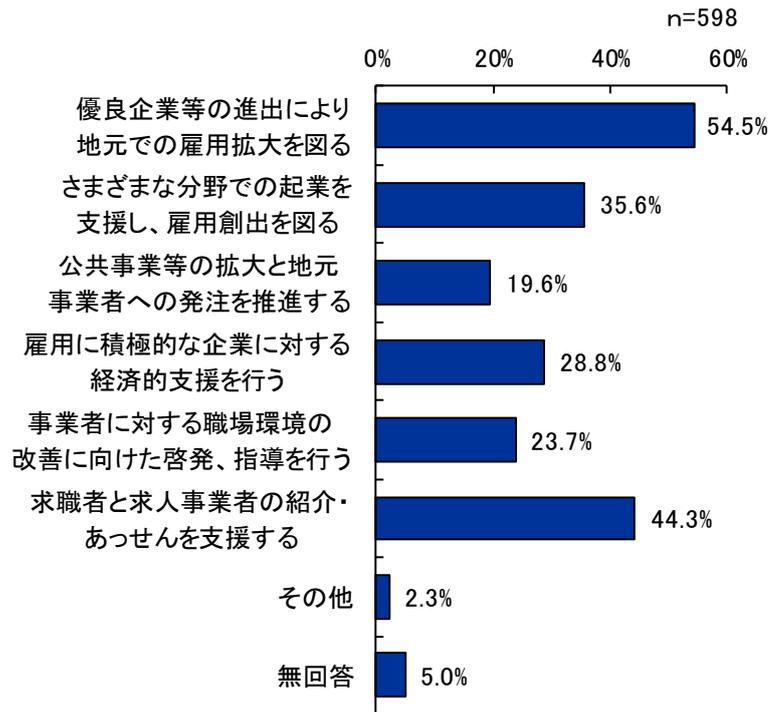
		回答者数 (n)	安心して働くことができる	将来が少し不安である	将来がとても不安である	働きたいが、働くことができない	働くつもりはない	無回答	将来が不安である (将来が少し不安である) + (将来がとても不安である)
全体		598	12.5	42.6	22.7	8.0	9.9	4.2	65.4
性別	男性	279	11.5	43.7	25.1	6.8	9.0	3.9	68.8
	女性	317	13.6	41.6	20.5	9.1	10.7	4.4	62.1
年齢	10・20 歳代	56	19.6	50.0	19.6	3.6	0.0	7.1	69.6
	30 歳代	59	20.3	54.2	23.7	0.0	1.7	0.0	78.0
	40 歳代	80	13.8	53.8	26.3	5.0	0.0	1.3	80.0
	50 歳代	99	16.2	50.5	24.2	6.1	2.0	1.0	74.7
	60 歳代	173	11.0	39.9	26.0	8.7	12.1	2.3	65.9
	70 歳以上	129	4.7	24.8	15.5	16.3	27.1	11.6	40.3
職業	農林漁業	54	16.7	42.6	33.3	1.9	5.6	0.0	75.9
	商工・サービス・飲食・自由業	58	17.2	50.0	29.3	1.7	0.0	1.7	79.3
	会社員・団体職員・公務員	188	17.6	58.5	21.8	0.5	0.5	1.1	80.3
	学生	27	14.8	51.9	11.1	7.4	0.0	14.8	63.0
	家事 (パートタイム含む)	91	14.3	42.9	25.3	9.9	7.7	0.0	68.1
	無職	150	0.7	19.3	15.3	21.3	32.0	11.3	34.7
	その他	23	21.7	39.1	30.4	4.3	0.0	4.3	69.6

年齢別の40歳代では「将来が不安である」が8割と非常に高く、30歳代、50歳代では7割台と全体より高くなっています。一方、「安心して働くことができる」については、30歳代以下で2割前後と全体より高くなっています。

職業別の会社員・団体職員・公務員や商工・サービス・飲食・自由業では「将来が不安である」が8割前後と非常に高く、農林漁業でもこれに近い結果となっています。

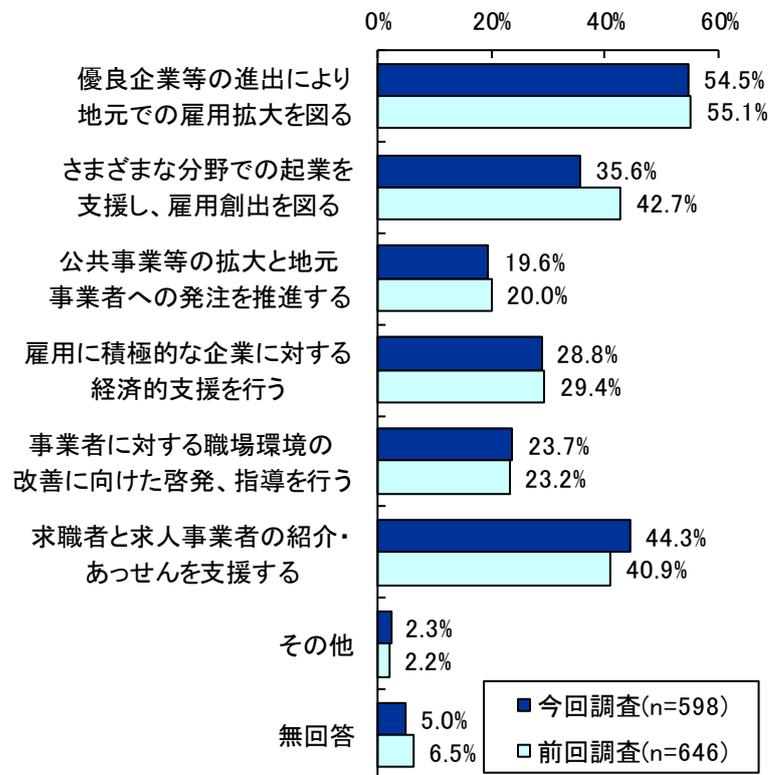
問 21 市の雇用対策として、何が重要と考えますか。(3つまで○)

市の雇用対策としては、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が54.5%で最も高く、次いで「求職者と求人事業者の紹介・あつせんを支援する」が44.3%、「さまざまな分野での起業を支援し、雇用創出を図る」が35.6%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、前回調査に引き続き「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が最も高くなっています。



※「さまざまな分野での起業を支援し、雇用創出を図る」の、前回調査時の項目は「福祉や環境といった新しい分野での雇用・起業を支援する」でした。

性別・年齢別・職業別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る	さまざまな分野での起業を支援し、雇用創出を図る	公共事業等の拡大と地元事業者への発注を推進する	雇用に積極的な企業に対する経済的支援を行う	事業者に対する職場環境の改善に向けた啓発、指導を行う	求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する	その他	無回答
全体		598	54.5	35.6	19.6	28.8	23.7	44.3	2.3	5.0
性別	男性	279	55.6	38.4	17.6	31.9	20.8	45.9	3.6	4.3
	女性	317	53.6	33.4	21.1	25.9	26.5	42.6	1.3	5.7
年齢	10・20 歳代	56	46.4	41.1	19.6	30.4	23.2	42.9	3.6	3.6
	30 歳代	59	47.5	44.1	18.6	30.5	39.0	45.8	1.7	1.7
	40 歳代	80	46.3	35.0	23.8	35.0	25.0	41.3	7.5	2.5
	50 歳代	99	57.6	32.3	17.2	23.2	21.2	52.5	1.0	4.0
	60 歳代	173	58.4	35.8	17.3	27.7	23.7	45.1	1.2	2.3
	70 歳以上	129	58.9	32.6	21.7	28.7	18.6	38.0	1.6	13.2
職業	農林漁業	54	53.7	40.7	16.7	20.4	13.0	51.9	0.0	5.6
	商工・サービス・飲食・自由業	58	60.3	27.6	27.6	27.6	15.5	48.3	3.4	1.7
	会社員・団体職員・公務員	188	51.1	41.0	21.3	29.8	29.8	47.3	3.2	2.7
	学生	27	51.9	40.7	11.1	33.3	18.5	22.2	3.7	7.4
	家事（パートタイム含む）	91	57.1	31.9	20.9	26.4	24.2	48.4	3.3	1.1
	無職	150	56.7	34.7	16.7	32.0	23.3	37.3	0.7	10.0
	その他	23	47.8	17.4	13.0	26.1	21.7	52.2	4.3	8.7

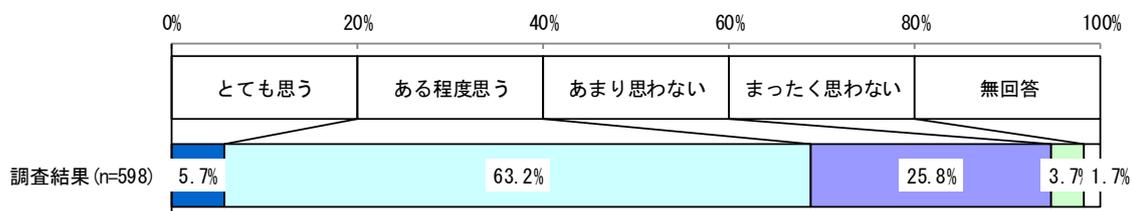
女性の「事業者に対する職場環境の改善に向けた啓発、指導を行う」との回答が、男性の回答を上回っています。

年齢別の30歳代以下では、「さまざまな分野での起業を支援し、雇用創出を図る」が4割を超え、全体より高くなっています。

職業別の商工・サービス・飲食・自由業では、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が6割を超え、全体よりも高くなっています。農林漁業では、「求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する」が5割に近く、全体より高くなっています。農林漁業、会社員・団体職員・公務員、学生では、「さまざまな分野での起業を支援し、雇用創出を図る」が4割を超え、全体より高くなっています。

4 生活環境について

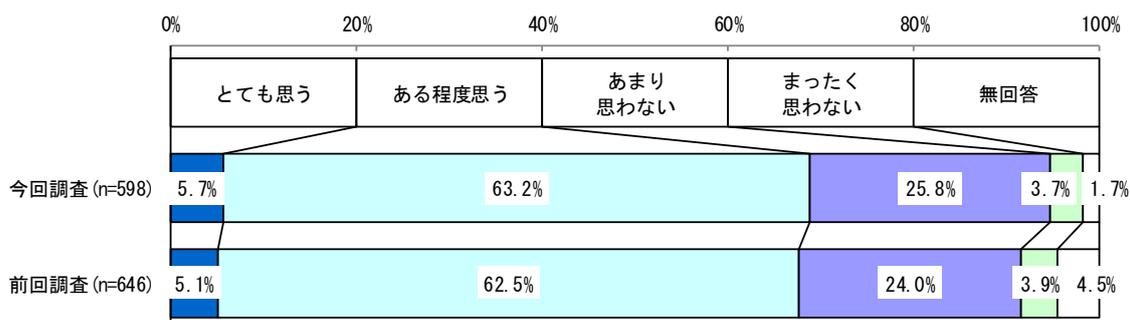
問 22 匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。(1つに○)



匝瑳市が快適に生活できる住環境と思うかについては、「ある程度思う」が63.2%で最も高くなっています。

「とても思う」と「ある程度思う」を合わせた「そう思う」は68.9%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「そう思う」(67.6%) と比べ、やや上回っています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

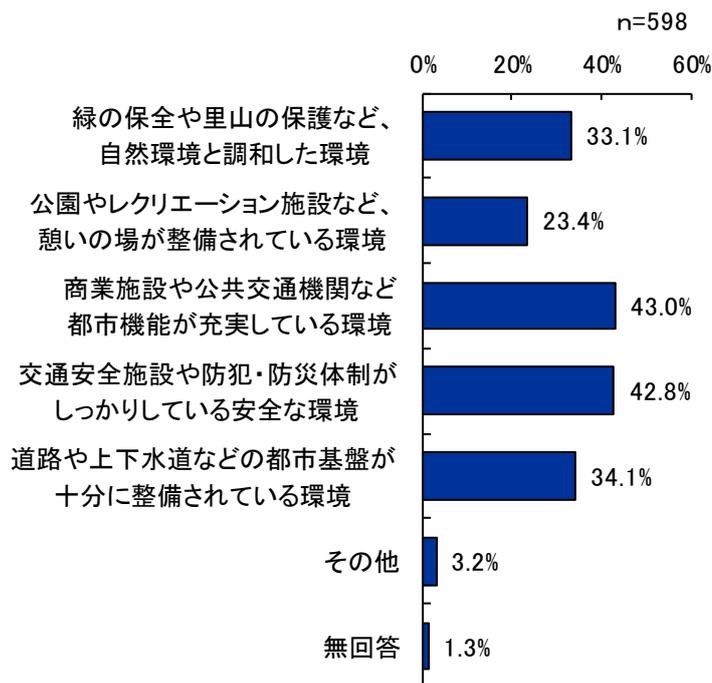
		回答者数 (n)	「そう思う」	「そう思わない」	無回答
全体		598	68.9	29.4	1.7
性別	男性	279	67.7	30.1	2.2
	女性	317	69.7	29.0	1.3
年齢	10・20 歳代	56	73.2	26.8	0.0
	30 歳代	59	69.5	30.5	0.0
	40 歳代	80	67.5	32.5	0.0
	50 歳代	99	68.7	29.3	2.0
	60 歳代	173	64.2	34.7	1.2
	70 歳以上	129	73.6	21.7	4.7
居住地区	中央地区	97	70.1	25.8	4.1
	豊栄地区	55	72.7	27.3	0.0
	須賀地区	51	70.6	29.4	0.0
	匝瑳地区	47	63.8	36.2	0.0
	豊和地区	40	77.5	20.0	2.5
	吉田地区	21	81.0	19.0	0.0
	飯高地区	17	70.6	29.4	0.0
	共興地区	42	47.6	52.4	0.0
	平和地区	54	66.7	29.6	3.7
	椿海地区	68	67.6	29.4	2.9
	野田地区	56	76.8	21.4	1.8
	栄地区	46	67.4	32.6	0.0

年齢別の 10・20 歳代と 70 歳以上では、「そう思う」との回答が 7 割を超えています。

居住地区別の共興地区と匝瑳地区では、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「そう思わない」が全体より高くなっています。共興地区は、唯一「そう思わない」が「そう思う」を上回っています。

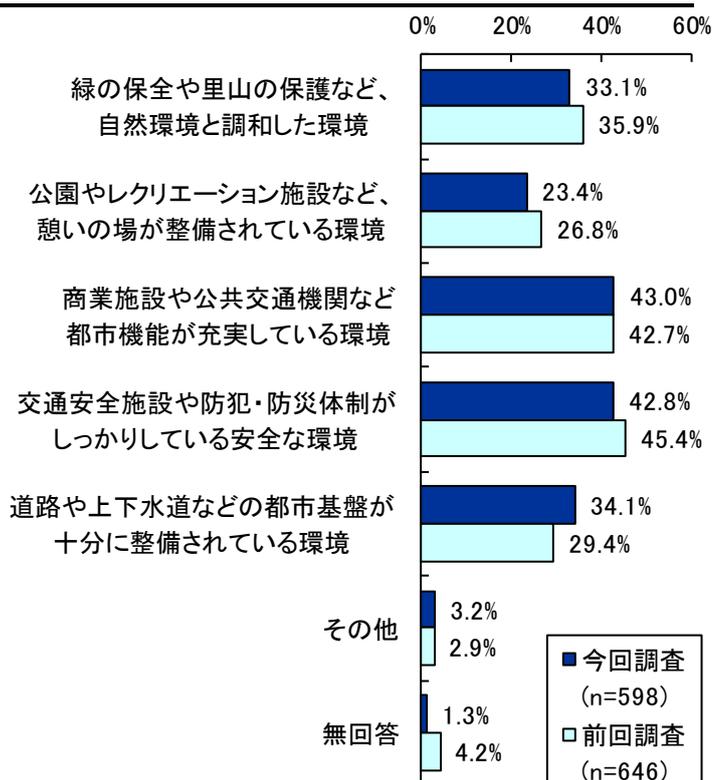
問 23 あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。(2つまで○)

住みやすい住環境については、「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」との回答が43.0%で最も高く、次いで「交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境」が42.8%、「道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境」が34.1%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」と「交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境」の順位が入れ替わっていますが、いずれも前回調査と同様に4割台の回答と高く、重視されていることが分かります。



性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

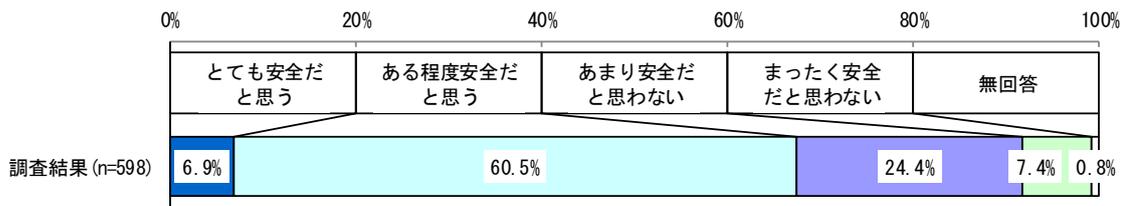
(単位：%)

		回答者数 (n)	緑の保全や里山の保護など、自然環境と調和した環境	公園やレクリエーション施設など、憩いの場が整備されている環境	商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境	交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境	道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境	その他	無回答
全体		598	33.1	23.4	43.0	42.8	34.1	3.2	1.3
性別	男性	279	35.5	22.9	39.1	41.6	39.1	2.5	0.4
	女性	317	30.9	24.0	46.4	43.8	29.7	3.8	2.2
年齢	10・20歳代	56	28.6	19.6	42.9	33.9	37.5	12.5	1.8
	30歳代	59	28.8	35.6	49.2	55.9	23.7	0.0	0.0
	40歳代	80	30.0	23.8	51.3	37.5	37.5	2.5	0.0
	50歳代	99	29.3	20.2	54.5	39.4	30.3	4.0	1.0
	60歳代	173	35.8	20.2	39.9	45.7	36.4	2.3	0.6
	70歳以上	129	38.0	26.4	30.2	42.6	34.9	1.6	3.9
居住地区	中央地区	97	42.3	25.8	38.1	42.3	26.8	1.0	4.1
	豊栄地区	55	21.8	27.3	54.5	54.5	23.6	1.8	1.8
	須賀地区	51	33.3	17.6	29.4	45.1	45.1	5.9	2.0
	匝瑳地区	47	42.6	23.4	40.4	27.7	34.0	6.4	0.0
	豊和地区	40	42.5	22.5	40.0	27.5	42.5	2.5	0.0
	吉田地区	21	33.3	33.3	42.9	38.1	28.6	4.8	0.0
	飯高地区	17	58.8	11.8	35.3	35.3	23.5	11.8	0.0
	共興地区	42	28.6	26.2	38.1	35.7	50.0	2.4	0.0
	平和地区	54	22.2	20.4	42.6	51.9	42.6	3.7	1.9
	椿海地区	68	26.5	23.5	50.0	48.5	32.4	1.5	0.0
	野田地区	56	28.6	25.0	51.8	50.0	33.9	3.6	0.0
	栄地区	46	32.6	21.7	43.5	39.1	26.1	2.2	2.2

年齢別の30歳代から50歳代では、「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」が半数前後と、全体より高くなっています。また、30歳代では、「交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境」が半数を超え、全体より高くなっています。

居住地区別の共興地区では、「道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境」が半数となっており、全体より高くなっています。飯高地区では、「緑の保全や里山の保護など、自然環境と調和した環境」が半数を超え、全体より高くなっています。

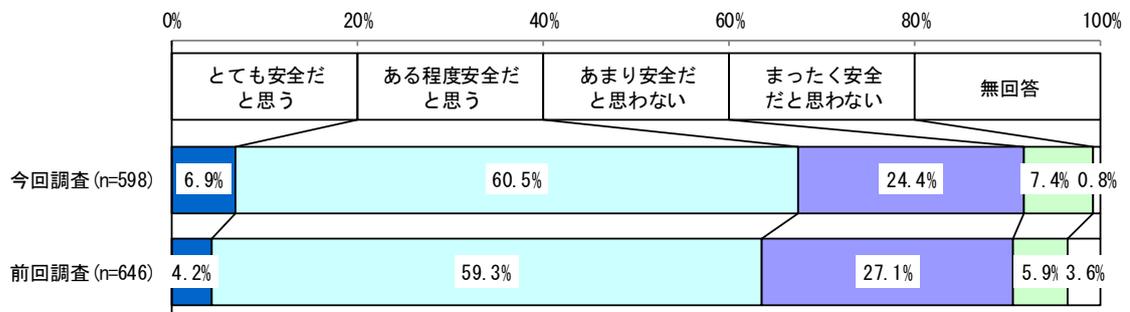
問24 あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか。(1つに○)



災害などに対し、安全と思うかについては、「ある程度安全だと思う」との回答が60.5%で最も高くなっています。

「とても安全だと思う」(6.9%)と「ある程度安全だと思う」を合わせた「安全だと思う」は全体の67.4%です。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「安全だと思う」(63.5%)と比べ、やや上回っています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

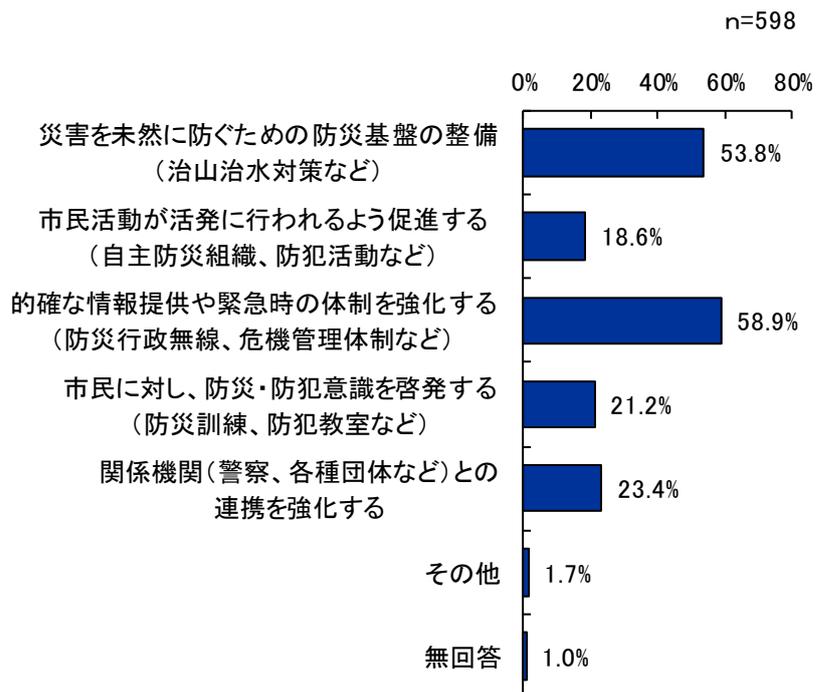
		回答者数 (n)	安全だと思う	安全だと思わない	無回答
全体		598	67.4	31.8	0.8
性別	男性	279	71.3	27.6	1.1
	女性	317	64.0	35.3	0.6
年齢	10・20 歳代	56	62.5	37.5	0.0
	30 歳代	59	81.4	18.6	0.0
	40 歳代	80	51.3	47.5	1.3
	50 歳代	99	65.7	33.3	1.0
	60 歳代	173	65.9	33.5	0.6
	70 歳以上	129	76.7	21.7	1.6
居住地区	中央地区	97	74.2	23.7	2.1
	豊栄地区	55	76.4	23.6	0.0
	須賀地区	51	80.4	19.6	0.0
	匠瑳地区	47	74.5	25.5	0.0
	豊和地区	40	67.5	30.0	2.5
	吉田地区	21	47.6	52.4	0.0
	飯高地区	17	70.6	29.4	0.0
	共興地区	42	28.6	71.4	0.0
	平和地区	54	75.9	24.1	0.0
	椿海地区	68	77.9	20.6	1.5
	野田地区	56	50.0	50.0	0.0
	栄地区	46	63.0	34.8	2.2

年齢別の40歳代では、「安全だと思わない」が4割台と全体よりも高くなっています。

居住地区別の共興地区では、「安全だと思わない」が7割を超えているのをはじめ、吉田地区、野田地区では半数を超え、全体より高くなっています。

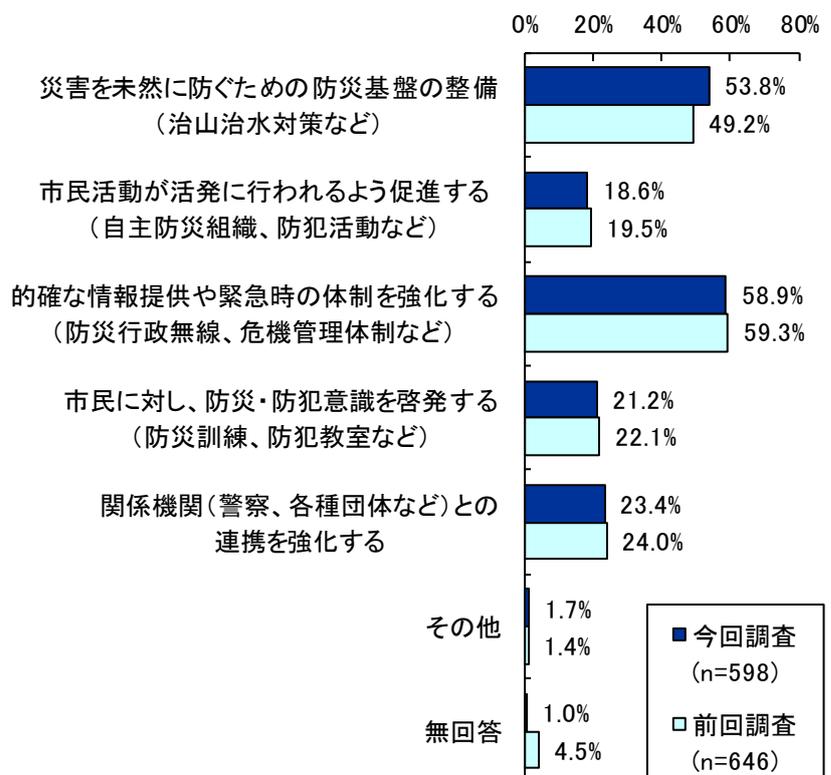
問 25 市の安全なまちづくりへの取組で、何が重要と考えますか。(2つまで○)

安全なまちづくりへの重要な取組については、「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」との回答が 58.9%で最も高く、次いで「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」が 53.8%、「関係機関との連携を強化する」が 23.4%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」と「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」が、いずれも半数以上の回答があり、前回同様に重視されていることが分かります。



性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

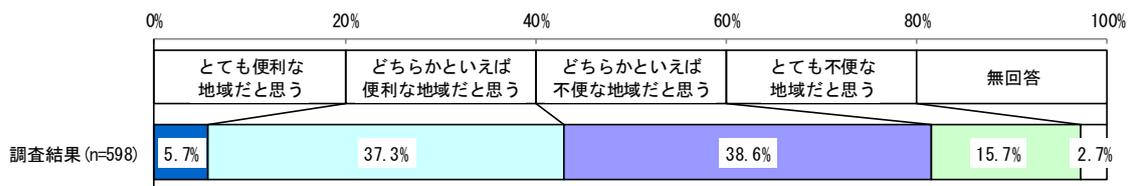
(単位：%)

		回答者数 (n)	災害を未然に防ぐための防災基盤の整備(治山治水対策など)	市民活動が活発に行われるよう促進する(自主防災組織、防犯活動など)	的確な情報提供や緊急時の体制を強化する(防災行政無線、危機管理体制など)	市民に対し、防災・防犯意識を啓発する(防災訓練、防犯教室など)	関係機関(警察、各種団体など)との連携を強化する	その他	無回答
全体		598	53.8	18.6	58.9	21.2	23.4	1.7	1.0
性別	男性	279	53.8	22.9	54.8	21.5	23.7	1.1	0.4
	女性	317	54.3	14.5	62.1	21.1	23.3	2.2	1.6
年齢	10・20歳代	56	55.4	14.3	60.7	17.9	23.2	3.6	0.0
	30歳代	59	62.7	10.2	67.8	22.0	27.1	3.4	0.0
	40歳代	80	61.3	16.3	53.8	20.0	27.5	3.8	0.0
	50歳代	99	56.6	14.1	61.6	16.2	26.3	0.0	0.0
	60歳代	173	55.5	18.5	60.7	22.5	16.8	1.7	1.2
	70歳以上	129	41.1	28.7	51.9	25.6	26.4	0.0	3.1
居住地区	中央地区	97	49.5	22.7	57.7	22.7	19.6	1.0	2.1
	豊栄地区	55	63.6	12.7	58.2	21.8	27.3	0.0	1.8
	須賀地区	51	60.8	17.6	68.6	15.7	17.6	0.0	2.0
	匝瑳地区	47	59.6	21.3	61.7	14.9	17.0	2.1	0.0
	豊和地区	40	62.5	20.0	50.0	10.0	30.0	0.0	0.0
	吉田地区	21	61.9	4.8	57.1	19.0	42.9	0.0	0.0
	飯高地区	17	52.9	17.6	70.6	23.5	17.6	0.0	0.0
	共興地区	42	50.0	23.8	47.6	21.4	23.8	2.4	2.4
	平和地区	54	59.3	20.4	68.5	25.9	11.1	3.7	0.0
	椿海地区	68	50.0	13.2	54.4	29.4	30.9	2.9	0.0
	野田地区	56	46.4	21.4	60.7	23.2	25.0	1.8	1.8
栄地区	46	41.3	17.4	56.5	19.6	28.3	4.3	0.0	

年齢別の30歳代と40歳代では、「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」が6割を超え全体より高くなっています。また、30歳代では、「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」が6割台と全体より高いのに対し、40歳代では、5割台にとどまっています。70歳代以上では、「市民活動が活発に行われるよう促進する」が全体より高くなっています。

居住地区別の共興地区では、「市民活動が活発に行われるよう促進する」が、吉田地区では、「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」と「関係機関との連携を強化する」が全体より高くなっています。また、飯高地区では、「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」が7割を超え全体より高くなっています。

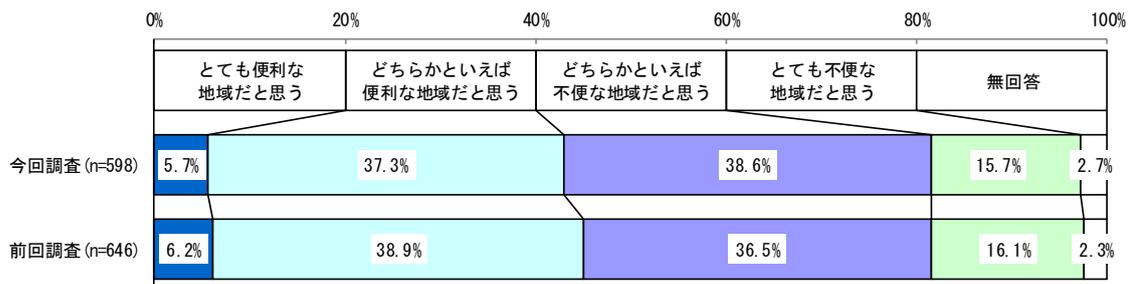
問 26 あなたが住んでいる地区は、市内及び周辺地域への移動が便利な地域だと思いますか。(1つに○)



住んでいる地区が市内及び周辺地域への移動が便利な地域だと思うかについては、「どちらかといえば不便な地域だと思う」が38.6%で最も高くなっています。

「とても便利な地域だと思う」(5.7%)と「どちらかといえば便利な地域だと思う」(37.3%)を合わせた「便利な地域だと思う」は全体の43.0%、「どちらかといえば不便な地域だと思う」と「とても不便な地域だと思う」(15.7%)を合わせた「不便な地域だと思う」は全体の54.3%で、「不便な地域だと思う」が上回っています。

◆◇◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、今回の調査では「どちらかといえば不便な地域だと思う」が「どちらかといえば便利な地域だと思う」をやや上回っています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

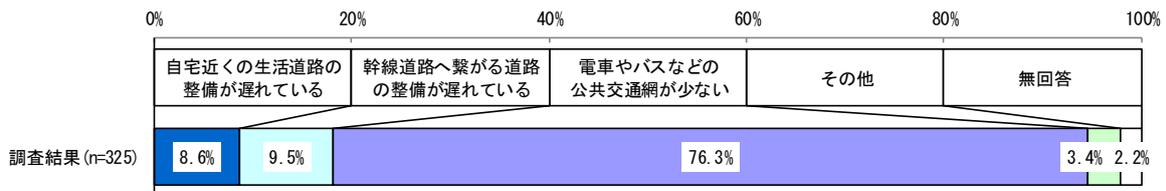
		回答者数 (n)	便利な地域だと思 う	不便な地域だと思 う	無回答
全体		598	43.0	54.3	2.7
性別	男性	279	49.5	49.5	1.1
	女性	317	36.9	59.0	4.1
年齢	10・20 歳代	56	33.9	64.3	1.8
	30 歳代	59	47.5	52.5	0.0
	40 歳代	80	36.3	62.5	1.3
	50 歳代	99	43.4	55.6	1.0
	60 歳代	173	41.0	55.5	3.5
	70 歳以上	129	50.4	44.2	5.4
居住地区	中央地区	97	76.3	17.5	6.2
	豊栄地区	55	49.1	49.1	1.8
	須賀地区	51	60.8	39.2	0.0
	匠瑳地区	47	40.4	55.3	4.3
	豊和地区	40	27.5	72.5	0.0
	吉田地区	21	19.0	81.0	0.0
	飯高地区	17	35.3	64.7	0.0
	共興地区	42	9.5	88.1	2.4
	平和地区	54	38.9	57.4	3.7
	椿海地区	68	45.6	52.9	1.5
	野田地区	56	30.4	66.1	3.6
	栄地区	46	21.7	78.3	0.0

男性は「便利な地域だと思」と「不便な地域だと思」が同数であるのに対し、女性は「不便な地域だと思」が約6割となっています。

年齢別の10・20歳代、40歳代では、「不便な地域だと思」との回答が6割を超え、全体より高くなっています。

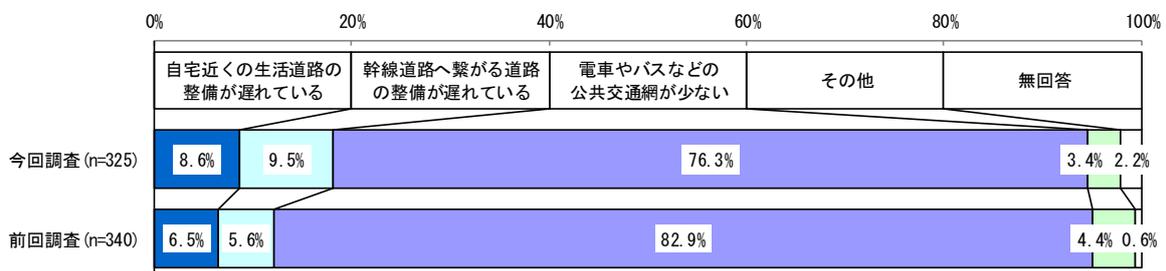
居住地区別の中央地区、須賀地区では、「便利な地域だと思」が「不便な地域だと思」を上回り、豊栄地区は「便利な地域だと思」と「不便な地域だと思」が同数という結果となっています。その他の地区はすべて「不便な地域だと思」が上回っており、中でも共興地区は「不便な地域だと思」との回答が9割近くとなっています。

問 26-1 何が最も不便だと感じますか。(1つに〇)



移動で不便なこととしては、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」との回答が76.3%で最も高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が引き続き最も高いものの、前回調査に比べ6.6ポイント低くなっています。

〇〇〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	自宅近くの生活道路の整備が遅れている	幹線道路へ繋がる道路の整備が遅れている	電車やバスなどの公共交通網が少ない	その他	無回答
全体		325	8.6	9.5	76.3	3.4	2.2
性別	男性	138	13.0	15.2	66.7	3.6	1.4
	女性	187	5.3	5.3	83.4	3.2	2.7
年齢	10・20歳代	36	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	30歳代	31	6.5	3.2	83.9	3.2	3.2
	40歳代	50	8.0	18.0	72.0	2.0	0.0
	50歳代	55	9.1	12.7	70.9	5.5	1.8
	60歳代	96	8.3	12.5	74.0	4.2	1.0
	70歳以上	57	15.8	3.5	70.2	3.5	7.0
居住地区	中央地区	17	5.9	11.8	82.4	0.0	0.0
	豊栄地区	27	14.8	3.7	74.1	3.7	3.7
	須賀地区	20	5.0	15.0	75.0	5.0	0.0
	匠瑳地区	26	3.8	3.8	80.8	3.8	7.7
	豊和地区	29	6.9	6.9	79.3	3.4	3.4
	吉田地区	17	23.5	5.9	58.8	11.8	0.0
	飯高地区	11	9.1	0.0	90.9	0.0	0.0
	共興地区	37	16.2	27.0	51.4	5.4	0.0
	平和地区	31	3.2	19.4	71.0	3.2	3.2
	椿海地区	36	11.1	11.1	72.2	0.0	5.6
	野田地区	37	5.4	2.7	91.9	0.0	0.0
	栄地区	36	2.8	0.0	91.7	5.6	0.0

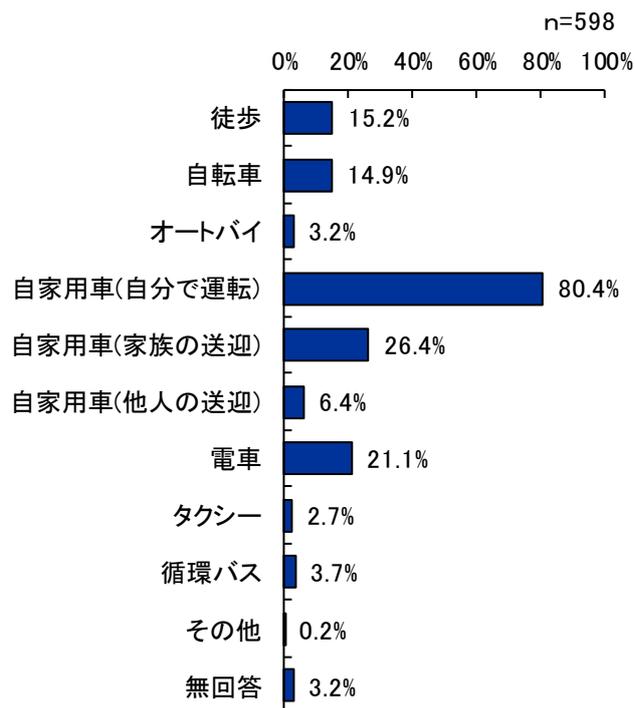
女性は、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が8割台と非常に高く、全体より高くなっています。

年齢別の30歳代以下では、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が8割以上と非常に高くなっています。

居住地区別の野田地区、栄地区、飯高地区では、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が9割と非常に高くなっています。吉田地区、共興地区、豊栄地区では、「自宅近くの生活道路の整備が遅れている」が、共興地区、平和地区、須賀地区では、「幹線道路へ繋がる道路の整備が遅れている」が全体より高くなっています。

問 27 あなたは、普段、外出する際に主にどのような移動手段をお使いですか。
(3つまで○)

外出時の移動手段としては、「自家用車（自分で運転）」との回答が80.4%で最も高く、次いで「自家用車（家族の送迎）」が26.4%、「電車」が21.1%などとなっています。



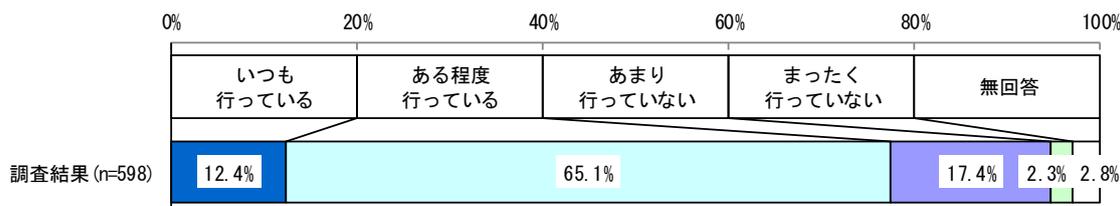
性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		(n) 回答者数	徒歩	自転車	オートバイ	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (家族の送迎)	自家用車 (他人の送迎)	電車	タクシー	循環バス	その他	無回答
全体		598	15.2	14.9	3.2	80.4	26.4	6.4	21.1	2.7	3.7	0.2	3.2
性別	男性	279	15.4	16.5	5.4	83.9	22.6	6.8	17.2	1.1	1.8	0.0	5.0
	女性	317	15.1	13.6	1.3	77.3	29.7	5.7	24.6	4.1	5.4	0.3	1.6
年齢	10・20歳代	56	26.8	26.8	0.0	48.2	48.2	7.1	57.1	0.0	5.4	0.0	5.4
	30歳代	59	13.6	6.8	0.0	91.5	16.9	3.4	18.6	0.0	5.1	0.0	3.4
	40歳代	80	8.8	10.0	6.3	90.0	22.5	11.3	12.5	0.0	1.3	0.0	2.5
	50歳代	99	11.1	13.1	3.0	89.9	20.2	4.0	16.2	1.0	5.1	0.0	3.0
	60歳代	173	12.7	12.7	2.9	88.4	16.2	2.9	19.1	1.7	1.7	0.6	2.9
	70歳以上	129	21.7	20.9	4.7	65.1	41.9	10.1	18.6	9.3	5.4	0.0	3.1

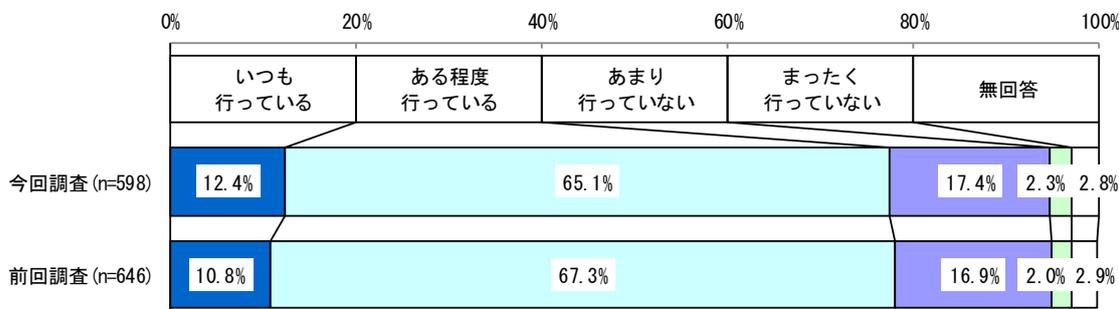
年齢別の30歳代から60歳代では、「自家用車（自分で運転）」が9割前後と非常に高くなっています。高齢期を迎える70歳以上や、学生等が多い10・20歳代では、「徒歩」や「自転車」との回答が2割台で全体より高くなっています。

問 28 あなたは、普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか。(1つに○)



環境に配慮した行動については「ある程度行っている」との回答が、65.1%で最も高くなっています。「いつも行っている」(12.4%)と「ある程度行っている」を合わせた「行っている」は全体の77.5%と高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「行っている」(78.1%)と比べ、やや下がっています。

○○○ 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

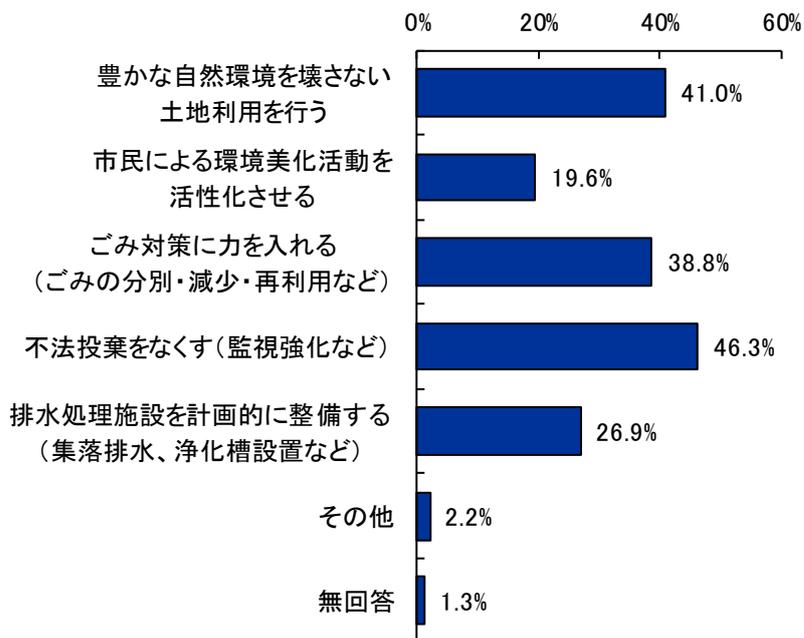
		回答者数 (n)	「行っている」	「行っていない」	無回答
全体		598	77.4	19.7	2.8
性別	男性	279	77.4	20.4	2.2
	女性	317	77.3	19.2	3.5
年齢	10・20歳代	56	62.5	35.7	1.8
	30歳代	59	67.8	32.2	0.0
	40歳代	80	77.5	22.5	0.0
	50歳代	99	71.7	26.3	2.0
	60歳代	173	88.4	9.2	2.3
	70歳以上	129	77.5	14.7	7.8

年齢別の60歳代では、「行っている」が9割に近く全体より高くなっています。一方、30歳代以下では、「あまり行っていない」と「まったく行っていない」を合わせた「行っていない」は、3割台と全体より高くなっています。

問 29 市の自然環境保全への取組で、何が重要と考えますか。(2つまで○)

n=598

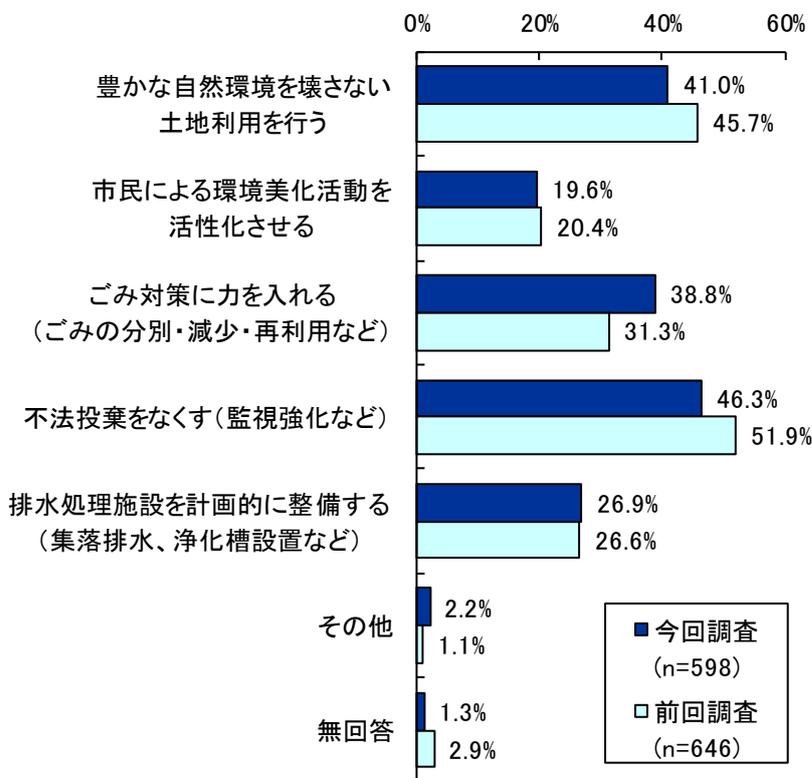
自然環境保全への重要な取組については、「不法投棄をなくす」との回答が46.3%で最も高く、次いで「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」が41.0%、「ごみ対策に力を入れる」が38.8%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では「不法投棄をなくす」との回答が引き続き最も高いものの、前回調査と比べ5.6ポイント低くなっています。

一方、「ごみ対策に力を入れる」は前回調査より7.5ポイント高くなっています。



〇〇〇 年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

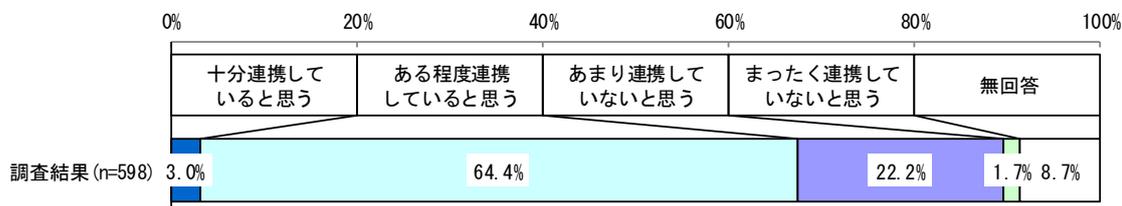
		回答者数 (n)	豊かな自然環境を壊さない 土地利用を行う	市民による環境美化活動 を活性化させる	ごみ対策に力を入れる(ご みの分別・減少・再利用な ど)	不法投棄をなくす(監視強 化など)	排水処理施設を計画的に 整備する(集落排水、浄化 槽設置など)	その他	無回答
全体		598	41.0	19.6	38.8	46.3	26.9	2.2	1.3
年 齢	10・20歳代	56	48.2	12.5	41.1	32.1	23.2	3.6	0.0
	30歳代	59	49.2	15.3	45.8	44.1	23.7	0.0	0.0
	40歳代	80	36.3	12.5	50.0	45.0	30.0	3.8	0.0
	50歳代	99	37.4	15.2	38.4	40.4	35.4	4.0	1.0
	60歳代	173	39.3	25.4	31.8	52.0	27.7	0.6	1.7
	70歳以上	129	42.6	24.8	37.2	50.4	20.9	2.3	3.1
居 住 地 区	中央地区	97	44.3	21.6	32.0	43.3	29.9	0.0	3.1
	豊栄地区	55	40.0	16.4	38.2	47.3	32.7	3.6	0.0
	須賀地区	51	39.2	21.6	39.2	41.2	23.5	0.0	2.0
	匝瑳地区	47	44.7	19.1	34.0	46.8	27.7	4.3	2.1
	豊和地区	40	32.5	20.0	32.5	52.5	32.5	2.5	0.0
	吉田地区	21	47.6	4.8	57.1	42.9	19.0	4.8	0.0
	飯高地区	17	58.8	11.8	47.1	52.9	11.8	0.0	0.0
	共興地区	42	35.7	14.3	45.2	42.9	31.0	4.8	0.0
	平和地区	54	37.0	16.7	33.3	57.4	33.3	1.9	0.0
	椿海地区	68	39.7	22.1	50.0	50.0	20.6	4.4	0.0
	野田地区	56	46.4	10.7	42.9	44.6	23.2	1.8	5.4
	栄地区	46	39.1	41.3	30.4	34.8	23.9	0.0	0.0

年齢別の60歳代では、「不法投棄をなくす」や「市民による環境美化活動を活性化させる」が、50歳代では、「排水処理施設を計画的に整備する」が、40歳代と30歳代では、「ごみ対策に力を入れる」が、30歳代以下では、「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」が、それぞれ全体より高く、世代ごとに違いが見られます。

居住地区別の吉田地区、飯高地区では、「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」と「ごみ対策に力を入れる」が全体より高く、豊和地区、平和地区では、「不法投棄をなくす」と「排水処理施設を計画的に整備する」が全体より高くなっています。

5 教育・文化・人権について

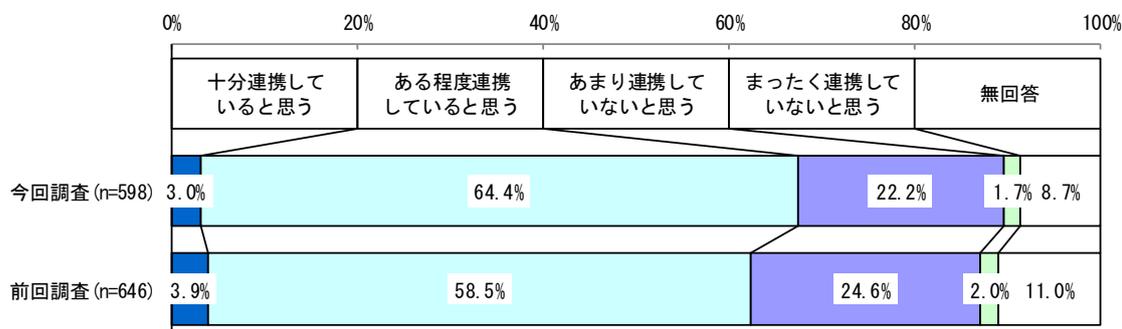
問 30 あなたは、子どもの教育について、学校と家庭、地域との連携がとれていると思いますか。(1つに○)



子どもの教育における学校と家庭、地域との連携については、「ある程度連携している」との回答が64.4%で最も高くなっています。

「十分連携していると思う」(3.0%)と「ある程度連携していると思う」を合わせた「連携していると思う」は67.4%となっており、「あまり連携していないと思う」(22.2%)と「まったく連携していないと思う」(1.7%)を合わせた「連携していないと思う」は23.9%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「連携していると思う」が62.4%だったのに比べ、5.0ポイント高くなっています。

○●○ 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

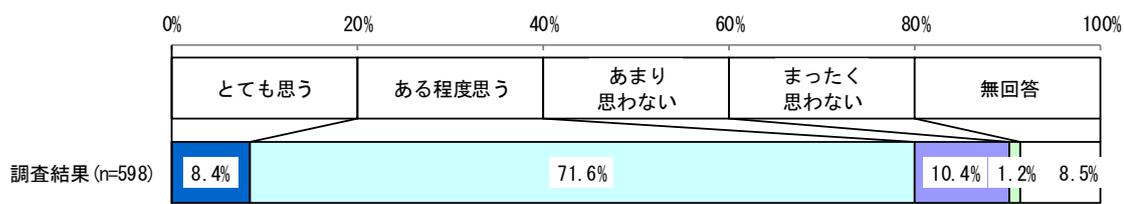
(単位：%)

		回答者数 (n)	「連携していると思う」	「連携していないと思う」	無回答
全体		598	67.4	23.9	8.7
性別	男性	279	69.9	25.4	4.7
	女性	317	65.3	22.7	12.0
年齢	10・20 歳代	56	71.4	21.4	7.1
	30 歳代	59	66.1	32.2	1.7
	40 歳代	80	62.5	32.5	5.0
	50 歳代	99	72.7	23.2	4.0
	60 歳代	173	66.5	26.0	7.5
	70 歳以上	129	66.7	14.0	19.4
居住地区	中央地区	97	62.9	27.8	9.3
	豊栄地区	55	69.1	18.2	12.7
	須賀地区	51	60.8	29.4	9.8
	匠瑳地区	47	68.1	25.5	6.4
	豊和地区	40	67.5	27.5	5.0
	吉田地区	21	90.5	9.5	0.0
	飯高地区	17	70.6	17.6	11.8
	共興地区	42	73.8	19.0	7.1
	平和地区	54	66.7	18.5	14.8
	椿海地区	68	70.6	26.5	2.9
	野田地区	56	62.5	25.0	12.5
	栄地区	46	67.4	28.3	4.3

年齢別の 30 歳代と 40 歳代では、「連携していないと思う」が 3 割台と全体より高くなっています。

居住地区別の吉田地区では、「連携していると思う」が 9 割を超えています。

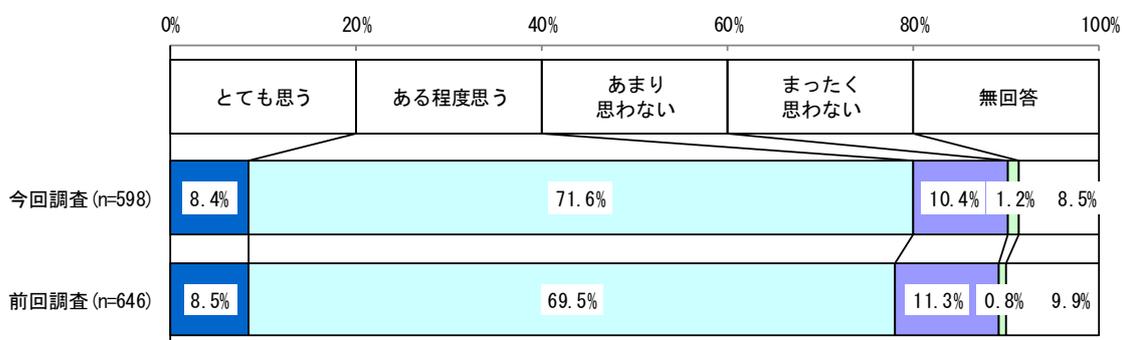
問 31 学校が子どもたちにとって、安心して学ぶことができる場となっていると思いますか。(1つに○)



学校が子どもたちにとって、安心して学ぶことができる場となっているかについては、「ある程度思う」との回答が71.6%で最も高くなっています。

「とても思う」(8.4%)と「ある程度思う」を合わせた「そう思う」は80.0%と非常に高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「そう思う」(78.0%)と比べ、やや上回っています。

●●● 性別・年齢別・同居家族別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	そう思う	そう思わない	無回答
全体		598	80.0	11.5	8.5
性別	男性	279	83.2	12.5	4.3
	女性	317	77.3	10.7	12.0
年齢	10・20歳代	56	76.8	14.3	8.9
	30歳代	59	88.1	10.2	1.7
	40歳代	80	77.5	16.3	6.3
	50歳代	99	80.8	15.2	4.0
	60歳代	173	78.6	13.9	7.5
	70歳以上	129	80.6	2.3	17.1
同居家族	妊産婦・未就学児	58	81.0	12.1	6.9
	小・中学生	97	85.6	12.4	2.1
	介護を必要とする方	58	81.0	15.5	3.4
	障がいのある方	62	64.5	17.7	17.7
	いずれもない	352	80.1	11.1	8.8

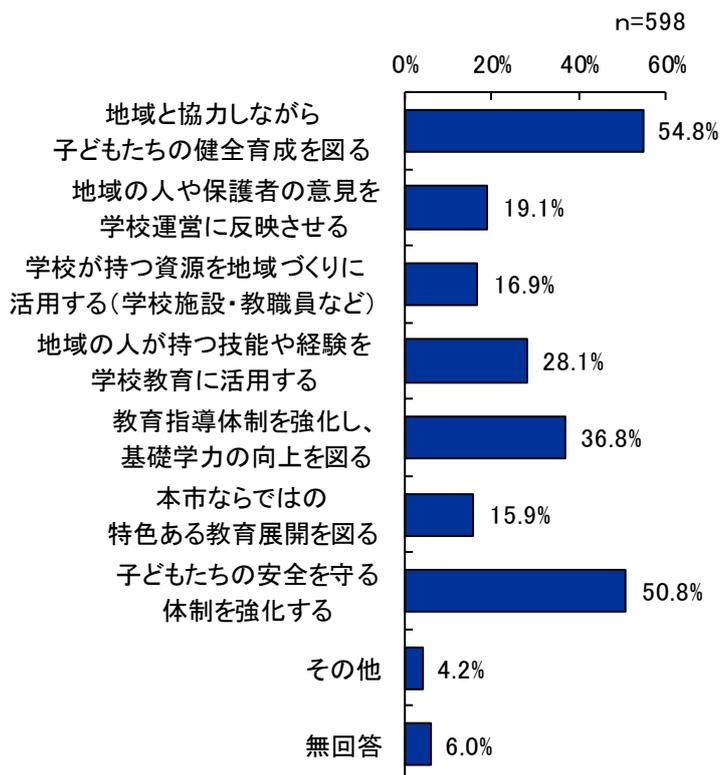
年齢別の30歳代では、「そう思う」が全体より高くなっています。

同居家族別の小・中学生では、「そう思う」が全体より高くなっています。

問 32 小・中学校運営において、何が重要な取組と考えますか。(3つまで○)

小・中学校運営における重要な取組については、「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」との回答が54.8%で最も高く、次いで「子どもたちの安全を守る体制を強化する」が50.8%、「教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る」が36.8%などとなっています。

前回調査との比較については、選択肢の数が異なるため、参考として掲載します。



◆◆◆ 前回調査との比較 (参考)

(単位: %)

今回調査(n=598)		前回調査(n=646)	
地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る	54.8	地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る	56.0
地域の人や保護者の意見を学校運営に反映させる	19.1	地域の人や保護者の意見を学校運営に反映させる	21.5
学校が持つ資源を地域づくりに活用する(学校施設・教職員など)	16.9	学校が持つ資源を地域づくりに活用する(学校施設・教職員など)	18.4
地域の人々が持つ技能や経験を学校教育に活用する	28.1	地域の人々が持つ技能や経験を学校教育に活用する	34.2
教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る	36.8	教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る	44.7
本市ならではの特色ある教育展開を図る	15.9		
子どもたちの安全を守る体制を強化する	50.8	子どもたちの安全を守る体制を強化する	53.6
その他	4.2	その他	3.3
無回答	6.0	無回答	7.9

〇〇〇 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る	地域の人や保護者の意見を学校運営に反映させる	学校が持つ資源を地域づくりに活用する(学校施設・教職員など)	地域の人が持つ技能や経験を学校教育に活用する	教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る	本市ならではの特色ある教育展開を図る	子どもたちの安全を守る体制を強化する	その他	無回答
全体		598	54.8	19.1	16.9	28.1	36.8	15.9	50.8	4.2	6.0
性別	男性	279	52.7	19.0	19.4	28.0	34.4	20.4	50.2	5.4	3.2
	女性	317	56.8	19.2	14.8	28.1	39.1	11.7	51.7	3.2	8.2
年齢	10・20 歳代	56	41.1	25.0	19.6	10.7	46.4	19.6	46.4	10.7	7.1
	30 歳代	59	54.2	22.0	20.3	33.9	45.8	13.6	57.6	3.4	0.0
	40 歳代	80	40.0	25.0	22.5	27.5	42.5	13.8	61.3	6.3	1.3
	50 歳代	99	55.6	18.2	21.2	30.3	24.2	16.2	51.5	3.0	2.0
	60 歳代	173	60.7	15.6	11.6	32.9	36.4	17.9	49.1	5.2	5.8
	70 歳以上	129	62.0	17.1	14.7	24.8	35.7	13.2	45.7	0.0	14.0

年齢別の 60 歳代以上では、「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」が 6 割を超え、全体より高くなっています。また、30 歳代と 40 歳代では、「子どもたちの安全を守る体制を強化する」が全体より高く、40 歳代以下では、「教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る」が 4 割を超え、全体より高くなっています。

問 33 あなたは、次の余暇活動に参加していますか。また今後参加したい活動は何ですか。(①～④の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○)

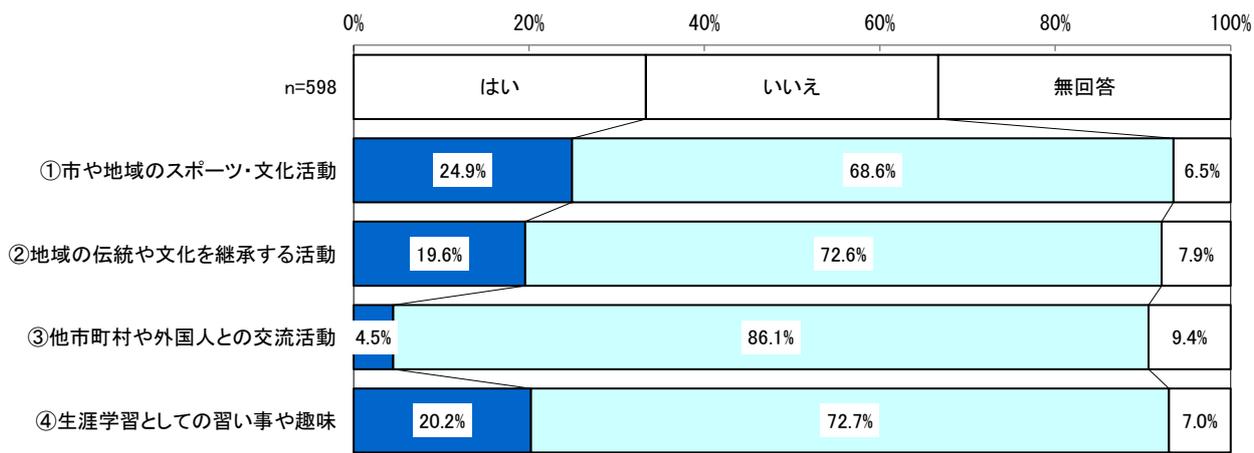
<活動内容>

- ① 市や地域のスポーツ・文化活動 ② 地域の伝統や文化を継承する活動
 ③ 他市町村や外国の方たちとの交流活動 ④ 生涯学習としての習い事や趣味の活動

<参加の状況と意向>

- (1) ここ数年の間に参加していますか (2) 今後参加したいですか

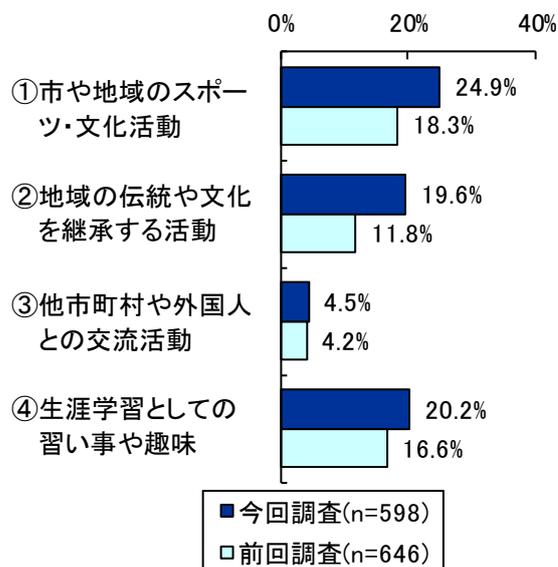
(1) 参加の状況



参加しているかについては、「はい」との回答が、①市や地域のスポーツ・文化活動が 24.9%、②地域の伝統や文化を継承する活動が 19.6%、③他市町村や外国の方たちとの交流活動が 4.5%、④生涯学習としての習い事や趣味の活動が 20.2% となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較

「はい」と回答した人の前回調査との比較では、②地域の伝統や文化を継承する活動で7.8ポイント、①市や地域のスポーツ・文化活動で6.6ポイント、それぞれ前回調査に比べ高くなっています。



性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

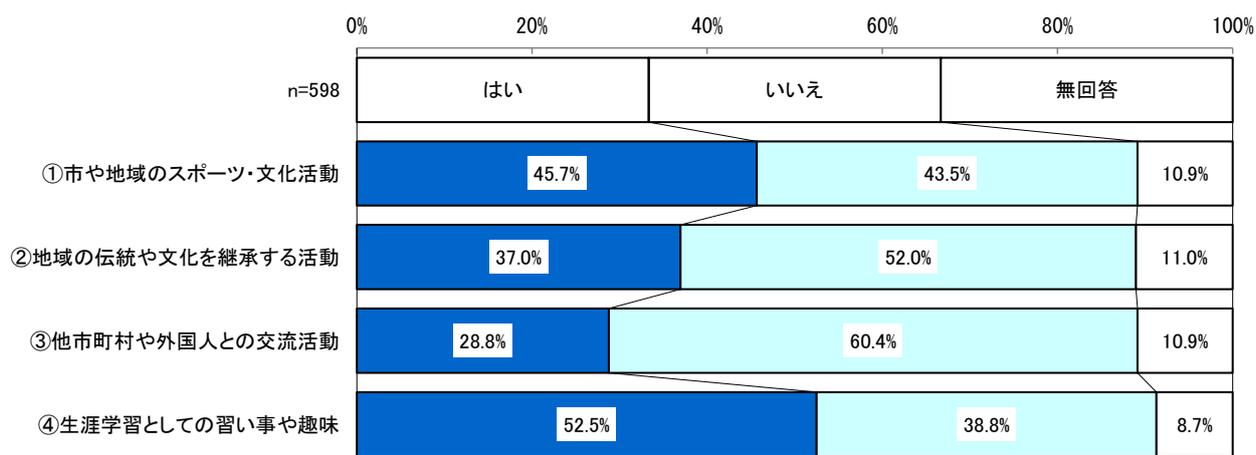
		回答者数 (n)	①市や地域の スポーツ・文化活動	②地域の伝統や文化 を継承する活動	③他市町村や外国の 方たちとの交流活動	④生涯学習としての 習い事や趣味の活動
全体		598	24.9	19.6	4.5	20.2
性別	男性	279	25.8	25.1	5.7	17.2
	女性	317	24.0	14.5	3.5	23.0
年齢	10・20歳代	56	14.3	25.0	5.4	19.6
	30歳代	59	27.1	16.9	5.1	16.9
	40歳代	80	20.0	17.5	5.0	17.5
	50歳代	99	25.3	19.2	4.0	17.2
	60歳代	173	27.7	20.8	5.2	22.0
	70歳以上	129	27.1	17.8	3.1	24.0

上記の表は、①から④の項目でそれぞれ「はい」と回答した人について性別・年齢別に見たものです。

男性は、「②地域の伝統や文化を継承する活動」が2割台で女性を上回っており、女性は、「④生涯学習としての習い事や趣味の活動」が男性を上回っています。

年齢別の10・20歳代では、「②地域の伝統や文化を継承する活動」が2割台と全体より高くなっています。

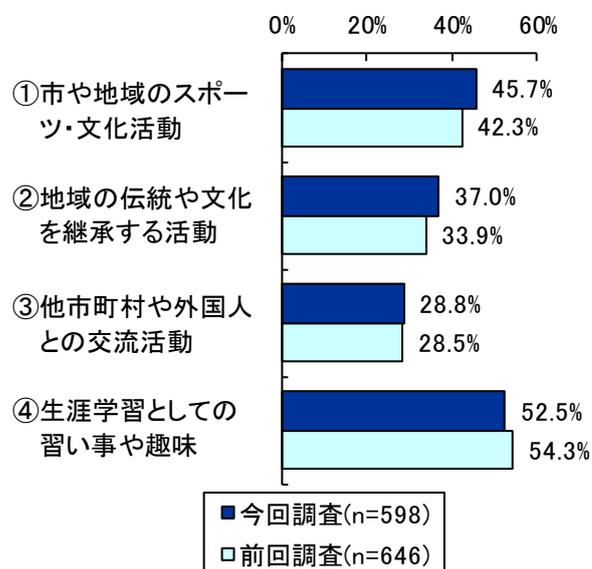
(2) 参加意向



今後参加したいかについては、「はい」との回答が、①市や地域のスポーツ・文化活動が 45.7%、②地域の伝統や文化を継承する活動が 37.0%、③他市町村や外国の方たちとの交流活動が 28.8%、④生涯学習としての習い事や趣味の活動が 52.5%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、引き続き④生涯学習としての習い事や趣味の活動が5割台で最も高くなっています。



〇〇〇 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

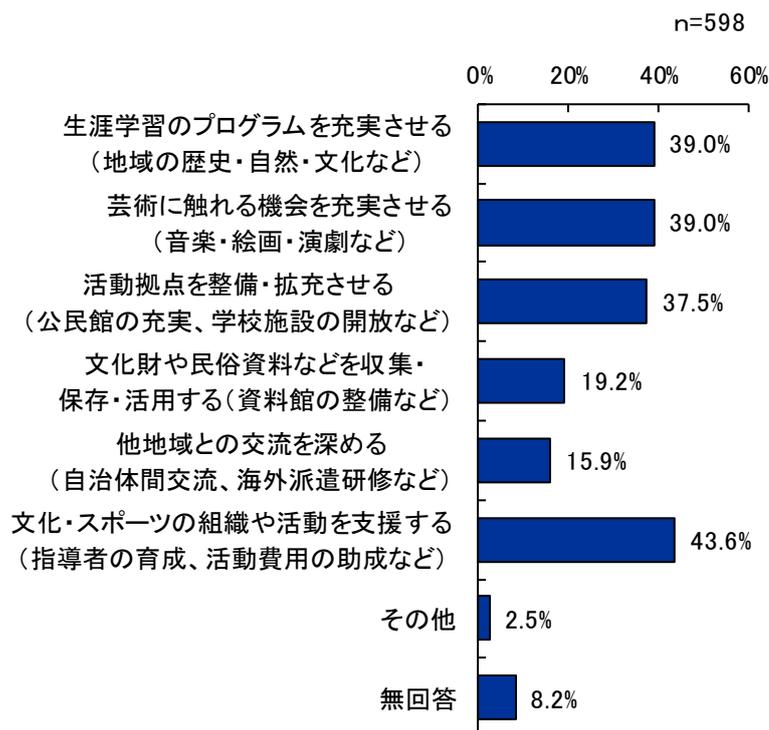
		回答者数 (n)	①市や地域の スポーツ・文化活動	②地域の伝統や文化 を継承する活動	③他市町村や外国の 方たちとの交流活動	④生涯学習としての 習い事や趣味の活動
全体		598	45.7	37.0	28.8	52.5
性別	男性	279	48.0	41.2	28.7	46.2
	女性	317	43.5	33.1	29.0	58.0
年齢	10・20 歳代	56	44.6	50.0	39.3	50.0
	30 歳代	59	62.7	35.6	37.3	55.9
	40 歳代	80	40.0	40.0	40.0	58.8
	50 歳代	99	51.5	38.4	29.3	51.5
	60 歳代	173	48.0	37.6	24.9	60.1
	70 歳以上	129	34.1	27.9	18.6	38.8

上記の表は、①から④の項目でそれぞれ「はい」と回答した人について性別・年齢別に見たものです。

年齢別の30歳代では、「①市や地域のスポーツ・文化活動」が6割台で全体より高くなっています。10・20歳代では、「②地域の伝統や文化を継承する活動」が半数となっており、全体より高くなっています。40歳代以下では、「③他市町村や外国の方たちとの交流活動」が4割前後で全体より高くなっています。40歳代と60歳代では、「④生涯学習としての習い事や趣味の活動」が6割前後で全体より高くなっています。70歳以上では、いずれの項目への参加意向も全体より低くなっています。

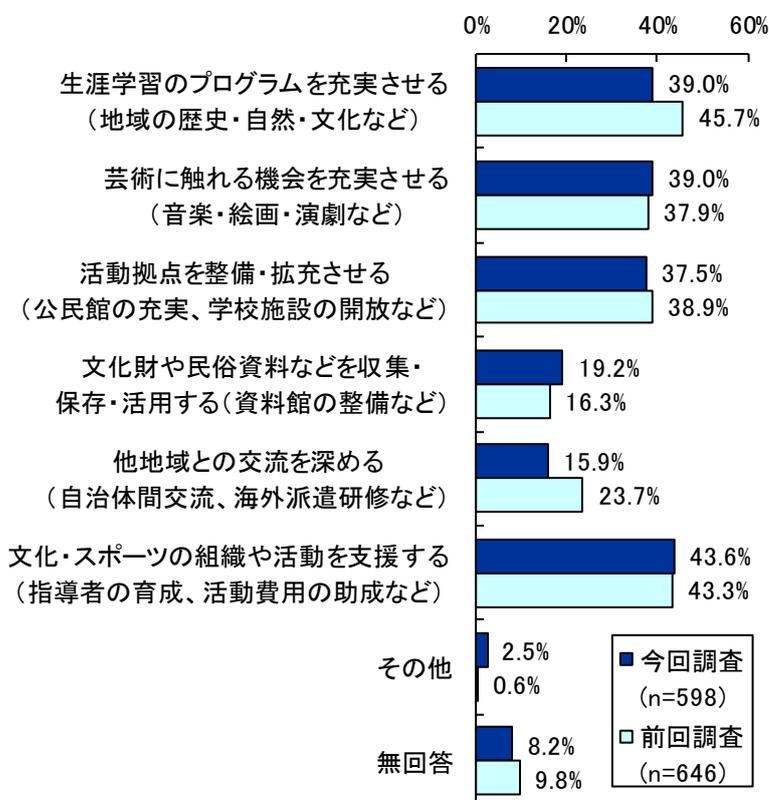
問 34 市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組で、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

生涯学習・スポーツ、文化活動への重要な取組については、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」との回答が43.6%で最も高くなっています。次いで「生涯学習のプログラムを充実させる」と「芸術に触れる機会を充実させる」が共に39.0%となっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「生涯学習のプログラムを充実させる」が6.7ポイント減少したことから、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」が最も高い項目となっています。



〇●〇 性別・年齢別に見た傾向

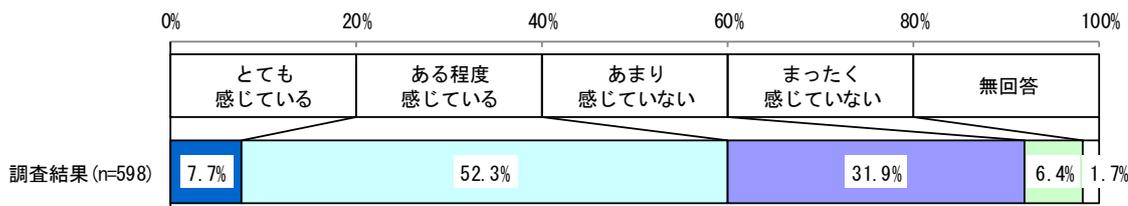
(単位：%)

		回答者数 (n)	生涯学習のプログラムを充実させる (地域の歴史・自然・文化など)	芸術に触れる機会を充実させる (音楽・絵画・演劇など)	活動拠点を整備・拡充させる (公民館の充実、学校施設の開放など)	活用する(資料館の整備など)	文化財や民俗資料などを収集・保存・ 活用する(資料館の整備など)	他地域との交流を深める (自治体間交流、海外派遣研修など)	文化・スポーツの組織や活動を支援する (指導者の育成、活動費用の助成など)	その他	無回答
全体		598	39.0	39.0	37.5	19.2	15.9	43.6	2.5	8.2	
性別	男性	279	40.5	32.6	38.4	23.3	15.1	50.5	2.5	6.1	
	女性	317	37.9	44.2	36.9	15.8	16.4	37.5	2.5	10.1	
年齢	10・20 歳代	56	26.8	26.8	53.6	17.9	23.2	42.9	1.8	3.6	
	30 歳代	59	39.0	40.7	52.5	6.8	25.4	67.8	1.7	0.0	
	40 歳代	80	33.8	42.5	50.0	17.5	20.0	48.8	2.5	3.8	
	50 歳代	99	42.4	39.4	37.4	19.2	7.1	42.4	5.1	2.0	
	60 歳代	173	40.5	41.6	29.5	18.5	14.5	42.2	2.9	9.8	
	70 歳以上	129	43.4	36.4	27.1	27.9	14.0	32.6	0.8	19.4	

女性では、「芸術に触れる機会を充実させる」が4割台、男性では、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」が半数を超え、それぞれ全体よりも高くなっています。

年齢別の40歳代以下では、「活動拠点を整備・拡充させる」が半数を超え、30歳代と40歳代では、「文化・スポーツの組織や活動を支援する」が、それぞれ全体より高くなっています。30歳代以下では、「他地域との交流を深める」が2割台と全体より高くなっています。

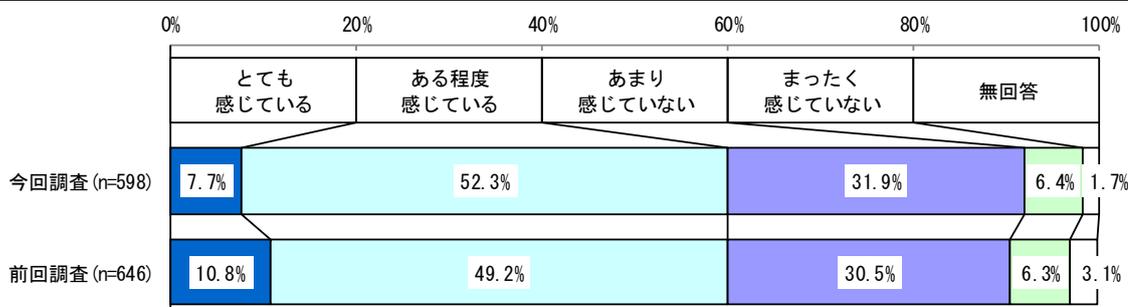
問 35 あなたは、地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。(1つに○)



地域の伝統や文化に愛着を感じているかについては、「ある程度感じている」との回答が 52.3% で最も高くなっています。

「とても感じている」(7.7%) と「ある程度感じている」を合わせた「感じている」は 60.0%、「あまり感じていない」(31.9%) と「まったく感じていない」(6.4%) を合わせた「感じていない」は 38.3% となっており、「感じている」との回答が高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「感じている」(60.0%) と変わらない結果となっています。

○○○ 性別・年齢別に見た傾向

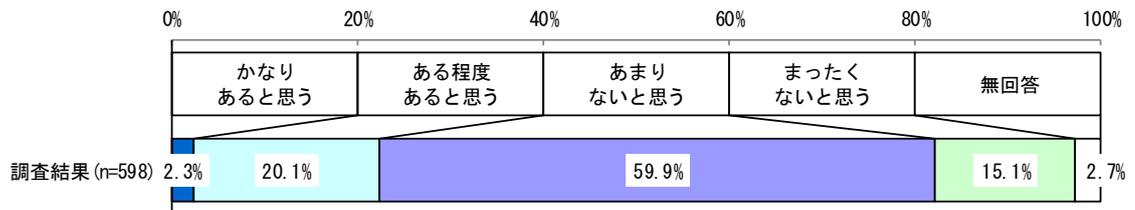
(単位：%)

		回答者数 (n)	「感じている」	「感じていない」	無回答
全体		598	60.0	38.3	1.7
性別	男性	279	60.6	37.6	1.8
	女性	317	59.3	39.1	1.6
年齢	10・20 歳代	56	53.6	44.6	1.8
	30 歳代	59	50.8	49.2	0.0
	40 歳代	80	47.5	50.0	2.5
	50 歳代	99	59.6	40.4	0.0
	60 歳代	173	64.7	34.7	0.6
	70 歳以上	129	68.2	27.1	4.7

年齢別の 70 歳以上では、「感じている」が全体よりも高く、また各年代で最も多い回答となっています。

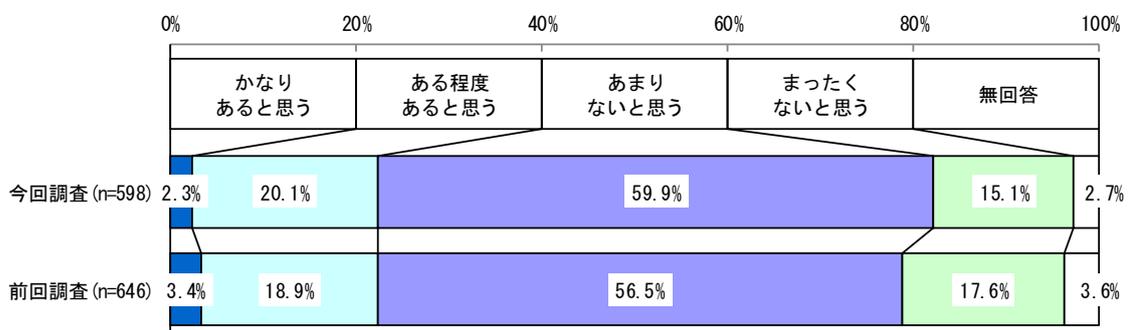
一方、40 歳代の「感じている」は、半数を下回るなど、40 歳代以下では全体よりも少ない傾向が見られ、5 割前後にとどまっています。

問 36 あなたの身近なところで、虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思いますか。(1つに○)



身近なところでの人権を侵害する行為については、「かなりあると思う」との回答が2.3%、「ある程度あると思う」との回答が20.1%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「あまりないと思う」が、前回調査に比べて3.4ポイント高くなっています。

○○○ 性別・年齢別・同居家族別に見た傾向

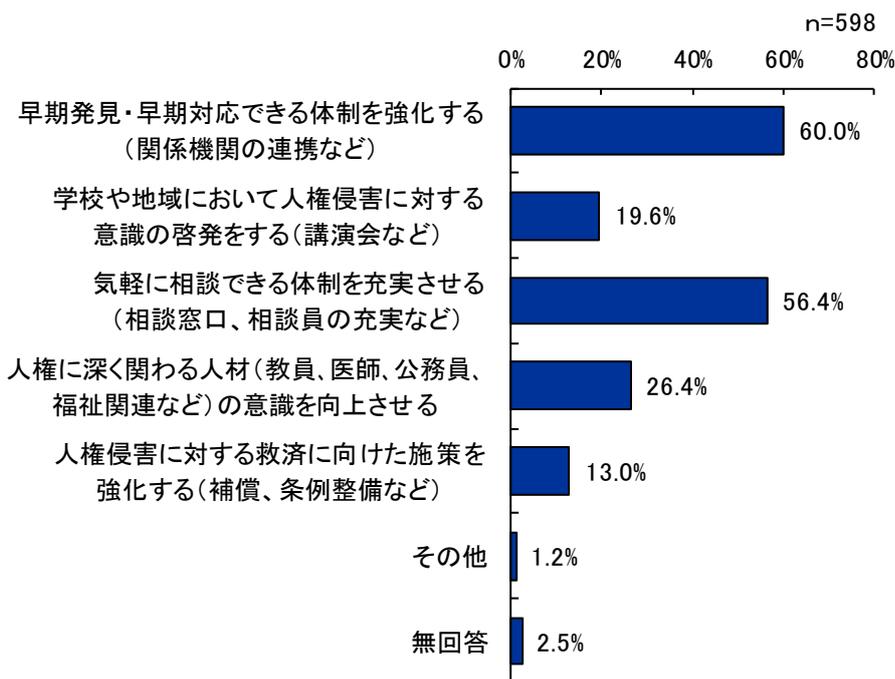
(単位：%)

		回答者数 (n)	「あると思う」	「ないと思う」	無回答
全体		598	22.4	74.9	2.7
性別	男性	279	24.0	74.2	1.8
	女性	317	21.1	75.7	3.2
年齢	10・20歳代	56	23.2	73.2	3.6
	30歳代	59	27.1	71.2	1.7
	40歳代	80	28.8	70.0	1.3
	50歳代	99	28.3	70.7	1.0
	60歳代	173	22.5	75.7	1.7
	70歳以上	129	11.6	82.9	5.4
同居家族	妊産婦・未就学児	58	22.4	74.1	3.4
	小・中学生	97	26.8	72.2	1.0
	介護を必要とする方	58	25.9	74.1	0.0
	障がいのある方	62	35.5	61.3	3.2
	いずれもない	352	20.5	77.0	2.6

年齢別の40歳代と50歳代では、「あると思う」が全体より高くなっています。同居家族別の障がいのある方では、「あると思う」が3割台と全体より高くなっています。

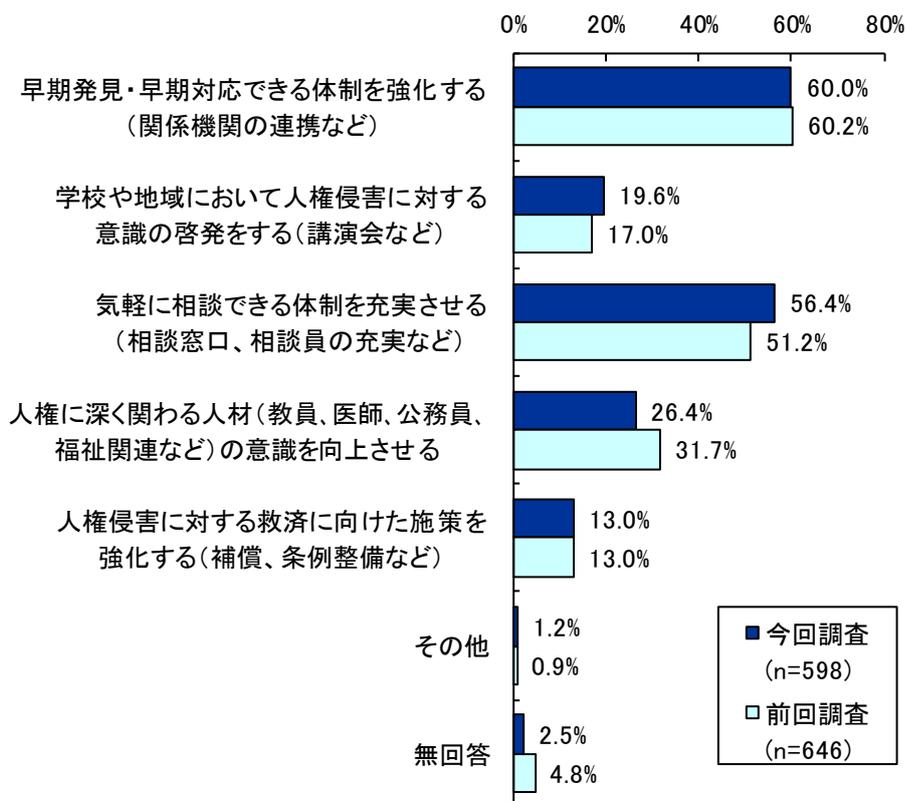
問 37 市の人権問題への取組で、何が重要と考えますか。(2つまで○)

人権問題への重要な取組については、「早期発見・早期対応できる体制を強化する」が60.0%で最も高く、次いで「気軽に相談できる体制を充実させる」が56.4%、「人権に深く関わる人材の意識を向上させる」が26.4%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「気軽に相談できる体制を充実させる」が、前回調査に比べ5.2ポイント高くなっています。



〇〇〇 性別・年齢別・同居家族別に見た傾向

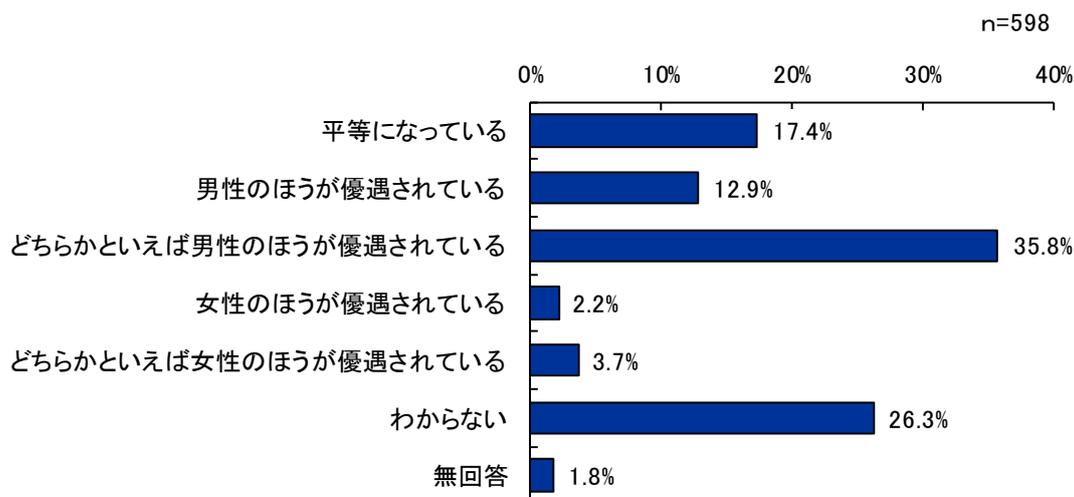
(単位：%)

		回答者数 (n)	早期発見・早期対応できる体制を強化する (関係機関の連携など)	学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする (講演会など)	気軽に相談できる体制を充実させる (相談窓口、相談員の充実など)	医師、公務員、福祉関連などの意識を向上させる	人権に深く関わる人材 (教員、医師、公務員、福祉関連など)	例整備など)	人権侵害に対する救済に向けた施策を強化する (補償、条例整備など)	その他	無回答
全体		598	60.0	19.6	56.4	26.4	13.0	1.2	2.5		
性別	男性	279	58.1	22.9	56.3	23.3	15.1	0.7	2.9		
	女性	317	61.8	16.7	56.5	29.3	11.4	1.6	2.2		
年齢	10・20 歳代	56	51.8	23.2	55.4	32.1	8.9	1.8	1.8		
	30 歳代	59	67.8	32.2	54.2	16.9	20.3	3.4	0.0		
	40 歳代	80	53.8	22.5	47.5	37.5	20.0	0.0	1.3		
	50 歳代	99	58.6	16.2	61.6	22.2	13.1	3.0	1.0		
	60 歳代	173	59.5	22.0	54.9	26.0	11.6	0.6	2.3		
	70 歳以上	129	65.9	10.1	61.2	25.6	9.3	0.0	6.2		
同居家族	妊産婦・未就学児	58	60.3	22.4	58.6	25.9	17.2	0.0	3.4		
	小・中学生	97	56.7	30.9	43.3	36.1	11.3	0.0	2.1		
	介護を必要とする方	58	63.8	19.0	60.3	15.5	12.1	1.7	1.7		
	障がいのある方	62	43.5	22.6	56.5	30.6	24.2	1.6	3.2		
	いずれもない	352	62.5	16.2	58.5	25.3	12.5	1.7	2.0		

年齢別の 30 歳代と 70 歳以上では、「早期発見・早期対応できる体制を強化する」が 6 割台と全体より高くなっています。

同居家族別の小・中学生では、「人権に深く関わる人材の意識を向上させる」、「学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする」が 3 割台と、それぞれ全体より高くなっています。障がいのある方では、「人権侵害に対する救済に向けた施策を強化する」が全体よりも高くなっています。

問 38 男女共同参画に関する意識について、普段の生活や社会全体の中でどのように
 思いますか。(1つに○)



男女共同参画に関する意識については、「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」との回答が 35.8%で最も高くなっています。「男性の方が優遇されている」(12.9%)と「どちらかと言えば男性のほう
が優遇されている」を合わせた「男性の方が優遇」は全体の 48.7%となっており、「女性の方が優遇されている」(2.2%)と「どちらか
 といえば女性のほう
が優遇されている」を合わせた「女性の方が優遇」は 5.9%と半数近くが男性の方が優遇されていると感じています。

「平等になっている」との回答は全体の 17.4%です。

●●● 性別・年齢別に見た傾向

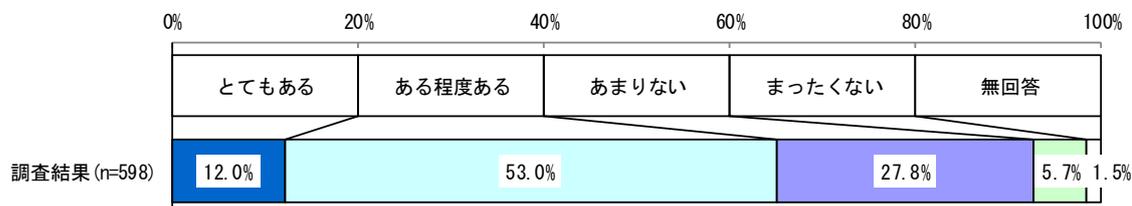
(単位：%)

		回答者数 (n)	男性の方が 優遇	平等に なっている	女性の方が 優遇	わからない・ 無回答
全体		598	48.7	17.4	5.9	28.1
性別	男性	279	46.6	21.1	10.4	21.9
	女性	317	50.8	13.9	1.9	33.4
年齢	10・20 歳代	56	26.8	23.2	8.9	41.1
	30 歳代	59	55.9	13.6	0.0	30.5
	40 歳代	80	45.0	11.3	13.8	30.0
	50 歳代	99	52.5	17.2	6.1	24.2
	60 歳代	173	54.9	15.0	4.6	25.4
	70 歳以上	129	46.5	23.3	3.9	26.4

「平等になっている」や「女性の方が優遇」では、男性が女性を上回っています。
 年齢別の 70 歳以上と 10・20 歳代では、「平等になっている」が 2 割台と全体より高くなっています。30 歳代と 60 歳代では、「男性の方が優遇」が半数を超え、全体より高くなっています。

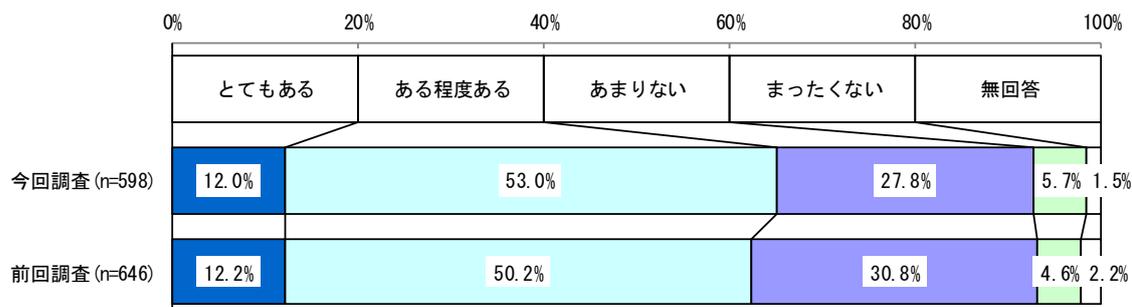
6 行財政運営について

問 39 あなたは、市の行財政運営に関心がありますか。(1つに○)



行財政運営への関心については、「ある程度ある」との回答が53.0%で最も高くなっています。「とてもある」(12.0%)と、「ある程度ある」を合わせた「関心がある」は全体の65.0%で、「あまりない」(27.8%)、「まったくない」(5.7%)を合わせた「関心がない」は33.5%に比べ、高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「関心がある」(62.4%)と比べ、やや上回っています。

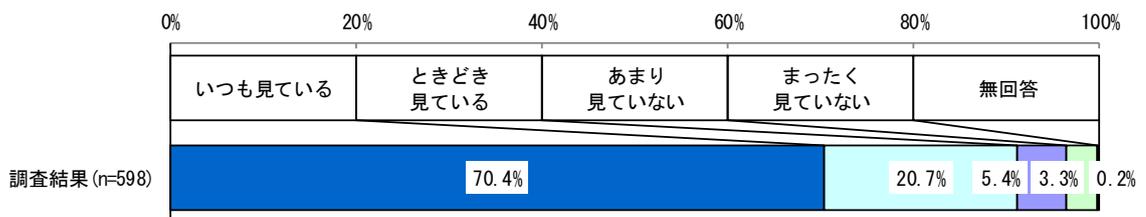
○○○ 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	関心がある	関心がない	無回答
全体		598	65.1	33.4	1.5
性別	男性	279	69.9	29.4	0.7
	女性	317	60.9	37.2	1.9
年齢	10・20歳代	56	39.3	60.7	0.0
	30歳代	59	57.6	42.4	0.0
	40歳代	80	48.8	50.0	1.3
	50歳代	99	67.7	32.3	0.0
	60歳代	173	75.1	23.7	1.2
	70歳以上	129	74.4	21.7	3.9

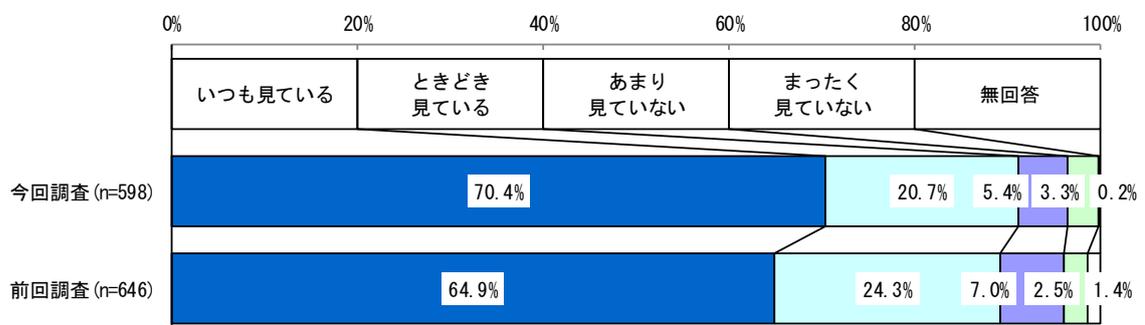
年齢別の60歳代以上では、「関心がある」が7割を超え、関心の高さがうかがえます。一方、40歳代以下では、「関心がない」がいずれも4割を超え、全体よりも高くなっています。

問 40 あなたは、市の広報紙（広報そうさ）を見たことがありますか。（1つに○）



市の広報紙については、「いつも見ている」との回答が70.4%で最も高くなっています。「いつも見ている」と「ときどき見ている」（20.7%）を合わせた「見ている」は全体の91.1%と非常に高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「見ている」の89.2%に比べ、やや高くなっています。

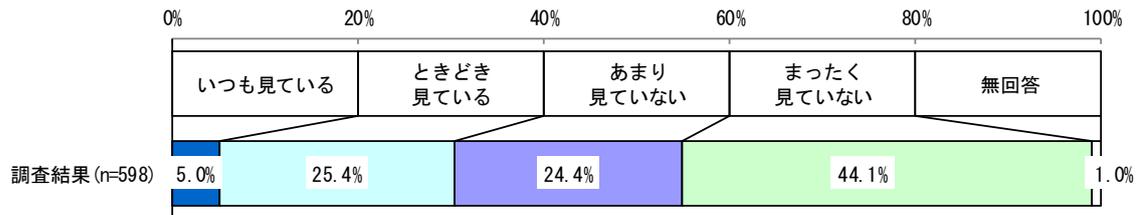
○○○ 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	「見ている」	「見えていない」	無回答
全体		598	91.1	8.7	0.2
性別	男性	279	87.5	12.2	0.4
	女性	317	94.3	5.7	0.0
年齢	10・20歳代	56	76.8	23.2	0.0
	30歳代	59	83.1	16.9	0.0
	40歳代	80	83.8	16.3	0.0
	50歳代	99	93.9	6.1	0.0
	60歳代	173	96.0	4.0	0.0
	70歳以上	129	96.9	2.3	0.8

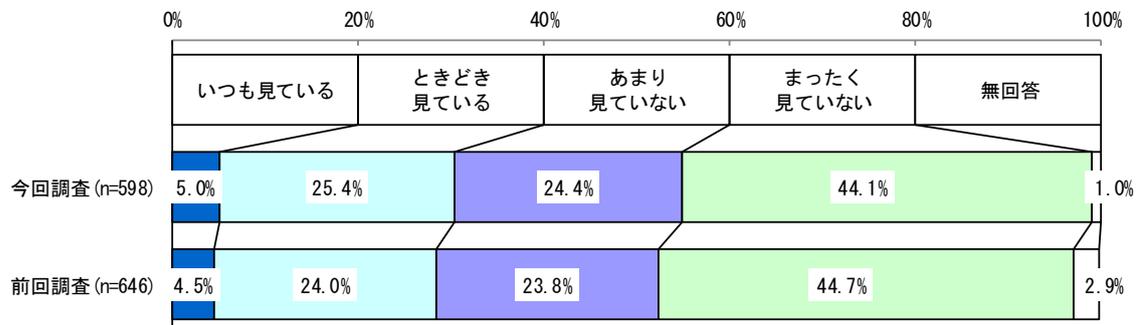
年齢別の40歳代以下では、「見えていない」との回答が全体より高く、10・20歳代で「見ている」との回答は7割台にとどまっています。

問 41 あなたは、市のホームページを見たことがありますか。（1つに○）



市のホームページについては、「まったく見えていない」との回答が44.1%で最も高くなっています。「いつも見ている」(5.0%)と「ときどき見ている」(25.4%)を合わせた「見ている」は全体の30.4%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、前回調査の「見ている」の28.5%に比べ、やや高くなっています。

○○○ 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	「見ている」	「見えていない」	無回答
全体		598	30.4	68.6	1.0
性別	男性	279	31.9	67.0	1.1
	女性	317	29.0	70.0	0.9
年齢	10・20歳代	56	21.4	78.6	0.0
	30歳代	59	42.4	57.6	0.0
	40歳代	80	32.5	67.5	0.0
	50歳代	99	38.4	61.6	0.0
	60歳代	173	28.3	69.9	1.7
	70歳以上	129	24.0	73.6	2.3

年齢別の30歳代と50歳代では、「見ている」が4割前後で、全体より高くなっています。

問 42 あなたは、まちづくりや地域づくりに参加していますか、また、今後参加したいと思いませんか。(①～⑧の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○)

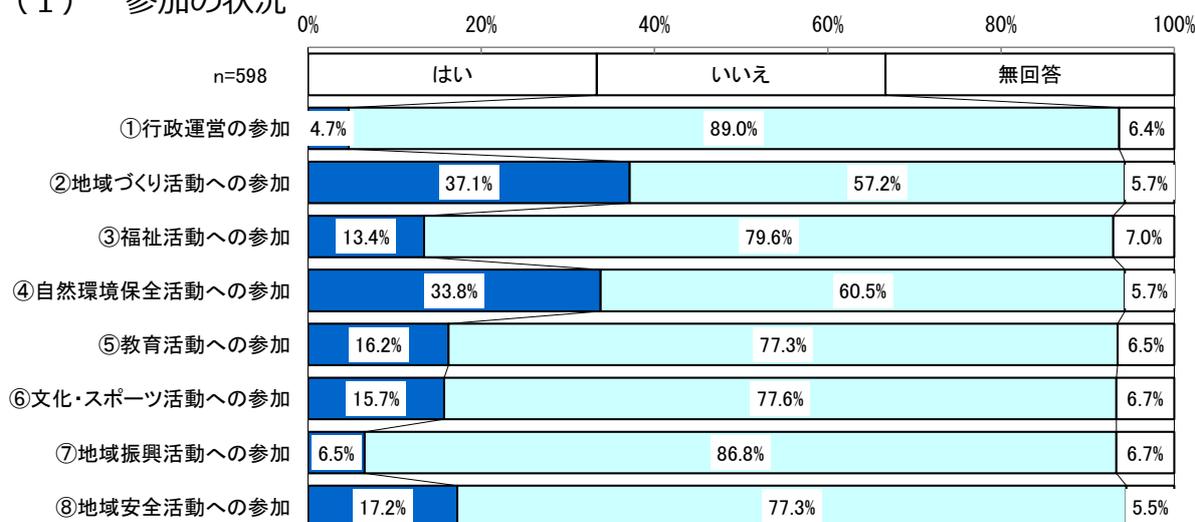
<活動内容>

- ① 行政運営への参加
- ② 地域づくり活動への参加
- ③ 福祉活動への参加
- ④ 自然環境保全活動への参加
- ⑤ 教育活動への参加
- ⑥ 文化・スポーツ活動への参加
- ⑦ 地域振興活動への参加
- ⑧ 地域安全活動への参加

<参加の状況と意向>

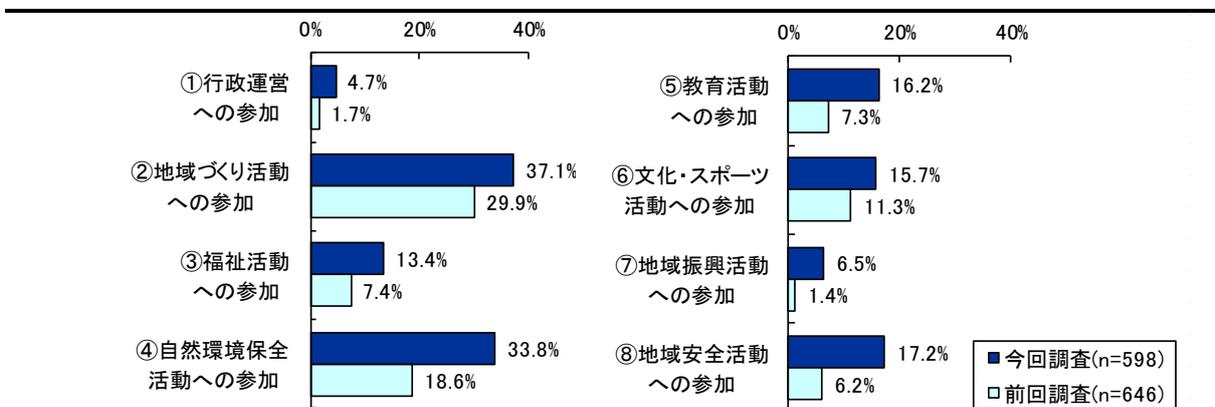
- (1) ここ数年の間に参加していますか
- (2) 今後参加したいですか

(1) 参加の状況



参加しているかについては、「はい」との回答が、①行政運営への参加が 4.7%、②地域づくり活動への参加が 37.1%、③福祉活動への参加が 13.4%、④自然環境保全活動への参加が 33.8%、⑤教育活動への参加が 16.2%、⑥文化・スポーツ活動への参加が 15.7%、⑦地域振興活動への参加が 6.5%、⑧地域安全活動への参加が 17.2%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、④自然環境保全活動への参加が 15.2 ポイント高くなるなど、全体的に前回調査を上回る傾向が見られます。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

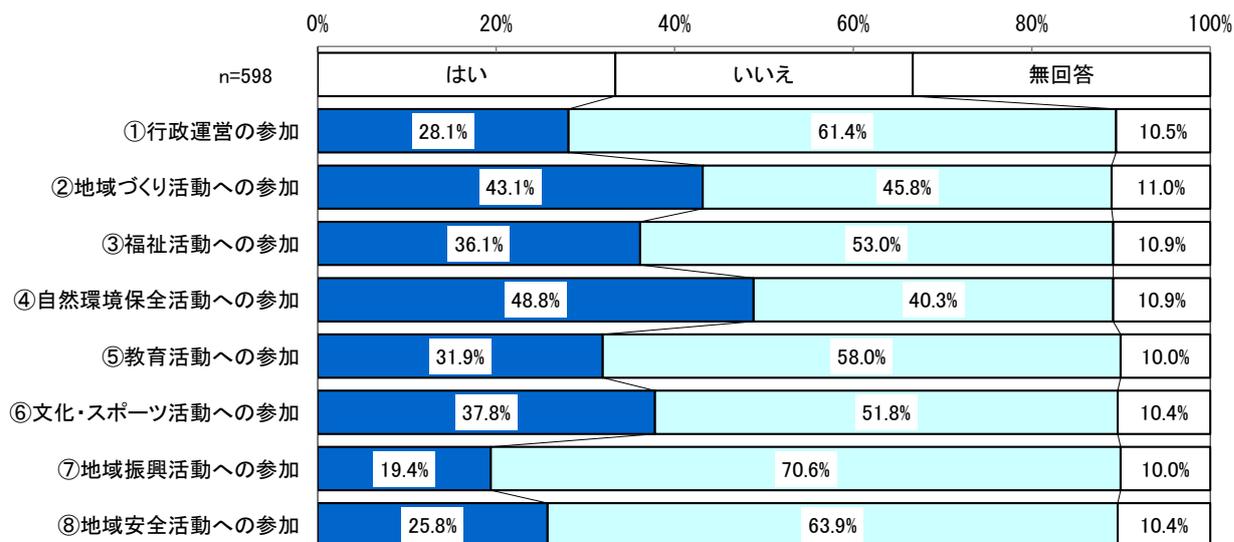
(単位：%)

		回答者数 (n)	①行政運営への参加	②地域づくり活動への参加	③福祉活動への参加	④自然環境保全活動への参加	⑤教育活動への参加	⑥文化・スポーツ活動への参加	⑦地域振興活動への参加	⑧地域安全活動への参加
全体		598	4.7	37.1	13.4	33.8	16.2	15.7	6.5	17.2
性別	男性	279	5.4	45.5	11.5	36.9	16.8	18.3	11.8	28.0
	女性	317	3.8	29.3	15.1	30.6	15.8	13.6	1.9	7.6
年齢	10・20歳代	56	1.8	19.6	8.9	16.1	19.6	14.3	1.8	3.6
	30歳代	59	0.0	32.2	5.1	23.7	18.6	16.9	5.1	23.7
	40歳代	80	7.5	40.0	8.8	30.0	27.5	13.8	6.3	21.3
	50歳代	99	3.0	39.4	11.1	38.4	11.1	16.2	3.0	18.2
	60歳代	173	7.5	48.0	18.5	44.5	13.9	15.0	9.2	20.8
	70歳以上	129	3.1	27.9	17.1	29.5	14.0	17.8	8.5	11.6
居住地区	中央地区	97	2.1	44.3	19.6	35.1	16.5	18.6	10.3	17.5
	豊栄地区	55	3.6	32.7	5.5	30.9	18.2	10.9	0.0	18.2
	須賀地区	51	3.9	29.4	13.7	29.4	19.6	11.8	9.8	13.7
	匝瑳地区	47	0.0	23.4	2.1	31.9	12.8	14.9	6.4	12.8
	豊和地区	40	5.0	25.0	15.0	30.0	15.0	15.0	2.5	30.0
	吉田地区	21	14.3	61.9	19.0	33.3	19.0	33.3	14.3	19.0
	飯高地区	17	5.9	29.4	17.6	23.5	0.0	11.8	5.9	11.8
	共興地区	42	11.9	61.9	23.8	50.0	23.8	23.8	14.3	23.8
	平和地区	54	3.7	29.6	14.8	25.9	22.2	13.0	3.7	20.4
	椿海地区	68	2.9	33.8	10.3	32.4	13.2	16.2	1.5	13.2
	野田地区	56	5.4	41.1	16.1	33.9	14.3	12.5	7.1	10.7
栄地区	46	6.5	37.0	6.5	43.5	10.9	15.2	6.5	17.4	

年齢別の60歳代では、「②地域活動づくり」など3項目で全体より高くなっています。

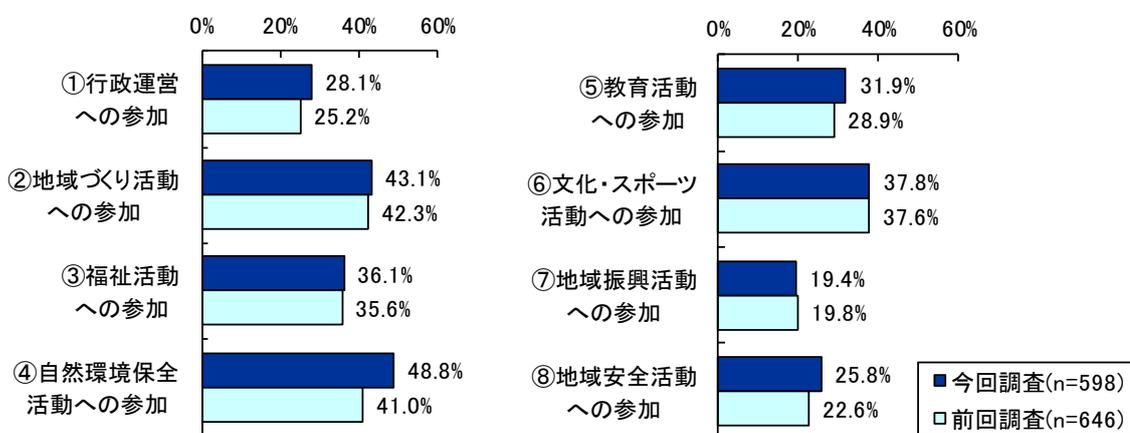
居住地区別の共興地区では、すべての項目で、吉田地区では5項目で、それぞれ全体よりも高くなっているなど、参加状況が活発な地域が見られます。

(2) 参加意向



今後参加したいかについては、「はい」との回答が、①行政運営への参加が 28.1%、②地域づくり活動への参加が 43.1%、③福祉活動への参加 36.1%、④自然環境保全活動への参加が 48.8%、⑤教育活動への参加が 31.9%、⑥文化・スポーツ活動への参加が 37.8%、⑦地域振興活動への参加が 19.4%、⑧地域安全活動への参加が 25.8%となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、④自然環境保全活動への参加が 7.8 ポイント高くなっています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

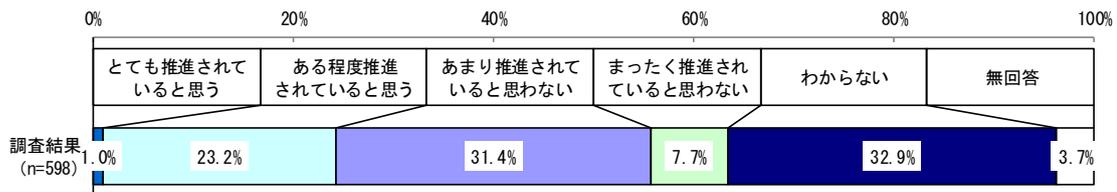
(単位：%)

		回答者数 (n)	①行政運営への参加	②地域づくり活動への参加	③福祉活動への参加	④自然環境保全活動への参加	⑤教育活動への参加	⑥文化・スポーツ活動への参加	⑦地域振興活動への参加	⑧地域安全活動への参加
全体		598	28.1	43.1	36.1	48.8	31.9	37.8	19.4	25.8
性別	男性	279	30.8	49.8	31.5	51.3	30.1	40.9	25.1	31.9
	女性	317	25.6	37.2	40.4	46.7	33.8	35.0	14.2	20.2
年齢	10・20歳代	56	25.0	41.1	32.1	35.7	44.6	41.1	17.9	26.8
	30歳代	59	27.1	44.1	47.5	50.8	39.0	47.5	18.6	33.9
	40歳代	80	38.8	46.3	33.8	48.8	41.3	38.8	20.0	27.5
	50歳代	99	25.3	50.5	44.4	60.6	38.4	52.5	19.2	32.3
	60歳代	173	28.9	46.8	38.2	54.9	30.1	35.3	21.4	27.2
	70歳以上	129	24.0	31.0	25.6	36.4	15.5	23.3	17.1	13.2
居住地区	中央地区	97	30.9	50.5	41.2	50.5	36.1	40.2	24.7	33.0
	豊栄地区	55	21.8	38.2	29.1	47.3	30.9	38.2	18.2	30.9
	須賀地区	51	29.4	33.3	29.4	47.1	27.5	37.3	23.5	27.5
	匝瑳地区	47	19.1	36.2	31.9	44.7	19.1	31.9	12.8	25.5
	豊和地区	40	20.0	35.0	30.0	35.0	37.5	32.5	12.5	25.0
	吉田地区	21	42.9	66.7	47.6	47.6	38.1	47.6	42.9	23.8
	飯高地区	17	35.3	29.4	41.2	58.8	11.8	47.1	11.8	11.8
	共興地区	42	28.6	52.4	40.5	57.1	42.9	38.1	21.4	33.3
	平和地区	54	27.8	40.7	33.3	50.0	25.9	33.3	14.8	25.9
	椿海地区	68	32.4	42.6	39.7	55.9	32.4	38.2	17.6	20.6
	野田地区	56	30.4	48.2	39.3	44.6	37.5	41.1	21.4	16.1
栄地区	46	26.1	43.5	34.8	47.8	32.6	37.0	13.0	21.7	

年齢別の50歳代と60歳代では、「自然環境保全活動」が半数を超えて、50歳代以下では、「教育活動」が4割前後で、それぞれ全体より高くなっています。

居住地区別の吉田地区では、「地域づくり活動」が6割台であるのをはじめ、6項目で全体より高くなっています。飯高地区、共興地区、椿海地区では、「自然環境保全活動への参加」が約6割となっています。また、中央地区では、「地域づくり活動」、「自然環境保全活動への参加」が半数を超えており、4項目で全体よりも高くなっているなど、参加意欲の高い項目が多い地区が見られます。

問 43 市では現在、市民と行政との協働によるまちづくりに取り組んでいます。あなたは、協働によるまちづくりが推進されていると思いますか。（1つに○）



協働によるまちづくりの推進については、「わからない」が32.9%で、最も高くなっています。

「とても推進されていると思う」（1.0%）、「ある程度推進されていると思う」（23.2%）を合わせた「推進されていると思う」との回答は24.2%となっています。

●●● 性別・年齢別に見た傾向

（単位：％）

		回答者数 (n)	推進されていると思う	推進されていないと思う	わからない・無回答
全体		598	24.2	39.1	36.6
性別	男性	279	23.7	42.7	33.7
	女性	317	24.6	36.3	39.1
年齢	10・20 歳代	56	17.9	35.7	46.4
	30 歳代	59	22.0	45.8	32.2
	40 歳代	80	17.5	47.5	35.0
	50 歳代	99	26.3	41.4	32.3
	60 歳代	173	26.0	39.3	34.7
	70 歳以上	129	27.9	31.0	41.1
居住歴	ずっと市内に住んでいる	210	27.1	41.4	31.4
	市外での居住経験あり	147	21.1	44.2	34.7
	県内の他の市町村出身	152	23.0	38.2	38.8
	県外の出身	83	25.3	27.7	47.0

年齢別の30歳代と40歳代では、「推進されていると思う」が全体より高くなっています。

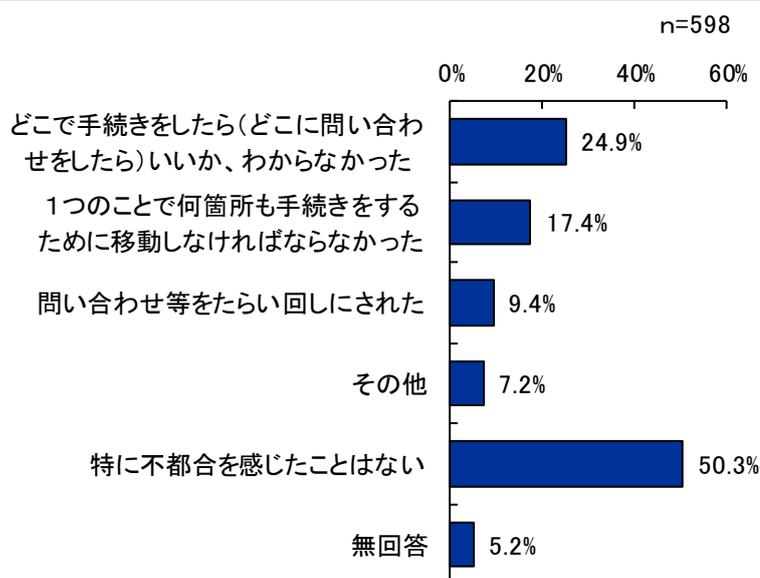
居住歴別の市外での居住経験ありでは、「推進されていると思う」が全体より高くなっています。

問 44 市の手続きや問合せ等で不都合を感じたことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

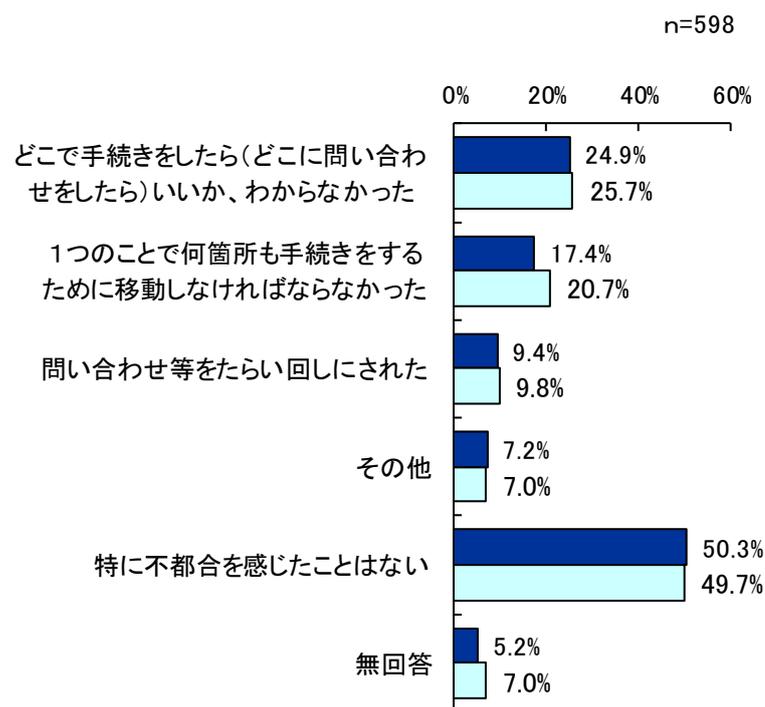
市の手続きや問合せ等で感じた不都合については、「特に不都合を感じたことはない」との回答が 50.3%で最も高くなっています。

「不都合を感じた」回答の中では、「どこで手続きをしたら(どこに問い合わせをしたら)いいか、わからなかった」との回答が全体の 24.9%で最も高くなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、大きな変化は見られなかったものの、「特に不都合を感じたことはない」は前回調査をやや上回り、「どこで手続きをしたらいいか、わからなかった」、「1つのことで何箇所も手続きをするために移動しなければならなかった」、「問い合わせ等をたらい回しにされた」の「不都合を感じた」回答ではやや下回っています。



〇●〇 性別・年齢別・居住歴別・同居家族別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	どこで手続きをしたらいいか、わからなかった	1つのことで何箇所も手続きをするために移動しなければならなかった	問い合わせ等をたらい回しにされた	その他	特に不都合を感じたことはない	無回答
全体		598	24.9	17.4	9.4	7.2	50.3	5.2
性別	男性	279	24.4	17.2	10.0	5.7	53.0	3.9
	女性	317	25.6	17.7	8.8	8.5	47.6	6.3
年齢	10・20歳代	56	26.8	16.1	14.3	8.9	55.4	0.0
	30歳代	59	28.8	22.0	10.2	10.2	44.1	0.0
	40歳代	80	35.0	23.8	10.0	11.3	40.0	2.5
	50歳代	99	30.3	18.2	14.1	7.1	47.5	4.0
	60歳代	173	23.7	19.7	8.7	6.4	50.9	2.9
	70歳以上	129	14.0	8.5	3.9	3.9	58.1	15.5
居住歴	ずっと市内に住んでいる	210	29.5	20.5	9.0	6.7	43.8	5.7
	市外での居住経験がある	147	23.1	17.7	10.2	8.8	51.7	6.1
	県内の他の市町村出身	152	23.7	18.4	10.5	5.9	50.0	4.6
	県外の出身	83	19.3	8.4	7.2	8.4	62.7	3.6
同居家族	妊産婦・未就学児	58	27.6	32.8	15.5	3.4	39.7	3.4
	小・中学生	97	25.8	22.7	10.3	11.3	41.2	4.1
	介護を必要とする方	58	27.6	25.9	12.1	5.2	46.6	3.4
	障がいのある方	62	30.6	14.5	6.5	6.5	40.3	8.1
	いずれもない	352	23.3	14.8	8.5	7.7	54.8	4.8

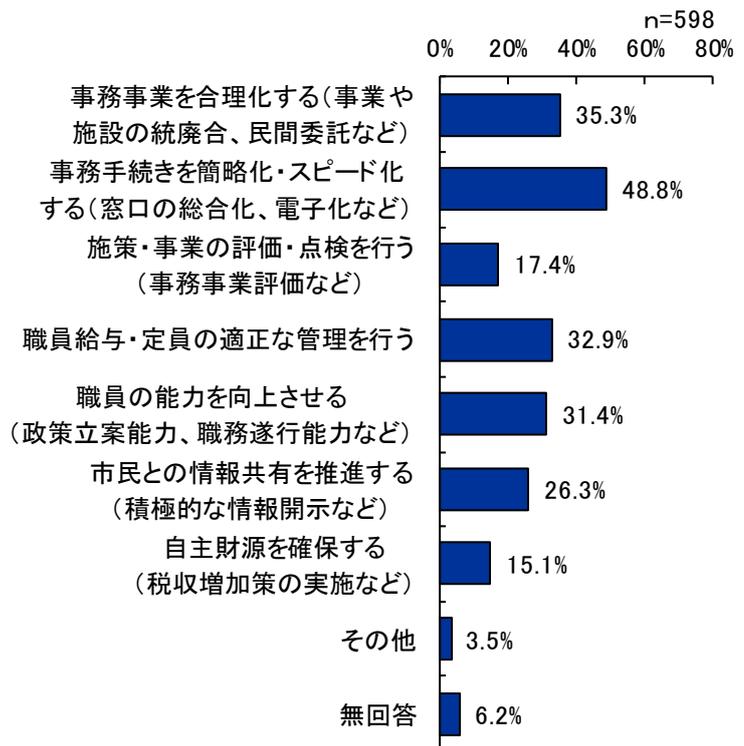
年齢別の40歳代と50歳代では、「どこで手続きをしたらいいか、わからなかった」が3割台と全体より高くなっています。

居住歴別の県外の出身では、「特に不都合を感じたことはない」が6割台で全体より高くなっています。

同居家族別の妊産婦・未就学児、障がいのある方、小・中学生では、「特に不都合を感じたことはない」が4割前後にとどまり、全体より低くなっています。

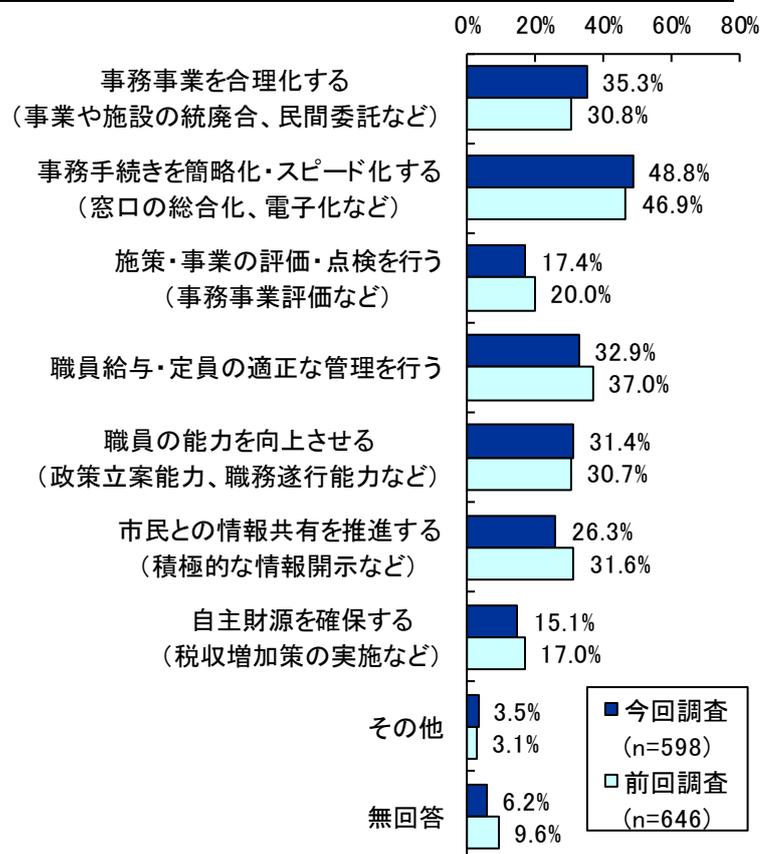
問 45 市では現在、行財政改革に取り組んでいます。あなたは、市の行財政改革の取組で、何が重要と考えますか。（3つまで○）

市の行財政改革への重要な取組については、「事務手続きを簡略化・スピード化する」が48.8%で最も高く、次いで「事務事業を合理化する」が35.3%、「職員給与・定員の適正な管理を行う」が32.9%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「事務事業を合理化する」が前回調査に比べ4.5ポイント増加しています。



〇●〇 性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	事務事業を合理化する (統廃合、民間委託など)	事務手続きを簡略化・スピード化する (窓口の総合化、電子化など)	施策・事業の評価・点検を行う (事業評価など)	職員給与・定員の 適正な管理を行う	職員の能力を向上させる (政策立案能力、職務遂行能力など)	市民との情報共有を推進する (積極的な情報開示など)	自主財源を確保する (税収増加策の実施など)	その他	無回答
全体		598	35.3	48.8	17.4	32.9	31.4	26.3	15.1	3.5	6.2
性別	男性	279	35.8	50.2	19.4	31.2	27.2	26.9	21.1	4.7	4.7
	女性	317	35.0	47.3	15.5	34.7	35.3	25.9	9.5	2.5	7.6
年齢	10・20 歳代	56	26.8	42.9	17.9	26.8	33.9	26.8	23.2	7.1	3.6
	30 歳代	59	44.1	66.1	15.3	37.3	23.7	27.1	11.9	10.2	1.7
	40 歳代	80	28.8	55.0	18.8	38.8	30.0	27.5	15.0	1.3	3.8
	50 歳代	99	39.4	46.5	18.2	26.3	26.3	23.2	16.2	4.0	5.1
	60 歳代	173	34.1	46.8	19.7	37.0	37.0	30.6	12.1	1.7	3.5
	70 歳以上	129	38.0	43.4	13.2	30.2	31.8	21.7	15.5	2.3	15.5

年齢別の30歳代では、「事務手続きを簡略化・スピード化する」、「事務事業を合理化する」が全体より高くなっています。40歳代では、「事務手続きを簡略化・スピード化する」、「職員給与・定員の適正な管理を行う」が全体より高くなっています。60歳代では、「職員の能力を向上させる」が全体より高くなっています。

7 人口減少対策について

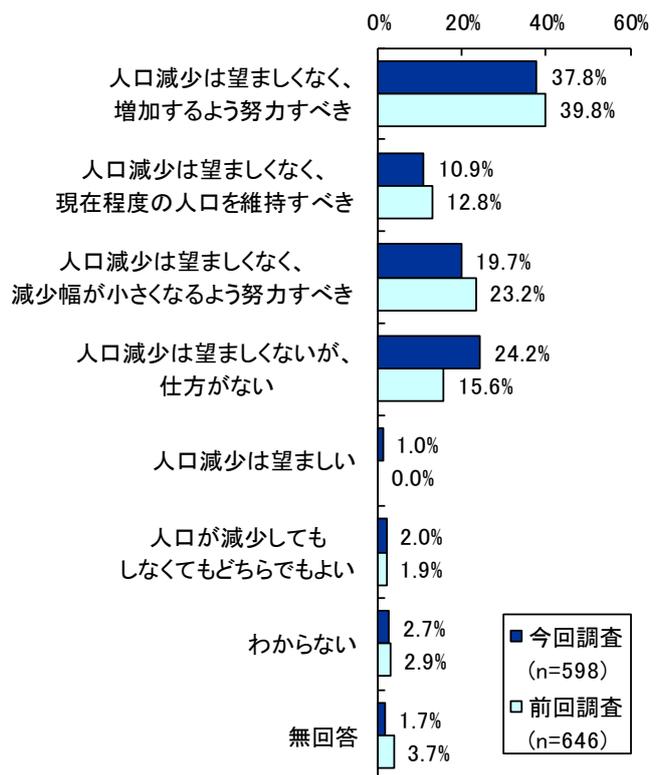
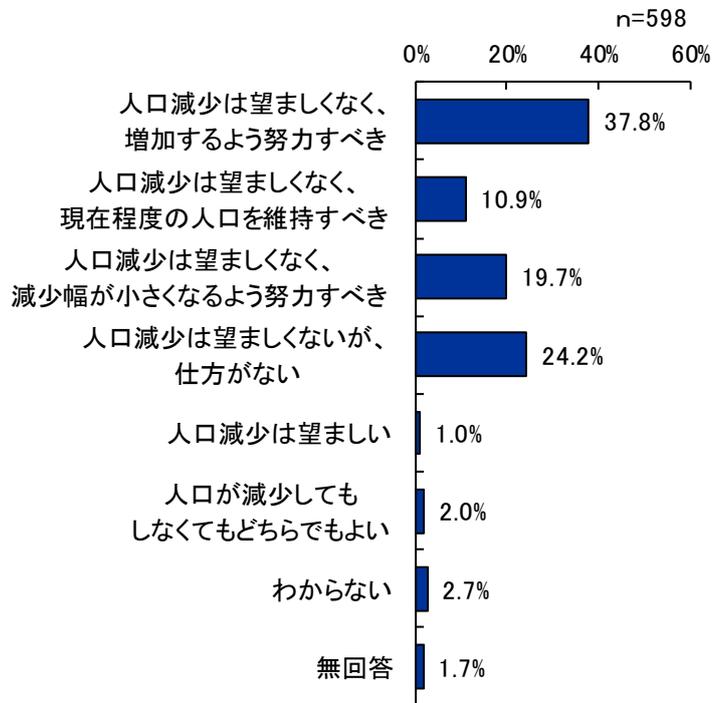
問 46 平成 18 年の本市誕生以来、人口減少が進行しています。あなたの住む地区の人口減少について、どのように考えていますか。(1つに○)

人口減少への考え方については、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が 37.8%で最も高く、次いで「人口減少は望ましくないが、仕方がない」が 24.2%、「人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき」が 19.7%などとなっています。

「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」と、「人口減少は望ましくなく、現在の人口を維持すべき」、「人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき」、「人口減少は望ましくないが、仕方がない」の4項目を合わせた「人口減少は望ましくない」は、92.6%と非常に高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が引き続き最も高く、「人口減少は望ましくないが、仕方がない」では前回調査に比べ 8.6 ポイント高くなっています。



〇〇〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

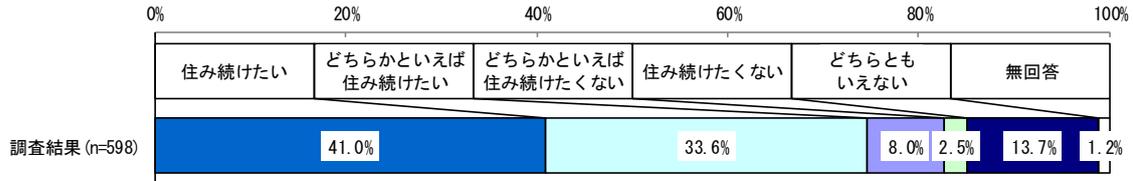
(単位：%)

		回答者数 (n)	人口減少は望ましく なく、増加するよう努 力すべき	人口減少は望ましく なく、現在程度の人口 を維持すべき	人口減少は望ましく なく、減少幅が小さく なるよう努力すべき	人口減少は望ましく ないが、仕方がない	人口減少は望ましい	人口が減少してもし なくてもどちらでも よい	わからない	無回答
全体		598	37.8	10.9	19.7	24.2	1.0	2.0	2.7	1.7
性別	男性	279	40.5	10.4	21.1	20.1	1.4	2.5	2.2	1.8
	女性	317	35.3	11.4	18.6	28.1	0.6	1.6	2.8	1.6
年齢	10・20歳代	56	32.1	16.1	10.7	28.6	0.0	5.4	7.1	0.0
	30歳代	59	44.1	10.2	13.6	23.7	1.7	0.0	6.8	0.0
	40歳代	80	36.3	12.5	20.0	21.3	3.8	2.5	2.5	1.3
	50歳代	99	27.3	13.1	23.2	30.3	1.0	2.0	2.0	1.0
	60歳代	173	39.9	10.4	23.7	20.8	0.6	1.7	0.0	2.9
	70歳以上	129	43.4	7.0	18.6	24.8	0.0	1.6	2.3	2.3
居住地区	中央地区	97	45.4	12.4	16.5	19.6	0.0	0.0	3.1	3.1
	豊栄地区	55	38.2	14.5	14.5	25.5	1.8	0.0	5.5	0.0
	須賀地区	51	29.4	5.9	25.5	25.5	2.0	5.9	5.9	0.0
	而瑳地区	47	34.0	14.9	21.3	14.9	4.3	4.3	4.3	2.1
	豊和地区	40	32.5	10.0	22.5	30.0	0.0	2.5	0.0	2.5
	吉田地区	21	14.3	9.5	38.1	33.3	0.0	0.0	4.8	0.0
	飯高地区	17	35.3	11.8	17.6	29.4	5.9	0.0	0.0	0.0
	共興地区	42	47.6	4.8	11.9	26.2	0.0	2.4	0.0	7.1
	平和地区	54	50.0	5.6	18.5	24.1	0.0	1.9	0.0	0.0
	椿海地区	68	36.8	13.2	22.1	23.5	1.5	1.5	1.5	0.0
	野田地区	56	28.6	17.9	21.4	28.6	0.0	1.8	1.8	0.0
	栄地区	46	41.3	6.5	17.4	23.9	0.0	4.3	2.2	4.3

年齢別の30歳代と70歳以上では、「望ましくなく、増加するよう努力すべき」が4割台で全体より高くなっています。50歳代では、「望ましくないが仕方がない」が3割で全体より高くなっています。

居住地区別の平和地区、共興地区、中央地区では、「望ましくなく、増加するよう努力すべき」が全体より高くなっています。吉田地区、豊和地区、飯高地区では、「望ましくないが仕方がない」が3割前後で全体より高くなっています。

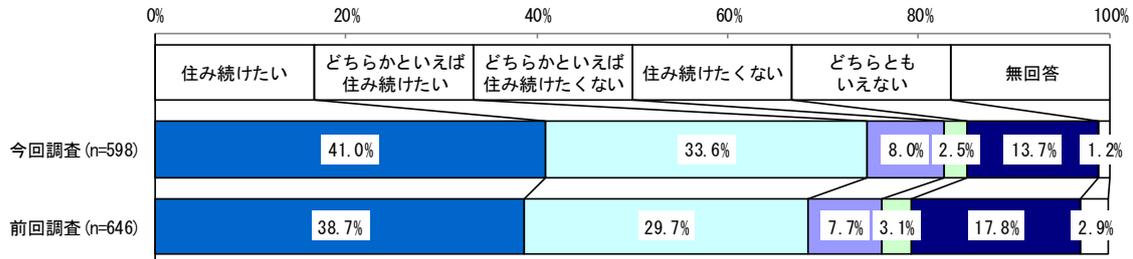
問 47 あなたは、これからも匝瑳市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)



これからも匝瑳市に住み続けたいかについては、「住み続けたい」との回答が41.0%で最も高くなっています。

「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」(33.6%)を合わせた「定住意向がある」は全体の74.6%と高くなっています。

◆◇◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「定住意向がある」と回答した人が、前回調査に比べ6.2ポイント高くなっています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別・居住歴別に見た傾向

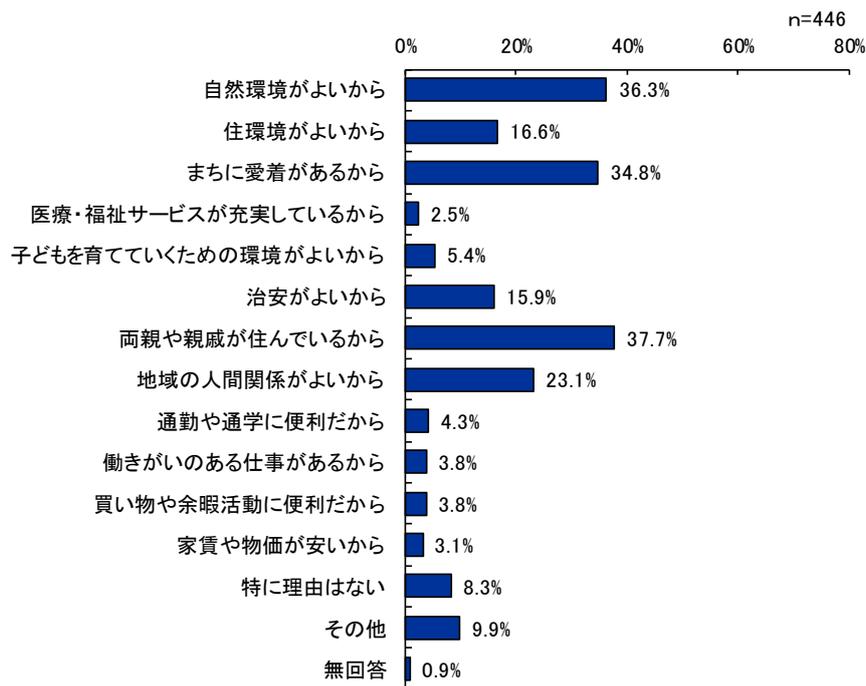
(単位：%)

		回答者数 (n)	定住意向がある	定住意向がない	どちらともいえない・無回答
全体		598	74.6	10.5	14.9
性別	男性	279	78.5	7.9	13.6
	女性	317	71.0	12.9	16.1
年齢	10・20 歳代	56	53.6	26.8	19.6
	30 歳代	59	72.9	13.6	13.6
	40 歳代	80	66.3	12.5	21.3
	50 歳代	99	73.7	14.1	12.1
	60 歳代	173	78.6	6.4	15.0
	70 歳以上	129	84.5	3.9	11.6
居住地区	中央地区	97	74.2	12.4	13.4
	豊栄地区	55	74.5	12.7	12.7
	須賀地区	51	72.5	5.9	21.6
	匝瑳地区	47	70.2	14.9	14.9
	豊和地区	40	85.0	5.0	10.0
	吉田地区	21	85.7	4.8	9.5
	飯高地区	17	58.8	11.8	29.4
	共興地区	42	71.4	16.7	11.9
	平和地区	54	72.2	11.1	16.7
	椿海地区	68	75.0	7.4	17.6
	野田地区	56	82.1	7.1	10.7
	栄地区	46	71.7	15.2	13.0
居住歴	ずっと市内に住んでいる	210	80.0	7.1	12.9
	市外での居住経験がある	147	77.6	12.2	10.2
	県内の他の市町村出身である	152	66.4	13.2	20.4
	県外出身である	83	69.9	12.0	18.1

年齢別の70歳以上では、「定住意向がある」が8割を超えているのに対し、10・20歳代では、「どちらかといえば住み続けたくない」、「住み続けたくない」を合わせた「定住意向がない」との回答は、2割を超えて全体より高くなっています。

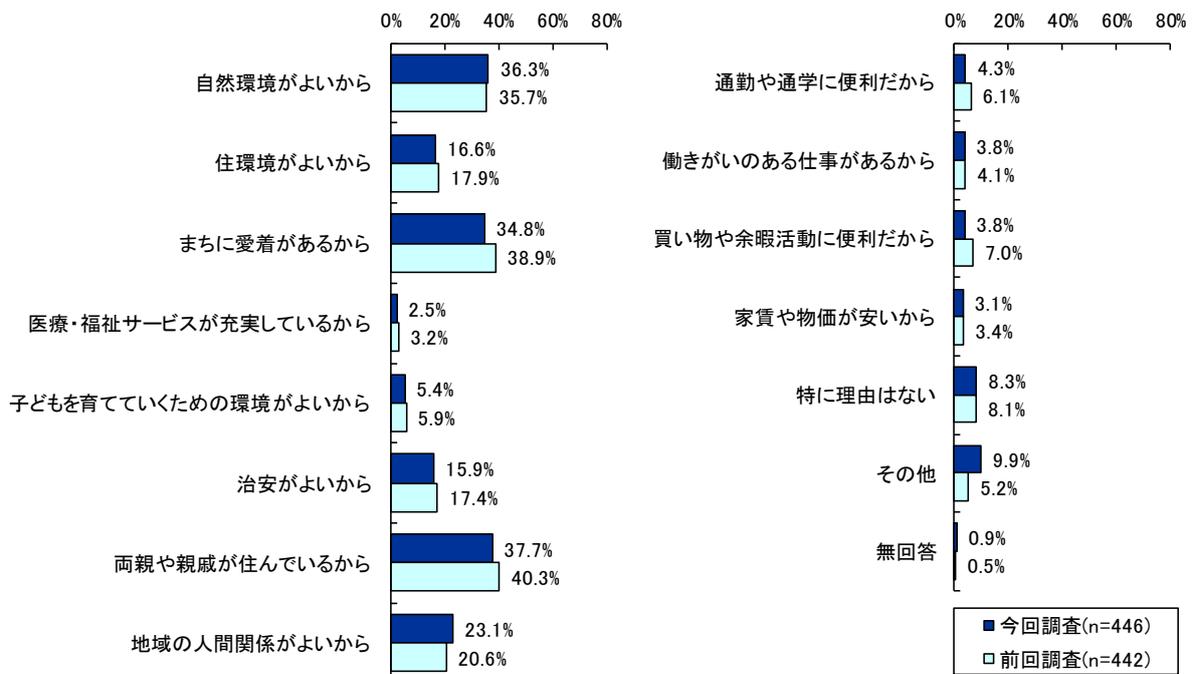
居住地区別の吉田地区、豊和地区、野田地区では、「定住意向がある」が8割を超えて全体より高くなっています。飯高地区では、「定住意向がある」が6割未満と全体よりかなり低くなっています。

問 47-1 問 47 で「1」又は「2」に回答された方にお聞きします。
その理由は何ですか。(3つまで○)



住み続けたい理由としては、「両親や親戚が住んでいるから」が 37.7%で最も高く、次いで「自然環境が良いから」が 36.3%、「まちに愛着があるから」が 34.8% などとなっており、これら上位 3 項目が 3 割を超えて高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較でも、順位の入替わりは見られるものの、同様にこの 3 項目が上位となっています。

性別・年齢別・居住地区・居住歴に見た傾向

(単位：%)

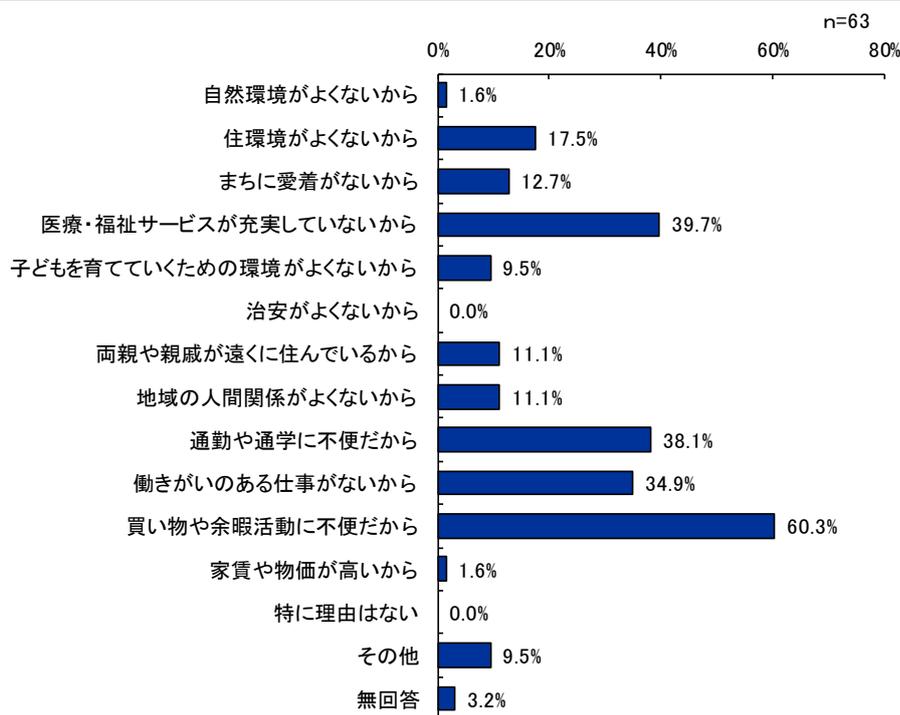
		回答者数 (n)	自然環境がよいから	住環境がよいから	まちに愛着があるから	医療・福祉サービスが充実しているから	子どもを育てていくための環境がよいから	治安がよいから	両親や親戚が住んでいるから	地域の人間関係がよいから	通勤や通学に便利だから	働きがいのある仕事があるから	買い物や余暇活動に便利だから	家賃や物価が安いから	特に理由はない	その他	無回答
全体		446	36.3	16.6	34.8	2.5	5.4	15.9	37.7	23.1	4.3	3.8	3.8	3.1	8.3	9.9	0.9
性別	男性	219	38.8	18.7	37.9	1.8	5.9	14.2	36.1	23.3	2.7	4.6	4.1	2.3	7.8	9.6	0.5
	女性	225	33.8	14.7	31.6	2.7	4.9	17.8	39.1	22.7	5.3	3.1	3.6	4.0	8.9	10.2	1.3
年齢	10・20歳代	30	40.0	10.0	56.7	0.0	0.0	20.0	66.7	10.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	6.7	0.0
	30歳代	43	25.6	18.6	30.2	2.3	16.3	16.3	60.5	11.6	2.3	7.0	7.0	2.3	9.3	2.3	0.0
	40歳代	53	30.2	7.5	39.6	0.0	9.4	11.3	50.9	11.3	13.2	1.9	1.9	3.8	7.5	9.4	0.0
	50歳代	73	37.0	15.1	35.6	0.0	8.2	11.0	39.7	20.5	5.5	4.1	2.7	5.5	6.8	11.0	0.0
	60歳代	136	39.0	18.4	31.6	1.5	3.7	16.9	29.4	31.6	3.7	4.4	2.9	2.9	6.6	15.4	0.0
	70歳以上	109	38.5	21.1	31.2	6.4	0.9	19.3	22.9	27.5	0.9	3.7	6.4	1.8	12.8	6.4	3.7
居住地区	中央地区	72	31.9	18.1	50.0	1.4	2.8	13.9	30.6	27.8	8.3	1.4	8.3	0.0	5.6	9.7	2.8
	豊栄地区	41	34.1	19.5	22.0	0.0	4.9	7.3	34.1	7.3	7.3	2.4	2.4	7.3	17.1	14.6	2.4
	須賀地区	37	37.8	13.5	40.5	2.7	2.7	21.6	43.2	21.6	2.7	5.4	8.1	8.1	5.4	8.1	2.7
	匝瑳地区	33	48.5	21.2	33.3	6.1	6.1	18.2	30.3	18.2	0.0	9.1	3.0	9.1	6.1	9.1	0.0
	豊和地区	34	38.2	5.9	26.5	0.0	11.8	23.5	44.1	29.4	0.0	2.9	0.0	0.0	14.7	5.9	0.0
	吉田地区	18	22.2	16.7	33.3	0.0	0.0	22.2	44.4	38.9	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	16.7	0.0
	飯高地区	10	60.0	10.0	20.0	0.0	10.0	10.0	40.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	共興地区	30	36.7	13.3	36.7	0.0	3.3	13.3	36.7	33.3	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	平和地区	39	33.3	7.7	23.1	0.0	12.8	17.9	46.2	17.9	10.3	0.0	7.7	5.1	10.3	7.7	0.0
	椿海地区	51	31.4	25.5	33.3	5.9	3.9	5.9	41.2	15.7	3.9	2.0	3.9	2.0	13.7	15.7	0.0
	野田地区	46	45.7	19.6	39.1	4.3	2.2	19.6	37.0	15.2	2.2	6.5	0.0	0.0	4.3	2.2	0.0
	栄地区	33	30.3	18.2	33.3	3.0	9.1	24.2	33.3	27.3	0.0	3.0	0.0	6.1	9.1	6.1	0.0
居住歴	ずっと市内	168	31.0	10.7	40.5	1.2	4.8	13.7	51.8	25.6	4.2	5.4	3.0	3.0	7.1	5.4	1.8
	市外での居住経験がある	114	35.1	14.0	41.2	2.6	1.8	16.7	47.4	16.7	1.8	1.8	3.5	3.5	8.8	7.9	0.0
	県内の他の市町村出身	101	41.6	22.8	28.7	3.0	8.9	20.8	15.8	26.7	5.9	4.0	6.9	2.0	8.9	15.8	1.0
	県外出身	58	44.8	27.6	17.2	3.4	8.6	13.8	15.5	19.0	5.2	3.4	1.7	5.2	10.3	17.2	0.0

年齢別の40歳代以下では、「両親や親戚が住んでいるから」が半数を超えて全体より高くなっています。60歳代では、「地域の間人間関係が良いから」が3割を超えて全体より高い一方、40歳代以下では、1割程度にとどまっています。10・20歳代では、「まちに愛着があるから」が半数を超えて全体より高く、「子どもを育てていくための環境がよいから」については、30歳代で全体より高くなっています。

居住地区別の平和地区、吉田地区、豊和地区、須賀地区、椿海地区では、「両親や親戚が住んでいるから」が、飯高地区では、「地域の間人間関係がよいから」が、匝瑳地区、野田地区では、「自然環境が良いから」が、中央地区では、「まちに愛着があるから」が最も高くなっています。

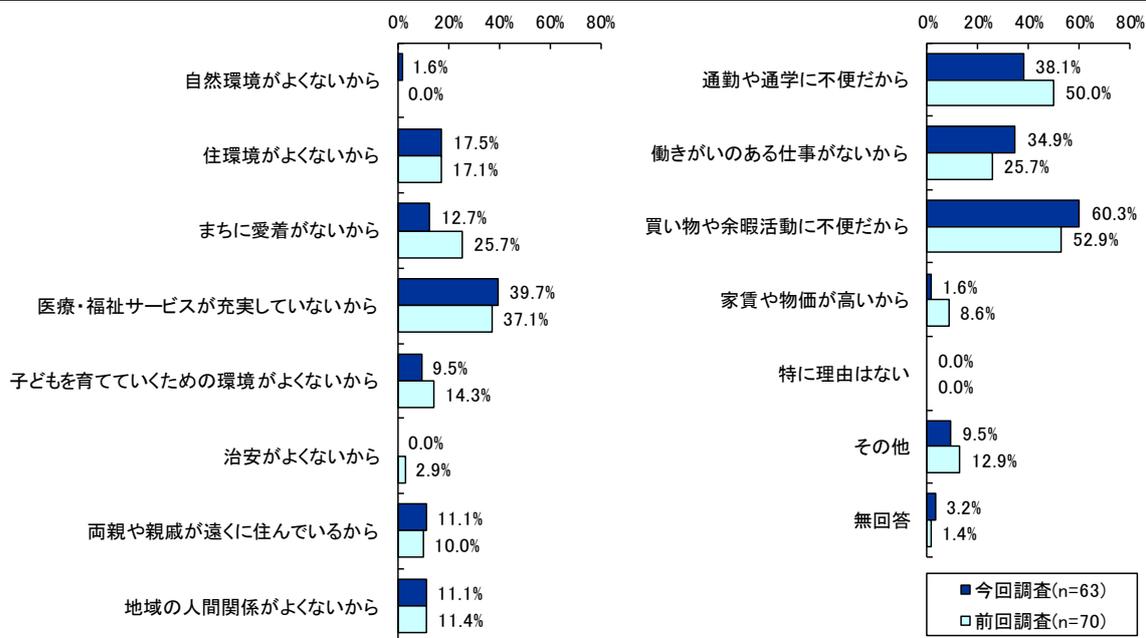
居住歴別のずっと市内に住んでいる方、市外での居住経験がある方では、「まちに愛着があるから」、「両親や親戚が住んでいるから」が全体より高い一方、県内の他市町村出身と県外の出身では、「自然環境がよいから」、「住環境がよいから」が全体より高くなっています。

問 47-2 問 47 で「3」又は「4」に回答された方にお聞きします。
その理由は何ですか。(3つまで○)



住み続けたくない理由としては、「買い物や余暇活動に不便だから」が 60.3%で最も高く、次いで「医療・福祉サービスが充実していないから」が 39.7%、「通勤や通学に不便だから」が 38.1%などとなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「働きがいのある仕事がないから」が 9.2 ポイント、「買い物や余暇活動に不便だから」が 7.4 ポイント、それぞれ前回調査より高くなっているのに対し、「まちに愛着がないから」は 13.0 ポイント、「通勤や通学に不便だから」は 11.9 ポイント、それぞれ低くなっています。

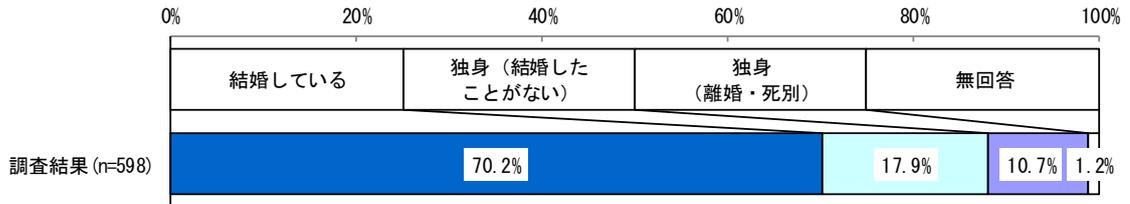
性別・年齢別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	自然環境がよくないから	住環境がよくないから	まちに愛着がないから	医療・福祉サービスが充実していないから	子どもを育てていくための環境がよくないから	治安がよくないから	両親や親戚が遠くに住んでいるから	地域の人間関係がよくないから	通勤や通学に不便だから	働きがいのある仕事がないから	買い物や余暇活動に不便だから	家賃や物価が多いから	特に理由はない	その他	無回答
全体		63	1.6	17.5	12.7	39.7	9.5	0.0	11.1	11.1	38.1	34.9	60.3	1.6	0.0	9.5	3.2
性別	男性	22	4.5	22.7	13.6	27.3	9.1	0.0	13.6	9.1	45.5	45.5	50.0	0.0	0.0	4.5	0.0
	女性	41	0.0	14.6	12.2	46.3	9.8	0.0	9.8	12.2	34.1	29.3	65.9	2.4	0.0	12.2	4.9
年齢	10・20 歳代	15	0.0	0.0	26.7	33.3	6.7	0.0	13.3	0.0	73.3	40.0	73.3	0.0	0.0	6.7	0.0
	30 歳代	8	0.0	12.5	12.5	50.0	37.5	0.0	0.0	12.5	62.5	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5
	40 歳代	10	0.0	30.0	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	40.0	30.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	50 歳代	14	0.0	21.4	14.3	42.9	7.1	0.0	7.1	21.4	14.3	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60 歳代	11	9.1	27.3	0.0	54.5	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	18.2	54.5	9.1	0.0	9.1	9.1
	70 歳以上	5	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0
居住地区	中央地区	12	8.3	16.7	16.7	41.7	0.0	0.0	16.7	8.3	25.0	41.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	豊栄地区	7	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	71.4	28.6	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0
	須賀地区	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	西槇地区	7	0.0	14.3	28.6	57.1	14.3	0.0	14.3	14.3	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0
	豊和地区	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	吉田地区	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	飯高地区	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	共興地区	7	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	28.6	14.3	28.6	85.7	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平和地区	6	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	椿海地区	5	0.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	野田地区	4	0.0	50.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	栄地区	7	0.0	14.3	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	100.0	14.3	0.0	28.6	0.0
居住歴	ずっと市内	15	0.0	13.3	6.7	33.3	6.7	0.0	6.7	13.3	40.0	33.3	66.7	6.7	0.0	6.7	0.0
	市外での居住経験がある	18	0.0	11.1	0.0	55.6	16.7	0.0	5.6	16.7	27.8	38.9	61.1	0.0	0.0	11.1	5.6
	県内の他の市町村出身	20	0.0	25.0	15.0	40.0	10.0	0.0	5.0	10.0	45.0	40.0	60.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	県外出身	10	10.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	50.0	0.0	0.0	20.0	0.0

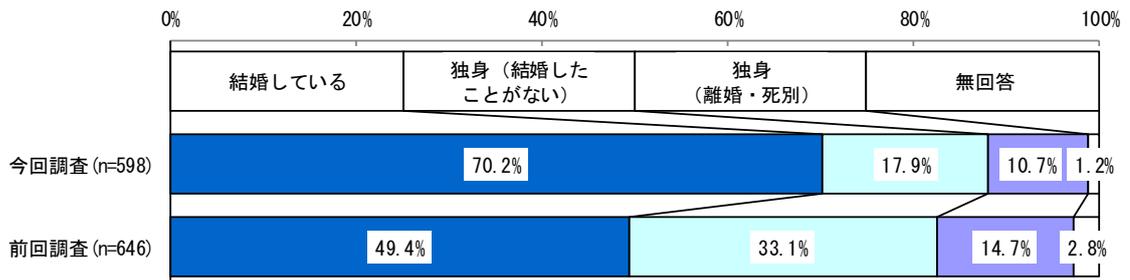
年齢別の 10・20 歳代と 40 歳代では、「買い物や余暇活動に不便だから」が 7 割を超えて全体より高く、30 歳代以下では、「通勤・通学に不便」が全体より高くなっています。

問 48 あなたは、結婚していますか。(1つに○)



結婚については、「結婚している」との回答が70.2%で最も高くなっています。

◆◆◆ 前回調査との比較



前回調査との比較では、「結婚している」との回答が前回調査に比べ20.8ポイント高くなっており、一方で、「独身 (結婚したことがない)」は15.2ポイント低くなっています。

〇●〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	結婚している	独身(結婚した ことがない)	独身 (離婚・死別)	無回答
全体		598	70.2	17.9	10.7	1.2
性別	男性	279	71.3	20.4	6.5	1.8
	女性	317	69.4	15.8	14.2	0.6
年齢	10・20 歳代	56	7.1	92.9	0.0	0.0
	30 歳代	59	62.7	32.2	5.1	0.0
	40 歳代	80	75.0	12.5	11.3	1.3
	50 歳代	99	78.8	16.2	5.1	0.0
	60 歳代	173	80.9	4.0	13.3	1.7
	70 歳以上	129	77.5	2.3	17.8	2.3
居住地区	中央地区	97	72.2	17.5	8.2	2.1
	豊栄地区	55	69.1	16.4	14.5	0.0
	須賀地区	51	62.7	29.4	7.8	0.0
	匝瑳地区	47	48.9	31.9	17.0	2.1
	豊和地区	40	72.5	15.0	12.5	0.0
	吉田地区	21	81.0	14.3	4.8	0.0
	飯高地区	17	64.7	23.5	11.8	0.0
	共興地区	42	73.8	14.3	7.1	4.8
	平和地区	54	74.1	13.0	13.0	0.0
	椿海地区	68	73.5	20.6	5.9	0.0
	野田地区	56	75.0	14.3	10.7	0.0
	栄地区	46	76.1	4.3	15.2	4.3

年齢別の40歳以上では、「結婚している」が7割台以上となっていますが、30歳代以下では、6割台以下となっています。

居住地区別の吉田地区と栄地区では、「結婚している」が全体よりも高くなっています。

問 49 (結婚している、していないにかかわらず) 10代から40代の方にお聞きします。子どもの数について、以下の①～④にご回答ください。

- ① 実際に持つかどうかは別として、あなたにとって理想の子どもの人数は何人ですか。
- ② 現在の子ども的人数は何人ですか。
- ③ 今後、持つつもりの子どもの人数は何人ですか。
- ④ ②と③を合計すると、子どもの数は何人ですか。

【調査結果】

n=195 (単位：人)	①理想の 子ども的人数	②現在の 子ども的人数	③今後、 持つつもり の子ども 的人数	④ ②と③を 合計した 子ども 的人数
平均	2.28	1.01	0.81	1.79
最大値	4.00	7.00	3.00	5.00
最小値	0.00	0.00	0.00	0.00

子どもの数については、「①理想の子ども的人数」の平均が2.28人であるのに対し、「②現在の子ども的人数」の平均は1.01人、「③今後持つつもりの子どもの人数」の平均は0.81人で、「④②と③を合計した子ども的人数」の平均は1.79人となっています。

◆◆◆ 前回調査との比較

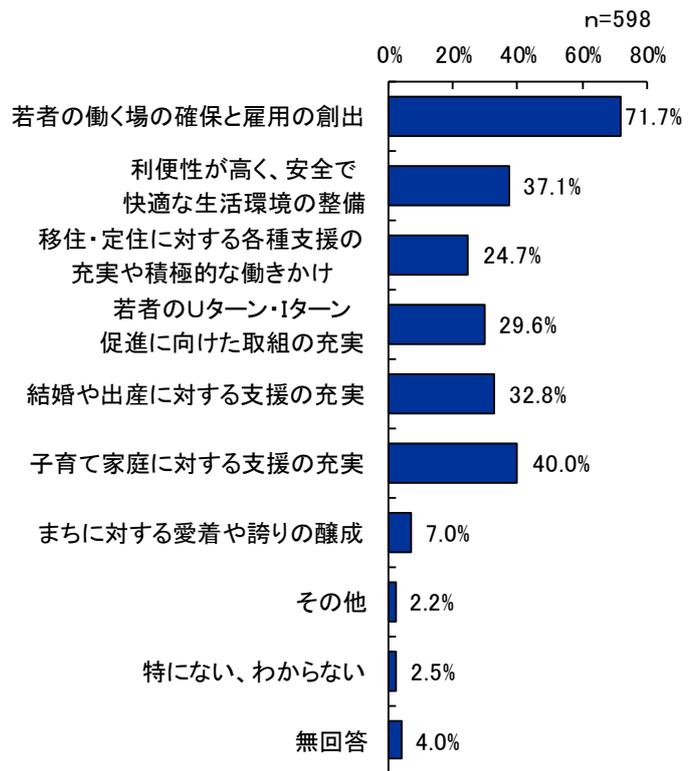
(単位：人)	①理想の 子ども的人数		②現在の 子ども的人数		③今後、 持つつもり の子ども 的人数		④ ②と③を 合計した 子ども 的人数	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
平均	2.44	2.28	0.80	1.01	1.12	0.81	1.84	1.79
最大値	10.00	4.00	4.00	7.00	10.00	3.00	11.00	5.00
最小値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※今回調査(n=195)、前回調査(n=315)

前回調査との比較では、「②現在の子ども的人数」は前回調査より高くなったものの、「①理想の子ども的人数」や「③今後持つつもりの子どもの人数」、「④②と③を合計した子ども的人数」は前回調査より低くなっています。

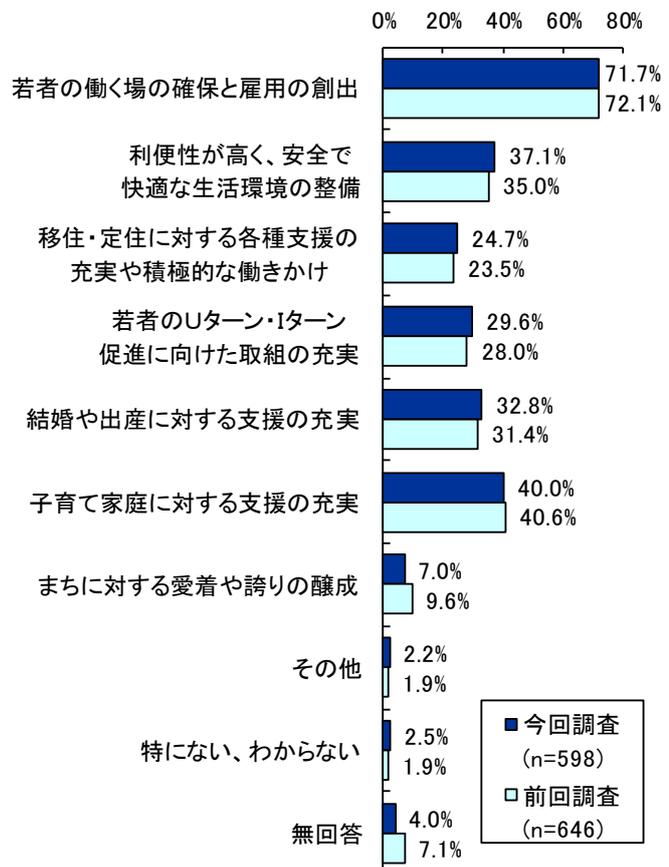
問 50 人口減少に歯止めをかけるために、特に力を入れて取り組むべき施策は何だと思いますか。(3つまで○)

人口減少への重要な取組については、「若者の働く場の確保と雇用の創出」が71.7%で最も高く、次いで「子育て家庭に対する支援の充実」が40.0%、「利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備」が37.1%などとなっています。



◆◆◆ 前回調査との比較

前回調査との比較では、「若者の働く場の確保と雇用の創出」が引き続き7割台と最も高くなっています。



〇〇〇 性別・年齢別・居住地区別に見た傾向

(単位：%)

		回答者数 (n)	若者の働く場の確保と雇用の創出	利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備	移住・定住に対する各種支援の充実や積極的な働きかけ	若者のUターン・Iターン促進に向けた取組の充実	結婚や出産に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	まちに対する愛着や誇りの醸成	その他	特にない、わからない	無回答
全体		598	71.7	37.1	24.7	29.6	32.8	40.0	7.0	2.2	2.5	4.0
性別	男性	279	72.4	34.4	22.9	27.2	36.9	41.9	9.0	2.5	2.5	2.5
	女性	317	71.3	39.4	26.5	31.9	29.3	38.5	5.0	1.9	2.5	5.0
年齢	10・20歳代	56	66.1	53.6	23.2	33.9	32.1	32.1	3.6	8.9	1.8	0.0
	30歳代	59	50.8	47.5	25.4	30.5	47.5	57.6	10.2	6.8	3.4	0.0
	40歳代	80	58.8	42.5	35.0	26.3	32.5	60.0	2.5	2.5	1.3	1.3
	50歳代	99	75.8	35.4	29.3	29.3	26.3	29.3	7.1	1.0	6.1	3.0
	60歳代	173	81.5	32.4	22.0	30.6	34.1	42.2	6.4	0.6	1.2	2.9
	70歳以上	129	76.0	29.5	19.4	28.7	30.2	28.7	10.1	0.0	2.3	10.9
居住地区	中央地区	97	78.4	30.9	24.7	43.3	25.8	37.1	6.2	4.1	0.0	6.2
	豊栄地区	55	69.1	43.6	21.8	27.3	38.2	36.4	3.6	3.6	7.3	3.6
	須賀地区	51	64.7	37.3	27.5	27.5	29.4	39.2	9.8	0.0	5.9	2.0
	匠瑳地区	47	78.7	34.0	29.8	25.5	31.9	36.2	12.8	2.1	0.0	2.1
	豊和地区	40	77.5	40.0	27.5	20.0	25.0	45.0	0.0	0.0	5.0	2.5
	吉田地区	21	71.4	23.8	23.8	47.6	33.3	42.9	4.8	4.8	4.8	0.0
	飯高地区	17	58.8	29.4	29.4	11.8	35.3	58.8	0.0	0.0	0.0	11.8
	共興地区	42	78.6	35.7	19.0	28.6	38.1	38.1	7.1	2.4	7.1	2.4
	平和地区	54	74.1	40.7	20.4	29.6	38.9	42.6	7.4	1.9	0.0	3.7
	椿海地区	68	66.2	41.2	26.5	30.9	39.7	42.6	7.4	2.9	0.0	1.5
	野田地区	56	71.4	39.3	23.2	28.6	32.1	32.1	7.1	1.8	0.0	7.1
	栄地区	46	65.2	39.1	28.3	19.6	32.6	47.8	8.7	0.0	4.3	4.3

「結婚や出産に対する支援の充実」については男性が女性を上回り、「利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備」については、女性が男性を上回っています。

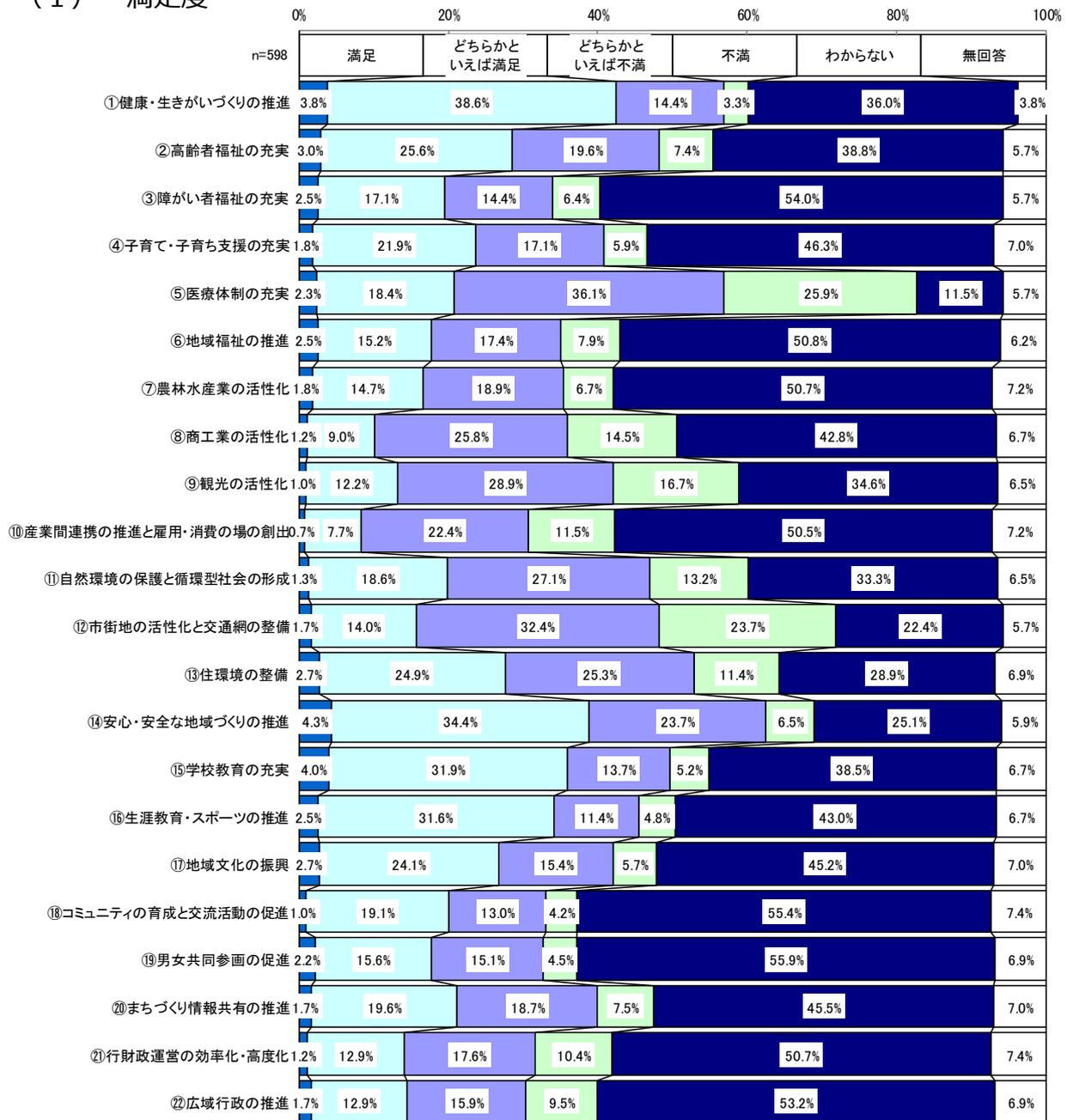
年齢別において、子育て世代が多い30歳代と40歳代では、「子育て家庭に対する支援の充実」、「利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備」が全体より高くなっています。

居住地区別の匠瑳地区、共興地区、中央地区、豊和地区では、「若者の働く場の確保と雇用の創出」が、飯高地区、栄地区、豊和地区では、「子育て家庭に対する支援の充実」が、椿海地区、平和地区、豊栄地区、共興地区では、「結婚や出産に対する支援の充実」がそれぞれ全体より高くなっています。

8 まちづくりの評価について

問 51 以下の項目は、匝瑳市総合計画後期基本計画で掲げている基本施策です。それぞれの施策について、あなたの満足度及び重要度をお聞かせください。

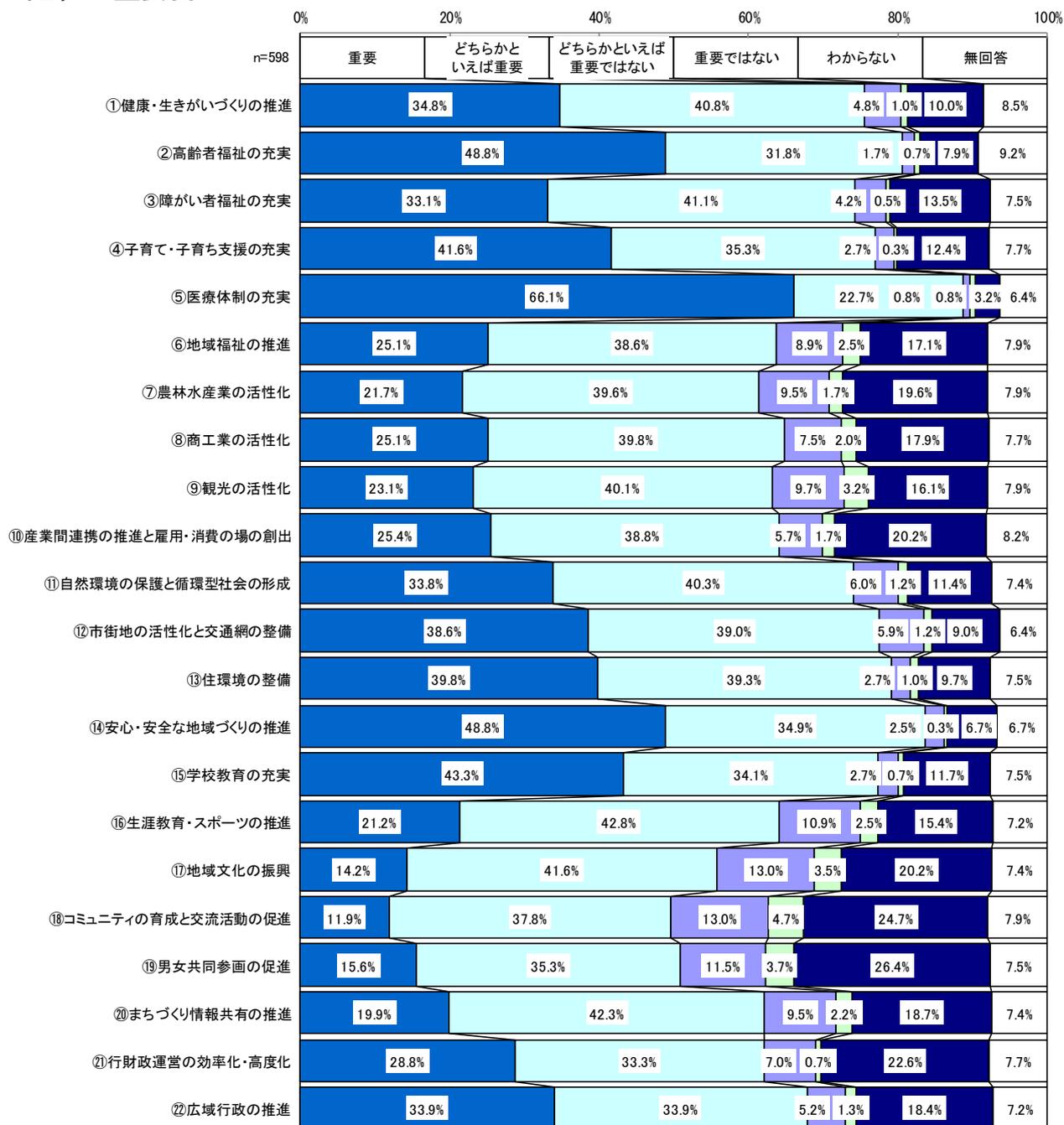
(1) 満足度



満足度については、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた「満足している」について、「健康・生きがいがづくりの推進」が42.4%で最も高く、次いで「安心・安全な地域づくりの推進」が38.7%、「学校教育の充実」が35.9%などとなっています。

これに対し、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた「不満がある」については、「医療体制の充実」が62.0%で最も高く、次いで「市街地の活性化と交通網の整備」が56.1%、「観光の活性化」が45.6%などとなっています。

(2) 重要度



重要度については、「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた「重要である」については、「医療体制の充実」が88.8%で最も高く、次いで「安心・安全な地域づくりの推進」が83.7%、「高齢者福祉の充実」が80.6%などとなっています。

これに対し、「重要ではない」と「どちらかと言えば重要ではない」を合わせた「重要でない」については、「コミュニティの育成と交流活動の促進」が17.7%で最も高く、次いで「地域文化の振興」が16.5%、「男女共同参画の促進」が15.2%などとなっています。

(3) 点数換算 (平均値)

満足度及び重要度の回答を、以下の基準に基づき点数換算すると、以下のとおりとなります。なお、点数の差が付きにくいことから、小数点第3位を四捨五入した値を使用します。

■ 点数換算の基準

点数	満足度	重要度
2	満足	重要
1	どちらかといえば満足	どちらかといえば重要
0	わからない	わからない
-1	どちらかといえば不満	どちらかといえば重要ではない
-2	不満	重要ではない

■ 換算の結果 (点数の高い順)

満足度 (平均値: -0.16)		点数	重要度 (平均値: 0.98)		点数
1	①健康・生きがいづくりの推進	0.26	1	⑤医療体制の充実	1.63
2	⑮学校教育の充実	0.17	2	②高齢者福祉の充実	1.39
3	⑯生涯教育・スポーツの推進	0.17	3	⑭安心・安全な地域づくりの推進	1.39
4	⑭安心・安全な地域づくりの推進	0.07	4	⑮学校教育の充実	1.26
5	⑰地域文化の振興	0.03	5	④子育て・子育て支援の充実	1.25
6	⑱コミュニティの育成と交流活動の促進	0.00	6	⑬住環境の整備	1.24
7	②高齢者福祉の充実	-0.03	7	⑫市街地の活性化と交通網の整備	1.15
8	④子育て・子育て支援の充実	-0.03	8	①健康・生きがいづくりの推進	1.13
9	⑰男女共同参画の促進	-0.04	9	③障がい者福祉の充実	1.10
10	③障がい者福祉の充実	-0.05	10	⑪自然環境の保護と循環型社会の形成	1.07
11	⑳まちづくり情報共有の推進	-0.12	11	⑳広域行政の推進	1.01
12	⑥地域福祉の推進	-0.14	12	㉑行財政運営の効率化・高度化	0.89
13	⑦農林水産業の活性化	-0.15	13	⑩産業間連携の推進と雇用・消費の場の創出	0.88
14	⑬住環境の整備	-0.19	14	⑧商工業の活性化	0.85
15	⑳広域行政の推進	-0.20	15	⑥地域福祉の推進	0.81
16	㉑行財政運営の効率化・高度化	-0.25	16	⑦農林水産業の活性化	0.76
17	⑪自然環境の保護と循環型社会の形成	-0.35	16	⑨観光の活性化	0.76
18	⑩産業間連携の推進と雇用・消費の場の創出	-0.39	18	⑯生涯教育・スポーツの推進	0.75
19	⑧商工業の活性化	-0.47	19	⑳まちづくり情報共有の推進	0.74
20	⑨観光の活性化	-0.52	20	⑰地域文化の振興	0.54
21	⑫市街地の活性化と交通網の整備	-0.66	21	⑰男女共同参画の促進	0.51
22	⑤医療体制の充実	-0.69	22	⑱コミュニティの育成と交流活動の促進	0.42

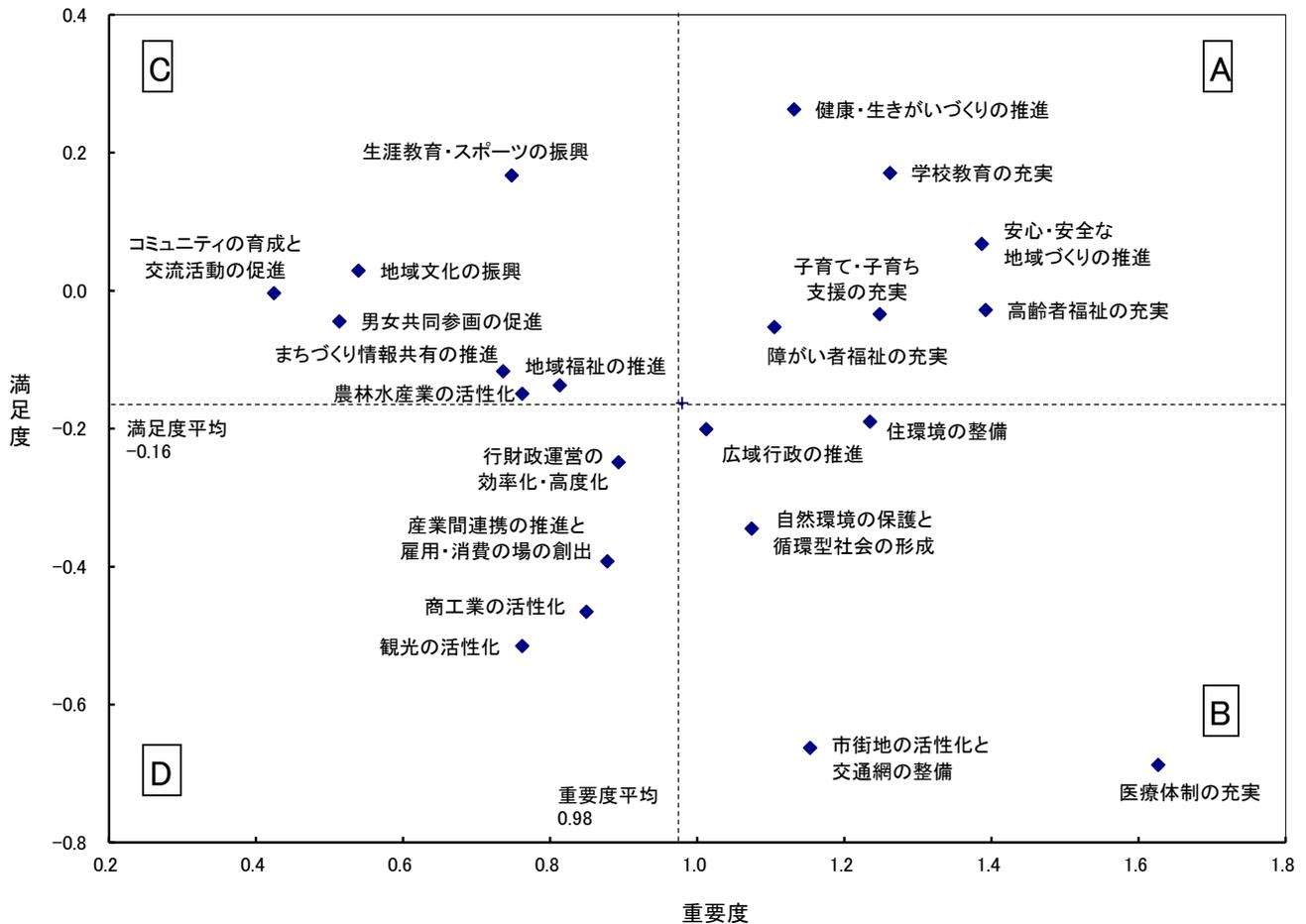
※四捨五入の関係上、同一の点数であったものは重要度の16番目「⑦農林水産業の活性化」と「⑨観光の活性化」のみです。

満足度が低い下位 10 項目と、重要度の高い上位 10 項目に共通している項目としては、

- ・⑤医療体制の充実 (満足度 22 位、重要度 1 位)
- ・⑫市街地の活性化と交通網の整備 (満足度 21 位、重要度 7 位)
- ・⑬住環境の整備 (満足度 14 位、重要度 6 位)
- ・⑪自然環境の保護と循環型社会の形成 (満足度 17 位、重要度 10 位)

が挙げられます。重要度を横軸、満足度を縦軸に取った散布図は以下のとおりです。

■満足度と重要度の散布図



この図においては、「A」の領域は各施策の平均値よりも満足度も重要度も高いことから、引き続き重点的に取り組むことが求められています。同様に「B」の領域は満足度が低く、重要度が高いことから特に優先度が高いと考えられます。「C」の領域は、満足度が高く、重要度は低いことから優先度はやや下がります。「D」の領域は、満足度も重要度も低く、優先度はBよりは低いものの改善が求められます。

満足度が平均より低く、かつ、重要度が平均より高いことを示す「B」の領域には、先に挙げた4項目と「⑫広域行政の推進」の5項目が挙げられ、これらの項目が今後の取組においては重要になります。

(4) 達成度による評価と施策の重要度

市民意識調査のうち、以下の各問による達成状況への評価を縦軸に、それに対応する施策の重要度について横軸に取った散布図は以下のとおりです。

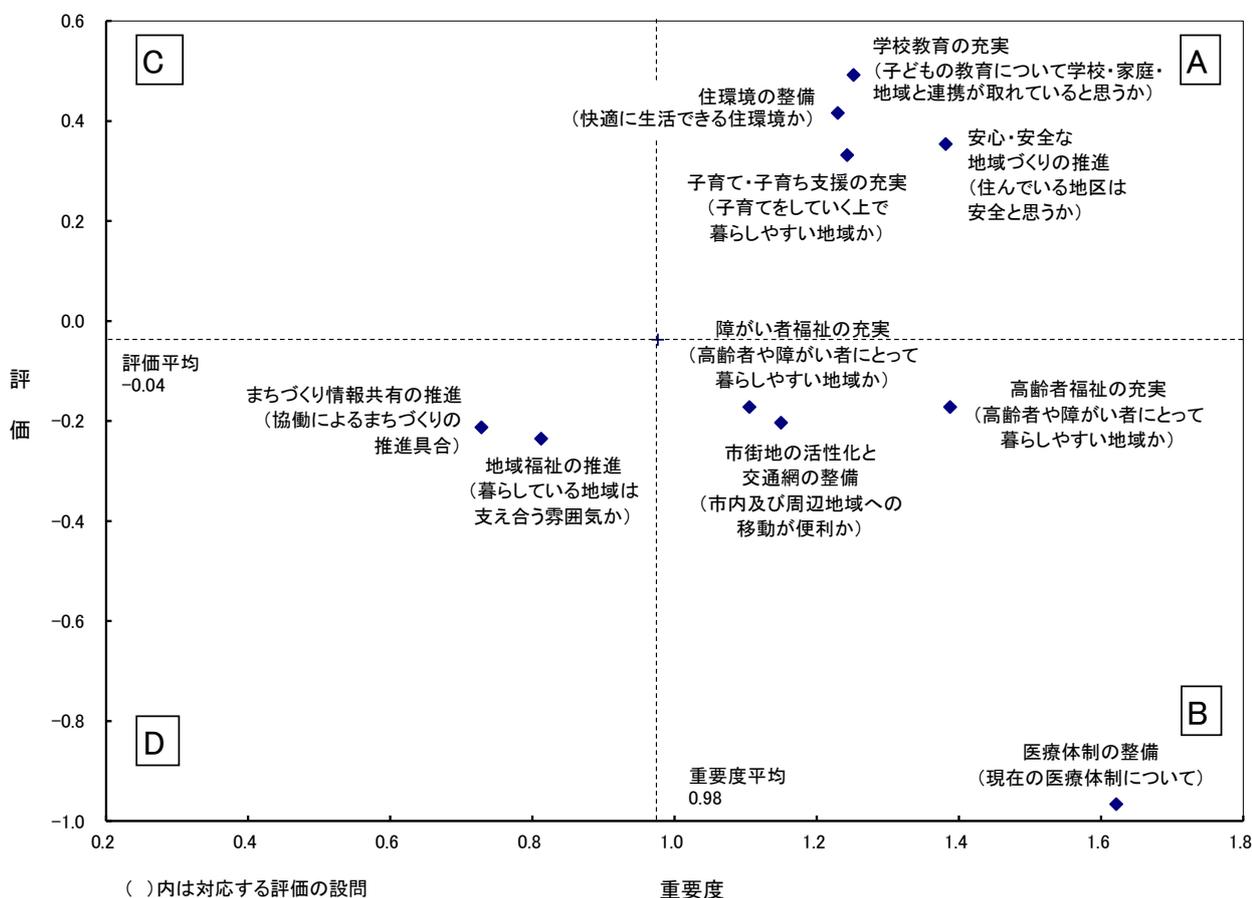
■達成状況への評価と施策の重要度の対照

達成状況への評価	重要度
問6 高齢者や障がい者にとって暮らしやすい地域か	②高齢者福祉の充実
問6 高齢者や障がい者にとって暮らしやすい地域か	③障がい者福祉の充実
問8 子育てをしていく上で暮らしやすい地域	④子育て・子育て支援の充実
問11 現在の医療体制について	⑤医療体制の充実
問10 暮らしている地域は支え合う雰囲気か	⑥地域福祉の推進
問26 市内及び周辺地域への移動が便利か	⑫市街地の活性化と交通網の整備
問22 快適に生活できる住環境か	⑬住環境の整備
問24 住んでいる地区は安全と思うか	⑭安心・安全な地域づくりの推進
問30 子どもの教育について学校・家庭・地域と連携が取れていると思うか	⑮学校教育の充実
問43 協働によるまちづくりの推進具合	⑳まちづくり情報共有の推進

■点数換算の基準

点数	達成状況への評価	重要度
2	とても思う	重要
1	ある程度思う	どちらかといえば重要
0	わからない(設問によりない場合もある)	わからない
-1	あまり思わない	どちらかといえば重要ではない
-2	思わない	重要ではない

■達成状況への評価と重要度の散布図



この図においては、「A」の領域は各施策の平均値よりも評価も重要度も高いことから、引き続き重点的に取り組むことが求められています。同様に「B」の領域は評価が低く、重要度が高いことから特に優先度が高いと考えられます。「C」の領域は、評価が高く、重要度は低いことから優先度はやや下がります。「D」の領域は、評価も重要度も低く、優先度はBよりは低いものの改善が求められます。

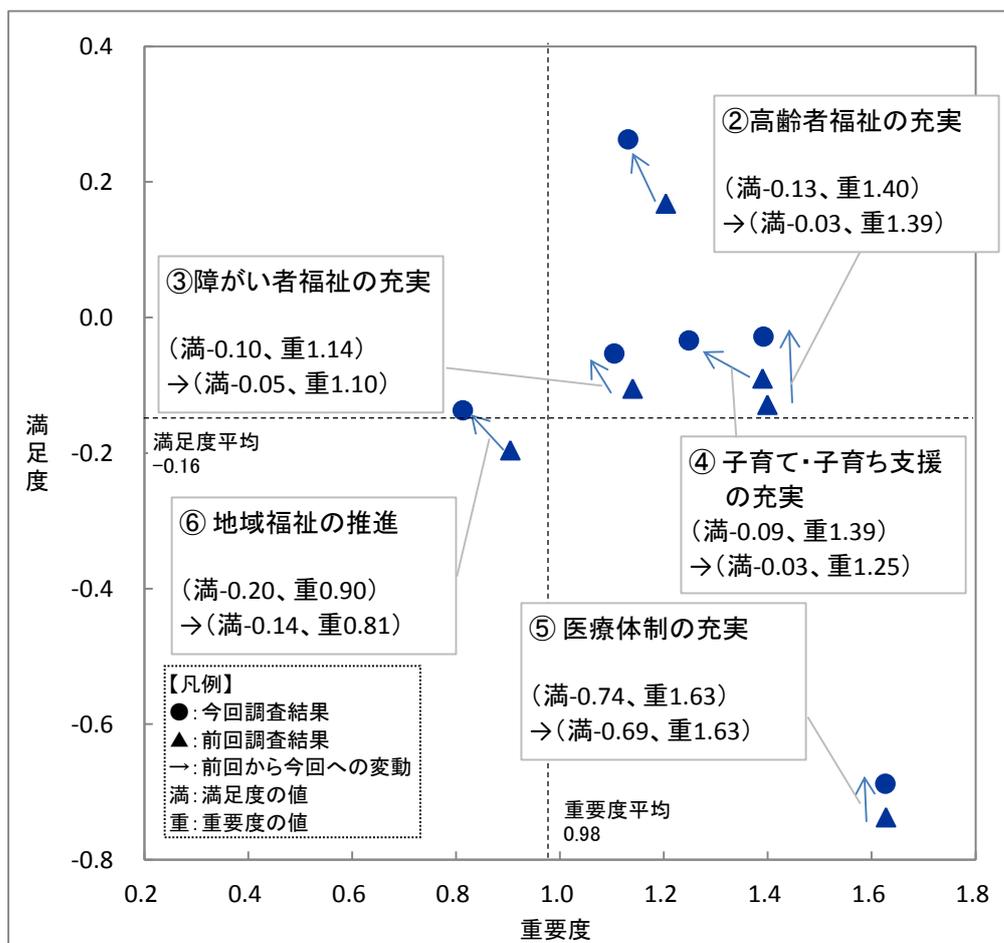
評価が平均より低く、かつ、重要度が平均より高いことを示す「B」の領域には、「医療体制の整備」をはじめ「高齢者福祉の充実」、「障がい者福祉の充実」、「市街地の活性化と交通網の整備」が挙げられます。

(5) 前回調査との比較

本設問に使われた22の項目は、匝瑳市総合計画後期基本計画の施策体系において、5つの基本目標に基づく22の施策として定めたものと対応しています。ここでは、各施策の前回調査との比較について、この5つの基本目標別に示します。

(5) -1「基本目標1 生きがいに満ち、笑顔があふれるまちをつくる（健康・福祉・医療分野）」

【前回調査との比較図】



基本目標1では、「⑤医療体制の充実」を除いた満足度は全施策の平均よりも高くなっています。

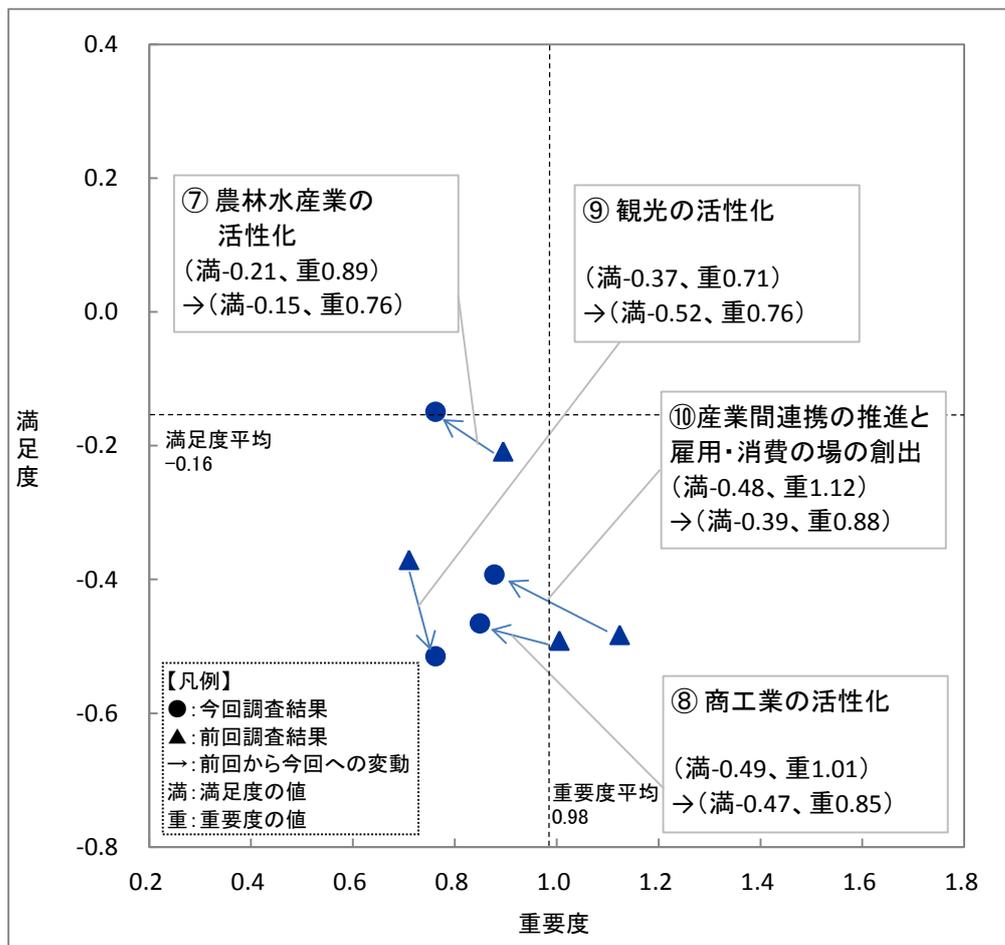
前回調査との比較でも、いずれの項目も満足度は前回調査よりも高くなっており、一方、重要度は前回調査よりも低くなっています。

全施策中、最も満足度が低く、かつ、重要度の高い「⑤医療体制の充実」については、前回調査との比較では、重要度は前回調査とほぼ同じ値の1.63であったものの、満足度が-0.69とわずかに改善しています。

全体的には改善傾向が見られますが、重要度の高い項目が高く、また、「⑤医療体制の充実」については引き続き重点項目であると言えます。

(5) - 2 「基本目標2 活気に満ち、はつらつとしたまちをつくる（産業・経済分野）」

【前回調査との比較図】



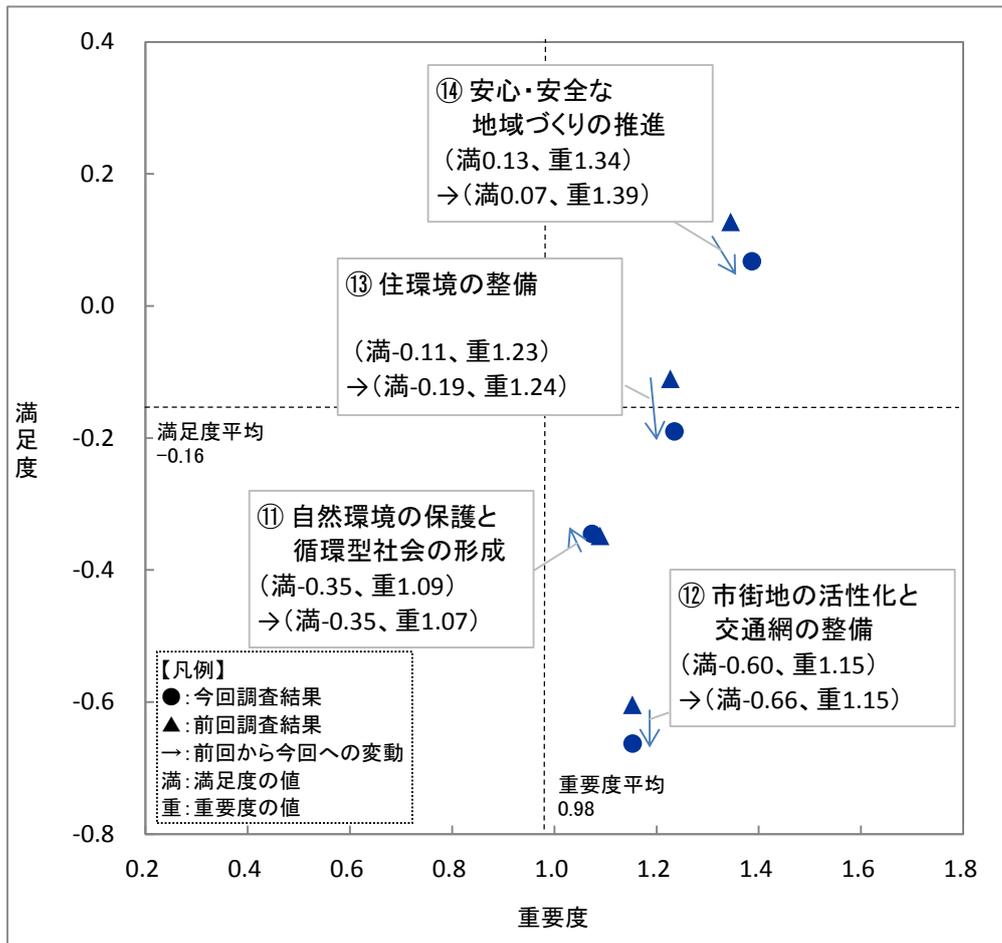
基本目標2では、「⑦農林水産業の活性化」が満足度で全施策の平均を上回っているものの、全体的に満足度では低くなっています。

前回調査との比較では、「⑨観光の活性化」については前回調査よりも満足度が低く、重要度が高くなるという結果となっています。その他の項目については、いずれも満足度は前回調査よりも高くなっており、重要度は前回調査よりも低くなっています。

全体的には改善傾向の見られる項目が高くなっていますが、満足度の下がっている「⑨観光の活性化」は一層の改善が求められています。

(5) - 3 「基本目標3 自然と共生し、快適で安全なまちをつくる（生活環境・都市建設分野）」

【前回調査との比較図】



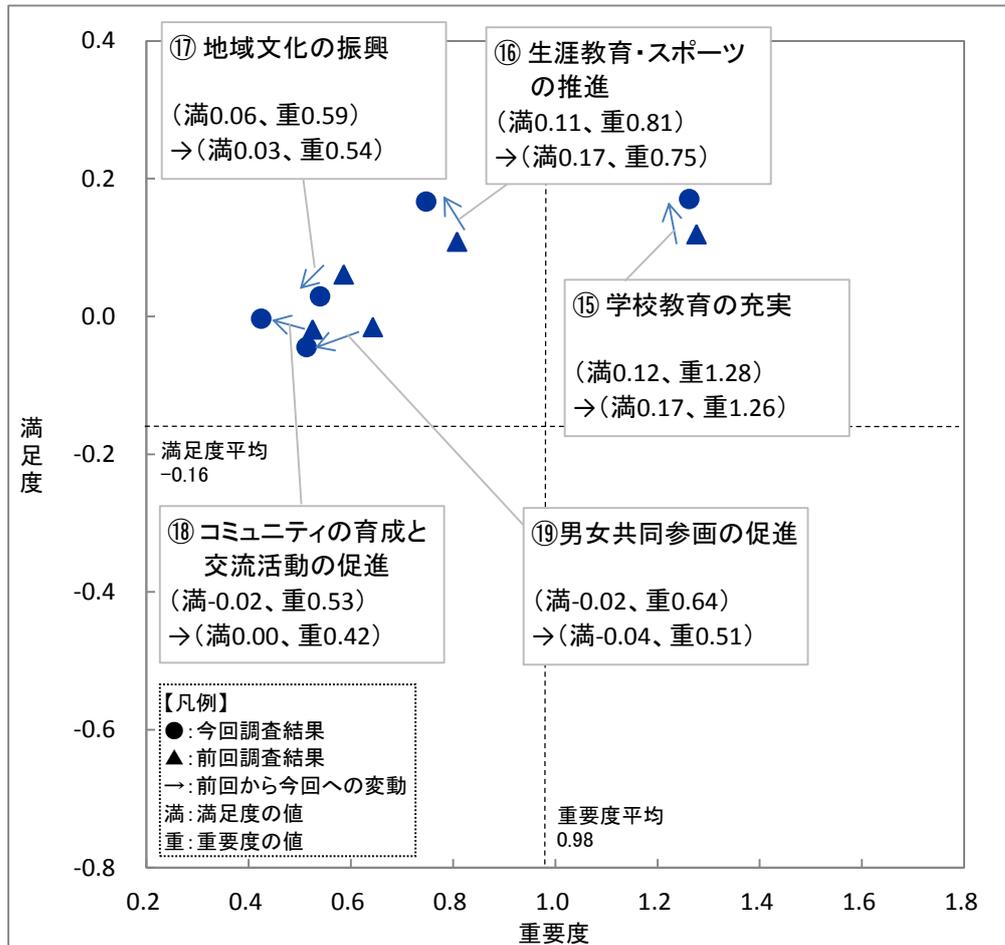
基本目標3では、いずれの項目も重要度が全施策の平均より高くなっています。満足度については、「⑭安心・安全な地域づくりの推進」が満足度で全施策の平均より高くなっているものの、全体的に満足度では低くなっています。

前回調査との比較では、「⑪自然環境の保護と環境型社会の形成」については前回調査と同じ満足度だったものの、他3項目はいずれも満足度が前回調査より低くなっています。

全体的には満足度の面での改善があまり見られなかったと言えます。

(5) - 4 「基本目標 4 個性豊かに学び、人々が輝くまちをつくる（教育・交流分野）」

【前回調査との比較図】

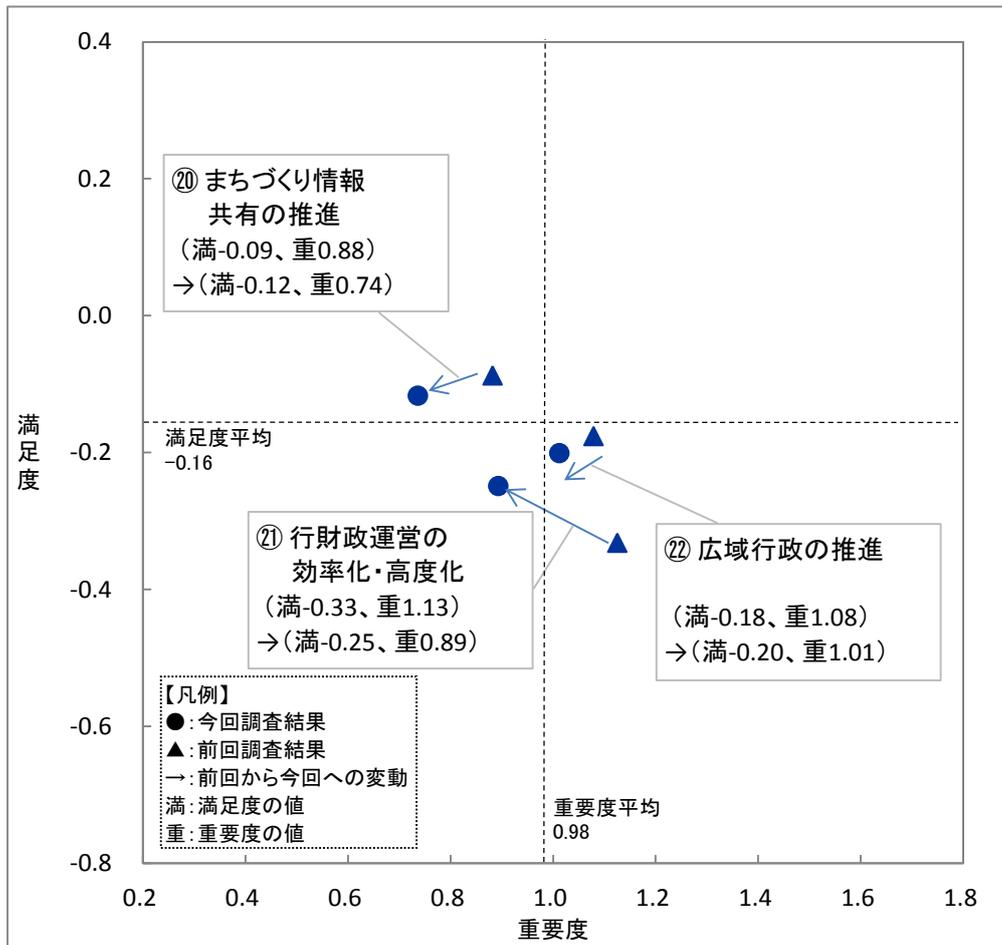


基本目標 4 では、いずれの項目も満足度が全施策の平均よりも高くなっています。前回調査との比較では、いずれの項目でも重要度が前回調査より低くなっています。また、「①⑦地域文化の振興」と「①⑨男女共同参画の推進」については、満足度もわずかに下がっています。

全体的には重要度が下がっている傾向が見られますが、満足度の下がっている項目についての取組が求められます。

(5)－5「基本目標5 市民と行政が協働し、市民が主役のまちをつくる(住民協働・行財政分野)」

【前回調査との比較図】



基本目標5では、前回調査との比較については、「②①行財政運営の効率化・高度化について」で満足度が前回調査より高くなり、重要度が低くなっているのが目立ちますが、「②③まちづくり情報共有の推進」や「②②広域行政の推進」ではわずかに満足度が減少しています。

全体的な傾向としては、「②③まちづくり情報共有の推進」や「②②広域行政の推進」など、満足度の下がっている項目への取組が求められます。

第4章 その他・自由意見

第4章 その他・自由意見

年齢	居住地区	性別	問1(3)職業
10・20歳代	匝瑳地区	男性	在宅ワーカー
10・20歳代	匝瑳地区	男性	フリーター
10・20歳代	豊和地区	女性	支援員
30歳代	中央地区	女性	保育関係
50歳代	豊栄地区	女性	コンビニエンスストアアルバイト店員
50歳代	共興地区	男性	色々
50歳代	平和地区	男性	植木
50歳代	野田地区	男性	医療機関研修中
50歳代	栄地区	女性	調理従事者
60歳代	中央地区	男性	アルバイト
60歳代	須賀地区	女性	福祉
60歳代	共興地区	男性	アルバイト
60歳代	樺海地区	男性	非常勤
60歳代	野田地区	女性	アルバイト
60歳代	無回答	女性	病院のまかない食堂
70歳以上	野田地区	女性	病院のため

年齢	居住地区	性別	問4 健康のために行っていること
40歳代	中央地区	女性	サプリメント
70歳以上	須賀地区	男性	通院している
70歳以上	平和地区	女性	友人とおしゃべり、旅行月1回を目安

年齢	居住地区	性別	問5 市の健康増進についての重要な取組
10・20歳代	平和地区	女性	障害者は集団検診に行けない。
10・20歳代	樺海地区	女性	交通機関の充実。
10・20歳代	樺海地区	女性	病院の改善、総合病院等。
30歳代	匝瑳地区	女性	健診はもう少し細かい所の検査もしてほしい。
40歳代	中央地区	男性	医療機関の充実（皮膚科が存在しないのは異常）
40歳代	中央地区	女性	スポーツジム
40歳代	須賀地区	男性	市民病院の拡充を望みます。
40歳代	匝瑳地区	女性	医療費軽減。
40歳代	豊和地区	男性	市民病院をきちんとしてほしい。もったいない。
40歳代	樺海地区	女性	市の検診内容の拡大、脳CT、子宮体Caの再開、手間時間場所の確保は大変だが市民健診としてやってほしい。
60歳代	中央地区	男性	人間ドックの充実、補助金の充実、市民病院以外の人間ドックの補助。
60歳代	中央地区	女性	自分のペースで読める回覧板で伝える。地域のサポート役を育て、地域で学ぶ。
60歳代	匝瑳地区	男性	やりすぎないこと。
60歳代	共興地区	女性	対人関係は嫌いなので全て望まない。
60歳代	平和地区	男性	ウォーキングのため歩道、照明など安全を図る。コースを整備。
60歳代	平和地区	女性	市民病院の整備。
60歳代	野田地区	男性	ストレスを解消して楽しんで働くことができること。
60歳代	栄地区	男性	個々の運動能力に合ったメニューと指導。
70歳以上	豊栄地区	女性	自分で自分の身体は守る。
70歳以上	豊和地区	女性	各地区ごとに体力づくりの教室を開催する（近くで開催してもらえると通いやすい）。
70歳以上	野田地区	男性	体力づくりとか身体を日々鍛えるではない健康維持の為の体育教育。

年齢	居住地区	性別	問7 市の高齢者や障がいのある方についての重要な施策
10・20歳代	豊栄地区	女性	免許を返納しても移動に困らないようにして返納することに抵抗ないようにしてほしい。
10・20歳代	匝瑳地区	女性	交通手段の充実。
10・20歳代	吉田地区	男性	スーパーが遠いから対策があると良いと思う。
10・20歳代	平和地区	女性	車椅子で乗車できるタクシーの普及。
10・20歳代	椿海地区	女性	交通機関の改善。
10・20歳代	野田地区	女性	バスの便を増やす。
10・20歳代	野田地区	女性	交通機関の充実（車を持たない老人が病院や買い物に出られない）。
30歳代	中央地区	女性	病院、公共施設のバリアフリーの充実。
30歳代	須賀地区	女性	公共交通機関の充実。
30歳代	匝瑳地区	女性	交通網の整備。
30歳代	吉田地区	女性	未就学児（障害のある方）の保育の充実。
30歳代	平和地区	男性	交通機関。
30歳代	椿海地区	女性	交通手段の確保、道路等（歩道）の整備等。
40歳代	中央地区	男性	車椅子でも移動できる道をつくる。
40歳代	豊栄地区	女性	その立場でないと何がいいかわからない。
40歳代	須賀地区	男性	プライバシー保護。
40歳代	須賀地区	女性	バリアフリー等の整備。
40歳代	須賀地区	女性	どんなサービス、支援があるのかを伝える。
40歳代	共興地区	男性	移動手段の確保。
40歳代	平和地区	女性	交通の便。
40歳代	野田地区	男性	移動手段、自転車専用道路。
50歳代	豊栄地区	女性	作業所等収入を得られるような所をつくる。
50歳代	平和地区	男性	入所施設の料金が安い。
60歳代	中央地区	男性	高齢者で日常生活に何らかの不便を抱えている人に対する力添え、買い物弱者など。
60歳代	須賀地区	女性	訪問を主とし実態把握をしていく。
60歳代	須賀地区	女性	バスの本数が極めて少ないので、乗合タクシー（市営）を作してほしい（予約制）。
60歳代	匝瑳地区	女性	廃校を利用する。
60歳代	共興地区	男性	交通の便が悪すぎて高齢者には動けない現実がある事を気付いてほしい。
60歳代	共興地区	女性	全て望まない。
60歳代	平和地区	女性	男性高齢者で介護の必要がない者の集まれる場所があるといい。
70歳以上	匝瑳地区	男性	交通網の充実、他市との循環バスの相互乗り入れ及び増便、商店スーパー買い物コースを作る。
70歳以上	平和地区	女性	ボランティアを養成し活動してもらう。
70歳以上	野田地区	男性	高齢者支援を過大にしていくと高齢者も家族も甘えが生まれる。

年齢	居住地区	性別	問9 市の子育て支援についての重要な取組
10・20歳代	中央地区	女性	給食費の無料。
10・20歳代	須賀地区	女性	市民病院の小児科充実（夜間・時間外等）。
10・20歳代	吉田地区	男性	小学校の廃校が多いから対策が必要。
30歳代	須賀地区	女性	子育て世代のマナー、モラルの教育。
30歳代	匝瑳地区	女性	子育て手当の充実が必要だと思う。他の地域に比べて少ないのではないかな。
30歳代	平和地区	女性	専門分野の早期教育（無償）。
30歳代	野田地区	男性	保育士の待遇改善をし、質の高い保育士の確保がある上での保育所の充実を図る。待遇改善は給与面の見直しだけでなく、保育士全体を公平に捉えられる評価。コンプライアンスの整備を図っていただきたい。
40歳代	豊栄地区	男性	子育てで一番困るのは高校や大学などの費用が掛かりすぎます。

年齢	居住地区	性別	問9 市の子育て支援についての重要な取組
40歳代	野田地区	女性	女性が継続就業しやすい環境づくり。
60歳代	中央地区	女性	休日などに親子で過ごせる公園や施設等の充実。
60歳代	豊栄地区	男性	訪問カウンセラー等のシステム作り。
60歳代	豊栄地区	男性	安全に子どもを育てられる環境の整備、通学路の整備等。
60歳代	共興地区	女性	充実した公園等。
60歳代	平和地区	男性	小児科医療の充実。
60歳代	平和地区	女性	児童クラブに行く子どもが増え、そのまま帰る子どもの遊び相手や帰り道が不安に思う。
70歳以上	平和地区	男性	保育所は全所市運営とすること。

年齢	居住地区	性別	問12 市の地域医療についての重要な取組
10・20歳代	中央地区	女性	高齢者が通う事の出来る場所に病院を建てたり、バス、タクシーなど交通の便を良くして、家族の付き添いの負担を減らす。
10・20歳代	平和地区	女性	医者の質を上げる。
10・20歳代	椿海地区	女性	全て当てはまります。
30歳代	豊和地区	女性	信頼できる医者、病院があってほしい。
30歳代	吉田地区	男性	皮膚科が地域にない事の解消。
30歳代	平和地区	男性	送迎。
40歳代	中央地区	男性	病院があっても機能していない。九十九里ホームに頼り過ぎ。
40歳代	豊栄地区	男性	高齢者の医療負担より、学生や子どもの負担を20歳ぐらいまで。
40歳代	平和地区	女性	家族が入院した際(当日亡くなった)、とても感じの悪い看護師がいて、人質を預けているために注意も出来ずに辛い思いをしました。当日亡くなる事は看護師も知っているはず・・・で、身内が集まった個室で「空気が悪いから外に出て。患者も落ち着かない。」
50歳代	椿海地区	男性	旭中央病院に旭市民と同じ条件で受診できるようにしてほしい。
60歳代	中央地区	男性	市民病院は必要ない。
60歳代	豊栄地区	女性	医者の質を高める。
60歳代	須賀地区	男性	予防のための健康診断、人間ドックの取り組み。
60歳代	須賀地区	女性	知人から市民病院の署名をしました。移転、新築するなら野栄地区との中間に建ててほしい。
60歳代	平和地区	男性	医院、病院が少ない。取捨選択ができない。
60歳代	平和地区	女性	旭市中央病院へ協力をお願いしたら良いと思う。
70歳以上	匝瑳地区	男性	市民病院への利用者減少を調査せよ。何故人気がないのか、ここに書かない。
70歳以上	野田地区	男性	病院のあり方そのもの基礎から再検討すべき。中途半端な病院は要らない、診察所式で良い。

年齢	居住地区	性別	問13-1 匝瑳市についての自慢したい内容
10・20歳代	匝瑳地区	女性	読めない書けないで有名。
30歳代	中央地区	女性	以前暮らしていた所よりも、児童・福祉・教育に対して市の対応が良い。
30歳代	豊栄地区	女性	特に大きな災害がないと思われる。
30歳代	須賀地区	女性	昭和感。
30歳代	豊和地区	女性	漢字が難しい。
30歳代	飯高地区	男性	子育て支援。
40歳代	中央地区	男性	災害だけは起こらない、大雪、大雨、都内より涼しい。
40歳代	豊栄地区	男性	どこもゴミゴミしていない。渋滞などが無い。
40歳代	野田地区	男性	何もないところがいい(いい意味で)。
40歳代	野田地区	男性	子どもの医療費無料。
40歳代	栄地区	男性	チューリップ祭り、植木祭り。
50歳代	豊栄地区	女性	日本一の植木のまち、東京駅の松など。

年齢	居住地区	性別	問 13-1 匝瑳市についての自慢したい内容
50 歳代	豊栄地区	女性	テレビドラマのロケ現場があるよ。
50 歳代	共興地区	男性	匝瑳という名称の特異性。
50 歳代	椿海地区	男性	匝瑳高校がある（教育レベルをあげてほしい）。
50 歳代	椿海地区	男性	利用時間の長い図書館。
60 歳代	豊栄地区	男性	海岸の素晴らしさ。
60 歳代	共興地区	女性	冬に雪が少なく夏も他よりは涼しいこと。
60 歳代	平和地区	女性	災害なども少なく、気候も良い。
60 歳代	野田地区	女性	夏は涼しく冬は暖かい。
60 歳代	栄地区	男性	災害等がほとんどない。
70 歳以上	豊和地区	女性	穏やかな気候。
70 歳以上	栄地区	男性	寺社、文化財。

年齢	居住地区	性別	問 15 市の農林水産業振興についての重要な取組
30 歳代	野田地区	女性	出荷できないくずなど畑に捨ててあるが、安く畑などで売ってほしい。地元の食材を食べる機会が増える。
50 歳代	中央地区	男性	更においしく。
50 歳代	中央地区	女性	オーガニック野菜などの生産者への助成やPR援助。
50 歳代	吉田地区	男性	鳥獣害対策。
60 歳代	中央地区	男性	農薬の使用を可能な限り控えた農業の開発、無農薬有機栽培に特化したブランドの育成、生産性の重視よりも健康環境への配慮を優先させ、それを市の内外にアピールする。
60 歳代	豊栄地区	男性	空港近隣の立地を生かした国際的なPR。
60 歳代	須賀地区	女性	商店街の活用。進出希望の企業を募り、何とか経営に活かさないか。と思う。
60 歳代	共興地区	男性	人口を増やすのが先決よ。
60 歳代	平和地区	男性	遊休農地の流動化、耕作されていない農地が多すぎる。

年齢	居住地区	性別	問 17 市の商工業振興についての重要な取組
30 歳代	匝瑳地区	男性	地方の成功事例を学ぶ場作り。古い体質の改善。
40 歳代	豊栄地区	男性	地魚や地元の豚肉などおいしいものをアピールする。
50 歳代	匝瑳地区	男性	地元商業を守るなら、外からの大型店参入の阻止。
50 歳代	平和地区	男性	ブラック企業への改善指導をしてほしい
60 歳代	中央地区	男性	その為のプランでなく、永続的な計画を作成する。例えば、安く快適に宿泊できるユースホテルや年代問わず市外からの客も呼べるようなカフェ、甘味喫茶などの立案。
60 歳代	豊栄地区	男性	地元商業者の活性化を図るなら、大型商業施設の市内進出の規制が必要。
60 歳代	平和地区	男性	人口が少ないので難しい。
70 歳以上	豊和地区	女性	将来的には巡回型のスーパーなど高齢者に優しい取組が必要。

年齢	居住地区	性別	問 18 観光資源となりうるもの
10・20 歳代	中央地区	男性	道の駅
10・20 歳代	中央地区	女性	ロケ地/インスタ映えスポット 今は飯高檀林しか使われない。何か所かあってフィルムコミッションとかが出来れば人が集まると思う。
10・20 歳代	中央地区	女性	・祇園祭 ・農業体験 ・植木、植樹 ・飯高檀林などの文化財見学。市の名前が難しいのでそれをきっかけにして、もっといろいろな事を知ってもらうきっかけを作る（ふるさと納税をした方への特典など）
10・20 歳代	豊栄地区	男性	土地が多くあるので、大企業を誘致し、活性化させ匝瑳市周辺の交通網を一番強化していき、より人が行き来しやすいようにすれば人口も増加し、都市化に近づき人口減少を防げるかもしれない。

年齢	居住地区	性別	問18 観光資源となりうるもの
10・20歳代	須賀地区	女性	植木、祭り、飯高檀林、藤まつり
10・20歳代	須賀地区	女性	飯高檀林
10・20歳代	須賀地区	女性	飯高檀林・海
10・20歳代	匝瑳地区	男性	米、野菜
10・20歳代	匝瑳地区	女性	子どもが遊べる公園や公共施設の充実。特産物を活かした体験
10・20歳代	匝瑳地区	女性	植木、飯高檀林
10・20歳代	豊和地区	女性	祭り等の行事、美しい自然
10・20歳代	豊和地区	女性	廃校になった学校や保育所をTV撮影などに提供。飯高檀林マラソンなどやってみるのはどうか。
10・20歳代	豊和地区	女性	祇園祭
10・20歳代	豊和地区	女性	飯高檀林
10・20歳代	吉田地区	男性	観光ではやっていけない気がします。オリンピックでの外国人観光客向けの日本食ツアーなどをやってみたり、オリンピックにかけて何か大きなことをやるのもおもしろいと思います。
10・20歳代	吉田地区	男性	のどかで暮らしやすいところ
10・20歳代	椿海地区	女性	飯高檀林
10・20歳代	野田地区	女性	サーファーや海を来る人がリピートして来てくれるように整備。
10・20歳代	野田地区	女性	地産地消、サーファーが多い為、関連した施設やイベントがあれば、TV撮影（飯高檀林等）
30歳代	中央地区	男性	植木、野菜
30歳代	中央地区	女性	祇園祭りが一番有力だが、花火等もう少し目立つものがないと今のままでは難しい。また、祭りで匝瑳市を訪れた時にここにしかない「食」があれば観光客が増えるのでは。
30歳代	中央地区	女性	祭り、飯高檀林、九十九里
30歳代	豊栄地区	男性	特にないと思う
30歳代	豊栄地区	女性	観光客が泊まれる旅館を作りたい
30歳代	豊栄地区	女性	自然
30歳代	豊栄地区	女性	祭りは年に1回しかないので、季節ごとの食や地域事業など
30歳代	須賀地区	男性	植木、米、自然
30歳代	須賀地区	男性	祭り
30歳代	須賀地区	男性	植木、海
30歳代	須賀地区	女性	榎、地区ごとに昔から続けている習慣、子安講、七五三、節句、方言、定食屋さん
30歳代	匝瑳地区	男性	農業、里山、古民家、食
30歳代	豊和地区	女性	植木
30歳代	豊和地区	女性	特にこれといって思い当たりませんが、自然が揃っているところ
30歳代	吉田地区	男性	町並み・和菓子・松山庭園美術館・飯高寺・九十九里浜
30歳代	共興地区	男性	植木
30歳代	平和地区	女性	植木、田んぼなどの緑豊かな景観（太陽光パネルが景観を壊している、とても残念）
30歳代	椿海地区	男性	飯高檀林
30歳代	椿海地区	男性	農業を通じての収穫体験
30歳代	椿海地区	女性	八重垣神社の祭り、海などの自然
30歳代	椿海地区	女性	海・山・美術館・飯高寺、もっと有効的に活用できればいい。宜しくお願ひします。成田空港も近いので何か生かせれば。
30歳代	野田地区	男性	・ハマグリ・サーフィン←海、駐車場の整備・植木・祭り
30歳代	野田地区	女性	都会にはない田んぼ、畑、海など、子どもと一緒にできる体験型のイベントなど楽しく参加出来ると思います。
30歳代	野田地区	女性	海、自然
30歳代	栄地区	男性	自然体験
30歳代	栄地区	女性	祭り

年齢	居住地区	性別	問18 観光資源となりうるもの
40歳代	中央地区	男性	田舎暮らしを推進する、プール
40歳代	中央地区	男性	ねこ美術館
40歳代	中央地区	女性	飯高寺で聖地巡礼、ソーサマン
40歳代	豊栄地区	男性	私はこちらに来て25年くらいになります。一番良いと思うのは海がやはり近く、自分の趣味で釣りやサーフィンをしています。週末などは他県からの人がかなり多く来ています。レジャーなどホテルやおいしい食べ物をもっと充実すると良いと思います。正直、人がたくさん来ると個人的には嫌なのですが、観光資源としては良いのではないのでしょうか。
40歳代	豊栄地区	男性	農産物（できればブランド化）、飯高檀林も「日本最古の大学」というくらいなので、資源になると思います。
40歳代	豊栄地区	女性	米（おにぎり）、赤ピーマン、大浦ごぼうなどの名産物などの旬な時に、少し変わったアレンジメニューを作ったり、その形ややわらかいキーホルダーなどを作って、まずは地元の子どもたちに人気が出るような働きをして、その後色々膨らませる。
40歳代	須賀地区	男性	ドラマや映画の撮影を行い、ファンによる巡礼を期待する
40歳代	須賀地区	男性	農産物品
40歳代	須賀地区	男性	祇園祭、飯高檀林、九十九里浜の三点が代表的なものだと思いますが、そろそろ新たな観光資源を考えてもいいと思います。
40歳代	須賀地区	女性	①8/4, 5のお祭り ②そうさの舞（お米のブランド） ③飯高檀林のアピール+大浦の花火などを広めていく（地元の人しか知られていないので）
40歳代	須賀地区	女性	楽しいイベント
40歳代	匝瑳地区	女性	自然
40歳代	吉田地区	男性	八日市場ふれあいパーク、飯高檀林
40歳代	飯高地区	女性	ふれあいパーク、匝りの里、そうさ記念公園、天神山公園と施設はいくつかあるが設備が中途半端と感じます。利用目的が不明確だと思います。佐原市、旭市などの同様の施設では食事施設も充実、設備も良いと思います。公園の管理についても他市の方がきれいになっていると思います。
40歳代	飯高地区	女性	海、野菜、米、飯高檀林
40歳代	共興地区	男性	箱根を観光した時、植木と公園と体験施設（グラス工芸）が一体となった有料公園があった。植木のまちなのでそういったテーマパークがあってもいいのではないかと。
40歳代	共興地区	男性	海
40歳代	共興地区	女性	植木、ソーサマン
40歳代	平和地区	女性	海
40歳代	平和地区	女性	海・山の環境
40歳代	椿海地区	女性	浜辺
40歳代	野田地区	男性	お米をはじめとする美味しい農産物や海産物。植木（テーマパーク整備）、そうさ記念公園（大規模イベント実施）、海（水族館誘致）
40歳代	野田地区	男性	ある程度広い土地
40歳代	野田地区	女性	海、植木、祭り、ソーサマン
40歳代	野田地区	女性	イベント
40歳代	野田地区	女性	市街地ではお祭りや神社巡りなど観光案内があるが、沿岸部での活動があまり見られません。せっかくの海があるのに登録した人だけが自然の生地のはまぐりをとる権利があるので、期間を決め一定期間だけでも観光に来た人が楽しめるように体験（はまぐりとり）などができる活動ができればもっと沿岸部も栄えると思います（民宿もまだまだ利用価値があるのではないのでしょうか。）
40歳代	栄地区	男性	交通産業との連携した観光客の受入れ、駅、バス停を拠点とする
40歳代	栄地区	男性	植木、魚、チューリップ

年齢	居住地区	性別	問 18 観光資源となりうるもの
40 歳代	栄地区	女性	海
40 歳代	栄地区	女性	植木
40 歳代	栄地区	女性	九十九里浜、植木
50 歳代	中央地区	男性	まつり
50 歳代	中央地区	男性	せっかく植木のまちなので植木、花、食材、サービス精神。
50 歳代	中央地区	男性	山あいの荒れ果てた山、竹林などを地主から借り入れ、日帰り温泉施設（わかしゆ）を作り、その周りにタケノコ堀体験とか農園作り、人々が常に来客、リピートするようなものを周りに。炭焼き体験とか、過疎の地域を利用して進化する町づくり。
50 歳代	中央地区	男性	自然とお祭りなどの文化
50 歳代	中央地区	女性	八重垣神社祇園祭、飯高寺、自然
50 歳代	中央地区	女性	農作物
50 歳代	中央地区	女性	お祭り、イベントだと思う。最近の市役所裏の公園でのイベントはなかなか良いと思う。近所の者が知らなかったりするので新聞広告を入れるなど広報活動をしたほうがいい。
50 歳代	中央地区	女性	・匝瑳市八重垣神社祇園祭・八日市場駅からの八社参り・飯高檀林
50 歳代	中央地区	女性	春暖かく、夏涼しい環境
50 歳代	豊栄地区	女性	道の駅 地産野菜等直売所（R126号へ）
50 歳代	豊栄地区	女性	文化、伝統（古い寺院、祭りなど） 田園風景など原風景の美しさ
50 歳代	豊栄地区	女性	自然
50 歳代	須賀地区	男性	海
50 歳代	須賀地区	女性	海が近いのでPRすべきではないか。遊泳できるかどうかで価値観が違うが・・・
50 歳代	須賀地区	女性	何も思いつかない
50 歳代	匝瑳地区	男性	植木のまちとして有名ですが、業者さんが高齢なためインターネット上で手軽に分かりやすく購入する方法が無く、扱っている品種も悪く言えば古臭い品目ばかりです。今はネット検索で店や価格を調べられます。全ての植木業者がネット販売できるような助成、指導をしては。
50 歳代	匝瑳地区	男性	蛍の飼育、サワガニ釣りの池
50 歳代	匝瑳地区	男性	田舎
50 歳代	豊和地区	女性	癒しを求める人が多い昨今、匝瑳市の現状を見ると新しい物がないため自然の豊かさをいかした観光を活動的に行っていくことだと思います（里山歩きとか行っていると思いますが！）
50 歳代	吉田地区	男性	飯高檀林と周辺の里山、谷津と里山
50 歳代	吉田地区	女性	植木
50 歳代	共興地区	男性	農作物
50 歳代	共興地区	男性	何もないような素朴さ、先日の大河しかり、力まない自然、それがいやらしくない資源。寺巡り、そこで人間ドラマ表示（真忠組、松山戦争他）
50 歳代	平和地区	女性	昔は九十九里は地引網。今でも地引網は夏季ですか。活用できるのでは。
50 歳代	椿海地区	男性	自然、祭り
50 歳代	椿海地区	男性	田園風景
50 歳代	椿海地区	男性	海岸、飯高地区、農産物
50 歳代	野田地区	男性	空家の活用
50 歳代	野田地区	女性	サーフィン（海）を観光として整備して、望洋荘のところを何か利用したらどうかと思う。トイレ、お風呂など、清潔な施設や、イベント、地元の農作物の商店、シルバーの力を色々な所で発揮できれば・・・活性化につながるような。
50 歳代	野田地区	女性	海
60 歳代	中央地区	男性	里山・八重垣神社祇園祭・天神山公園
60 歳代	中央地区	男性	伝統芸能や農産物 etc.
60 歳代	中央地区	男性	10 町内祭礼、飯高檀林
60 歳代	中央地区	男性	マラソン大会、ウォーキング大会の開催

年齢	居住地区	性別	問18 観光資源となりうるもの
60歳代	中央地区	男性	かつての九十九里浜の魅力が失われてしまった現在、海も観光資源ではなくなり、険しい山々や河川は元々存在しない地域で、風光明媚を求める観光客を呼べる資源を持たない。あえて言えば、平坦な土地、丘の緑、田んぼの景色、ぐらいか。だから、大切なのは、この平坦な環境を維持することだと思う。大型のパチンコ店がまるで市の象徴でもあるかのように存在感を主張していることに疑問を感じる。どうか市の景観にもっと注意を注いでほしい。
60歳代	中央地区	男性	飯高檀林のPR。宿泊施設の充実。
60歳代	中央地区	女性	市役所の国道寄りの駐車場の所に道の駅を作ったらいいと思います。
60歳代	中央地区	女性	農薬や除草剤を制限し、蛍飛び交う生きた里山。寺や神社の鎮守の柱に手を入れて、豊かな緑の森を保ち守る。
60歳代	中央地区	女性	飯塚開発地域に春は桜またはチューリップを植えたり、また、秋はコスモスなどの四季のものを植え観光化したりして、またその帰りなどふれあいパークによる（匝瑳市の特産品の充実）
60歳代	中央地区	女性	今の状態ではあるとは言えない。・夏に九十九里浜を再び海水浴場やサーフィンの場として利用出来るように ・キャンプのできる場所を作る（車で入って泊まれる）蛍などの観賞もできる。・駅前の匝りの里を道の駅化する。・飯高檀林など
60歳代	中央地区	女性	・祇園祭・飯高寺・ながらみ・イチゴ（街道のPR）・植木（日本庭園）
60歳代	豊栄地区	男性	自然が豊かな海岸の活用と農業資源の活用。
60歳代	豊栄地区	男性	飯高檀林観光案内所近くに飲食、喫茶コーナー等の開設。近所の休憩・展示スペースもとても居心地がいいのに知られていない。自然を生かした子ども達の体験スペース、合宿等、体験型の観光がいいと思う。
60歳代	豊栄地区	女性	海、里山、田園
60歳代	須賀地区	男性	飯高檀林、里山の利活用
60歳代	須賀地区	男性	自然と文化、飯高檀林、ハリストス須賀正教会、安久山スダジイ
60歳代	須賀地区	女性	里山の風景。野栄の海。植木で有名な市なのに一般の家の植木が手入れされていないことが多く残念だと思います。ボランティアを育成し「植木の手入れが行き届いてる家コンテスト」などはおもしろいかなと思います。
60歳代	須賀地区	女性	海岸を利用したイベント施設（海の駅など）
60歳代	須賀地区	女性	植木。
60歳代	須賀地区	女性	①おまつり会館などPR。会館を作ってしまうと人が必要だから難しい。②ふれあいパーク。いつもいつも人がいっぱい。商店街や他の産業も学べる部分はないのだろうか。③植木、野菜、魚、肉など。籠部田のせんべい屋さん、閉めてしまい残念。
60歳代	須賀地区	女性	自然の美しさをもっときれいに。交通の便、公共の場所をきれいに。
60歳代	須賀地区	女性	自然を生かした公園などの施設
60歳代	匝瑳地区	男性	自然・神社
60歳代	匝瑳地区	男性	地井武男さん、松山庭園美術館
60歳代	匝瑳地区	男性	市の観光資源と言われても。植木ぐらいしかないよね！
60歳代	匝瑳地区	女性	野菜・米・豆類・果物等。水産（魚、貝等）
60歳代	匝瑳地区	女性	海、田園風景、生き物（野鳥等）
60歳代	豊和地区	男性	里山と農業（稲作）体験、九十九里浜
60歳代	豊和地区	男性	特に見当たらないが、飯高の飯高檀林を整備し、周囲や広域農道や開畑の道路沿い等に、桜など多数植樹する。例えば、福島の千本桜等に匹敵するような状況をつくり、観光地化していく。米倉の西光寺等も良いと思う。まずは投資。
60歳代	豊和地区	女性	祇園祭
60歳代	吉田地区	女性	お菓子の「はつゆめづけ」や大浦ごぼうなどを取り入れた料理など
60歳代	吉田地区	女性	体験型観光、野菜作り、採れたて野菜を使った料理
60歳代	飯高地区	男性	飯高檀林

年齢	居住地区	性別	問 18 観光資源となりうるもの
60 歳代	飯高地区	女性	自然環境（森林・農地・海辺） 農産品、農家の生産技術
60 歳代	共興地区	男性	農産物
60 歳代	共興地区	男性	海岸の再整備
60 歳代	共興地区	男性	海
60 歳代	共興地区	男性	日本一と言われる植木造形樹
60 歳代	共興地区	女性	全国有数の植木産業、協力してくれる植木屋さんを巡るツアーとか、飯高檀林の観光化、映画やドラマの撮影場所としてもっとPRしたら、グッズを考えるなど。
60 歳代	共興地区	女性	飯高を中心とした地域での地産地消できるような店を作る
60 歳代	平和地区	女性	思いあたる物はありません。「匝りの里」は品物不足等で満足できない。多額の費用を費やしもつたいないと感じている。中途半端！！
60 歳代	平和地区	女性	特別なと思うが海岸で遊べるようにする
60 歳代	椿海地区	男性	植木は国内でも有数の産地なので今後も発展させてほしい。豊かな自然や広い土地を利用して人を誘致出来るような魅力あるスポットがあると良い（ひまわりの迷路、季節の植物公園など）
60 歳代	椿海地区	男性	里山、遊歩道
60 歳代	椿海地区	男性	特産品開発
60 歳代	椿海地区	男性	市民からの提案を定期的に把握する（自分としてはわからない）
60 歳代	椿海地区	女性	わからない
60 歳代	野田地区	男性	海岸
60 歳代	野田地区	女性	匝瑳市をPRできるもの
60 歳代	野田地区	女性	海が近いので、夏は地引網等いかがでしょうか。参加料を 100 円位とってとれたての魚を分けてあげる。
60 歳代	栄地区	男性	管理砂漠でハマグリ狩りや釣り堀等（その場で調理）
60 歳代	栄地区	男性	食肉（牛・豚・鶏）等のブランド化。海水浴の場所作りと地引網との催し化。みどり台工業団地に協同飼育場を作り、民家の近くは利用させない（臭くてたまらない）
60 歳代	栄地区	女性	飯高寺
60 歳代	栄地区	女性	海
60 歳代	栄地区	女性	食品（魚、野菜、くだもの、肉類）が豊富なので、そして安価な事
60 歳代	栄地区	女性	海の活用
60 歳代	栄地区	女性	飯高寺
70 歳以上	中央地区	男性	特産品の開発
70 歳以上	中央地区	男性	既存の施設を充実させる
70 歳以上	中央地区	男性	植木、祭
70 歳以上	中央地区	男性	荒れた山林→里山づくり・休耕地→レンタル農園
70 歳以上	中央地区	女性	野菜づくり、米
70 歳以上	中央地区	女性	飯高檀林をもう少し工夫して、観光資源としてもっともっと活用できないでしょうか。
70 歳以上	豊栄地区	男性	匝瑳市は田畑が多いので、これらを利用して若者が生活出来るものを推進する。（植木、野菜、あそびのある農園等）
70 歳以上	豊栄地区	男性	里山
70 歳以上	豊栄地区	女性	植木、盆栽、飯高檀林
70 歳以上	豊栄地区	女性	お米（春から秋にかけての変化、グリーンから黄金色が美しいと思っている）ブランド米として成長してほしい。
70 歳以上	須賀地区	女性	農業
70 歳以上	匝瑳地区	男性	自然、原風景
70 歳以上	匝瑳地区	男性	ゲストを迎える意識を高める。排他性の排除、ゲストなくして繁栄なし。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	飯高檀林、植木、海
70 歳以上	豊和地区	女性	自然（里山、海）
70 歳以上	飯高地区	女性	自然の豊かさ

年齢	居住地区	性別	問 18 観光資源となりうるもの
70 歳以上	共興地区	男性	植木、農産物等
70 歳以上	共興地区	男性	九十九里浜
70 歳以上	共興地区	女性	飯高寺
70 歳以上	平和地区	男性	4 月から 5 月ごろ植木を中心とした一大イベントを実施する。その際飯塚台（空畑）を利用して今の植木市の 30 倍くらいの規模でネット利用した他県への宣伝。天神山の桜を中心に、高台を利用した桜の植樹、区画を設定して各小学校（中学校）の児童等に将来に向けた植樹の実施。
70 歳以上	平和地区	男性	農産物
70 歳以上	平和地区	女性	飯高寺などの歴史ある建物など、自然を生かしたウォークとか体験など。
70 歳以上	平和地区	女性	地元の新鮮な野菜を販売する大規模な場所
70 歳以上	椿海地区	女性	現時点ではないと思います。
70 歳以上	椿海地区	女性	植木
70 歳以上	椿海地区	女性	里山・植木・榎べい
70 歳以上	野田地区	男性	観光とは造形物を作るだけではなく自然が一番。自然を大切に生かすべきと思う。
70 歳以上	野田地区	男性	農産物だと思います
70 歳以上	栄地区	男性	寺社 文化財 植木 祭礼

年齢	居住地区	性別	問 19 市の観光振興についての重要な取組
10・20 歳代	中央地区	女性	交通の便を良くする。
30 歳代	平和地区	男性	交通網。
40 歳代	中央地区	女性	大洗や鴨川に取材して聖地巡礼のノウハウを学ぶ。
40 歳代	豊栄地区	男性	宿泊や飲食、レジャーなどの集合施設。地元に行きたくなるような。
40 歳代	須賀地区	男性	撮影協力。
40 歳代	椿海地区	男性	ニャンニャンパラダイス。
40 歳代	椿海地区	女性	大型ショッピングモールを作る、イオン、コストコ etc。
40 歳代	野田地区	男性	通年で複数月に渡るイベントがいいと考えます。
50 歳代	共興地区	男性	へりくだらない観光振興が独自路線を開拓する。
50 歳代	平和地区	男性	既存施設の機能強化、道の駅に入浴施設を追加する。
60 歳代	中央地区	男性	帰農や新規に農業を始めた人のための研修センターの構築。
60 歳代	須賀地区	女性	広報に出た移住した方々のその後のお話など（人が住んでもらうのも大切）。
60 歳代	匝瑳地区	男性	花火大会などの開催。
60 歳代	豊和地区	男性	佐原のように多少時間をかけて基盤を作る。
70 歳以上	匝瑳地区	男性	市名の変更。
70 歳以上	野田地区	男性	都市部と同じものを造ると地方の特性が死ぬ。

年齢	居住地区	性別	問 21 市の重要な雇用対策
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	無職者に対する取組。
10・20 歳代	吉田地区	男性	時代の変化によって大きく活躍しそうな企業の誘致を積極的に行うなど。
30 歳代	豊和地区	女性	70 才まで働く。
40 歳代	豊栄地区	女性	上の 6 つの内容に市が関わるのか。例えが違う気がする。
40 歳代	須賀地区	男性	外資系を増やす。
40 歳代	共興地区	男性	高齢者雇用の推進。
40 歳代	平和地区	女性	子育てママを積極的に採用する企業。
40 歳代	野田地区	男性	成田空港関連企業とタイアップして雇用確保する。
60 歳代	豊栄地区	男性	若者が安心して市に定着できるような雇用促進策。
60 歳代	豊和地区	男性	上記と共に観光等への基盤作り。

年齢	居住地区	性別	問 21 市の重要な雇用対策
70 歳以上	匝瑳地区	男性	観光開発、海岸レジャー施設への車の乗り入れ規制。
70 歳以上	平和地区	男性	難しい質問である。経済発展で人類は豊かになるだろうか。

年齢	居住地区	性別	問 23 住みやすい住環境
10・20 歳代	須賀地区	女性	野焼きがひどい。特に高齢者。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	八日市場駅に無料の自転車置き場の設置。
10・20 歳代	豊和地区	女性	人の良さ。
10・20 歳代	吉田地区	男性	何もない感じがいい。
10・20 歳代	平和地区	女性	交通の便が良い。
10・20 歳代	椿海地区	女性	全て当てはまる。
10・20 歳代	野田地区	女性	医療機関が整備されている。
40 歳代	野田地区	男性	近所の方と良い関係が築けていること。
50 歳代	豊栄地区	男性	病院の充実。
50 歳代	須賀地区	女性	文化的施設が充実している環境。
50 歳代	平和地区	男性	市内循環バスの強化、適度な商業・医療施設の再配置。
50 歳代	栄地区	女性	年老いても自転車などで買物ができる店があるといい（スーパーなど）。
60 歳代	中央地区	男性	ゴミの処理場があること。
60 歳代	須賀地区	女性	高齢、障害で介護が必要になったとき手厚くしてほしい。
60 歳代	飯高地区	女性	障害者や高齢者・子どもが安全安心して楽しく生活できる活動空間の充実。
60 歳代	共興地区	女性	車がなくても生活できる、交通手段が充実している。
70 歳以上	匝瑳地区	男性	畜産臭が耐え難い。廃墟を除去。臭い町に誰が来る。
70 歳以上	飯高地区	女性	歩道への雑草の整理が行き届いた環境。

年齢	居住地区	性別	問 25 市の安全なまちづくりについての重要な取組
10・20 歳代	椿海地区	女性	全て当てはまる。
10・20 歳代	野田地区	女性	空き家の整備。
30 歳代	平和地区	男性	消防団・防犯・安協などボランティアの参加者増員また定員見直し、地区によっては若手がいらない。
30 歳代	栄地区	男性	津波対策。
40 歳代	平和地区	女性	災害時の非常食や水、おむつ、ミルクの常備。
40 歳代	栄地区	女性	海岸対策。
60 歳代	中央地区	男性	十分安全だと感じています。
60 歳代	共興地区	女性	防犯カメラの充実。
60 歳代	椿海地区	女性	市職員の危機管理への意識を高める。

年齢	居住地区	性別	問 26-1 移動が不便と思う理由
10・20 歳代	須賀地区	女性	バス代が高い。
10・20 歳代	豊和地区	女性	1 時間に 1 本だけではとても不便を感じる。
30 歳代	栄地区	女性	コンビニ、駅に行くのに車でないと行けない。
50 歳代	須賀地区	女性	車が無いとどこにも行けないし、何も手に入らない。
50 歳代	匝瑳地区	男性	車が無いと生活できない。自分や周囲も自給できない。
50 歳代	吉田地区	男性	将来車が利用できなくなった場合の手段がない。
60 歳代	豊栄地区	男性	車が無いと行ったり来たりとタクシーを利用するしかない。
60 歳代	共興地区	男性	農道が狭く車のすれ違いが不可。
60 歳代	共興地区	男性	1・2・3 全てあてはまる。
70 歳以上	匝瑳地区	男性	市内循環バスの他市との相互乗り入れと増便。
70 歳以上	豊和地区	女性	現在は不便を感じないが、将来的に運転免許を返納した時に公共交通機関が少ないことに不安を感じる。
70 歳以上	野田地区	女性	バス停が少ない。
70 歳以上	栄地区	女性	バス停は遠いし、スーパーなし。

年齢	居住地区	性別	問 27 普段の移動手段
60 歳代	平和地区	女性	高速バス。

年齢	居住地区	性別	問 29 市の自然環境保全についての重要な取組
10・20 歳代	吉田地区	男性	ごみ出しなどの市民への習慣化。
10・20 歳代	椿海地区	女性	全て当てはまる。
40 歳代	豊栄地区	男性	自宅で燃やすなどはやめさせてほしい。
40 歳代	豊栄地区	男性	分別の明確化と可燃袋の低料金化。千葉市や四街道市と比べてしまうとあまりに高い処理料が不法投棄へつながっている。
40 歳代	野田地区	男性	太陽光や風力などの自然エネルギー利用促進をやめる。
50 歳代	匝瑳地区	男性	自然環境に配慮した安全な農薬、排水の徹底。
50 歳代	豊和地区	男性	畜舎の排水路を整備。
50 歳代	共興地区	男性	太陽光パネルの安易な賛美は最悪。
50 歳代	椿海地区	男性	洗濯水をそのまま流す家庭をなくす。下水が泡だらけになっている。
60 歳代	平和地区	男性	排水路が埋まっている。害虫の発生。排水路をきれいにしてほしい。
70 歳以上	匝瑳地区	男性	資源ごみの有料集荷はナンセンス、他市にはない。
70 歳以上	共興地区	男性	太陽光発電施設設置の規制を強化する。
70 歳以上	椿海地区	女性	道路まで枝が伸びている、花や家のゴミが出ている、見回りして注意（行政）して頂きたい。

年齢	居住地区	性別	問 32 小・中学校運営についての重要な取組
10・20 歳代	中央地区	男性	登下校のマナーが悪い。車が来ても避けない中学生。
10・20 歳代	豊栄地区	女性	価値観（人生の選択）を広げられるような教育を子どもたちに施してほしい。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	いじめ対策の強化。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	生徒一人ひとりのことを考えた指導。
10・20 歳代	吉田地区	男性	良い教員に出会えるようにしてほしい。
10・20 歳代	椿海地区	女性	全て当てはまります。
30 歳代	中央地区	女性	教職員の増員、教育財源の増加。
30 歳代	平和地区	男性	専門分野の教育・IT・スポーツ。
40 歳代	須賀地区	男性	教員の負担軽減。
40 歳代	須賀地区	女性	エアコン設備により体調管理をお願いしたい。
40 歳代	共興地区	男性	増加傾向にある発達障害のグレーゾーンといわれる子どもへの支援体制。
40 歳代	平和地区	女性	いじめがないよう配慮する。
40 歳代	野田地区	男性	自分の国や地域に誇りと愛着を持たせる教育をする。
40 歳代	栄地区	女性	各教室にエアコンを設置してほしい。
50 歳代	中央地区	男性	せめて自転車の通行区分くらい教える。
50 歳代	椿海地区	男性	交通安全・歯科予防の教育。
60 歳代	中央地区	男性	教員の就労体制（勤務時間）を十分に考えてほしい。
60 歳代	中央地区	男性	郷土愛を育むために必要な事をする。人口減に歯止めをかけるためにも。
60 歳代	中央地区	男性	国歌（君が代）を歌えるようにする。
60 歳代	須賀地区	女性	少子化なので子どもは大切な宝と思う。
60 歳代	共興地区	女性	小学生が少ないのに学校の数を減らせていない、減らすべき。
60 歳代	平和地区	男性	教員の質の向上。情報を隠さない。
60 歳代	椿海地区	男性	人権、平和、民主主義教育。
60 歳代	野田地区	女性	小中の児童・生徒がいらないので無回答。
60 歳代	栄地区	男性	基礎能力の向上も大切だが、長所を伸ばす教育も必要。

年齢	居住地区	性別	問 34 市の生涯学習等についての重要な取組
10・20 歳代	椿海地区	女性	全て。

年齢	居住地区	性別	問 34 市の生涯学習等についての重要な取組
30 歳代	平和地区	女性	福祉に力を入れてほしい。
40 歳代	共興地区	男性	活動内容のアピール。
50 歳代	中央地区	男性	もっと事が始まる前に広報活動を。
50 歳代	豊和地区	男性	参加した事が無いためよくわからない。
50 歳代	共興地区	男性	外的な要素は何にせよわかりやすいが、内的なものを分かりやすく市民の心に響かせることが文化活動において重要。
50 歳代	共興地区	女性	今まで通りで良いかと思う。
60 歳代	中央地区	男性	将来アーティスト（どのジャンルでも）を目指す人たちへの資金援助。
60 歳代	平和地区	女性	ボランティアで指導している人の高齢化。若い人が面倒な事を嫌がり、環境ができていれば参加するが、先に立ってしようとしなない。

年齢	居住地区	性別	問 37 市の人権問題についての重要な取組
10・20 歳代	樺海地区	女性	全て。
30 歳代	須賀地区	女性	昔から住んでいる人間の考え方の再教育（老害が多い）。
30 歳代	樺海地区	女性	私の小学生の時の教員は、部活動時に指導の一環として、体罰を行っていました。私はこのことがあり教員を尊敬できませんでした。採用後の指導をしっかりしてほしいと思っています。あんな教員がいると、児童・生徒がかわいそうです。個人的な意見ですみません。
50 歳代	豊栄地区	女性	変に過敏に反応する人もいるので、全てを受け入れるのではなく、きちんと見極められるようにしてもらいたい。
50 歳代	共興地区	女性	個性があるでの難しい課題である。
50 歳代	平和地区	男性	会社でのパワハラの実態調査。

年齢	居住地区	性別	問 44 市の手続きや問合せで不都合を感じたこと
10・20 歳代	中央地区	男性	匝瑳市職員あいさつできる人が少ない。税務課のおばちゃん、建設課とか。
10・20 歳代	豊和地区	女性	対応が良い人と悪い人がいるので、悪い人にあたるとすごく嫌な気持ちになる。税金で働いているという気持ちを忘れずに丁寧に対応してほしい。
10・20 歳代	共興地区	男性	窓口へ行くが時間がない。
10・20 歳代	樺海地区	女性	人を見た目で判断する。
30 歳代	中央地区	女性	土日祝日に開いていない。仕事の為、有給を使わないと行けない。
30 歳代	中央地区	女性	他の市とも情報共有してほしい。1つの市で手続きを済ませたい。
30 歳代	須賀地区	男性	隣の空き家の木がこちらに来ていて対応できない。
30 歳代	須賀地区	女性	住民票取得時、〇〇さんだっけ知ってる。とひそひそ話が聞こえてきた。大変不愉快な気持ちになった。
30 歳代	豊和地区	女性	HPが見にくい。
30 歳代	平和地区	女性	市役所の手続きで順番を抜かされたが、謝罪もなく残念だった。業務を事務的にこなしており、市民に寄り添う気持ちがないのではないかと思った。
40 歳代	中央地区	男性	朝はじまる前にもかかわらず対応してくれた。
40 歳代	中央地区	男性	問い合わせの回答に1年半以上放置されている。
40 歳代	中央地区	女性	以前手当が受給できない（非該当）なのに連絡がなかった。職員の怠慢、取り寄せた証明手数料が無駄になったことに（住民不利益）職員の意識が低い。
40 歳代	豊栄地区	男性	市役所内が入り組んでいてわかりづらい。
40 歳代	須賀地区	女性	支給されない母子手当のために毎年書類提出することが面倒。
40 歳代	須賀地区	女性	障害に関係する申請を聞きに行ったがよく教えてくれなかった。自分で調べてからじゃないと聞いてもらえない。
40 歳代	平和地区	女性	税金支払いのための夜間窓口はするのに、証明証等の夜間窓口はやらない事。
40 歳代	平和地区	女性	保健センターと役所を一緒にするか隣にしてほしい。

年齢	居住地区	性別	問 44 市の手続きや問合せで不都合を感じたこと
50 歳代	中央地区	女性	手続きをしたが連絡が来なかった。
50 歳代	中央地区	女性	税務課に問い合わせをしたら間違った情報を与えられた。
50 歳代	匝瑳地区	男性	記入例ではわからず窓口で問い合わせた。
50 歳代	匝瑳地区	男性	ゴミの自己搬入の重量計測方法が不当。ガソリンを満タンで行くと、その重量が加算される。80 kgほどのゴミで 200 kg分請求された。
50 歳代	豊和地区	男性	窓口で手続きが平日のみなので手続き期間が限定されている場合は不都合を感じる場合がある。
50 歳代	平和地区	男性	昔と比べるとだいぶ親切になった。
50 歳代	野田地区	男性	上から下まで見回され嫌な思いをした。
60 歳代	匝瑳地区	女性	迅速でない（トロトロダラダラしている）。
60 歳代	豊和地区	男性	能力がある職員とそうでない職員の能力差が大きい。事務処理能力も同様に思う。
60 歳代	吉田地区	女性	問い合わせしたがその後回答なし（2年間ほど）。
60 歳代	平和地区	男性	手続き、問い合わせをすることがほとんどない。
60 歳代	平和地区	女性	断られた。
60 歳代	平和地区	女性	対応が悪すぎる。
60 歳代	椿海地区	女性	市職員が適確に答えられない、能力が低い。
60 歳代	椿海地区	女性	田の登記が市役所でできる事を知らなかった。
60 歳代	無回答	女性	職員の態度が悪い、言葉遣いが悪い。
70 歳以上	中央地区	男性	担当者不在で再問い合わせ。
70 歳以上	豊栄地区	女性	電話をかけた時、何度も担当がいらないからと言われた。
70 歳以上	豊栄地区	女性	市民課の対応スムーズにして。申込みに対しての処理誤り。
70 歳以上	平和地区	女性	1つの課でも職員によって違った、お役所仕事で困った。

年齢	居住地区	性別	問 45 市の行財政改革について重要な取組
10・20 歳代	中央地区	男性	税金の無駄遣いをやめる。
10・20 歳代	吉田地区	男性	新しい時代を見据えた企業の誘致、政策。
10・20 歳代	椿海地区	女性	全て。
30 歳代	中央地区	女性	議員の給与、定員の適正な管理。
30 歳代	豊栄地区	男性	不必要な市役所職員を減らし、税金の無駄を無くす。
30 歳代	須賀地区	男性	税金が高い。
30 歳代	匝瑳地区	男性	SDGs 未来都市。
30 歳代	椿海地区	男性	市議会議員の定数削減。
40 歳代	椿海地区	女性	母子家庭、生活保護、障害年金 etc を不正に受け取っている人が実際にいます。まず無駄な税金を使わないでほしいです。安易に受給しないでください。もっと厳しく調査してください。
50 歳代	中央地区	女性	公共施設の建設の際、市民の意見を取り入れてほしい。例：匝りの里など。
50 歳代	吉田地区	男性	改革の取組を理解していないので判断できない。
50 歳代	共興地区	男性	議員報酬の削減。
60 歳代	豊栄地区	男性	議員定数の削減、本市の人口状況では 10 名前後の議員で十分。
60 歳代	須賀地区	女性	市議会議員の定数を減らすべきだと思います。
60 歳代	共興地区	女性	ふるさと納税の努力（確保）。
70 歳以上	匝瑳地区	男性	塩づけ、市所有地の処分または活用。
70 歳以上	平和地区	男性	議員定数の削減（15 人位）。
70 歳以上	野田地区	男性	庁舎は多くの住民も訪れる場、職員も働きやすい場とすべき。

年齢	居住地区	性別	問 47-1 住み続けたい理由
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	都会に比べて静かだから。
30 歳代	豊栄地区	男性	可もなく不可もないから。
40 歳代	豊栄地区	男性	親せきの家が近いから。

年齢	居住地区	性別	問 47-1 住み続けたい理由
40 歳代	須賀地区	男性	家を買ったから。
40 歳代	野田地区	男性	自宅があるから。
50 歳代	中央地区	女性	ここが実家になってしまったから。
50 歳代	匝瑳地区	男性	土地があるから。
50 歳代	共興地区	男性	ただ生まれた場所だから。
50 歳代	共興地区	女性	家族がいるから。
50 歳代	共興地区	女性	嫁いできたから。
50 歳代	樺海地区	男性	生まれた時から住んでいるから。
50 歳代	樺海地区	男性	田畑があるから。
50 歳代	樺海地区	女性	今さら引っ越しも面倒。
60 歳代	中央地区	男性	生まれ育った町なので。
60 歳代	中央地区	男性	ここに家庭を持ったから。
60 歳代	中央地区	女性	この環境に慣れているから。
60 歳代	豊栄地区	女性	持家があるから。
60 歳代	須賀地区	女性	持家だから。
60 歳代	須賀地区	女性	ずっと住んでいるから。
60 歳代	豊和地区	女性	他に住む所がない。
60 歳代	吉田地区	男性	家があるので。
60 歳代	吉田地区	男性	農地があるから。
60 歳代	吉田地区	女性	慣れ親しんでいるから。
60 歳代	共興地区	男性	出生地だから。
60 歳代	共興地区	男性	お墓を守るため。
60 歳代	共興地区	女性	家がある。
60 歳代	平和地区	女性	この年齢で出て行く理由がない。
60 歳代	平和地区	女性	友人・知人がいるから。
60 歳代	樺海地区	男性	生まれ育った場所で代々の家もあるから。
60 歳代	樺海地区	女性	住まいがあるから。
60 歳代	樺海地区	女性	家があるから。
60 歳代	樺海地区	女性	先祖代々の家なので。
60 歳代	野田地区	女性	野菜がおいしい。
60 歳代	栄地区	男性	行く所がない。
60 歳代	栄地区	男性	田畑を耕作しているから。
70 歳以上	中央地区	男性	年齢的に仕方ない。
70 歳以上	中央地区	女性	昔から自分の家だから。
70 歳以上	中央地区	女性	自分の家だから。
70 歳以上	豊栄地区	男性	住み慣れているから。
70 歳以上	豊栄地区	女性	この先いくばくもないから。
70 歳以上	豊栄地区	女性	他に行く所が無い。
70 歳以上	豊和地区	女性	旭市、多古町など近くていい。

年齢	居住地区	性別	問 47-2 住み続けたくない理由
10・20 歳代	中央地区	女性	税金が高い。
40 歳代	中央地区	女性	公共交通の不便さ。
40 歳代	栄地区	女性	津波がこわい。
60 歳代	栄地区	女性	若い世代の働く場所が無いので。
70 歳以上	豊栄地区	女性	1 人になった時生活しにくい。
70 歳以上	匝瑳地区	男性	太陽光発電所の景観破壊、廃屋の家畜の排せつ物がくさい。

年齢	居住地区	性別	問 50 市の人口減少に歯止めをかけるための施策
10・20 歳代	中央地区	男性	不妊治療の助成、旭市、横芝光、多古町は取り組んでいますよ。県の助成だけではキツイ。

年齢	居住地区	性別	問 50 市の人口減少に歯止めをかけるための施策
10・20 歳代	中央地区	女性	子を育てていける収入、出産後の女性の再雇用・保育の支援。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	交通網の拡大、企業の積極的な誘致。
10・20 歳代	吉田地区	男性	この匝瑳市に住みたくなる何かを生み出す。実際に成功した政策や、今の若者が求める事などを考えたら何かがあると思う。
10・20 歳代	樺海地区	女性	全て。
30 歳代	中央地区	女性	防犯対策に力を入れ、子育て支援を充実させる。
30 歳代	匝瑳地区	男性	地元産業をもっと活用する。
30 歳代	平和地区	女性	人口減少は避けられない。他市町村との協力が必要。
30 歳代	樺海地区	女性	不妊に対するサポート、援助制度。
40 歳代	豊栄地区	女性	物価が安く、低所得者でも心配なく暮らせる事。
40 歳代	野田地区	男性	国に対する誇りと愛着の醸成。
50 歳代	中央地区	男性	増えずとも流出しない魅力あるまちづくり。
60 歳代	共興地区	男性	結婚の推進、韓国でいう結婚を願う男女が登る山（クヌガン山）へ登ろう、の日本版を（筑波山）へバスを出そう。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
10・20 歳代	中央地区	男性	ソーラーパネルや浄化槽の助成も大事だと思うけど、人口を増やしたいなら不妊治療費の助成もやってもらいたい。県の助成だけではとても大変です。近隣の市町村（旭市、横芝光町、多古町など）はすでに取り組みんでいます。今不妊治療で悩んでいる人は結構います。匝瑳市も早く取り組んでももらいたい。 あと、質の良い病院を作ってもらいたい。夜間救急の充実。本当にやばい時、市民病院だと今は無理だと思う。旭中央病院まで行く間に死んじゃうよ。だから匝瑳市にも頼れる病院を作ってもらいたい。
10・20 歳代	中央地区	女性	子どもでも分かるように財政や他の取組みを開示、説明等、広報活動を行い、幼いころから興味を持ってもらうべき。若い人が少ない給料で税金を払って生きているのだから、生活レベルの説明や少子化対策は手当を手厚くしてほしい。
10・20 歳代	中央地区	女性	バス停が多すぎて使おうと思わないのもう少し少なくしてほしい。（子どもたちのスクールバスとして朝は使ったりできるといいです）法人を誘致できるような制度を作してほしい。八日市場ドームをもっと交流できる場所に開放してほしい。運動施設を充実させてほしいです。キャラクターを活用したイベントを市外でもやってみる。（チーバくんも呼んだり）プロスポーツチームを作って盛り上げる。SNSでの活動を活発にする。調整区域をとく。
10・20 歳代	中央地区	女性	老人より若者に重点を置き、若者が住みやすいまちづくりを目指してほしい。地元商店街の活性化。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	匝瑳市は現状のままだと 10 年後、20 年後の未来は乏しいだろう。改善するには人口の増加、市街の発展に力を入れていかなければならない。そのためにまず行う事は、交通網の拡大・強化、多速道路の開設、鉄道の充実化・強化を図り、人の往来を多くするようにすることが大切である。その後、大企業や新企業の誘致をし、市の買い物を行う場、娯楽の場を多く作る必要がある。長い見通しをもって計画を進めていけば必ず成功すると思う。匝瑳市をニュータウンにしてください。
10・20 歳代	豊栄地区	女性	市の外から人が沢山来れば繁栄していくと思います。治安や環境は悪くないので、住むには安心できる場所なので、沢山の人が来てくれるといいなと思います。市政にこれからも期待しています。
10・20 歳代	須賀地区	女性	八日市場駅に駐輪場を作してほしい。幼稚園・保育園の遊具の充実。野焼きをしないでほしい。学生の集いの場・施設を作してほしい。市内循環バスの運賃の値下げ。
10・20 歳代	須賀地区	女性	自然が豊かなのはとてもいいが、交通の便が悪い所。商工業があまり活発ではない所。街灯が少ない所が多く、夜道が危ないと思う所。以上の点を改善してほしいと思います。宜しくお願いします。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	市内循環バスなどの交通インフラをもっと充実させてほしい。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	八日市場駅に無料の自転車を設置してほしい。八日市場駅の南口はタクシーもバスも止まらないので、整備した意味がなく税金の無駄遣いである。むしろ自転車置き場がいいのでは。市内循環バスは電車の時刻に合わせておらず、必要な時間に走行してほしい。客が無人の状態で走らせている意味がどこにあるのでしょうか。提案をしても改善されないのなら市は発展しない。市民の声をちゃんと受取って下さい。匝瑳市でこれからも住んでいこうと考えているので、多くの提案をさせていただきました。
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	市内循環バスの時間の間隔を短くしてほしい(20分～30分に1本くらい)朝や帰り(17時頃)は特に増やしてほしい。商店街が19時には閉まっているので、せめて19時半くらいにしてくれたら嬉しいです。仕事終わりに行くと閉まっていることが多いので、スーパーなどに行ってしまいます。特に肉屋がやっているといいです。
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	昨年より県外から越してきて実家暮らしをしています。一度は大学等で都内に出ても、育った地元に戻りたいと思う人は意外といと思います。また、都内に職場があり、通われている方も現在多くいると思います。私もそうですが、電車のアクセスが良くなるととてもいいなと日々感じます。車両を減らし本数を増やす(特に通勤通学帯に)など、観光客も含め、人の流れがもっと市に近づくようになればいいなと思います。
10・20 歳代	豊和地区	女性	いろいろなイベントを企画し、野栄や八日市場で月1回ペースでやってみるといいと思います。人も集まるし、みんなが楽しめる。匝瑳市のいろんなことを知ってもらえるいい機会になると思います。
10・20 歳代	豊和地区	女性	自然豊かな土地を生かし、畑での収穫体験や自然と触れ合う機会をたくさん作ると、子どもたちにとっては新しい発見の場が増えると思います。
10・20 歳代	豊和地区	女性	高齢化が進んできていて生活している中でバスを利用したりバイト先(外食産業)を利用して下さる方などもやはり高齢者が多いと感じる。これから高齢者がさらに増えていく中で若者が市や町、さらには高齢者を支え引っ張っていくべきだが、このままでは手が足りなくなってしまうので、若者の増進がこれからの課題だと思っている。私達市民にも出来る事があれば協力していきたい。
10・20 歳代	吉田地区	男性	匝瑳市が今後の時代を見据えた何かを生み出せたら、大きく変わると思います。その何かを見つけるためには、様々な方法で取り組んで、いつかそれが実現できたら匝瑳市が活気あふれた感じになると思うと楽しみです。これからもこの匝瑳市をよろしくお願いします。
10・20 歳代	共興地区	男性	現在高校生ですが、将来は匝瑳市を離れて就職したいと考えています。
10・20 歳代	平和地区	女性	駅に段差をなくしスロープを整備していただきましたが、障害者マークがないためか、本当に使用したい車いすの人が使用できない事が多い。
10・20 歳代	平和地区	女性	電車の便が悪すぎる、高い(運賃)。どこの店の料理もまずい。遊びに行けるようなところが一つもない。信頼できる医者がない。
10・20 歳代	平和地区	女性	昨今財政的にも厳しいでしょうが、市役所の方が頑張っているのは伝わってきております。今後もよろしくお願いします。
10・20 歳代	椿海地区	女性	市民病院の改善。
30 歳代	中央地区	女性	市役所の休みを水・日など、平日に1日休みを設けていただくと助かります。用事があるたびに有休を使うのは難しい。他の市の教育現場を見たが、教育予算が少ないように感じる。(PCや大型TVなど)
30 歳代	中央地区	女性	家族で過ごせる施設がない。ゴミ(ポイ捨て)が多い。市民病院を利用しやすくしてほしい。
30 歳代	豊栄地区	男性	最近、市役所から出されている書類等にミスが多く、そのたびに修正の書類を送付していると感じています。それは、市民の税金で行われているので、良くないと思います。このようなアンケートも大事ですが、まずは自分達の足元から効率化や無駄を無くす必要があるのではないのでしょうか。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
30 歳代	豊栄地区	男性	市役所では、対応する人によってやり方などに違いがある。地域の方との交流の場であると思うが、窓口で長話が目立つ。仕事をしていないように見える。市の職員が主体となったイベントを増やすべき。住民参加型のイベントが少ない。市内でのイベントが少なければ、参加しようという意識がなく、市外でのイベントや買い物などに出かけてしまう。近隣の市町村を見て、頑張ってください。
30 歳代	豊栄地区	女性	とにかく住みにくい。お金があれば引っ越したいくらい。乱暴な人が多くてバス、タクシーには乗れません。交通が不便。働ける所が少ない。
30 歳代	豊栄地区	女性	広くてきれいな公園は気持ちがいいです。いつもありがとうございます。商業施設や匝瑳市に遊びに行く、という場所が増えると、子どもも高齢者も集まるといいなと思っています。
30 歳代	豊栄地区	女性	匝瑳市は、車社会で車が無いとスーパーさえも満足に出かけられません。交通機関が整っていないと、若者はどんどん便利な都会へ行くと思います。実際、私は都内からこちらに来ましたが、匝瑳市の生活に慣れるまでかなりストレスを感じてきました。人口が少なくなると、市民税などが増えてしまいそうで、心配です。この土地で一定の生活水準で心配もなく生活出来る土地ならば匝瑳市を出て行くものも少なくなると思います。子どもの安全の事が気がかりです。最近不審者情報が多いと感じます。防犯のため、街の中に防犯カメラを設置してほしいです。
30 歳代	豊栄地区	女性	飯倉台でアパートを借りています。今後家を建てたいと思っています。ですが、市外からの移住者には手厚い援助があるのに、アパートからの定住には何も無いのはおかしいと思います。アパートなどに住んでいる人が市内に家を建てれば人口も減らないのではないのでしょうか。家を建て定住している人、アパートに住んでいる人との隔たりがあるように感じます。
30 歳代	須賀地区	男性	お金に対して高いと思う（水道、税金）。祭りを盛り上げる。車（ダンプ、トラック）の盗難がなくなるよう警察との連携が大事。
30 歳代	須賀地区	男性	夏季限定になってしまいますが、海水浴場の開設をお願いします。堀川浜は海水浴場として使いやすいです。（海の家、駐車場がある）
30 歳代	須賀地区	女性	保護猫のや犬のカフェ等があればいいと思う。台風や地震時の被害をあまり受けない地域なのでその辺をアピールしてみてもどうか。
30 歳代	須賀地区	女性	公園の改善-植木のまちを生かした和風を取り入れた特色のある公園。匝瑳の里-地域のおいしいお店の商品を置いてもらいたい。畔蒜肉店のコロケやブリッジブックのパン、シュクレヌ、ケーキ、百木屋の天井、熱田牧場の肉他、個人でやっているお店の品物、それを組み合わせて新しい商品の開発。地域の特産品のソフトクリーム（お米ソフト、赤ピーマンソフト、たまごソフト）揚げたてのコロケや牛串焼き、から揚げが食べられるようにする。BGMは演歌でもいいが、今はすごく中途半端。新しく経営者を募集したり、広報紙でアイデアを募ったり、良い場所なのに勿体ない。高齢者スポーツ義務化-月1小学校に集まり軽い運動。（ストレッチ、ウォーキング、ダンス、ヨガなど）
30 歳代	匝瑳地区	男性	食の基盤である農業・漁業を大切に、自然環境である海・里山の保全に取り組んでほしい。廃業にNOを。そして、地方の資源は海や里山にあります。SDGs 未来都市、また県内いすみ市では、稲わら・竹などを利用した行政運営の推肥センターがありました。今ある資源を活用し、未来につなぐ都市を目指していただけたらと思います。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
30 歳代	匝瑳地区	女性	30 代女性のため思う事かもしれませんが、出産や育児に対する支援が充実すれば、他の地域からの移住も増えるかと思えます。あとは、市・県民税の減税を希望します。新しく家を買ったり引っ越す際に、その点も考慮する点だと思います。これ以上の人口減少は望ましくないので、その様な点の見直しをしてほしいです（人口の維持をするためにも）まだこちらに越してきて1年ほどですが、そういった手当が少ないと思います。今後出産・子育てするにあたって不安です。他の地域と比べてここがいいという所を作るべきではないでしょうか。
30 歳代	豊和地区	女性	こういうアンケート調査も必要ですがもっと色々な年齢の市民を集めて生の声を聞く機会が必要だと思います。毎月広報を読んでいます、内容が薄い。財政内容など明確だと思わないし、市の取り組みたいことがよく分からない。もっと市民が得する内容を書いてほしい。（市でやっていることがあまり伝わってこない）市の子育て支援とありますが、その前に不妊治療などのサポートもしっかりしてほしい。もっと若い家族が移住しやすいように住宅の整備、働く環境を整えてほしい。活性化のために、大企業などの誘致は必要だと思う。外国人観光客を呼べるようなアイデアを出した方が良く思う。（植木のツアーや農業体験など）お年寄りの憩いの場をもっと作ってほしい。佐原のようにタイでドラマに使われたら有名になるし、もっと海外にもアピールが必要だと思う。
30 歳代	豊和地区	女性	魅力を感じるまちづくりをしてほしい。今は全く感じない。不妊治療の助成をしてほしい。他の市町村はやっている。食料以外の買い物は、旭や成田に行かないといけない。匝瑳市には店が無い。お茶するにも旭や成田に行かないといけない。匝瑳市で待ち合わせする場所がない。カフェがない。横芝光町は高3までの子ども医療費が無料。最終の電車は横芝までしか来ない。匝瑳市は税金が高い。これでは匝瑳市に住みたいと思う若者は少ない。できれば住みたくない。本気で早くまちづくりをしてほしい。
30 歳代	吉田地区	男性	イベント等で賑わい作りよりも、繰り返し匝瑳市に来たくなるような取り組みをしてほしい。何度も足を運ぼうちに住みたくなる人も出てくるのではないのでしょうか。匝瑳市で育った若い世代が、匝瑳市を出なくても生活していけるような環境づくりをお願いしたい。（働く場所、子育て環境、交通の便等）
30 歳代	吉田地区	女性	保育所で障がい児の受け入れ体制が出来ていない。他市・町では、保育所に看護師がいる所が多いが、匝瑳市ではないので、体制を変える必要があると思う。保育所に看護師がいれば、障がい児の親が働けたり社会へ出ることが出来ると思う。
30 歳代	平和地区	女性	すべての施策に力を入れるのは無駄だと思う。限りある財源の中で本当に必要な施策に力を入れるべきだと思う。特に高齢者支援に力を入れてほしい。年をとったり、障害を持ったりしても安心して暮らせるまちづくりを行ってほしい。
30 歳代	平和地区	女性	隣の旭市と比べると、子作り・子育ての支援が充実していません。オムツの援助、不妊治療費の助成、保育料、どれをとっても旭市が充実しているため、友達は皆家を建てる時、旭市に建てます。私も後悔している部分があります。このままだと息子が家を建てる時が来た際には、旭市をすすめると思います。
30 歳代	椿海地区	男性	アンケートの幅が広すぎてわからないことが多い。子育てについては、子どもがいる家庭、障がいのある方については障がいのある方へのアンケートを実施するなど、実際に経験のある方にアンケートをしないと意味がない。
30 歳代	椿海地区	男性	地域の高齢化が進む中で地域の消防団へ参加する若者が減っているの、市としても移住者に参加してもらえるように働きかけてもらえば助かります。
30 歳代	椿海地区	女性	スポーツ施設の増築を希望します。（ジム・有料）

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
30 歳代	椿海地区	女性	スポーツ施設を充実させてほしいです。現在、旭市のトレーニングルームを使用しているので、匝瑳市にも作ってほしいです。
30 歳代	椿海地区	女性	東京をつなげる高速バス（市役所から出る）、AMにもっと本数があればいいなと思いました。
30 歳代	野田地区	男性	地元の人が地元でお金を使う事が少ない。食に関しては匝瑳市が多いと思うが、遊び、衣料などインターネットや市外で使っていると思う。仕方がないかもしれないが、逆に市外の人が匝瑳市にお金を使うようになれば良いと思う。中古住宅、空き家の流動化を促進してほしい。空き家になっていても誰の持ち物か分からない。個人情報なので市役所等が先導してすすめてほしい。生涯学習、市民講座でDIY教室などもあればおもしろいと思う。起業についての説明や支援の充実をしてほしい。
30 歳代	野田地区	女性	海に近い自宅の為、安心して生活できるようにしてほしい（災害が怖い）。子どもたちの能力などを広げられるような「無料」で参加出来るイベントなどがあるとお金に困っていても子どもの可能性が伸びると思います。成長し市の代表や宣伝になると思います。
30 歳代	栄地区	女性	市で行っているスポーツなのに、遠征や試合等に行くのに市バスが使えないのはどうかと思う（県外含む）。子どもの通学路の雑草が背丈まで伸びていて危険（夏休み明けには除草を終わらせてほしい）。何度も言っています。すぐに対応してくれず困っています。子どもたちに歩いて登校しなさいと言うわりに。これでは歩かせられないです。
40 歳代	中央地区	男性	耕作放棄地がありすぎ、農地か住宅地にしないと困る。企業を連れてこない仕事がないから人が住めない。「法人税 30 年取らないから住民税だけ取ればOK」くらいの事は必要。老人が死ぬだけの市にしたいなら、道の区画整理を済ませ、医療と仕事をなんとかしないと限界を超えるのは数年後、早くしないと全員死ぬ。
40 歳代	中央地区	男性	市民病院の機能強化をしてほしい。いろいろ問い合わせるが、診察までもしてくれない。
40 歳代	中央地区	女性	シャッターを閉めた家の人は今どのようにしているのでしょうか。協働のまちづくりに参加されていますか。
40 歳代	中央地区	女性	絵に描いた餅にならない計画を策定して下さい。
40 歳代	豊栄地区	男性	私は母が要介護状態で困っていますが、あまり高齢者ばかりに良くしようとすると、私は子どもも 2 人いますが、長男は 17 歳で二男は 5 歳です。どちらに税金を使ってほしいかと思うとどちらもですが、正直、母はこれから亡くなっていきますが、子どもたちはまだ未来があります。高齢者を支援するのも大事ですが、子どもたちは未来がないと出て行ってしまいます。あと一番助けてほしい人たちは子どもを育てている 30～50 代くらいの大人たちが金銭的にかなり困っています。そうしないと匝瑳市の未来もない気がします。
40 歳代	豊栄地区	男性	雇用などにより個々の収入など安定しない限り、市民参加型など働き盛りの人には無理と思われる。市外で働いている為市内にいる時間が短い。
40 歳代	豊栄地区	男性	匝瑳市は近隣の市町村と比べると、移住・定住促進事業や空家バンクなど早い段階から取り組んでいる点はとてもいいと思います。さらに、移住・定住を促進するためにも、市が主体となって遊休地や使われていない土地などを活用し、宅地分譲地とするのもいいかもしれません。また、定住・移住促進では、住宅の購入資金の補助金制度もあるようですが、その対象者を三年前に住所が無かった人ではなく、五年前に延長するのも効果的かもしれません。あとは、最寄に横芝光インターチェンジもあるので、都市圏からの人を集客させる流行りのグランピングのようなものも、一つの市の活性化に繋がるのではないのでしょうか。
40 歳代	豊栄地区	女性	保健推進委員はボランティアと言いながら強制になっている。ボランティアなのに活動費を払うのにも納得いかない。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
40 歳代	須賀地区	男性	市の美化活動の徹底。市の交通安全活動の徹底。市の市県民税の見直しを（匝瑳市は税金が高すぎる）。他の市町村と比べて人口減少の一つの原因になります。
40 歳代	須賀地区	男性	のさか望洋荘の跡地に、「市営プール」を作っていただきたいと思いません（民間企業が企画する「ナイトプール」のような展開もいいですね）。市民病院の新築も望んでいますが、望洋荘跡地を開発すれば新たな観光資源になるのではないのでしょうか。一宮町が東京オリンピックのサーフィン会場に選ばれたことからしても、同じ九十九里浜沿いにあるわが匝瑳市もこの場所を活用するチャンスだと思います。
40 歳代	須賀地区	女性	駅前通りの活気の無さと駅の老朽化が気になります。「匝りの里」は必要だったのでしょうか。お客様があまり利用しているようには思えません。学校（小中）のエアコン設置の必要性は最近特に気になります。将来匝瑳市を任せていく子どもたちにもっとお金を使ってもいいのではと思います。この市に残りたいと思ってもらえるような体制を整えていくのも必要だと思います。まず仕事をする場所がない事や、アルバイトでできるような店舗の確保から始めていくのはどうでしょうか。勝手言っすいません。
40 歳代	須賀地区	女性	小学校のトイレが和式、椅子がささくれている、古いのでどうにかありませんか。市営のスポーツジム・プールが出来ると嬉しいです。（横芝光や旭へ行っている時間がなかなか無いので）
40 歳代	豊和地区	男性	中学生の子どもがいます。通学路である坂道の道路工事の期間が長すぎるように思えます。片側通行になるため、登校・下校時は怯えながら通っていると聞きました。工事が始まったと思ったら、長期間休工になりまた始まる・・何度かこのようなことが繰り返されています。何十年も前から話が出ていてやっと工事が始まり、期待していましたが、中々進まない状態に少しがっかりしています。新しい公園にお金をかけるならもっと地域の危険な場所の改善にお金を使ってほしかったなと思います。残念です。
40 歳代	吉田地区	男性	ドラマのロケを積極的に誘致して、放映する。外食産業を誘致し、そうさ記念公園では名車の展示等のイベントの積極的な誘致。八日市場ドームはFMの番組やイベントの積極的な誘致を行う。
40 歳代	吉田地区	女性	アンケートをやるのであればそれを実現するように実行して下さい。それでなければやる意味がないと思います。
40 歳代	飯高地区	女性	医療体制の充実。夜間の救急、市民が安心して受診できるような体制づくり。毎日でなくとも土日は夜間の受入れがある等、市民の立場になって考えてほしい。飲食店が少ない。地域の飲食店の営業時間の改善PRをしていく。公共施設の充実。数はあるが、それぞれの施設が中途半端なように感じる。匝瑳市に特化した、他市とは違う物を考えてほしい。
40 歳代	飯高地区	女性	市内だけ見ても全ての地区で全てを充実させるのは無理。充実させた特定の場所に足を運びやすくすることを考えた方がいい。自身で車移動できる間はいいです、できなくなったらどうしようもない。「市民病院」に安心感が持てるようにして下さい。最重要。
40 歳代	共興地区	男性	合併から人口の推移を気にしていますが、減少の一途。この先匝瑳市が存続できるのか心配です。市の取組もどれが重点に置かれていて、どの位成果が出ているのか、分かりにくいです。雇用は市だけでは限界があり、また税金にしても特別に効果をもたらすものがある感じはしません。まずは、住む環境を整え、子どもの育てやすい環境や支援に対策すべきではないのでしょうか。仕事は市外でも市の環境が良ければそこを拠点に動いていくのではないのでしょうか。また独身者の多さも目につきます。市でも婚活に力を入れているみたいですが、各団体や組合とも連携してもっと取り上げてもらいたいと思います。
40 歳代	共興地区	女性	子どもが安心して遊べる場があるといい。医療の充実（救急体制の整備）
40 歳代	平和地区	女性	車の運転ができないと買い物難民になってしまう街なので、人力タクシーなど充実させたらいいと思う。雇用も増える。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
40 歳代	平和地区	女性	駅南口が整備されているのに、改札口が無いのは何故ですか。南口改札が出来ると大変便利だし、活性化と思うので、検討していただきたいです。
40 歳代	椿海地区	男性	匝りの里をやめる。大赤字で辛い。人口以上の客を呼べるイベント・ライブ等の催し物。全てにおいて中央地区だけ力を入れていて冷める。
40 歳代	椿海地区	女性	行政運営では全てにおいて働くものの税金で運営されている事がほぼ全体だと思います。一部のアンケートにも書きましたが、自営業者の確定申告・生活保護・障害年金・母子家庭など、不正受給をどうにかしてください。本当に正直に生きている人が損をして、サラリーマンは何も隠すことができません。財源はほぼ税金です。そのため私たちは働き、納めています。税の滞納もありますが、上にあげた例の方々をもっと厳しくチェックして下さい。わざと結婚せず内縁で母子サービスを受ける、窓口でわかりませんか。結婚せず何人も子どもを産む（同じ方）こと。不思議に思いませんか。いい服、いい車に乗っているのに、生活保護を受けている、たくさんいますよ。不正受給、申告のごまかし。まずここが大切だと思います。以前からアンケートに書いていますが、全く改善しない気がします。このアンケートの意味もあるのか不明です。この用紙代・コピー代も税金ですよ。不満ばかりですみません。
40 歳代	椿海地区	女性	車が無いととても不便で、自分が高齢者になった時の事を考えるととても不安です。市内循環バスもありますが、本数が少なすぎて不便に思います。もっと利便性を重視してほしいです。
40 歳代	野田地区	男性	移住して 20 年ほどたちますが、近所の商店（スーパー等）が無くなり、不便に感じます。将来、車を運転できなくなった時のことを考えると不安ですが、安全に自転車に乗れる道路ができればなんとかなるかなと思います。
40 歳代	野田地区	男性	駅前から本町通り商店街までの復活と活性化。千葉科学大学の分校を誘致する。植木のテーマパークを整備する。海沿いに水族館を誘致する。日本一子育てしやすいまちを目指す。そうさ記念公園での定期的なイベントを実施する。
40 歳代	野田地区	女性	横芝光町からの連絡道路の工事も着々と進んでいるようなので、もう少し沿岸部にも力を入れていただければと思います。
40 歳代	栄地区	男性	今よりも市民の声を聞いてその意見を生かしたまちづくりをした方が良いと思う。役所の中での意見をまとめるのではなく、市民または外部からの考えを取り入れて行動に移すべきだと思う。データや思い込みだけでは良くなる事はまずありえない。もっと聞く耳をもって対応してほしい。
40 歳代	栄地区	女性	海岸対策、テトラを入れるなど、海辺に住んでいる人への安全対策をしてほしい。細い道が多く、道への樹木などでっぱりが気になる。民家の場合は市の指導として注意してもらいたい。ここ数年は暑い日が多く子どもたちの学校生活でエアコンが無いのが不安です。各クラスにではなくても、エアコンのある部屋を増やして、低学年・高学年などに分けて学習するなど工夫してほしい。
50 歳代	中央地区	男性	街灯が少なく、通学の安全が不安な場所が多くある。排水溝（下水設備）や信号がなく、地区からの申請がないとそのままになっているところが、中央地区でも多々ある。市でも必要と思う場所を申請のみに頼らず、調査や確認し、整備してほしい。
50 歳代	中央地区	男性	匝瑳市はどこを目指しているのかまったくわからない。もっとはっきりしたビジョンで市民に訴えるリーダーがほしい。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
50 歳代	中央地区	女性	人口は減少する一方で活気も無く、税金も高く、老後を考えると車の免許を返納してしまったら動きが取れなくなる環境で、介護マンション(都会の)に移り住んだ方が安心だし、子どもたちに迷惑をかけずに余生を送れるかなと思うこのごろです。ソーサマンは、長く続けて定着して良い事(取組み)だと思います。せっかく東京駅と匝瑳市役所が高速バスで結ばれているのですから、イベント・お祭りなど宣伝・広報活動したらいいと思います。少しでも他から人を呼ぶためには、工業団地の企業の充実も必要だと思います。駅周辺の整備も不可欠です。新しい事が難しければ、今ある彩りある事を大切にPRすべきです。
50 歳代	中央地区	女性	八日市場駅ですが、遠出する人が多いし、特急列車や新幹線も利用する人が多いので、「みどりの窓口」を設けてほしいと思います。「匝瑳市の魅力」というものを本で出版して、県外からの人も知るようになってほしいと思います。匝瑳市は、「イヌマキ」など「松」や「樹木」の栽培も行っていますので、緑や自然といった伝統も維持していこうと思います。多齢化社会ですので、福祉サービスにもより一層力を入れたらいいと思います。第一次産業(米・畑の栽培など)では、若者を多く取り入れて、農業も維持できるようにしていきたいです。
50 歳代	中央地区	女性	とても難しい課題だと思います。一つ言える事は、無駄なところに税金を使わないこと。それが市民の切なる願いです。市議員・市職員が多すぎるのでは。
50 歳代	豊栄地区	男性	汚職を無くしてほしい。
50 歳代	豊栄地区	女性	健康・生きがいがづくりの推進を掲げるなら、保健センターの職員からもっと市民と同じ体力アップをはかって減量した方が良くと思います。
50 歳代	豊栄地区	女性	男性だからこそできる仕事、女性だからこそできる仕事それぞれあると思います。あまり「男女平等」に囚われず、各々がその特徴を生かしていくべきだと考えます。同じく若者だからこそできる事、年を重ねたからこそできる事もそれぞれあります。「人」が地域を活性させる。また子どもたちに道徳心、公共心、孝養心を育てていく教育をお願いしたいと思います。人格形成された子どもたちが大人になり、次世代を担っていくからです。先を見据えた教育を。
50 歳代	豊栄地区	女性	飯倉駅前の商業施設の充実を望みます。
50 歳代	豊栄地区	女性	世界一の性能のゴミ処理施設を作ることはできないだろうか。展望施設やプールを併設するようなものができたらいいなと思う。
50 歳代	匝瑳地区	男性	難しいとは思いますが、自然と景観保護の方向でいってもらえると嬉しく思います。西本町商店街通りから、匝瑳高方面へ上がるT字路に感応式信号は必要だと思います。最近2度火葬場に行きましたが、まったくエアコンが効いていない。聞けば、客が来てからスイッチを入れているとの事。あの大きなコンクリートの建物がすぐに冷える訳はありません。ここは税金を使っても良い所では。
50 歳代	匝瑳地区	男性	大雨のたびに用水路やどぶがあふれます。滞りのない排水をお願いします。
50 歳代	匝瑳地区	男性	「若者の働く場の確保と雇用の創出」を最重要に取り組み願いたい。小中高校でインターシップなどで労働意欲を育てる教育を、職業訓練校のプログラムで自活できる人を育成してほしい。高校・大学までの目標が達成すると労働意欲のない若者は生活出来ない。
50 歳代	豊和地区	女性	近隣で言うと旭市と比べてしまいます。国道沿いの諸々のお店の数、種類も。食事一つするにも隣町へ行ってしまおう。八日市場って何も無いね。って言われてしまおう。環境の良い所なのだから、魅力的な場所が増えてほしいと思います。
50 歳代	共興地区	男性	I LOVE匝瑳と声に出したいまちづくり。誰もが無意識のうちに持っている願いだと思う。公務員ガンバレ。
50 歳代	共興地区	女性	毎年アンケートに協力していますが、忙しいのにもかかわらず協力しているがお礼とか感謝とかはないのでしょうか。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
50 歳代	平和地区	男性	市民病院の建て替えの話を開いたことがあるが、建て替え場所が決まっていなければ、駅南側東葉クリニックの隣接地に建て替えが望ましい。透析患者等、入院しながら透析できるため。
50 歳代	平和地区	女性	人口が減っている。若い人・子育てを匝瑳市でしたい環境、職づくりなど。
50 歳代	平和地区	女性	旭市出身で、旭市は商業施設、スポーツ施設または公園などとても整備されているが、匝瑳市はこのような市民のコミュニティが確立されていない。また防犯においても、当地域はとてもいいとは思いません。
50 歳代	樺海地区	男性	教育水準の向上。市民病院は旭中央病院と統合すればいいと思う。
50 歳代	野田地区	男性	国の施策としてまだまだ未知数のようですが、洋上風力発電・海上発電には是非注目してほしいと思っています。銚子沖で試験運転が始まったとも聞いています。九十九里沖は様々な意味で好立地条件ではないでしょうか。エネルギー関連の新産業が創出されるととても素晴らしいと思います。
50 歳代	野田地区	男性	駅前（八日市場駅）の整備が必要だと思う。駅は市の顔になるはずなのに。
50 歳代	栄地区	女性	市の議員数が多すぎると思う。市の職員も多すぎると思う。市の職員はもっと働ける人材にすべきだと思う。市の窓口はもっと笑顔で接してもらいたい。野栄の幼稚園（野田栄地区）はいらないと思う。市に産婦人科の病院が少なく、お産できない＝子どもが増えない。市にもっと働ける場所を増やしてほしい＝人が増えない。野栄総合支所の近くに中型のスーパーがほしい。野栄に入ると急に豚・鳥・牛の糞や尿のにおいがする＝窓を開けられない。洗濯物を外に干せない。
50 歳代	栄地区	女性	子育ても終わり、市外に勤務し、時間に追われじつくりと地元の事を意識する時間が無い事に気づきました。健康を保ち、介護を受けることなく年を重ねていきたいと思っています。時間に余裕が出来たら、また行事やスポーツなどに参加していきたいと思っています。
60 歳代	中央地区	男性	とにかく活気あるまちづくりに努めていただきたい。
60 歳代	中央地区	男性	外に向かって誇れるような観光資源も特異な農産産物も持たない匝瑳市のまちづくりプランは限られていると思います。植木で有名なのを除いて思いつくのは一段と優れた環境向上のためのプランづくり。（植樹や生物多様性維持のための池や沼の保全、用水の浄化など）市の景観の向上、特に夜のネオンサインはひどい。地道に進める事で気づいてくれる人には気づかれる市の魅力を発信し続けることだと思います。成田空港に比較的近いので、外国人向けの宿泊施設（ユースホテルみたいな）を考えたらいかがでしょうか。オリンピックはあてにならないにしても、匝瑳市のイメージ向上にも役立つのでは。未来のアーティストを匝瑳市から育てる。地域の文化イベントではなく、もっと世界から注目されるような芸術祭や映画祭が開かれることを目指して、そのためのカリキュラムや予算をあてる。
60 歳代	中央地区	男性	ゴミ処理場は、各自治体に1カ所はほしいと思っています。近い所にそれがなくなるのは困ります。医療機関の連携、分業と協業の体制をつくってそれぞれにより充実させてほしい。働く場（雇用）を拡大することが強い希望です。中途半端の形でなく、長期的展望に立ってより大胆かつ細心の企画と実施を望みます。（全般的に）市役所で届けを書く所には、イスと机がほしいと思います。
60 歳代	中央地区	男性	自然災害に対するまちづくり。
60 歳代	中央地区	男性	みどり平工業団地の企業誘致。観光資源の開発。匝瑳市は毎年の人口の減少を止める。
60 歳代	中央地区	女性	まちづくりのために尽力している人々もいるとは思いますが、でも一般市民には見えてきません。もっとやっていることのアピールをしていただきたいです。参加する機会ももっとほしいです。
60 歳代	中央地区	女性	地震の時や災害の時の情報が他の市町村より通達が遅いと思います。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	中央地区	女性	大きな災害もなく住みやすい所だと思います。もっと世代の違う人たちとの交流、市民が集える公園・施設などがあればいいと思います。あと文化的な施設、映画館、劇場などがあればいいと思います。
60 歳代	中央地区	女性	若者を呼ぶための施策を考え実行する。若者の住環境を整える（子育てしやすい環境）支援強化。議員の人数見直し（人口が減少しているの）女性議員の支援。高齢者の地域参加、若者への協力と支援。老人ホームを利用するためのハードルを下げてもらいたい（金額面で）ボランティア活動の活発なまちづくり。市役所の玄関の喫煙所は不適切です。玄関の花もいつまでも手入れが行き届いていない。
60 歳代	豊栄地区	男性	住みごこちの良いまちづくりが必要と思います。
60 歳代	豊栄地区	男性	国道や幹線道路は比較的整備されているが、住宅地や集落内のいわゆる生活道路の整備状況が悪く危険な場所も多くあり、これらの改善、整備の施策をお願いしたい。
60 歳代	須賀地区	男性	「市民意識調査」の集計がどのように市政に生かされているのか、広報願いたい。調査のための調査なら、税金のムダ遣いになってしまうので。
60 歳代	須賀地区	男性	海・田畑・里山があり、名所旧跡は少ないが恵まれている。少子高齢化が進んでいるが住んでよかった、住み続けたいまちづくり、自然環境を壊さない開発をし、財政を確保し、市民サービスを進めてほしい。
60 歳代	須賀地区	男性	救急車も入れない道路があるので、宅地と道路の境界に杭を打ってもらおうと後々の工事の時に役立つと思います。
60 歳代	須賀地区	女性	余談ですが、JR八日市場駅の南側の階段を昇って上からホームに入れるように入口を作り、乗車出来たらどんなに便利なことでしょうか。それには二階部分を改札口にしなればなりませんね。これからは利便性も必要とされるでしょう。財政のことを考えると難しいでしょうか。南口広場、そして10m道路を作ったのにはそれなりの理由があると思うのですが・・・素人の意見です。
60 歳代	須賀地区	女性	「市パークゴルフ場」を吉崎浜野外活動施設を改修して整備するために5億円が血税から使われると知りショックを受けています。今後のまちづくりにはこのような意味の無い税金の使い方をしてほしくないと思います。市の人口が減少しているのに市議会議員の数はそのままはおかしいと思います。今後のまちづくりのため議員さんに支払う給与をまちづくりに生かして下さい。
60 歳代	須賀地区	女性	毎月の広報の人口の減少はずっとです。人口の減少は仕方ないと思います。ずっと住んでいるので、最後まで厠にいますと思うので、良くなっていく事は喜ばしいです。
60 歳代	須賀地区	女性	私には、今、市でどのようなまちづくりをしようとしているのかさっぱり伝わってきません。
60 歳代	匝瑳地区	女性	緑豊かな自然環境を残しつつ、地域の活性化を図る大きな推進の第一歩は、市の総合計画、この立案をされたことが未来を拓く最大の展開となる重要性があり、安心することが出来ました。地方創生・地域社会発展のため、これからも宜しくお願い致します。
60 歳代	匝瑳地区	男性	住む場所としては、静かでいいと感じているが、利便性がいいとは思わない。古くからの店がなくなっているのが寂しく感じます。
60 歳代	匝瑳地区	女性	高齢者、障害者、子育て世帯等、困る事の多い人たちに手を差し伸べていただければと思います。
60 歳代	豊和地区	男性	職員の行政能力のレベルアップを図る、質の良い人材の確保。管理職が積極的に行政し、従来の慣習を打破し、「やっかいちば」と言われなようにする。勉強し、能力を上げてほしい。ただ年功序列で昇級させないで若くても能力のある人材を活用すべきである。
60 歳代	豊和地区	男性	市の役人が多すぎる。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	豊和地区	男性	匝瑳市が今後生き延びる方法は、とても難しいと思う。ただ特効薬はないと思うが、数年計画で佐原のように観光に特化して強力に進めていくべきだと思う。外から人を呼び込むような方法しかないと思う。福島小野町のように「桜」と「寺院」のセットで強化するとか、開畑をひたち海浜公園のようにネモフィラを植栽するとか、何らかの早めに方法を講じるべきだと思う。
60 歳代	吉田地区	男性	少子高齢化が全国的に進行している現在、匝瑳市の位置するメリットを生かした地域の魅力づくりをしていただきたいと思います。移住者を増やしていくことが重要だと思いますが、雇用がなければ高齢者（リタイアした）は移住しても若い人は増えません。二拠点生活者として田舎暮らしを気軽に体験出来ればいいですね。東京で収入を得て、週 3 日匝瑳で過ごす。もしくは、匝瑳の田舎で起業する若者に入ってきてほしいですね。若者の活気が伝わってくるそんな匝瑳市を作ってください。
60 歳代	吉田地区	女性	市内に足を運ぼうとするイベントなどがあると嬉しい。もっと市役所での取り組みを PR してはどうかと思う。
60 歳代	吉田地区	女性	ふれあいセンター、市民病院を建て替えてもらいたい。
60 歳代	吉田地区	女性	いつまでも健康で生涯を過ごす為にはやはり体と心の充実、いつでも利用できるスポーツをする所（機器）などを利用して体を動かせる施設はありますか。歌手を迎えたり、音楽を聞いて心に栄養を与える機会がありませんので、お願いします。イベントも少なく感じます。
60 歳代	飯高地区	女性	まちづくりの評価（問 5 1）はよくわかりません。この問いかけは、あまり意味がないように思います。
60 歳代	共興地区	男性	道路の整備（計画道路の着工）空家の処理。
60 歳代	共興地区	男性	「匝瑳市を愛すること」そうすればすべて解決する。自己主義の市民が多すぎる。残念です。
60 歳代	共興地区	男性	匝瑳市役所の皆さん、日々ご苦労様です。私のまちづくりは道路だと思っています。国道から海岸までの道路の整備です。平和地区から共興地区までの通学路がありません。子どもたちが自転車で通学時危険を感じます。早急の整備をお願いします。
60 歳代	共興地区	男性	人口増進、若い男女が 40～50 歳になっても結婚できずあきらめの人生を送っている者が多くいる。お見合い結婚が無くなった今、何か考えないと、市の責任も大きい。
60 歳代	共興地区	女性	開発されたのに何の役にもなっていない八日市場駅の南側。放置しておくならせめて駐車場に使うとか、レンタカー会社を誘致するとか。税金の無駄です。匝りの里も中途半端で何のための施設かわからない。別の施設に変えないとさらに累積赤字が膨らむ。客が入っているのを見たことがない。誰の為の施設でしょうか。誰が得しているのか。駅前にレンタカー会社を誘致して、檀林ツアーなどに使ってもらいたい。
60 歳代	共興地区	女性	老人ばかり、空家ばかり、将来性を感じない。コンパクトシティを考える時期では。看護施設の誘致、充実もますます必要となる。対策を宜しくお願いしたい。JR を充実させ、都心へのアクセスが良くなれば、進学等で人口の流出を止められるのではないかと。茨城の神栖市は人口が増えているとか。
60 歳代	平和地区	男性	新企業の誘致活動を最優先。
60 歳代	平和地区	男性	年寄に優しいまちづくり。段差がある所への対応。学校にエレベーターをつける。それが無理ならせめて手すりをつける。公共施設のトイレの洋式化。まわりに手すりをつける。防災無線の活用。学校のエアコンの完備。給食の無料化。
60 歳代	平和地区	男性	まちづくりの評価については、どのようなことをやっているのか情報がないのでわからない。人口の増加に繋がることをやってほしい。
60 歳代	平和地区	女性	すべて人任せにせず、自分で出来る事を少しでもしていきたいと思ます。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	平和地区	女性	住民の声に常にアンテナを張り、対応してほしい。弱者（いろいろな面で）に手を差し伸べることのできる市政であってほしい。
60 歳代	平和地区	女性	匝瑳市のために税金のみを収入に予定しないで自分たちで収入の事を考えた方がいいと思います。職員が無料で使用している駐車場より料金をとる。千葉市ではやっているそうです。車よりバス等を利用すればその分収入が増えると思います。また市役所の清掃も自分たちでやればその分支払いが無い。職員は働く場所を我が家と思ってやればだいぶ経費も少なくなると思います。旭中央病院は他市の人が入院した時は高くなります。市民病院ではどうですか。
60 歳代	平和地区	女性	銀行や郵便局の ATM を市役所周辺に設置して下さい。とても便利になります。
60 歳代	平和地区	女性	私宅は未だに下水がなく、自宅地下に下水を流したままです。今どきこんな所があるんですか。下水道の完備を強く求めます。お願いに行き断られています。
60 歳代	椿海地区	男性	市職員の意識や能力向上を図っていただきたい。市民と協力して匝瑳市をより住みやすい街にしていきたい。
60 歳代	椿海地区	男性	各大手企業の誘致による財源確保、税金が高い。
60 歳代	椿海地区	男性	空家がたくさんになり、衛生面や治安面で不安です。空家対策をなんとかしてほしいと思います。隣家の竹林から発生する蚊に悩まされています。個人的な苦情で申し訳ありません。（大量の落葉や小動物が住み着く等）今は車で買い物に出かけていますが、将来車を運転できなくなったらどうしようか不安です。
60 歳代	椿海地区	女性	病気になった時、いつでも診てくれる病院があることを望む。今後益々高齢者が増えていくと思う。地域で声を掛けあえる体制ができると孤独死が減るかと思う。また災害時にも助け合えやすくなると思う。高齢者でも健康な方はたくさんいるので、学校ボランティアなどに参加しやすいような工夫をしてはどうか。行政に対しては、税金を無駄なく大切に使うしてほしいと願う。
60 歳代	椿海地区	女性	家の周りに野良猫が多く、一度餌をあげると住み着いてしまいます。通報すれば保健所に連れて行かれてしまうと可哀そうになります。何か市役所等でお世話してくださる方を探してくれるようなホームページを作ってくださいことは出来ませんか。
60 歳代	椿海地区	女性	何よりも市職員の資質の向上が原点だ。現状の職員の危機管理の欠如、能力と向学心の低さを自覚するがいい。どんなにすばらしいまちづくりの施策を掲げても、職員の意識が今のままでは市民の協力は得られない。外部（民間）から指導者を呼び、特に若い職員を教育する。アイデア・行動力・向学心のある職員が増えなければ市民を動かし活力ある匝瑳市の実現はない。
60 歳代	椿海地区	女性	市民病院の建て替え、移転の案がぬくもりの郷、八日市場駅南口といろいろあるようですが、ぬくもりの郷に移設になった場合、急病・高齢者になった時に非常に不安を感じます。八日市場駅南口であれば交通手段も確保でき、少しは安心できます。これは私個人のみではなく、話題の中に多く出てくることです。また、匝瑳市民として、市民病院の充実、安心できる医療の場として繁栄していくことを願っております。
60 歳代	椿海地区	女性	匝瑳市は比較的災害も無く、気候にも恵まれ過ごしやすい利点などを PR し、移住や企業の誘致などにより人口を確保し、匝瑳高校、敬愛高校など多くの学生が乗降する八日市場駅周辺から通学路になっている中央商店街を活性化させることで、匝瑳が元気になるといい。
60 歳代	野田地区	女性	今匝瑳市で生活していることに満足している。自然に囲まれ、家族や友人にも恵まれ、文化活動にも参加し、生き生きと生活出来ていると思う。しかし、10 年後、20 年後は大丈夫だろうか。と心配である。地区の美化活動に参加しているのは、高齢者ばかりで、若い人がいない。空家も増えてきた。将来も安心して暮らせるまちづくりをお願いしたい。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	野田地区	女性	市民と市政とで協力し合わなければ良いまちづくりは出来ないと思います。一個人が意見を言えることではないですが、今後住み良い匠瑛市になりますよう期待しております。
60 歳代	野田地区	女性	市政の取組にこのような調査をしていただき頭が下がります。政策は難しいですが、今後とも宜しくお願い致します。
60 歳代	野田地区	女性	市民が行かないような場所にスポーツ施設を作るのは絶対に反対です。自転車で行けるとところに作ってください。地区の会館などでトレーニングができるようにしてほしい。病院で少しするトレーニング的なことに疑問を持ちます。指導者のいる場所でのトレーニング、その人に合った指導が必要だと思う。湿布薬を貼っただけでは足腰の痛みは軽減しません。筋トレができる場所がもっと必要。
60 歳代	栄地区	女性	防災無線でラジオ体操を流せませんか。
60 歳代	栄地区	女性	あまりに魅力のない市です。若い人の働く場所の為の企業誘致をしていますか。横芝光と旭に、はさまれ明らかに八日市場に人が集まらない。駅前に作った匠りの里にお客様は来ていますか。皆、芝山（ふわり）、多古（道の駅）、旭（きらり）には行きますが。中途半端なものは無駄です。年々魅力がない、若い人たちから帰りたいと思わない市になっていますね。企業誘致。力のある病院で人が集まるようにしてください。今や旭は中央病院だけでも人が集まります。それによって商店の経済効果も大きいと思います。
60 歳代	無回答	女性	人が集まる温泉施設があるといい。週 1 回困り事相談所があるといい。市内循環バスが 1 時間に 1 本あるといい。天涯孤独の 1 人暮らしの人のためのコミュニティハウス、アドバイス等。子どもの虐待対策等支援。夜間のパトロール強化。
70 歳以上	中央地区	女性	交通網を確保し、働き場所を作り、人口を増やす。
70 歳以上	中央地区	女性	後期高齢者です。先の不安はいっぱいです。今現在は健康です（79 歳）。在宅医療を希望しています。在宅の医療、介護の充実を切にお願い致します。
70 歳以上	中央地区	女性	田んぼを作ること、若い方が少ないので、休耕田に何か作りたいと思います。
70 歳以上	中央地区	女性	将来性のある職場づくり。
70 歳以上	豊栄地区	男性	行政は職員を減らし営利を目的とする民間委託を進めているがむしろ議員定数を減らし市民に良い生活が出来るような職員を確保するよう望む。若者が安定して暮らせる匠瑛市を。（所得）
70 歳以上	豊栄地区	女性	このような調査は必要とは思いません。無駄に思います。利用者の少ない市内循環バスは市の負担が多すぎるのではないかと思います。病院建て替えの件ですが、医師も少ない患者も少ないのに市だけで始めるのはどうかと思います。匠瑛市、横芝光町、多古町で 1 つ大きな病院を建てた方がいいのではないのでしょうか。議員も少し減らした方がいいでしょう。何故なら、今の若者区長さんたちは、議員にお願いして地区を良くしよう、整備しようという気持ちは全くないようだから。昔とは全く違ってきますから。同じ人数は必要ないと思います。（市の人口も一万人も減っているから）
70 歳以上	豊栄地区	女性	市民病院の建て替えと医療従事者の確保をお願いします。商業施設や企業を誘致して若者の雇用を促進。
70 歳以上	豊栄地区	女性	俳優の地井武男さんがテレビ番組の「ちい散歩」等で匠瑛市（元八日市場市）のアピールをしていただいた事に頭が下がりました。ありがとうございました。その様な匠瑛市を盛り上げて下さる方がこれからも出られる事を願っています。若い方の力に期待しております。
70 歳以上	豊栄地区	女性	保険証の発行等もう少し早めに進めてください。
70 歳以上	匠瑛地区	女性	学校の先生に差別についての教育をしてほしいです。
70 歳以上	豊和地区	男性	道路脇の草刈りをお願いします。

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
70 歳以上	豊和地区	男性	基本施策のすべてはごもつともであるが、総花的である。その中から何か年計画の重点施策を絞り、予算編成、人材投入等を行い、その結果を評価していただきたい。人口減少や産業・経済の縮小はやむを得ないので、その対策より福祉・医療や子どもの教育について充実化すべきであろう。
70 歳以上	豊和地区	女性	不必要な歩道作り。畑や山が荒れ放題になっていて他人に迷惑をかけていても知らんぷりをしている農家が多い。道を歩くと異常に臭く便を流しているような所がある。以上をどうかしてほしい。
70 歳以上	豊和地区	女性	近隣の市、町に比べて活気が悪いと思う。その原因を我々一般人に求めるのではなく、有識者の意見を聞いた方がいいと思う。個人的には檀林コンサート、植木の町等を目玉にして続けて行ってほしい。広大な干潟八万石に田んぼアートをし、近くの松峰神社に展望台や大型すべり台を作るとか・・・。
70 歳以上	飯高地区	女性	道路脇の雑草がいたる所に見られます。これが本当のまちづくりだと思います。
70 歳以上	共興地区	男性	匝瑳市は、無駄な経費を使いすぎていると思います。例えば、誰も利用していない公園や施設等、または統合しようとしている（廃校）小学校の体育館等、これらはほんの一部です。これだけの予算があるなら違った意味で今後のまちづくりに利用したらいいのではないでしょうか。いつ行っても診察できる市民病院を作ってください。市内循環バスを増やしてください（買い物・病院その他に行くため）。生意気な事言ってごめんなさい。
70 歳以上	共興地区	男性	本調査について。統計学の事はわからない私ですが、匝瑳市民約 37000 人の中の 2000 名（約 0.5%）でどの程度の事が分かるのか把握できていません。もっと多く的人数で調査したらいいのではないのでしょうか。（予算の事もありますが）また、2000 人での回答率はどの位なのでしょう。とか色々とお尋ねしたいのですが・・・。これまでに市の調査に何度となく協力しておりますが、それがどの様に利用されどの程度役立っているのか、一向に不明です。統計学的とはその様なことなのでしょうか。（広報「そうさ」毎月読んでいますので、載せていただければ幸いです）
70 歳以上	平和地区	男性	駅の南口開発。
70 歳以上	平和地区	男性	人口減少に伴う議員定数。（11 人から 15 人くらい）植木のまち匝瑳を他県への PR として一大イベント、先にも記したが、春に今の植木まつりの 30 倍くらいの規模で農道道路南側の活用。天神山の桜も見頃になってきました。いつも道から眺める山並に桜が見られたらいいなと思います。学校教育の一環として企画を定め、植樹をしたらいいと思います。将来が楽しみです。
70 歳以上	平和地区	女性	若い人にとって希望の持てる市、お年寄りや障害のある人にとって住み良い、安心できる市になってほしい。今何をやっているのかが分からない。ネットをやらないお年寄りにどう伝えていくのか。お役所の敷居が高く感じます。あまり行きたくない。（市民の皆様のために働いているという意識が低いような気がしてなりません）市内循環バスについて、何か良い工夫はないものかな。バス停まで遠いです。
70 歳以上	平和地区	女性	私は 70 歳を過ぎているので、市に関して難しい事はよくわかりませんが、これからの人の為により良いまちづくりをお願いします。
70 歳以上	椿海地区	男性	議員の人数をもっと（4 人位）減らす。
70 歳以上	椿海地区	女性	早急に人口減少に歯止め対策が先決かと。
70 歳以上	野田地区	男性	さざんか野球場のナイター設備の修復。訪問販売の実施。（交通事情が悪く特に独居の方が困っています。）
70 歳以上	野田地区	男性	平和とか人権とか最重要視していくと弱者が強者になる。便利性だとか利便性だとか取り上げて決断して行くと不便になる。（例に病院建設等を利便性だけで決定する、感染症の怖さをないがしろにして進めると本当の恐怖になる。）

年齢	居住地区	性別	問 52 まちづくりに関する意見・提案
70 歳以上	栄地区	男性	市長公約の協働が促進されていない。市長が率先して活動を強化すべきである。高齢化対策としてデマンドタクシーを走らせ、病院・ショッピングの足にすべきである。医師を確保し、市民病院を充実させるべきである。現行の J R 東日本、千葉駅発最後列車 23 : 50 横芝光着を八日市場駅まで延長してほしい。市民参加の体育祭を実施してほしい。
70 歳以上	栄地区	男性	自分は己に厳しく他人に優しくをモットーにしています。市民一人ひとりが思いやりを心掛けることが大切。他人にやらせるとか批判は誰でも出来ます。行政でも批判してもいいけれど対策を出してほしいです。

第5章 意識調査票

第2次匝瑳市総合計画策定のための 市民意識調査

ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、匝瑳市では、将来都市像として掲げた「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匝瑳市」を実現するために推進している「匝瑳市総合計画」が平成31年度（2019年度）をもって計画終了となることから、「第2次匝瑳市総合計画」の策定を進めています。

本調査は、計画の策定にあたり、市内にお住まいの方の中から、2,000名を無作為に抽出させていただき、ご意見をお聞かせ願いたく実施するものです。

皆様からの回答はすべて統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的をご理解の上、率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

平成30年7月

匝瑳市長 太田 安規

[記入上の注意]

- 1 回答は無記名でお願いします。
- 2 回答は、設問ごとに（1つに○）、（2つまで○）など、それぞれ指定されていますので、各設問の回答方法に従って回答してください。

○は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）

- 3 ご記入いただいた調査票を8月10日（金）までに返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストへご投函ください。
- 4 調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

匝瑳市役所 企画課 企画調整班

電話：0479-73-0081 FAX：0479-72-1114

E-mail: k-kikaku@city.sosa.lg.jp

問8 匝瑳市は、子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか。（1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても思う | 2 ある程度思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

問9 市の子育て支援への取組で、何が重要と考えますか。（3つまで○）

- | |
|---|
| 1 地域でお互いに子育てを支え合う仕組みをつくる（ファミリー・サポート・センターなど） |
| 2 保育所（園）・子ども園の充実を図る（延長保育、病児・病後児保育の実施など） |
| 3 子どもの居場所を確保する（放課後児童クラブの充実など） |
| 4 出産・子育てに係る経済支援を充実させる |
| 5 相談体制を強化する（子育て世代包括支援センターの整備など） |
| 6 子育て家庭同士や世代間の交流を促進する（つどいの広場など） |
| 7 その他（
） |

問10 あなたの暮らす地区は、高齢者や障がいのある方、子育て家庭などを、お互いに支え合う雰囲気があると思いますか。（1つに○）

- | | |
|------------|-------------|
| 1 あると思う | 2 ある程度あると思う |
| 3 あまりないと思う | 4 まったくないと思う |

問11 あなたは、現在の医療体制をどう感じていますか。（1つに○）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とても不安を感じる | 2 多少不安を感じる |
| 3 あまり不安を感じない | 4 まったく不安を感じない |

問12 地域の医療環境への取組で、何が重要と考えますか。（3つまで○）

- | |
|--|
| 1 市民病院の入院機能強化を図る（他病院や診療所、在宅からの受入れ強化など） |
| 2 市民病院の外来機能強化を図る（診療科目の充実など） |
| 3 老朽化している市民病院を建て替える |
| 4 救急・休日・夜間医療の充実を図る |
| 5 在宅医療の充実を図る（往診・訪問看護など） |
| 6 医療従事者を確保する（医師・看護師など） |
| 7 地域の中核病院や診療所等の連携強化と役割分担を図る |
| 8 医療費の負担を軽減する |
| 9 その他（
） |

産業・経済について

問13 あなたは、匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。
(1つに○)

1 はい →問 13-1 へ

2 いいえ →問 14 へ

問13-1 それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1 自然の豊かさや風景の美しさについて

2 住んでいる人の人柄や人情について

3 祭りや風習、伝統文化について

4 地元の産業(農林水産業・商店街・工業)について

5 生活のしやすさや利便性について

6 その他()

問14 あなたは、地元で採れた農水産物を進んで食べたいと思いますか。(1つに○)

1 とても食べたいと思う

2 ある程度食べたいと思う

3 あまり食べたいと思わない

4 まったく食べたいと思わない

問15 市の農林水産業振興への取組で、何が重要と考えますか。(3つまで○)

1 生産性を向上させる(生産基盤の整備や6次産業化など)

2 担い手を育成していく(後継者の育成など)

3 新たな経営体制を構築していく(経営規模の拡大や法人化など)

4 販路を拡大する(大都市圏へのPRや契約販売、インターネット利用など)

5 観光や商工業など他分野と連携していく(特産品の開発、食の魅力向上、体験型観光の推進など)

6 地産地消を推進する(学校給食での利用や直売所の充実など)

7 ブランド化に取り組む

8 その他()

問16 あなたは、主にどこで日常生活の買い物をしますか。(1つに○)

1 市内の商店

2 市内の大規模店舗

3 県内の他市町

4 県外

問21 市の雇用対策として、何が重要と考えますか。（3つまで○）

- 1 優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る
- 2 さまざまな分野での起業を支援し、雇用創出を図る
- 3 公共事業等の拡大と地元事業者への発注を推進する
- 4 雇用に積極的な企業に対する経済的支援を行う
- 5 事業者に対する職場環境の改善に向けた啓発、指導を行う
- 6 求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する
- 7 その他（ ）

生活環境について

問22 匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。（1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても思う | 2 ある程度思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

問23 あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。（2つまで○）

- 1 緑の保全や里山の保護など、自然環境と調和した環境
- 2 公園やレクリエーション施設など、憩いの場が整備されている環境
- 3 商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境
- 4 交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境
- 5 道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境
- 6 その他（ ）

問24 あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか。（1つに○）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 とても安全だと思う | 2 ある程度安全だと思う |
| 3 あまり安全だと思わない | 4 まったく安全だと思わない |

問25 市の安全なまちづくりへの取組で、何が重要と考えますか。（2つまで○）

- 1 災害を未然に防ぐための防災基盤の整備（治山治水対策など）
- 2 市民活動が活発に行われるよう促進する（自主防災組織、防犯活動など）
- 3 的確な情報提供や緊急時の体制を強化する（防災行政無線、危機管理体制など）
- 4 市民に対し、防災・防犯意識を啓発する（防災訓練、防犯教室など）
- 5 関係機関（警察、各種団体など）との連携を強化する
- 6 その他（ ）

問26 あなたが住んでいる地区は、市内及び周辺地域への移動が便利な地域だと思いませんか。（1つに○）

- | | | |
|---|-------------------|-----------|
| 1 | とても便利な地域だと思う | →問 27 へ |
| 2 | どちらかといえば便利な地域だと思う | →問 27 へ |
| 3 | どちらかといえば不便な地域だと思う | →問 26-1 へ |
| 4 | とても不便な地域だと思う | →問 26-1 へ |

問26-1 何が最も不便だと感じますか。（1つに○）

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 自宅近くの生活道路の整備が遅れている |
| 2 | 幹線道路へ繋がる道路の整備が遅れている |
| 3 | 電車やバスなどの公共交通網が少ない |
| 4 | その他（ <input type="text"/> ） |

問27 あなたは、普段、外出する際に主にどのような移動手段をお使いですか。（3つまで○）

- | | | | |
|---|-------------|----|-----------------------------|
| 1 | 徒歩 | 2 | 自転車 |
| 3 | オートバイ | 4 | 自家用車（自分で運転） |
| 5 | 自家用車（家族の送迎） | 6 | 自家用車（他人の送迎） |
| 7 | 電車 | 8 | タクシー |
| 9 | 循環バス | 10 | その他（ <input type="text"/> ） |

問28 あなたは、普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか。（1つに○）

- | | | | |
|---|-----------|---|------------|
| 1 | いつも行っている | 2 | ある程度行っている |
| 3 | あまり行っていない | 4 | まったく行っていない |

問29 市の自然環境保全への取組で、何が重要と考えますか。（2つまで○）

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う |
| 2 | 市民による環境美化活動を活性化させる |
| 3 | ごみ対策に力を入れる（ごみの分別・減少・再利用など） |
| 4 | 不法投棄をなくす（監視強化など） |
| 5 | 排水処理施設を計画的に整備する（集落排水、浄化槽設置など） |
| 6 | その他（ <input type="text"/> ） |

問34 市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組で、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

- | |
|---|
| 1 生涯学習のプログラムを充実させる (地域の歴史・自然・文化など) |
| 2 芸術に触れる機会を充実させる (音楽・絵画・演劇など) |
| 3 活動拠点を整備・拡充させる (公民館の充実、学校施設の開放など) |
| 4 文化財や民俗資料などを収集・保存・活用する (資料館の整備など) |
| 5 他地域との交流を深める (自治体間交流、海外派遣研修など) |
| 6 文化・スポーツの組織や活動を支援する (指導者の育成、活動費用の助成など) |
| 7 その他 () |

問35 あなたは、地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とても感じている | 2 ある程度感じている |
| 3 あまり感じていない | 4 まったく感じていない |

問36 あなたの身近なところで、虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 かなりあると思う | 2 ある程度あると思う |
| 3 あまりないと思う | 4 まったくないと思う |

問37 市の人権問題への取組で、何が重要と考えますか。(2つまで○)

- | |
|---|
| 1 早期発見・早期対応できる体制を強化する (関係機関の連携など) |
| 2 学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする (講演会など) |
| 3 気軽に相談できる体制を充実させる (相談窓口、相談員の充実など) |
| 4 人権に深く関わる人材 (教員、医師、公務員、福祉関連など) の意識を向上させる |
| 5 人権侵害に対する救済に向けた施策を強化する (補償、条例整備など) |
| 6 その他 () |

問38 男女共同参画に関する意識について、普段の生活や社会全体の中でどのように思っていますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 平等になっている |
| 2 男性のほうが悪遇されている |
| 3 どちらかといえば男性のほうが悪遇されている |
| 4 女性のほうが悪遇されている |
| 5 どちらかといえば女性のほうが悪遇されている |
| 6 わからない |

行財政運営について

問39 あなたは、市の行財政運営に関心がありますか。（1つに○）

- | | |
|---------|----------|
| 1 とてもある | 2 ある程度ある |
| 3 あまりない | 4 まったくない |

問40 あなたは、市の広報紙（広報そうさ）を見たことがありますか。（1つに○）

- | | |
|------------|-------------|
| 1 いつも見ている | 2 ときどき見ている |
| 3 あまり見ていない | 4 まったく見ていない |

問41 あなたは、市のホームページを見たことがありますか。（1つに○）

- | | |
|------------|-------------|
| 1 いつも見ている | 2 ときどき見ている |
| 3 あまり見ていない | 4 まったく見ていない |

問42 あなたは、まちづくりや地域づくりに参加していますか、また、今後参加したいと思いませんか。（①～⑧の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○）

活 動 内 容	(1) ここ数年の間に参加していますか		(2) 今後参加したいですか	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 行政運営への参加 (例 まちづくりご意見箱への投書、まちづくり座談会への参加など)	1	2	1	2
② 地域づくり活動への参加 (例 自治会活動、地域行事への参加など)	1	2	1	2
③ 福祉活動への参加 (例 育児・介護ボランティアへの参加、健康増進活動など)	1	2	1	2
④ 自然環境保全活動への参加 (例 美化活動、リサイクル活動など)	1	2	1	2
⑤ 教育活動への参加 (例 学校ボランティアへの参加、職業体験学習への協力など)	1	2	1	2
⑥ 文化・スポーツ活動への参加 (例 地域スポーツクラブへの参加、文化財保護活動など)	1	2	1	2
⑦ 地域振興活動への参加 (例 地域の活性化を図る活動、地域新聞の発行など)	1	2	1	2
⑧ 地域安全活動への参加 (例 消防団活動、防犯活動など)	1	2	1	2

問43 市では現在、市民と行政との協働によるまちづくりに取り組んでいます。あなたは、協働によるまちづくりが推進されていると思いますか。（1つに○）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 とても推進されていると思う | 2 ある程度推進されていると思う |
| 3 あまり推進されていないと思う | 4 まったく推進されていないと思う |
| 5 わからない | |

問44 市の手続きや問合せ等で不都合を感じたことは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------------------|
| 1 どこで手続きをしたら（どこに問い合わせをしたら）いいか、わからなかった |
| 2 1つのことで何箇所も手続きをするために移動しなければならなかった |
| 3 問い合わせ等をたらい回しにされた |
| 4 その他（ ） |
| 5 特に不都合を感じたことはない |

問45 市では現在、行財政改革に取り組んでいます。あなたは、市の行財政改革の取組で、何が重要と考えますか。（3つまで○）

- | |
|-----------------------------------|
| 1 事務事業を合理化する（事業や施設の統廃合、民間委託など） |
| 2 事務手続きを簡略化・スピード化する（窓口の総合化、電子化など） |
| 3 施策・事業の評価・点検を行う（事務事業評価など） |
| 4 職員給与・定員の適正な管理を行う |
| 5 職員の能力を向上させる（政策立案能力、職務遂行能力など） |
| 6 市民との情報共有を推進する（積極的な情報開示など） |
| 7 自主財源を確保する（税収増加策の実施など） |
| 8 その他（ ） |

人口減少対策について

問46 平成18年の本市誕生以来、人口減少が進行しています。あなたの住む地区の人口減少について、どのように考えていますか。（1つに○）

- | |
|--------------------------------|
| 1 人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき |
| 2 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口を維持すべき |
| 3 人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき |
| 4 人口減少は望ましくないが、仕方がない |
| 5 人口減少は望ましい |
| 6 人口が減少してもしなくてもどちらでもよい |
| 7 わからない |

問49 (結婚している、していないにかかわらず) 10代から40代の方にお聞きします。
 子どもの数について、以下の①～④にご回答ください。

① 実際に持つかどうかは別として、あなたにとって理想の子どもの人数は何人ですか。	_____人
② 現在の子どもの人数は何人ですか。	_____人
③ 今後、持つつもりの子どもの人数は何人ですか。	_____人
④ ②と③を合計すると、子どもの数は何人ですか。	_____人

問50 人口減少に歯止めをかけるために、特に力を入れて取り組むべき施策は何だと思いますか。(3つまで○)

1 若者の働く場の確保と雇用の創出 2 利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備 3 移住・定住に対する各種支援の充実や積極的な働きかけ 4 若者のUターン・Iターン促進に向けた取組の充実 5 結婚や出産に対する支援の充実 6 子育て家庭に対する支援の充実 7 まちに対する愛着や誇りの醸成 8 その他 () 9 特にない、わからない
--

まちづくりの評価について

問51 以下の項目は、匠瑤市総合計画後期基本計画で掲げている基本施策です。それぞれの施策について、あなたの満足度及び重要度をお聞かせください。
 (①～②の(1)満足度及び(2)重要度、それぞれ1つずつに○)

基本施策	(1)満足度 (○は1つ)					(2)重要度 (○は1つ)				
	満足	えび満足 どちらかとい	えび不満 どちらかとい	不満	わからない	重要	えび重要 どちらかとい	えび重要ではない どちらかとい	重要ではない	わからない
① 健康・生きがいづくりの推進 (健康意識の啓発と健康づくり活動の促進、相談支援体制の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 高齢者福祉の充実 (介護予防の推進と自立支援、介護保険サービスの充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本施策	(1)満足度 (○は1つ)					(2)重要度 (○は1つ)				
	満足	えび満足 どちらかとい	えび不満 どちらかとい	不満	わからない	重要	えび重要 どちらかとい	えび重要ではない どちらかとい	重要ではない	わからない
③ 障がい者福祉の充実 (生活支援サービスの充実、療育・教育体制の充実、就労支援・社会参加の促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 子育て・子育て支援の充実 (子育て家庭への支援の充実、ワーク・ライフ・バランスの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 医療体制の充実 (市民病院の機能強化と情報発信、身近な医療体制の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 地域福祉の推進 (福祉意識の醸成、低所得者などに対する支援の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 農林水産業の活性化 (生産基盤の整備と経営体制の強化、販路の拡大と消費者ニーズへの対応など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 商工業の活性化 (活気ある商店街の形成、経営基盤の強化及び起業などに向けた支援の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 観光の活性化 (観光資源の整備と掘り起こし、効果的な観光情報の発信など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 産業間連携の推進と雇用・消費の場の創出 (農商工連携の促進、就労・起業支援と雇用の創出など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 自然環境の保護と循環型社会の形成 (循環型社会に向けた取組の推進、環境汚染及び不法投棄の防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 市街地の活性化と交通網の整備 (地域特性に応じた拠点の育成・整備、公共交通機関の利用促進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬ 住環境の整備 (快適で安全な都市環境の整備、子育てしやすい住環境の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭ 安心・安全な地域づくりの推進 (防災対策の充実、防犯体制の強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑮ 学校教育の充実 (生きる力をはぐくむ豊かな学校生活の充実、家庭・地域との連携強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑯ 生涯学習・生涯スポーツの推進 (生涯学習・生涯スポーツ機会の充実、青少年の健全育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本施策	(1)満足度 (○は1つ)					(2)重要度 (○は1つ)				
	満足	えげば満足 どちらかとい	えげば不満 どちらかとい	不満	わからない	重要	えげば重要 どちらかとい	えげば重要ではない どちらかといえ	重要ではない	わからない
⑰ 地域文化の振興 (芸術文化とふれあう機会の充実、歴史的建造物・文化財の保全とPRなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑱ コミュニティの育成と交流活動の促進 (地域づくり活動の活性化支援、国際交流・地域間交流の促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑲ 男女共同参画の促進 (男女共同参画意識の醸成と推進体制の構築、誰もが能力を発揮できる地域社会づくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑳ まちづくり情報共有の推進 (市民に役立つ情報提供の推進、市民と行政との協働によるまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉑ 行財政運営の効率化・高度化 (歳入確保対策の推進、地方創生の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
㉒ 広域行政の推進 (近隣自治体、国・県との連携強化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

最 後 に

問52 匠瑳市の今後のまちづくりについてのご意見・ご提案がありましたら、お聞かせください。(自由記入)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

**第2次匝瑳市総合計画策定のための市民意識調査
結果報告書
平成30年12月発行**

編集・発行 匝瑳市企画課
〒289-2198
匝瑳市八日市場ハ 793 番地 2
電話 0479-73-0081
FAX 0479-72-1114